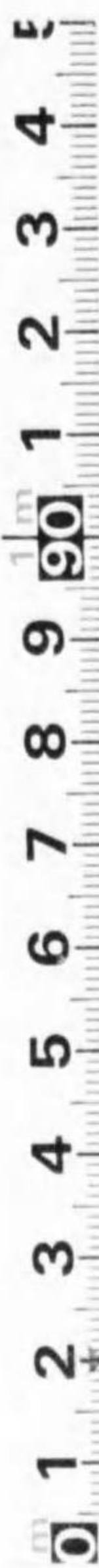




始



(日本標準規格 A4 判)
Japanese engineering standard

緒 言

本書ハ遞信事業ノ狀況ヲ通覽スルノ便ニ供スル爲主トシテ昭和十年度(若ハ昭和十年中)ノ本省事務ノ概要ヲ蒐録シタルモノトス而シテ計數ニ關スル詳細ハ關係各局ニ於テ發刊セル下記印刷物ヲ參照アリタシ

遞信大臣官房文書課

記

通信統計要覽	郵務、電務、工務三局共編
電氣事業要覽	電 氣 局
海事摘要	管 船 局
航空統計年報	航 空 局
經理事務年報	經 理 局
貯金局統計年報	貯 金 局
簡易保險局統計年報	簡 易 保 險 局

14.9
77x

目次

CONTENTS

第一編 總說	
Chapter 1. General Remarks	
遞信省沿革略誌1	
第一章 法 規11	
Section 1. Laws and Regulations	
第二章 官 制11	
Section 2. Government Organisations etc.	
第三章 遞信公報及文書12	
Section 3. Official Gazette and Documents	
遞信公報發行數.....12	
文書取扱件數.....12	
第四章 職 員14	
Section 4. Personnel	
遞信省所屬職員.....14	
休 職 者.....16	
外國留學者及出張者.....16	
第五章 遞信官吏練習所17	
Section 5. Training School of Communication Officials	
無線技術員ノ養成.....17	
無線電信通信従事員ノ養成.....17	
搬送技術員ノ養成.....17	
滿洲國留學生入學.....17	
學生異動及現員.....17	
入學志願者及合格者.....18	
第六章 共濟組合18	
Section 6. Mutual Aid Association	
事 業 成 績	
第七章 遞信博物館19	
Section 7. Communication Museum	
陳列品ノ縦覽.....19	
參考品ノ増加.....19	
參考品ノ貸出及出品.....19	
主ナル展覽會及博覽會.....19	
意 匠 圖 案.....20	
遞信「カレンダー」ノ編纂.....20	
寫 眞.....20	
事業用品ノ改良研究.....20	
第八章 遞信事業ノ狀況20	
Section 8. Condition of Communications	
遞信事業概括表	
第九章 會 議21	
Section 9. Confrence	
第十章 歳入及歳出22	
Section 10. Revenue and Expenditure	
歳入歳出豫算及決算額.....23	
歳入歳出決算額.....28	
第十一章 財 産30	
Section 11. Property	
土 地 面 積.....30	
建 物 面 積.....31	
船 舶.....32	
圖 表	
Diagram.	
遞信局別郵便物數.....32	
Number of mail matter by Derection of Communications	
航空郵便物數及線路.....32	
Number of Air mail and Route	
電報通數果年比較.....32	
Comparison of Number of Telegrams hendled yearly at post Telegraph offices	
電話加入者數.....32	
Number of Inland Telephon Subscribers	

簡易保險年度末現在契約高累年比較.....32
 Policies in Force at each End of Successive Fiscal years, Represented for Comparison of the Post Office Life Insurance
 郵便貯金現在高累年比較.....32
 Credit balanas at the each End of the Fiscal year of Postal Savings accounts

第二編 通信
 Chapter 2. Communicatinos

郵務、電務、工務各局沿革略誌.....33

第一章 郵便電信及電話局所
 Section 1. Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便局所開廢.....55
 電信及電話局所開廢.....56
 郵便電信電話局所數.....58
 郵便電信及電話局所取扱事務別.....60
 郵便切手、収入印紙賣捌所、郵便函及郵便私書函.....62

第二章 郵便電信及電話局職員
 Section 2. Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局職員.....63

第三章 郵便業務ニ關スル施設
 Section 3. Institutions for Postal Services

郵便切手類及収入印紙賣捌規則中改正.....65
 無集配郵便局ノ取扱事務範圍擴張.....65
 速達郵便取扱地域擴張.....65
 航空郵便ニ關スル規定改正.....65
 日滿兩國間郵便業務ニ關スル條約ノ實施.....65
 「カイロ」締結萬國郵便條約及關係約定ニ對スル各國ノ批准又ハ加入ニ對スル措置.....66
 中南米諸國向雜貨ノ輸出統制ニ伴フ該物品包有小包ノ取締.....66
 本邦重要輸出品取締.....66
 中南米及蘭領東印度向絹織物、人造絹織物及絹人絹加工制品ノ輸出統制ニ伴フ該物品包有小包ノ取締.....66

「メキシコ」國經由「コスタリカ」共和國宛閉囊小包郵便物差立開始.....66
 「ハイテイ」國宛閉囊小包郵便物ノ差立開始.....66
 「ペルー」又ハ「チリ」國經由「ポリヴィア」國宛閉囊小包郵便物ノ差立開始.....66
 「ヴェネズエラ」國宛閉囊小包郵便物ノ差立開始.....66
 年賀用郵便切手ノ創始.....67
 年賀郵便及年賀電報用スタンプ.....67
 記念郵便切手發行.....67
 特殊記念通信日附印.....68

第四章 郵便線路
 Section 4. Mail Routes

内地郵便線路.....73

第五章 郵便物數
 Section 5. Number of Mail Matters

内地郵便局取扱通常郵便物數.....74
 同 小包郵便物數.....76
 通常郵便物不能還付數.....78
 小包郵便物不能還付數.....79
 特殊取扱通常郵便物亡失毀損數.....80
 小包郵便物亡失毀損數.....81

第六章 電信業務ニ關スル施設
 Section 6. Institutions for Telegraph Services

氣象通知電報關係規定中改正.....82
 年賀電報關係規定中改正.....82
 電信電話取扱所制度創始.....82
 電信事務ノ開廢.....82
 電信回線施設.....83
 外國電信料金ノ低減.....83
 災害時等ニ於ケル電報疏通措置.....83
 二・二六事件關係.....83
 専用寫眞電信許可.....83
 社團法人同盟通信社設立許可.....83
 當省電柱廣告掲載ノ問題.....83

第七章 電信線路、電報氣送管及障礙並機械
 Section 7. Telegraph Lines, Pneumatic Tubes, Faults and Apparatus

内地電信線路.....85
 電報氣送管所在地別.....86
 内地電信障礙度數及時數.....88
 内地郵便電信局所用電信機械及電池數.....90

第八章 電報通數
 Section 8. Number of Telegrams

内地郵便電信局取扱電報通數.....92
 無線電信、無線電話局取扱.....93
 在中華民國本邦電信局取扱.....94

第九章 電話業務ニ關スル施設
 Section 9. Institutions for Telephone Services

電話通話規則中改正.....95
 市内專用電話規則中改正.....95
 應急救護報知通話ノ取扱開始.....95
 電話特別開通申請受付及受理決定.....95
 電話擴張改良計畫ノ實施.....96
 電話加入區域内通話事務開始.....98
 請願電話施設.....98

第十章 電話線路障礙及機械
 Section 10. Telephone Routes, Faults and Apparatus

内地電話線路.....100
 内地市内電話障礙度數.....102
 内地市外電話障礙度數及時數.....104
 内地郵便電信電話局所用電話機械及電池數.....104

第十一章 電話加入者及電話通話數
 Section 11. Number of Telephone Subscribers and Messages

内地電話加入者.....108
 内地電話通話數.....108

第十二章 無線電信無線電話業務ニ關スル施設
 Section 12. Institutions for Wireless Telegraph and Wireless Telephone Services

無線電信無線電話業務ニ關スル施設.....109

有無線合併.....109
 對外無線電信連絡ニ依ル通信取扱地域ノ擴張.....109
 新規國際電話連絡開始及業務ノ擴張.....109
 復活祭祝賀電報「クリスマス」及新年祝賀國際通話ノ開始.....109
 短波無線電信無線電話ノ監督設備整備.....109
 對海軍無線監所通信訓練實施.....109

第三編 郵便爲替及貯金
 Chapter 3. Postal Money Order and Postal Savings

貯金局沿革略誌.....111

第一章 郵便爲替業務ニ關スル施設
 Section 1. Institutions for Postal Money Order

香港爲替ニ拂渡通知ノ制度創設.....124
 日本國及滿洲國間郵便爲替業務ノ改善.....124
 日本國及カナダ間ニ新ニ郵便爲替約定ノ公布及實施.....124
 郵便爲替受拂高.....125

第二章 郵便貯金業務ニ關スル施設
 Section 2. Institutions for Postal Savings

貯金原簿移替.....126
 郵便貯金預拂及現況.....127
 郵便貯金地別.....128

第三章 證券業務ニ關スル施設
 Section 3. Institutions for public Bonds

證券保管事務全部復舊.....131
 保管證券.....131

第四章 郵便振替貯金業務ニ關スル施設
 Section 4. Institutions for Postal Check and Transfer

市公金振替貯金特別取扱ノ受拂料金改正.....132
 廣島貯金支局設置ニ伴フ關係規定改正.....132
 無集配郵便局ニ於ケル集金郵便振替貯金ノ取扱復活.....132

無集配三等局ニ於ケル債券募集元利金支拂並貸付事務復活.....132

郵便振替貯金口座加入者及受拂高.....133

第五章 事業奨励及周知ニ關スル施設.....134

Section 5. Arrangements for Propagation and Promotion of Services

世界勤儉デー.....134

勤儉貯蓄記念日設定.....134

郵便振替貯金創業三十周年記念施設.....134

第六章 年金恩給.....135

Section 6. Annuity and Pension

年金恩給給與金拂渡高.....135

第四編 簡易生命保險及郵便年金

Chapter 4. Post Office Life Insurance and Post Office Life Annuities

簡易保險局沿革略誌.....137

第一章 簡易生命保險事務ニ關スル施設.....143

Section 1. Institutions for Post Office Life Insurance Services

臺灣新竹、臺中兩州下震災罹災加入者ニ對スル施設.....143

青森秋田兩縣下水害罹災契約者ニ對スル施設.....143

北海道地方ニ於ケル凶作、凶漁地契約者ニ對スル施設.....143

第二章 保險事業成績.....144

Section 2. Summary of Post Office Life Insurance Business

事業成績.....144

同地方別.....148

被保險者職業別.....152

第三章 審査會.....153

Section 3. Meeting of Investigation

審査會ノ審査.....153

審査會ノ審査狀況.....153

第四章 積立金ノ運用.....153

Section 4. Investment of the Fund

積立金ノ運用範圍.....153

公共貸付.....153

有價證券投資.....153

積立金ノ運用狀況.....153

積立金貸付狀況.....154

積立金府縣別貸付狀況.....157

積立金運用狀況.....159

第五章 年金事業成績.....160

Section 5. Summary of Post Office Life Annuities Business

事業成績.....160

同地方別.....162

年金受取人職業別.....182

第六章 審査會.....183

Section 6. Meeting of Investigation

審査會ノ審査.....183

審査會ノ審査狀況.....183

第七章 積立金ノ運用.....183

Section 7. Investment of the Fund

積立金ノ運用範圍.....183

積立金ノ運用狀況.....183

積立金貸付狀況.....184

積立金運用狀況.....186

第五編 電氣

Chapter 5. Electrical Undertakings

電氣局沿革略誌.....187

電氣試験所沿革略誌.....193

第一章 電氣事業ニ關スル施設.....196

Section 1. Institutions for Electrical Undertakings

發電及送電豫定計畫ノ樹立.....196

電氣事業ノ許可、認可其他ノ處分.....196

第二章 事業數及發電力數.....197

Section 2. Number of Undertakings and Kilowatt Capacities

原動力別事業數.....197

原動力別發電力.....198

第三章 電線路、電氣鐵道及車輛.....199

Section 3. Electric Line, Electrical Railway and Car

電線路互長及回線延長.....199

電氣鐵道互長、延長、車輛數及運轉狀況.....200

第四章 電燈及電力.....201

Section 4. Electric Lamp and Power

電燈.....201

電力.....202

用途別電力使用高.....203

第五章 資本及收支.....204

Section 5. Capital, Revenue and Expenditure

資本金、社債及積立金.....204

收入、支出、利益及利益處分.....205

第六章 主任技術者.....206

Section 6. Chief Electrical Engineer

主任技術者資格檢定申請人及合格者.....206

主任技術者數.....208

主任技術者銓衡檢定申請人及合格者.....210

第七章 事故.....212

Section 7. Obstacles

電氣工作物故障ニ因ル供給支障件數.....212

感電死傷數.....212

第八章 電氣試験.....214

Section 8. Electro-Technical Inspection

電氣計器ノ檢定.....214

電氣用品取締規則ニ依ル型式承認試験.....214

無線方位測定機及緊急自働受信機ノ型式承認試験.....214

電氣用品ノ受託試験.....214

逓信省購入品ノ試験.....214

特許權ノ實施ト特許委員會.....214

研究並調査及發明.....214

第一部.....215

第二部.....216

第三部.....218

第四部及平磯出張所.....221

第五部.....224

試作課.....226

大阪出張所.....226

福岡出張所.....227

福島出張所.....227

名古屋出張所.....228

特許及考案.....228

電氣用品試験數.....234

電氣計器檢定數.....234

第六編 海 事

Chapter 6. Maritime Affairs

管船局沿革略誌.....235

燈臺局沿革略誌.....246

第一章 海事業務ニ關スル施設.....253

Section 1. Institutions relating to Maritime Affairs

船舶通シ運送規則中改正.....253

船舶改善助成施設.....253

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲メノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件.....253

船舶安全法施行規則ヲ外國船舶ニ準用ノ件中改正.....253

船舶設備規程中改正.....253

船員法ノ事務ヲ行フ市町村長ノ追加、削除及改正.....253

船舶檢査執行地ノ指定.....254

第二章 船 舶.....255

Section 2. Shipping

登簿船異動.....255

船舶現在數.....258

登簿船積量及年齡別.....259
 造船所及造船.....260
 檢查船舶.....260
 遭難船舶.....261
 遭難船舶遭難地方別.....262
 遭難船舶月別.....264
 遭難船死傷人員及遭難種類別.....266
 遭難救助者.....267

第三章 船燈、信號器及救命具製造免許.....268
 Section 3. Licensed Manufacturers of Ship's Lights, Signals and Life Saving Apparatus
 船燈、信號器、救命具製造免許數.....268

第四章 船員.....269
 Section 4. Mariners
 船員手帳受有者.....269
 海技免狀受有者.....269
 同 種類別.....270

第五章 水先人.....271
 Section 5. Pilot
 水先人免狀受有者水先區別.....271

第六章 海員審判.....272
 Section 6. Marine Court of Inquiry
 高等海員審判所取扱件數及人員.....272
 地方海員審判所取扱件數及人員.....274

第七章 船員職業紹介.....276
 Section 7. Finding Employment for Seamen
 求人數及求職者數對照.....276

第八章 開港場ト船舶ノ出入.....278
 Section 8. Vessels Entered or Cleared at Open Ports
 開港場則施行各港出入船舶.....278

第九章 航路標識.....279
 Section 9. Light-House, Buoys, Beacons, etc.

航路標識數.....279
 航路標識種類別.....280
 燈臺構造及其ノ高光達距離.....281

第十章 命令航路.....282
 Section 10. Subsidized Lines

逕信省命令航路.....282
 地方廳命令航路.....288

第十一章 保護會社及團體.....295
 Section 11. Subsidized Concerns

日本郵船株式會社營業概況.....295
 大阪商船株式會社營業概況.....296
 日清汽船株式會社營業概況.....297
 南洋海運株式會社營業概況.....298
 北日本汽船株式會社營業概況.....298
 近海郵船株式會社營業概況.....298
 原田汽船株式會社營業概況.....299
 栗林商船株式會社營業概況.....299
 各汽船會社營業狀況一覽表.....300
 日本海員救濟會事業成績.....301
 帝國水難救濟會事業成績.....301

第七編 航空
 Chapter 7. Civil Aviation

航空局沿革略誌.....303

第一章 航空業務ニ關スル施設.....307

Section 1. Institutions relating to Civil Aeronautical Services

航空機ノ檢査及登録.....307
 航空機乘員ノ養成.....307
 航空機乘員技備證明書並航空免狀ノ交付.....308
 航空路ノ施設.....308
 定期航空輸送ニ對スル保護獎勵.....311
 航空機維持獎勵金ノ支給.....313
 帝國飛行協會及其ノ他ニ對スル補助.....313
 飛行機ノ拂下及拂下斡旋.....313

第八編 臺灣、樺太、朝鮮、關東州及滿鐵附屬地及南洋通信事項

Chapter 8. Communications in Formosa, Saghalien, Korea, Kwantung and the Attached Zone of the Manchurian Railway and South Seas

郵便.....315
 電信.....315
 電話.....316
 爲替、貯金及振替貯金.....316
 年金恩給及保管證券.....317

世界經濟學大綱 第六版
馬寅初 著
商務印書館 發行
一九四九年

總 說
GENERAL REMARKS

第一編 總 說

CHAPTER 1. GENERAL REMARKS

遞信省沿革略誌

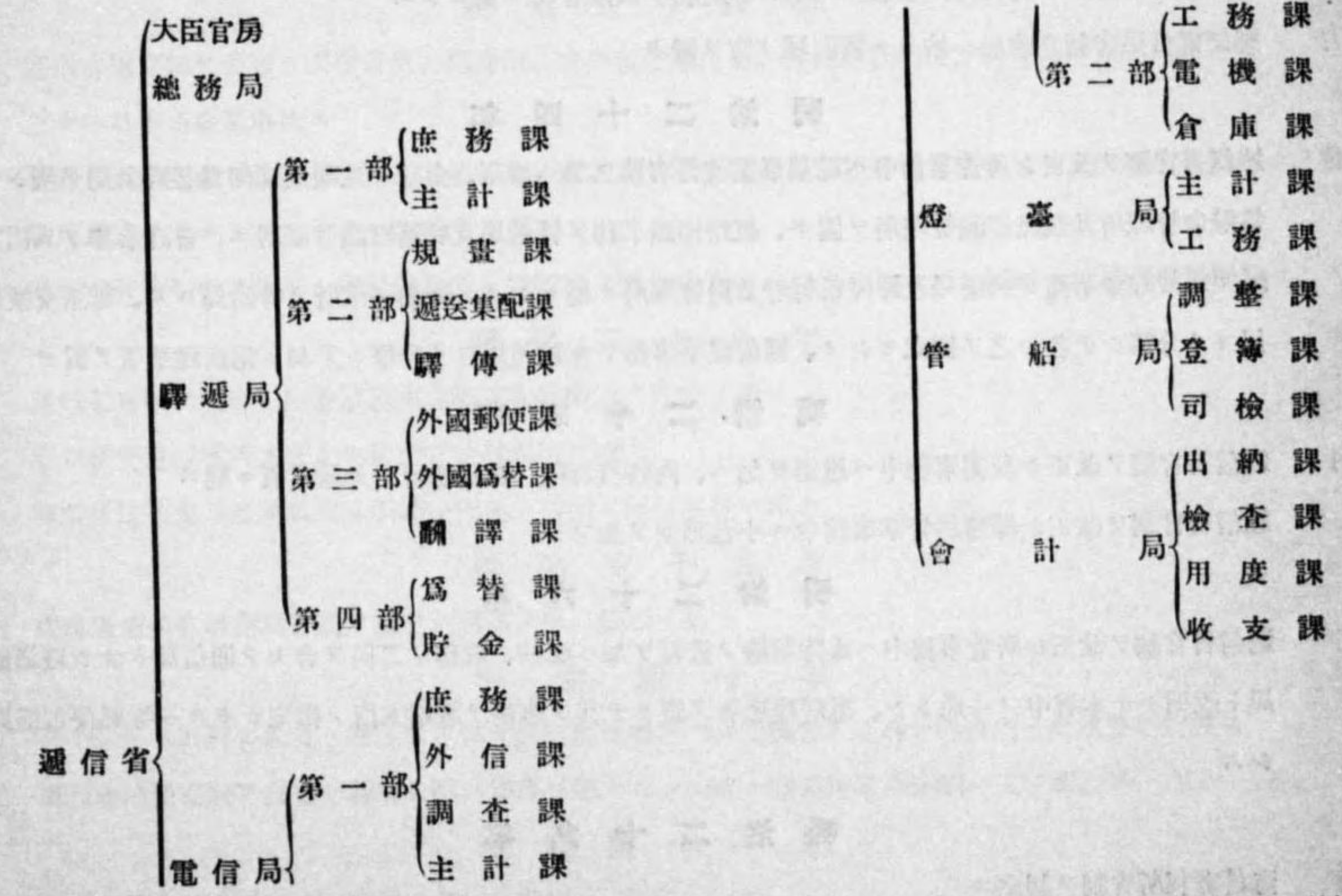
本省各局及所屬所=關スル沿革略誌=就テハ關係各編ニ譲リ、今立省後=於ケル主ナル官制其ノ他ノ沿革ヲ摘録スレハ次ノ如シ

明治十八年

十二月 二十二日遞信省ヲ創立シ農商務省ヨリ驛遞、管船ノ兩事務ヲ、工部省ヨリ電信、燈臺ノ兩事務ヲ承繼シ本省ヲ東京ニ置キ假ニ之ヲ驛遞、電信、燈臺、管船、會計、庶務ノ六局ニ分ツ而シテ驛遞、電信、燈臺、管船ノ各局ハ本省構外ナリシヲ以テ之ヲ外局ト謂ヒ庶務、會計ノ二局ハ構内ニアリシヲ以テ之ヲ内局ト稱セリ

明治十九年

二月 遞信省官制ヲ公布シ遞信大臣ハ驛遞、電信、燈臺、浮標、船舶及海員ニ關スル事務ヲ管理シ大臣官房及總務局ノ外驛遞、電信、燈臺、管船、會計ノ六局ヲ置カル而シテ當時ニ於ケル所屬各局分課次ノ如シ



三月 地方遞信官署官制ヲ公布シ地方郵便電信ノ事務ヲ管理スル爲須要ノ地ニ遞信管理局ヲ置キ遞信大臣ノ管轄ニ屬セシム而シテ遞信管理局ハ七月一日ヨリ開局ス

四月 本省ヲ東京本挽町八丁目一番地ニ設置シ在來ノ電信局舍ヲ流用シテ之ニ充ツ

同 二十六日ヨリ遞信公報ヲ發行シ遞信事務ニ關係アル勅令、閣令及本省ノ令達、告示ハ總テ公報ヲ以テ下達ス
同 商船學校及電信修技學校官制ヲ定メ遞信大臣ノ管理ニ屬セシム

八月 電信建築官制ヲ公布ス

十一月 地方郵便局及電信分局ハ土地ノ情況ニヨリ之ヲ合併シテ郵便電信局ト爲スノ方針ヲ定ム

明治二十年

- 二月 八日付ヲ以テ「〒」字形ヲ逓信省全般ノ徽章ト定ム
- 三月 逓信省官制ヲ改正シ驛遞、電信ノ二局ヲ廢シテ内信、外信、工務、爲替貯金ノ四局ヲ置キ郵便事務ヲ内信、外信ノ二局ニ、爲替事務ヲ外信、爲替貯金ノ二局ニ、貯金事務ヲ爲替貯金局ニ、電信事務ヲ内信、外信、工務ノ三局ニ屬セシム
- 同 地方電信分局ヲ電信局ト改稱シ、驛遞貯金所ヲ郵便貯金預所ト改稱ス
- 五月 電信修技學校ヲ廢シ東京電信學校官制ヲ公布ス
- 六月 電信建築官官制ヲ廢ス

明治二十二年

- 七月 地方逓信官署官制ヲ廢シ郵便及電信局官制ヲ公布シ逓信管理局ヲ廢シテ其ノ事務ヲ本省並各一等郵便局及電信局ニ分屬セシム

明治二十三年

- 三月 東京電信學校官制ヲ廢シ東京郵便電信學校官制ヲ制定ス
- 六月 逓信省官制ヲ改正シ總務局ヲ廢シ其ノ事務ヲ大臣官房ニ屬セシメ内信、外信、工務ノ三局ヲ廢シテ郵務、電務ノ二局ヲ置キ爲替貯金局ヲ本省ヨリ分離シテ郵便爲替貯金局ト改稱シ同時ニ外信事務ノ一部ヲ郵便爲替貯金局ニ、會計事務ノ一部(豫算及決算ニ關スル事務)ヲ大臣官房ニ屬セシム
- 七月 郵便電信局官制ヲ改正シ始メテ書記補ノ官ヲ置ク

明治二十四年

- 七月 逓信省官制ヲ改正シ所管事務中ヘ電氣事業監督事務ヲ加ヘ燈臺、會計ノ二局及郵便爲替貯金局ヲ廢シテ郵便爲替貯金管理所及航路標識管理所ヲ置キ、航路標識事務ヲ管船局及航路標識管理所ニ、會計事務ヲ大臣官房ニ、郵便爲替貯金事務ヲ郵便局及郵便爲替貯金局管理所ニ屬セシメ又船舶司檢所ヲ管船局ヨリ、電話交換局ヲ電務局ヨリ分離シテ各々之ヲ獨立セシメ、電信建築事務ヲ亦電務局ヨリ分離シテ別ニ電信建築署ヲ置ク

明治二十五年

- 七月 逓信省官制ヲ改正シ所屬事務中ヘ鐵道ヲ加ヘ、内務省所轄ノ鐵道廳轉シテ逓信省ニ屬ス
- 同 逓信省官制ヲ改正シ郵務局管掌事務中ヘ小包郵便ヲ加フ

明治二十六年

- 十月 逓信省官制ヲ改正シ所管事務中ヘ水陸運輸ノ監督ヲ加ヘ郵務、電務ノ二局ヲ合セテ通信局トシ鐵道廳ヲ鐵道局ト改稱シテ本省中ノ一局トシ、電信建築署ヲ廢シテ其ノ事務ヲ逓信大臣ノ指定シタル一等郵便電信局ニ屬セシム

明治二十九年

- 四月 海員審判所官制ヲ制定ス
- 十月 在外郵便電信局、郵便局官制ヲ公布シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム

明治三十年

- 四月 各省官制通則中ヲ改正シ參事官ハ一人ヲ限リ勅任トス
- 八月 逓信省官制ヲ改正シ通信局ヲ分テテ再ヒ郵務、電務ノ二局トシ、大臣官房中財務、調度ノ二課及電信燈臺用品製造所軍務鐵道、通信、兩局會計事務ノ一部ヲ分離シテ新ニ監査局ヲ置キ、鐵道局事務中作業ニ關スル事務ヲ分離シテ本省以外別ニ鐵道作業局ヲ置ク

明治三十一年

- 五月 十九日日本省炎上ス
- 七月 港務局官制ヲ制定シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム
- 十月 各省官制通則中ヲ改正シ次官ノ次ニ參與官(勅任)ヲ加フ
- 同 逓信省官制ヲ改正シ郵務、電務ヲ廢シテ再ヒ通信局ヲ置キ、監査局ヲ廢シ、官房會計課及電信燈臺用品製造所ヲ置キ、所管事務中ニ北海道官設鐵道ノ監督事務ヲ加フ

明治三十二年

- 六月 海事局官制ヲ公布シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシメ、船舶司檢所官制ヲ廢止ス

明治三十三年

- 四月 各省官制通則中ヲ改正シ大臣官房事務中職員、文書及會計事務ヲ割キテ總務局ヲ置キ、次官ヲ總務長官トシ參與官ヲ廢シテ官房長ヲ置ク

明治三十五年

- 三月 港務局官制ヲ廢止ス
- 六月 二十日萬國郵便聯合加盟二十五年紀念祝典ヲ東京ニ開ク
- 同 從來ノ郵便器具陳列所ヲ郵便博物館ト稱シ翌月ヨリ一般公衆ノ縦覽ニ供ス

明治三十六年

- 三月 通信官署官制ヲ公布シ郵便及電信局官制、在外郵便電信局、郵便局官制及電話交換局官制ヲ廢止ス
- 同 三十一日日本省新築落成ス
- 十二月 各省官制通則中ヲ改正シ總務局ヲ廢シ新ニ經理局ヲ置キ總務局事務中文書課事務ヲ大臣官房ニ屬セシメ同時ニ總務長官ヲ改メテ次官トシ官房長ヲ廢ス
- 同 通信官署官制中ヲ改正シ郵便爲替貯金管理所ヲ通信官署中ニ包含セシムルト同時ニ該管理所官制ヲ廢止ス

明治三十八年

- 三月 逓信省官制ヲ改正シ所管事務中北海道官設鐵道ノ監督ヲ廢ス
- 同 東京郵便電信學校ヲ廢止シ通信官吏練習所ヲ設ク
- 七月 朝鮮通信事業ヲ帝國政府ニ引繼キ内地ト共通ノ通信制度ヲ布ク

明治三十九年

- 五月 臨時鐵道國有準備局官制ヲ制定シ逓信大臣ノ管理ニ屬ス

明治四十年

- 一月 二十二日日本省再ヒ火災ニ罹リシヲ以テ麹町區吳服橋内ニ假廳舍ヲ急造シ同舍内ニテ事務ヲ處理ス
- 三月 帝國鐵道廳官制ヲ公布シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシメ同時ニ鐵道作業局官制ヘ之ヲ廢止ス

明治四十一年

- 五月 萬國電信會議ヲ里斯本ニ開催本邦委員參列ス
- 十月 鐵道局所掌事務ノ中ヘ軌道ニ關スル事項ヲ加フ
- 十二月 逓信省官制ヲ改正シ所管事項中官設鐵道ノ管理及私設鐵道ノ監督ヲ廢シ鐵道局ヲ削ル(鐵道局ハ鐵道院トシテ内閣ニ直屬ス)
- 同 鐵道院官制公布ト共ニ帝國鐵道廳官制ハ廢止サル

明治四十二年

- 七月 逓信省官制ヲ逓信大臣ハ郵便、小包郵便、電信、電話及航路標識ヲ管理シ發電水力ニ關スル事務ヲ掌リ電氣、

造船、水陸運輸=關スル事業及航路、船舶、海員ヲ監督ス」ト改メ、通信局所掌事務中郵便爲替、郵便貯金及電氣事業ノ監督=關スル事項ヲ削リ電氣局ヲ新設シテ電氣事業=關スル事項ヲ掌ラシメ又電氣局=電氣試驗所ヲ置キ電氣試驗=關スル事項ヲ掌ラシム

七月 郵便貯金局官制ヲ公布シ通信官署官制中郵便爲替貯金管理所ヲ廢止ス

同 臨時鐵道國有準備局官制ヲ廢止ス

同 通信官署職員共済組合ヲ設ク

十月 萬國郵便聯合紀念碑落成式ヲ「ベルン」ニ舉行シ本邦官吏參列ス

十一月 通信官吏練習所ヲ通信官吏練習所ト改稱シ大臣官房ノ一トス

明治四十三年

三月 郵便貯金局所管事務中へ年金恩給ノ給與=關スル事項ヲ加フ

同 逓信管理局官制ヲ設ケ監督及現業事務ヲ掌ラシム

同 郵便博物館ヲ逓信博物館トシテ大臣官房ニ屬セシム

同 三十一日新築中ノ本省落成ス

四月 逓信省内ニ臨時發電水力調査局ヲ設置ス

明治四十四年

一月 逓信省内ニ郵便保險年金制度調査會ヲ置ク

明治四十五年

大正元年

一月 逓信選獎規程ヲ制定シ主トシテ現業吏員、傭人ニシテ勤勞及功績アル者ニ對シ旌表スルコトトシ二月ヨリ施行ス

五月 十三日 大正天皇東宮ニ在セントキ本省ニ行啓アラセラル

大正二年

六月 逓信省官制ヲ改正シ經理局ヲ廢シ大臣官房ノ一課トス

同 爲替貯金局官制ヲ公布シテ郵便貯金局官制ハ之ヲ廢止ス

同 臨時發電水力調査局ヲ廢止ス

同 地方逓信官署官制ヲ公布シ逓信管理局官制ヲ廢止シ從來ノ十三逓信管理局ヲ五逓信局ニ改ム

大正三年

十月 各省官制通則中ヲ改正シ各省ニ參政官、副參政官ヲ置ク

大正四年

二月 爲替貯金局所管事務中ニ各官廳ノ徵收スル歳入金ノ受入及歳出金ノ繰替拂渡ニ關スル事項ヲ加フ

大正五年

三月 逓信省官制ヲ改正シ電信燈臺用品製造所ヲ廢止シ經理課ニ製機係ヲ置キ同製造所作業ノ一部ヲ承繼ス

四月 本省内ニ簡易生命保險事務準備委員會ヲ設ク

七月 逓信省官制ヲ改正シ管船局ニ船用品檢査所ヲ設置ス

同 爲替貯金局所管事務中ニ簡易生命保險ヲ加フ

大正六年

二月 逓信省臨時調査局官制ヲ制定シ電氣及海事ニ關スル調査事務ヲ掌ラシム(大正九年五月同局官制廢止)

九月 戰時船舶管理局官制ヲ制定シ戰時船舶ニ關スル事務ヲ掌ラシム(大正九年六月同局官制廢止)

十一月 三等郵便局又ハ三等電信局ニハ各局一人ヲ限リ通信手ヲ置クコトヲ得セシム

大正七年

六月 逓信省官制中ヲ改正シ逓信監察事務ヲ掌ラシムル爲大臣官房ニ監察課ヲ設ク

同 電氣試驗所官制ヲ制定シ電氣局ヨリ分離シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム

大正八年

五月 逓信省官制ヲ改正シ本省ニ再ヒ經理局ヲ設置ス

同 地方逓信官署官制中ヲ改正シ逓信局ヲ七局トシ別ニ逓信大臣ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定メテ現業監察ノ事務ヲ掌ラシム

大正九年

五月 各省官制通則中ヲ改正シ參政官、副參政官ヲ廢シ各省一人ニ限リ勅任參事官ヲ置クコトヲ得セシム

同 逓信部内臨時職員設置制ヲ公布ス

同 海事委員會官制ヲ公布シ逓信大臣ノ監督ニ屬セシム

九月 逓信官署現業員共済組合ヲ逓信部内職員共済組合ト改稱シ救助ノ種目ヲ増シ三等郵便局員モ之ニ加入セシムルコトトシ十一月ヨリ施行ス

十月 貯金局及簡易保險局官制ヲ公布シ爲替貯金局官制ヲ廢止ス

同 臨時電信電話建設局官制ヲ公布ス

同 萬國郵便會議ヲ西班牙馬德里ニ開催本邦委員參列ス

大正十年

四月 二十日通信事業創始五十年紀念祝賀會ヲ開催ス

十月 逓信官吏練習所技術補習科規程ヲ制定ス

十二月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中ニ空中ノ運輸ニ關スル事項ヲ加フ

大正十一年

一月 逓信部内職員共済組合診察所規程ヲ設ケ組合員ノ傷痍又ハ疾病ノ診察治療ヲ爲ス

二月 逓信官吏練習所規則中ヲ改正シ行政科ヲ第一部行政科ニ、電信科ヲ第二部行政科ニ改ム

同 逓信官吏練習所專修科規程ヲ制定ス

十二月 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ傷痍給與金ノ額ヲ增加ス

大正十二年

四月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中空中ノ運輸ニ關スル事項ヲ削除ス

同 陸軍省所轄ノ航空局轉シテ逓信省ニ屬ス

同 三等郵便局及三等電信局ニハ各一人ニ限ラレル通信手ヲ二人置クコトヲ得セシム

同 逓信博物館ヲ麹町區富士見町五丁目ニ移轉ス

八月 三等郵便局長及三等電信局長ニシテ引續キ二十五年以上在職シ事務熟練ノ者ハ特ニ之ヲ奏任官ノ待遇トナスノ途ヲ開ク

九月 逓信部内職員共済組合財産管理規程ヲ制定ス

同 未曾有ノ震火災ノ爲本省、臨時電信電話建設局、貯金局、簡易保險局、電氣試驗所及高等海員審判所燒失セシメ付假事務所ヲ下記ノ通開設セリ

本省 }東京驛前東京中央郵便局内
臨時電信電話建設局 }

- 貯金局.....麻布區富士見町内閣統計局内
- 簡易保險局.....芝區芝浦日出町分室内
- 電氣試驗所.....芝區芝浦埋立地同所分室内
- 十月 逓信部内職員共済組合積立金貸付規程ヲ制定シ震災ニ伴フ組合員ノ保護救済ニ勉ム

大正十三年

- 四月 大震火災ノ際部内従事員ニシテ身命ヲ賭シ其ノ職責ヲ全フシタル者或ハ多數人命救助ニ從事シタルモノ等ノ内特ニ一般ノ儀表トナスヘキ者ヲ表彰ス
- 五月 十一日新築假廳舎竣工ニ付本省ハ麹町區大手町ニ移轉ス
- 七月 部内現業員ノ衛生及保健ニ關スル状態ヲ調査シ之カ施設ニ關スル事項ヲ審議スル爲現業員保健調査會ヲ設ク
- 八月 各省官制通則中ヲ改正シ政務次官、參與官ヲ加ヘ參事官ヲ削ル
- 同 逓信局官制並逓信官署官制ヲ制定シ地方逓信官署官制ヲ廢止ス
- 同 逓信省分課規程中ヲ改正シ、大臣官房ニ保健課ヲ新設ス
- 同 萬國郵便會議ヲ瑞典國「ストックホルム」ニ開催本邦委員參列ス
- 十月 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ組合加入六ヶ月未滿ノモノニモ給與金ヲ與フルノ途ヲ開ク
- 十一月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中「發電水力ニ關スル事務」ヲ「發電水力及航空ニ關スル事務」ニ改メ航空局ヲ本省中ニ加フ
- 同 行政整理ニ伴ヒ中央官廳ニ於テ十一課二所、地方部局ニ於テハ課ヲ減少シタルカ本省ニ於ケル分課ノ廢止併合又ハ改正シタルモノ下記ノ如シ

廢止	大臣官房監察課	併合並改正	通信局外國郵便課、外國電信課ヲ併セテ外信課トス
	電氣局水力課		
	管船局調査課		航空局第一課、第二課、第三課ヲ監理課、技術課トス
	同 登録課		
	經理局製機課		各課間ノ事務ノ分合ヲ行フト共ニ經理局調度課ヲ需品課ニ改ム

其ノ他臨時電信電話建設局第四課及同局東京大阪以外ノ五出張所ノ材料課ヲ廢止ス

- 同 逓信省分課規程中ヲ改正シ大臣官房ニ業務監察並事務審査委員ヲ置ク

大正十四年

- 四月 商船學校ヲ文部省ニ移管ス
- 五月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中「日本無線電信株式會社ニ關スル事項」ヲ加ヘ通信局ヲ廢シテ郵務、電務、工務ノ三局ヲ置キ臨時電信電話建設局官制ヲ廢止ス而シテ本官制改正後ニ於ケル本省各局分課次ノ如シ

逓信省	大臣官房	秘書課	電務局	規畫課	管船局	船舶課
		文書課		外國電信課		海員課
		保健課		庶務課		船用品検査所
		逓信官吏練習所		電信課		監理課
		逓信博物館		電話課		技術課
	郵務局	業務監察	電氣局	監理課	航空局	主計課
		業務課		業務課		需品課
		規畫課		技術課		營繕課
		外國郵便課		庶務課		監査課
		業務課		監理課		大阪出張所

- 九月 萬國電信會議ヲ佛國巴里ニ開催本邦委員參列ス
- 同 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ救済金請求期間ヲ延長ス
- 同 航路標識管理所ヲ廢シ燈臺局ヲ置ク

大正十五年 昭和元年

- 一月 逓信部内従業員會規程ヲ制定ス
- 四月 労働爭議調停法公布(大正十五年七月一日ヨリ施行)
- 五月 瑞西國「ジュネーヴ」市ニ於テ第八回國際労働總會開催セラレ本邦委員參列ス
- 六月 逓信官吏練習所特別科規程ヲ制定ス
- 同 瑞西國「ジュネーヴ」市ニ於テ第九回國際労働總會開催セラレ本邦委員參列ス
- 同 労働爭議調停法施行令ヲ公布ス(大正十五年七月一日ヨリ施行)
- 八月 簡易保險局官制中ヲ改正シ所管事務中「郵便年金ニ關スル事務」ヲ加フ
- 同 逓信局官制中ヲ改正シ所管事務中「郵便年金ノ管理ニ關スル事務」ヲ加フ
- 同 逓信省官制中ヲ改正シ「郵便年金ノ現業事務」ヲ加フ
- 十二月 逓信部内共済組合規則中ヲ改正シ救済金中ニ特種給與金ヲ加ヘ廢疾年金ノ給與額等ヲ増額シ甲種特別組合員ノ制ヲ設ク

昭和二年

- 二月 傭人扶助金支給手続中ヲ改正シ傭人ノ重大ナル過失ニ因ル傷害ニ對シテモ扶助金ヲ支給スルコトトス
- 四月 勅令第九六號ヲ以テ私法上ノ金錢債務ノ支拂延期及手形等ノ權利保存行爲ノ期間延長ニ關スル件ヲ公布シ同日ヨリ施行ス
- 七月 逓信省官制中ヲ改正シ管船局ニ設置ノ船用品検査所ヲ船舶試驗所ニ改メ船舶ノ試験並船用品ノ検査及試験ニ關スル事項ヲ掌ラシム
- 八月 雇員及各種傭人ノ職名中ヲ改正ス
- 九月 第七回萬國度量衡總會ヲ巴里ニ開催本邦委員參列ス
- 同 萬國飛行郵便會議ヲ蘭國海牙ニ開催本邦委員參列ス
- 十一月 萬國無線電信會議ヲ「ワシントン」ニ開催本邦委員參列ス

昭和三年

- 一月 大禮使ノ設置ニ伴ヒ内國旅費ノ特例ニ關スル件並工事等ノ隨意契約ニ依ルコトヲ得ル件ヲ公布セラレ
- 六月 雇員扶助令ニ關スル勅令公布セラレ
- 同 傭人扶助令中改正ノ件公布セラレ
- 七月 雇員扶助金支給手続ヲ制定シ六月九日ヨリ之ヲ適用ス
- 八月 萬國電信會議ヲ「ブラッセル」ニ開催本邦委員參列ス
- 同 萬國船舶信號書改訂會議ヲ「倫敦」ニ開催本邦委員參列ス
- 十一月 雇員、傭人又ハ之ニ準スヘキ者ノ懲戒免除ニ關スル件公布セラレ
- 同 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中「水陸運輸ニ關スル事業」ヲ「水運ニ關スル事業」ニ改ム

昭和四年

- 一月 臨時電氣事業調査會官制ヲ公布ス
- 三月 英國倫敦ニ於テ開催ノ國際海上人命安全條約改訂會議ニ本邦委員參列ス

- 三月 瑞西國「ジュネーブ」ニ於テ開催ノ第十二回國際労働總會ニ本邦委員參列ス
- 同 英國倫敦ニ於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議ニ本邦委員參列ス
- 四月 資源調査法公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
- 五月 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ六月一日ヨリ施行ス
- 六月 天皇陛下 潮岬燈臺、櫻野崎燈臺及潮岬無線電信局ニ行幸アラセラル
- 七月 傭人扶助令中ヲ改正シ葬祭料ヲ増額ス
- 同 逓信省被服類規程ヲ制定シ従前ノ規程、指令及通牒等ヲ廢止ス
- 同 逓信省分課規程中ヲ改正シ大臣官房ニ監察課ヲ置ク
- 八月 逓信省分課規程中ヲ改正シ東京、大阪兩逓信局ニ用品課ヲ置ク
- 同 瑞西國「ジュネーブ」ニ於テ開催ノ第十三回國際労働總會ニ本邦委員參列ス
- 九月 「ポーランド」國「ワルソー」ニ於テ開催ノ第二回國際航空私法會議ニ本邦委員參列ス
- 十一月 資源調査法施行期日ニ關スル勅令公布セラレ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年

- 二月 逓信官吏練習所規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ各科ノ授業科目ニ變更ヲ加ヘ入學試験ニ應シ得ル範圍ヲ限定セル等ナリ
- 四月 英國倫敦ニ於テ開催ノ國際船舶滿載吃水線會議ニ本邦委員參列ス
- 五月 逓信部内職員共済組合事務取扱規程中ヲ改正シ六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 逓信省内國旅費規程中ヲ改正ス
- 七月 臨時電氣事業調査會官制ヲ廢止ス
- 同 逓信部内ニ在職スル者ノ爲シタル發明又ハ考案ニ關スル特許權又ハ實用新案權ノ歸屬ニ關スル件ヲ制定公布ス
- 同 瑞西國「ジュネーブ」ニ於テ開催ノ國際聯盟總會第十一回會議ニ本邦委員參列ス
- 同 旅費減額支給ニ關スル件ヲ制定シ本月十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 日支通信問題交渉ニ關シ本邦委員參列ス
- 九月 「ポルトガル」國「リスボン」ニ於テ開催ノ國際航路標識會議ニ本邦委員參列ス
- 十月 臨時海運調査會ヲ設置ス

昭和六年

- 三月 逓信省分課規程中ヲ改正ス官印ノ管守事項ニ關スル改正ナリ
- 同 郵便切手類及收入印紙賣捌規則、印紙切手類出納規程中ヲ改正ス其ノ要旨ハ賣捌割引歩合引下ニ依ル
- 四月 逓信省分課規程中ヲ改正ス管船局分課掌理事項ニ關スル改正ナリ
- 五月 官吏減俸ニ關スル勅令公布セララル六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 六月 物品會計規則中改正ノ件公布セラル
- 同 二以上ノ俸給ヲ受クル官吏及待遇官吏ノ減俸ニ關スル勅令公布セラル
- 九月 瑞西國「ジュネーブ」ニ於テ開催ノ交通及通過ニ關スル第四回總會ニ本邦委員參列ス
- 十月 入營者職業保障法施行規則ヲ制定公布シ十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年

- 一月 供給労働者扶助令公布セラル
- 同 逓信官吏練習所規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ修業費用ヲ減額セシ等ナリ
- 二月 瑞西國「ジュネーブ」ニ於テ開催ノ第十六回國際労働總會ニ本邦委員參列ス

- 二月 臨時海難防止調査會ヲ設置ス
- 四月 郵便電信及電話官署渡切經費施行規程中ヲ改正ス
- 同 臨時海運調査會ヲ廢止ス
- 五月 海事審議會ヲ設置ス
- 六月 恩給ノ減額補給及停止ニ關スル法律公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
- 同 「マドリッド」ニ於ケル萬國電信會議及國際無線電信會議ニ本邦委員參列ス
- 七月 國際聯盟交通專門委員會ニ本邦委員參列ス
- 同 恩給ノ減額補給及停止ノ法律施行期日ニ關スル勅令公布セラレ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 九月 文官分限令中改正ノ件及文官分限委員會官制ニ關スル勅令公布セラレ本月二十四日ヨリ之ヲ施行ス
- 十月 郵便切手類及收入印紙賣捌規則中ヲ改正ス
- 同 臨時海難防止調査會ヲ廢止ス
- 十一月 電氣委員會官制ヲ公布シ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十二月 逓信省分課規程中ヲ改正シ電氣局ニ検査課ヲ設置ス
- 同 逓信省内國旅費規程及昭和五年公達第六二六號旅費減額支給ニ關スル件中ヲ改正シ即日之ヲ施行ス

昭和八年

- 一月 國際航空委員會ニ本邦委員參列ス
- 三月 伊國「ローマ」ニ於テ開催ノ第三回國際航空私法會議ニ本邦委員參列ス
- 四月 法律第四一號ヲ以テ通信事業特別會計法ヲ公布ス本法ハ昭和九年度ヨリ之ヲ施行セラル
- 同 恩給法中改正法律ヲ公布シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 「オクワ」ニ於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議ニ本邦委員參列ス
- 七月 佛國巴里ニ於テ開催ノ第八回萬國度量衡總會ニ本邦委員參列ス
- 九月 恩給法施行令中ヲ改正シ十月一日(一部分ハ昭和九年四月一日)ヨリ之ヲ施行ス
- 十一月 「エジプト」國「カイロ」ニ於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議ニ本邦委員參列ス

昭和九年

- 二月 雇員、傭人又ハ之ニ準スベキ者ノ懲戒免除ニ關スル件公布セラレ即日施行セラル
- 同 官吏、官吏待遇者等ノ懲戒及懲罰ノ免除、海技免除狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒免除、出納官吏等ノ辨償責任ノ免除ニ關スル勅令公布セラレ即日施行セラル
- 三月 事業用物品規程中ヲ改正シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 通信事業特別會計歳入歳出科目解疏ヲ定メ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 通信事業特別會計規則、逓信省所管經費取扱規程、逓信省一般會計事務規程、通信事業特別會計事務規程、簡易生命保險及郵便年金特別會計事務規程、逓信省一般會計物品事務規程、通信事業特別會計物品事務規程、簡易生命及郵便年金特別會計物品事務規程、物品會計官吏及物品保管主任配置任命規程、切手類及印紙出納規程、逓信省國有財産事務規程及一般會計歳入歳出科目解疏等ヲ公布シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス同時ニ舊令ハ之ヲ廢止ス
- 同 郵便電信電話官署現金受拂規則、郵便切手類及收入印紙賣捌規則、出納官吏及出納員配置任命規程、郵便電信電話現金出納計算規程、北米航路船舶内郵便局現金受拂規程、公衆電話料金取扱規程、逓信省契約事務規程、逓信省入札者規程及契約書案、國有財産法施行令、同施行規則、逓信局通信官署雇員規程、郵便電信及電話官署現業傭人規程、逓信局通信官署技工傭人規程、同普通傭人規程、雇員及傭人給料支給規程、簡易生命保險取

扱規程及郵便年金取扱規程中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス以上孰レモ通信事業特別會計法施行ニ伴フ改正ナリ

- 四月 毎年四月一日ヲ以テ通信記念日トナスヘキ官部内一般ニ達示セラル
- 五月 通信事業改良調査會ヲ設置ス
- 同 通信省分課規程中ヲ改正シ即日之ヲ施行ス經理局主計課、需品課及監査課ノ掌理事務ニ關スル改正ナリ
- 六月 通信省分課規程中ヲ改正シ電務局ニ無線課ヲ、工務局ニ線路課、機械課及無線課ヲ置ク

昭和十年

- 五月 現業員ノ共済組合ニ對スル政府給與金ノ増額ニ關スル件ヲ改正シ四月一日以後ノ給與ヨリ之ヲ適用ス
- 同 通信部内書記補試驗規則中改正ス
- 六月 通信部内職員共済組合規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ勤績給與金中加算給與ノ追加改正ナリ
- 九月 通信省内國旅費規程中ヲ改正シ即日施行ス
- 同 通信省被服類規程中ヲ改正シ十月一日ヨリ施行ス
- 同 瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ國際勞働總會海事準備會議ニ本邦委員參列ス
- 十一月 郵便電信及電話官署經費渡切規則施行細則中ヲ改正シ十二月一日ヨリ施行ス
- 同 通信局長職務章程中ヲ改正シ電氣料金認可事務ノ一部ヲ當該局長ニ委任スルコトトセリ
- 十二月 「クリスマス」及新年祝賀國際電話通話規則ヲ制定シ十二月二十一日ヨリ施行ス

第一章 法 規

Section 1. Laws and Regulations

本年度中ニ於テ當省主管事項ニ關シ公布セラレタル法規類ハ勅令11件、條約4件、省令58件、告示3,079件、公達1,123件、ニシテ之ヲ前年度ニ比スレバ省令7件、公達153件、ヲ増加シ法律1件、勅令8件、條約2件、告示310件、訓示2件ヲ減少セリ而シテ其ノ公布ニ係ル法規類中主ナルモノノ内容ニ關シテハ之ヲ關係各篇ニ於テ架設セリ

第二章 官 制

Section 2. Government Organisations etc.

本年度中ニ於ケル官制及俸給令等ノ改正ニシテ當省職員ニ關係アルモノ次ノ如シ

昭和十年七月十二日勅令第一九二號ヲ以テ通信省官制中ヲ改正シ第二條中「書記官17人」ヲ「書記官18人」ニ、第七條中「通信省事務官專任16人」ヲ「通信省事務官專任17人」ニ、第七條ノ二中「航空官專任11人」ヲ「航空官專任12人」ニ、第八條中「技師67人」ヲ「技師69人」、第九條中「屬專任318人」ヲ「屬專任345人」ニ、第十條中「技手129人」ヲ「技手144人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第一九三號ヲ以テ通信部内臨時職員設置制中ヲ改正シ、第一條第一號(電信及電話建設ノ事務ニ従事スル者)中「事務官專任6人」ヲ「事務官專任7人」ニ、「技師專任33人内3人ヲ勅任ト爲ス事ヲ得」ヲ「技師專任37人内3人ヲ勅任ト爲ス事ヲ得」ニ、「屬專任81人」ヲ「屬專任95人」ニ、「技手專任193人」ヲ「技手專任219人」ニ、同條第三號(郵便局々舎共ノ他新營事務ニ従事スル者)中「屬專任1人」ヲ「屬專任2人」ニ、「技手專任1人」ヲ「技手專任4人」ニ孰レモ増員シ同條第四號(民設無線電話連絡通話施設事務ニ従事スル者)ヲ次ノ如ク改ム

- 4. 航空無線電信施設ノ事務ニ従事スル者
 - 屬 專任 1人
 - 技手 專任 1人

第二條第一號(無線竝ニ電氣滲透ノ研究事務ニ従事スル者)中「無線竝」ヲ削リ、「技師專任2人」ヲ「技師專任1人」ニ「技手專任4人」ヲ「技手專任2人」ニ減員ス、同條第三號(電信及電話建設ノ事務ニ従事スル者)中「技師專任4人」ヲ「技師專任5人」ニ、「書記專任3人」ヲ「書記專任4人」ニ、「技手專任69人」ヲ「技手專任83人」ニ、第三條第一號(電信及電話建設事務ニ従事スル者)中「書記官專任4人」ヲ「書記官專任5人」ニ、「事務官專任6人」ヲ「事務官專任8人」ニ、「技師專任18人」ヲ「技師專任20人」ニ、「書記專任91人」ヲ「書記專任108人」ニ、「技手專任253人」ヲ「技手專任287人」ニ、「書記補專任13人」ヲ「書記補專任16人」ニ、孰レモ増員シ同條第三號(船舶等臨時檢査ノ事務ニ従事スル者)中「技手專任4人」ヲ「技手專任2人」ニ減員ス、同條第四號(電信電話其他ノ風水害復舊事務ニ従事スル者)中「技手專任15人」ヲ「技手專任16人」ニ「書記補專任5人」ヲ「書記補專任4人」ニ改正シ、同條ニ次ノ一號ヲ加フ

- 5. 航空無線電信施設ノ事務ニ従事スル者技手專任1人以上孰レモ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第一九四號ヲ以テ電氣試驗所官制中ヲ改正シ第二條中「書記官專任2人」ヲ「書記官專任3人」ニ「書記專任723人」ヲ「書記專任794人」ニ「書記補專任1,216人」ヲ「書記補專任1,333人」ニ以上孰レモ増員シ第六條中「事務官」ヲ「書記官又ハ事務官」ニ改メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

同月同日勅令第一九六號ヲ以テ簡易保險局官制中ヲ改正シ第二條中「書記官專任6人」ヲ「書記官專任7人」ニ、「事務官專任18人」ヲ「事務官專任19人」ニ「書記專任1,435人」ヲ「書記專任1,460人」ニ、「技手專任25人」ヲ「技手專任28人」ニ、「書記補專任1,850人」ヲ「書記補專任1,936人」ニ、以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第一九七號ヲ以テ通信局官制中ヲ改正シ第四條中「書記官專任8人」ヲ「書記官專任23人」ニ増員シ「事務官專任33人」ヲ「事務官專任23人」ニ減員ス、又「技師專任131人」ヲ「技師專任133人」ニ「書記專任2,100人」ヲ「書記專任2,214人」ニ「技手專任1,754人」ヲ「技手專任1,843人」ニ「書記補專任1,340人」ヲ「書記補專任1,440人」ニ、孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第一九八號ヲ以テ通信官署官制中ヲ改正シ第九條中「通信事務官專任123人」ヲ「通信事務官專任130人」ニ「通信書記專任7,117人」ヲ「通信書記專任7,537人」ニ、「通信技手專任647人」ヲ「通信技手專任666人」ニ「通信書記補專任12,019人」ヲ「通信書記補專任12,657人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

第三章 遞信公報及文書

Section 3. Official gazette and Documents.

遞信公報發行數

Number of Official gazette issued.

年次 Year	種別 Description	發行回数 Times	發行部數 No.	印刷頁數 Pages	印刷費 (円) Expence (En)	平均一部 = 付 One Copy Average	
						頁數 Page	印刷費 (円) Expence (En)
昭和十年度 1935-36		322	6,090,776	38,125,916	39,450	6.3	0.64
九年度 1934-35		321	5,893,625	35,240,068	43,169	6.0	0.73
八年度 1933-34		297	5,935,390	45,660,556	75,340	7.7	1.27
七年度 1932-33		298	5,741,533	37,464,232	61,816	6.5	1.07
六年度 1931-32		324	5,597,481	35,332,164	58,298	6.3	1.04
五年度 1930-31		297	5,548,183	38,195,950	76,392	6.8	1.38
四年度 1929-30		297	5,550,224	39,044,302	78,089	7.3	1.43
三年度 1928-29		296	5,160,817	28,441,442	56,883	5.5	1.10
二年度 1927-28		299	5,049,554	31,334,610	62,669	6.2	1.24
元年度 1926-27		298	4,946,744	28,623,852	57,248	6.2	1.16

文書取扱件數

Number of documents transacted.

昭和十年
1935

部 Section	種別 Description	收受文書通數 Number of documents received	回議文書通數 Number of drafts of official letters	淨書文書通數 Number of official letters Copied fair
大臣官房 Ministers Secretariate	秘書課 Section of Personnel	34,367	438	497
	文書課 Section of Archives	34,532	1,309	1,285
	保健課 Section of Health and Welfare	19,045	3,337	5,621
	監察課 Section of Inspections	4,022	468	321
	官吏練習所 Training School of Communications Officials	14	41	111
	博物館 Museum of Communication	429	444	1,344

文書取扱件數 (續)

Number of documents transacted. (Continued)

昭和十年
1935

部 Section	種別 Description	收受文書通數 Number of documents received	回議文書通數 Number of drafts of official letters	淨書文書通數 Number of official letters Copied fair
郵務局 Direction General of Posts		44,015	12,428	26,966
電信局 Direction General of Telegraphs and Telephones		90,234	39,237	77,124
工務局 Direction General of Telegraph and Telephone Engineering		38,132	6,468	9,951
電氣局 Direction General of Electric Exploitation		92,860	17,079	31,717
船舶局 Direction General of Mercantile Marines		73,652	16,051	61,628
航空局 Civil Aviation Bureau		21,206	3,331	13,918
經理局 Direction General of General Accounts and Supplies		68,412	17,944	38,637
貯金局 Direction General of Postal Money Orders and savings bank		2,512	1,075	9,016
簡保局 Bureau of Post Office Life Insurance		6,462	15,589	52,455
電氣試驗所 Electro Technical Laboratory		1,446	567	532
合 計 Grand Total		531,340	135,806	331,123
昭和九年 1934	年	492,306	115,888	194,570
八 1933	年	449,899	111,750	202,708
七 1932	年	675,922	101,295	221,092
六 1931	年	443,475	104,405	258,080
五 1930	年	443,006	114,258	288,050
四 1929	年	427,148	132,851	320,969
三 1928	年	397,251	119,436	273,982
二 1927	年	383,662	128,813	235,222
元 1926	年	387,720	128,033	200,780

備考 本表ハ毎週木曜日毎ニ調査シタル計數ヲ基礎トシ當該年中ノ取扱數ヲ計算セルモノニシテ推算ナリ
Note. This table makes a presumptive estimate of the number of transaction during the year concerned on the basis of calculation made every thursday

第四章 職
Section 4.
遞 信 省
Officiale,

部 局 Section	種 別 Description	親 任 Sinnin Rank	勅 任 Tyokunin Rank	奏 任 Sonin Rank	判 任 Hannin Rank		
					男 Male	女 Female	計 Total
本 省 Main Office	大臣官房 Ministers Secretariate	1	4	13	90	-	90
	郵務局 Direction General of Posts	-	1	5	51	-	51
	電務局 Direction General of Telegraphs and Telephones	-	1	9	86	1	87
	工務局 Direction General of Telegraph and Telephone Engineering	-	3	46	151	-	151
	電氣局 Direction General of Electric Exploitation	-	2	35	81	-	181
	管船局 Direction General of Mercantile Marines	-	3	27	48	-	48
	航空局 Civil Aviation Bureau	-	1	15	29	-	29
	經理局 Direction General of General Accounts and Supplies	-	2	21	199	1	200
	計	1	17	171	735	2	737
	貯金局 Direction General of Postal Money Orders and Savings Bank	-	1	25	1,617	255	1,872
	簡易保險局 Bureau of Post Office Life Insurance	-	2	29	2,556	213	2,769
	電氣試驗所 Electro Technical Laboratory	-	1	35	187	-	187
	燈臺局 Lighthouse Bureau	-	1	6	486	-	486
	海員審判所 Marine Court Inquiry	-	-	19	9	-	9
	通信局 Direction of Communication	-	7	213	4,272	48	4,320
郵便電信電話局 Post, Telegraph and Telephone Office	-	-	163	27,622	1,594	29,216	
從軍 Attend to the Army	-	-	3	2	-	2	
合 計 Grand Total	1	29	664	37,486	2,112	39,598	
昭和九年 度 末 March 31, 1935	1	30	626	35,796	2,053	37,849	
八 年 度 末 March 31, 1934	1	30	613	34,965	2,096	37,061	
七 年 度 末 March 31, 1933	1	30	593	34,410	2,086	36,496	
六 年 度 末 March 31, 1932	1	29	552	32,369	1,920	34,289	
五 年 度 末 March 31, 1931	1	30	574	33,628	2,108	35,736	
四 年 度 末 March 31, 1930	1	30	572	32,900	2,138	35,038	
三 年 度 末 March 31, 1929	1	28	565	31,345	2,059	33,404	
二 年 度 末 March 31, 1928	1	28	532	30,228	1,962	32,190	
元 年 度 末 March 31, 1927	1	28	519	29,584	2,030	31,614	

備考 本表ニハ嘱託員及臨時雇入ヲ包含セス
Note. This list excludes non official Staffs and those employed Temporarily.

員
Personnel.
所 屬 職 員
Employees etc.

昭和十年 度 末
March 31, 1936

通 信 手 (列任待遇) Post office clerk (Ranking as a Hannin official)			所 長 Chief of Postal agency	雇 員 (high class) Employee (high class)			備 員 (low class) Employee (low class)			合 計 Grand Total
男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	
-	-	-	-	101	28	129	9	-	9	246
-	-	-	-	22	14	36	-	-	-	93
-	-	-	-	92	72	164	-	-	-	261
-	-	-	-	119	26	145	283	-	283	628
-	-	-	-	59	7	66	1	-	1	162
-	-	-	-	47	4	51	24	2	26	155
-	-	-	-	34	9	43	20	-	20	108
-	-	-	-	423	49	472	542	60	602	1,297
-	-	-	-	897	209	1,106	879	62	941	2,973
-	-	-	-	1,937	2,204	4,141	690	362	1,052	7,091
-	-	-	-	2,673	2,111	4,784	417	129	546	8,130
-	-	-	-	750	55	805	158	48	206	1,234
-	-	-	-	33	6	39	174	4	178	710
-	-	-	-	3	-	3	1	-	1	32
-	-	-	-	5,821	904	6,725	14,700	349	15,049	26,314
6,287	660	6,947	784	35,715	51,998	87,713	67,088	1,083	68,171	192,994
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
6,287	660	6,947	784	47,829	57,487	105,316	84,107	2,037	86,144	239,483
5,789	578	6,367	721	46,403	53,929	100,332	80,209	1,990	82,199	228,124
5,566	532	6,098	633	45,311	51,498	96,809	77,680	1,940	79,620	220,865
50,29	445	5,474	571	44,478	50,438	94,916	76,307	1,848	78,155	216,236
2,412	87	2,499	618	45,309	47,359	92,668	73,523	1,591	75,114	205,770
2,412	95	2,507	515	45,925	46,782	92,707	75,533	1,755	77,288	209,358
2,208	77	2,285	449	45,191	48,079	93,270	75,061	1,721	76,782	208,427
2,101	70	2,171	376	43,554	45,428	88,982	72,738	1,561	74,299	199,826
1,879	48	1,927	243	41,952	43,285	85,237	70,177	1,442	71,619	191,777
1,774	30	1,804	132	44,917	34,937	79,854	67,809	1,392	69,201	183,153

休職者 本省所屬官吏ニシテ本年度末現在ニ於ケル休職者ハ奏任官3人判任官91人(内三等局長63人)ナリ
外國留學者及出張者

外國留學者

官職名	人員	在留國	研究科目	在留期間
遞信書記官	2	佛國、獨國	遞信事業	一年
遞信技師	2	獨國	同	同
遞信局書記官	1	英 國	同	同
遞信局技師	1	同	同	同
遞信省事務官	1	米 國	同	同

外國出張者

官職名	人員	出張國名	調査事項
遞信技帳	2	佛國、英國	國際船型試驗水漕代表會議へ列席 國際電話諮問委員會報告者委員會へ列席
航空官	1	佛 國	國際航空委員會ニ於ケル帝國代表者顧問
簡易保險局事務官	1	佛國、丁抹	簡易生命保險ノ制度内容並約款等調査

第五章 遞信官吏練習所

Section 5. Training School of Communication Officials

本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ
無線技術員ノ養成 無線電信及無線電話ノ利用範圍ハ年ト共ニ擴大シ之カ監督保守ニ從事スル技術員ノ不足ヲ告クルニ至リタルヲ以テ昭和十年五月無線技術員三十二名ノ養成ヲ開始シ十月之ヲ了ス
無線電信通信從事員ノ養成 昭和十年度施設トシテ實施セラルベキ豫定ノ對外國及對外地無線通信路擴張並航空無線増設等ノ爲必要トスル通信從事員ノ増員ニ充當スル目的ヲ以テ十年六月無線通信從事員三十九名ノ養成ヲ開始シ翌年一月之ヲ了ス
搬送技術員ノ養成 最近電信電話技術ノ進歩發達ニ伴ヒ搬送式電信電話ノ施設全國ニ普及スルニ至リタルヲ以テ昭和十年十月搬送技術員五十九名ノ養成ヲ開始シ十一年三月之ヲ了ス
滿洲國留學生入學 日滿兩國ノ特殊ノ緊密性ニ鑑ミ滿洲國郵政事業ニ從事スル滿洲國人ヲ毎年七名宛留學生トシテ第一行政科ニ入學セシムルコトトシ昭和十一年一月ヨリ之ヲ實施ス

遞信官吏練習所學生異動及現員

Number of Students of the Training School of Communication Officials

昭和十年度
1935-36

種別 Description	學科 Course	第一部行政科 Administration	第二部行政科 Telegraph	技術科 Technique	無線通信科 Radio Communication	合計 Total
前年度ヨリ繰越在學 Being at school since the Preceding fiscal year		74	64	50	40	228
入學 Admittance	學	43	39	38	27	147
入學取消 Withdrawal of Admittance	學	-	1	-	-	1
退學 Leaving	學	1	1	2	1	5
死 Death	亡	1	-	1	-	2
卒 Graduation	業	37	32	25	20	114
年度末現員 At the end of the fiscal year 1935-36		78	69	60	46	253
昭和九年年度 1934-35		74	64	50	40	228
八年度 1933-34		65	64	51	40	220
七年度 1932-33		61	63	51	40	215
六年度 1931-32		64	62	58	49	233
五年度 1930-31		67	68	70	57	262
四年度 1929-30		62	68	83	54	267
三年度 1928-29		64	67	107	63	301
二年度 1927-28		74	67	139	65	345
元年度 1926-27		81	72	155	68	376

逓信官吏練習所入學志願者及合格者
Applicants and Successors for Admittance to the
Training School of Communication Officials

昭和十年度
1935-36

學科 Course	種別 Description	部 Those in the Service	内 Those not in the Service	依託 Entrusted	合 Total
第一部行政科 Administration	入學志願者 Applicants	731	-	-	731
	合格者 Successors	43	-	-	43
第二部行政科 Telegraph	入學志願者 Applicants	236	-	-	236
	合格者 Successors	39	-	-	39
技術科 Technique	入學志願者 Applicants	1,145	-	-	1,145
	合格者 Successors	38	-	-	38
無線通信科 Radio Communication	入學志願者 Applicants	184	-	-	184
	合格者 Successors	27	-	-	27
合計 Total	入學志願者 Applicants	2,296	-	-	2,296
	合格者 Successors	147	-	-	147
昭和 九年度 1934-35	入學志願者 Applicants	2,455	-	-	2,455
	合格者 Successors	117	-	-	117
八年度 1933-34	入學志願者 Applicants	2,619	-	-	2,619
	合格者 Successors	119	-	-	119
七年度 1932-33	入學志願者 Applicants	2,376	-	-	2,376
	合格者 Successors	115	-	-	115
六年度 1931-32	入學志願者 Applicants	2,976	-	-	2,976
	合格者 Successors	106	-	-	106
五年度 1930-31	入學志願者 Applicants	816	3,049	259	4,124
	合格者 Successors	81	39	14	134
四年度 1929-30	入學志願者 Applicants	1,047	2,795	244	4,086
	合格者 Successors	76	49	19	144
三年度 1928-29	入學志願者 Applicants	571	1,681	163	2,415
	合格者 Successors	79	57	3	139
二年度 1927-28	入學志願者 Applicants	526	1,714	161	2,401
	合格者 Successors	69	120	9	198
元年度 1926-27	入學志願者 Applicants	395	1,421	90	1,906
	合格者 Successors	57	139	6	202

Expenses	甲種特別組員保健施設費 Health service for special A class member	貸付資金 fund for loans	補填 Loss made up	評價損 Loss in valuation	組合外拂出金 Abnormal Payment	合計 Total	前年度貸付金繰越 Loans carried from preceding fiscal year	本年度中ノ貸付 Loans during present fiscal Year	本年度中ノ返済 Redemption during present fiscal year	本年度貸付金現在高 Standing loans in present fiscal year
	23,562	36,500	-	38,699	924	7,408,101	7,273	7,074	85,784	7,389
	-	111,993	-	377,329	2,862	6,236,184	6,137	7,896	(6,760)	7,237
	-	22,991	199,400	-	2,499	5,913,997	5,839	6,619	(6,321)	6,137
	-	35,300	-	-	932	5,978,901	4,959	6,307	(5,427)	5,849
	-	36,100	-	-	2,912	4,016,104	3,780	5,172	(3,993)	4,959
	-	33,380	-	-	12,842	3,892,411	2,650	3,995	(2,865)	3,780
	-	20,017	-	-	4,010	4,208,286	2,033	2,845	(2,228)	2,650
	-	155,86	-	-	2,757	3,980,719	1,508	2,220	(1,675)	2,033
	-	11,350	-	-	3,559	3,201,128	1,054	1,658	(1,204)	1,508
	-	32,850	-	-	1,187	2,920,230	358	1,161	(7,092)	1,054
	合計 Total	7,408,101	6,236,184	5,913,997	5,978,901	4,016,104	3,892,411	4,208,286	3,980,719	3,201,128
積立金貸付 Loans	前年度貸付金繰越 Loans carried from preceding fiscal year	7,273	6,137	5,839	4,959	3,780	2,650	2,033	1,508	1,054
	本年度中ノ貸付 Loans during present fiscal Year	7,074	7,896	6,619	6,307	5,172	3,995	2,845	2,220	1,658
	本年度中ノ返済 Redemption during present fiscal year	85,784	75,029	69,164	62,614	49,436	36,941	26,050	19,660	13,999
	本年度貸付金現在高 Standing loans in present fiscal year	233,632	273,251	184,228	168,771	149,569	111,730	77,359	57,994	42,528

備考 本表中括弧内ノ数字ハ完済人員ヲ示ス
Note Bracketed figures indicate those who have completely redeemed their debts.

第六章 共濟組 合
Section 6 Friendly Society

共濟組 合 事業 成績
Table of Business and Accounts

種別 Description	年次 Year	昭和十年度	九年度	八年度	七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	元年度
		1935-36	1934-35	1933-34	1932-33	1931-32	1930-31	1929-30	1928-29	1927-28	1926-27
年度末現在組員 Member at end of fiscal year	192,131	183,189	177,520	173,761	164,483	168,159	158,569	152,788	144,443		
救濟金給與件數 Cases of benefit	71,788	65,340	61,190	62,521	50,416	53,715	60,906	62,532	56,404	55,111	
組員掛金 Members contributions	4,331,598	4,127,003	4,021,059	3,933,122	3,852,588	3,917,164	3,655,686	3,525,834	3,208,077	2,912,030	
政府補助金 Government subsidy	3,364,357	3,250,344	3,165,124	3,096,921	3,036,287	3,032,063	2,896,321	2,773,620	2,495,259	2,274,645	
利息 Interest	2,706,437	2,526,671	2,748,778	2,591,183	2,216,413	2,070,559	1,929,537	1,694,164	1,431,394	1,144,224	
賃借返濟元金 Principal redeemed	74,892	40,833	40,832	40,802	41,058	43,863	43,902	43,446	87,702	107,997	
償還利益 Profit on redemption	111,823	29,519	34,954	33,687	30,170	22,119	21,972	15,426	19,165	28,602	
雜項收入 Miscellaneous receipts	116,509	-	-	-	-	-	-	-	116	3,121	
診療所收入 Receipts of dispensaries	2,068	461,755	477,629	90,959	123,668	27,016	77,022	177,310	183,928	54,047	
回金 Loans redeemed	210,835	188,379	175,820	152,227	130,675	122,158	109,135	99,796	97,236	76,511	
保險 Sum insured	59,297	73,300	3,900	2,998	-	102	2,991	-	-	-	
組合外受入金 Abnormal receipts	421	2,862	4,499	932	2,912	2,842	4,010	2,841	3,474	1,187	
合計 Total	10,979,161	10,700,656	10,672,152	9,942,831	9,433,771	9,237,877	8,740,582	8,332,446	7,526,351	6,602,364	
給與 Benefits	6,859,045	5,637,842	4,867,788	5,558,349	5,668,378	5,493,614	5,385,441	5,586,904	5,869,888	4,633,193	
雜項支出 Miscellaneous expense	11,582	10,774	13,295	11,681	37,299	12,956	10,652	137,555	119,041	37,487	
損失 Loss	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
繰越利息 Lapsed interest	43,559	41,848	47,968	22,813	41,361	45,869	76,452	-	-	-	
診療所支出 Expenses of dispensaries	410,939	392,166	382,727	349,826	330,054	303,750	241,714	237,917	197,289	215,508	
減價 Depreciation	12,990	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
甲種特別組員保險施設費 Health services for special class member	23,562	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
貸付 Lend for loans	36,500	111,993	22,991	35,300	36,100	33,380	20,017	155,86	11,350	32,850	
補填 Loss made up	-	-	199,400	-	-	-	-	-	-	-	
評價 Loss in valuation	-	-	38,699	377,329	-	-	-	-	-	-	
組合外拂出金 Abnormal Payment	924	2,862	2,499	932	2,912	12,842	4,010	2,757	3,559	1,187	
合計 Total	7,408,101	6,236,184	5,913,997	5,978,901	4,016,104	3,892,411	4,208,286	3,980,719	3,201,128	2,920,230	
前年度貸付金繰越 Loans carried from preceding fiscal year	7,273	6,137	5,839	4,959	3,780	2,650	2,033	1,508	1,054	358	
本年度中/貸付 Loans during present fiscal year	27,325	184,228	168,771	146,569	111,730	77,359	57,994	42,528	27,107	6,052	
本年度中/返済 Loans during present fiscal year	7,074	7,896	6,619	6,307	5,172	3,995	2,845	2,220	1,658	1,161	
本年度中/返済 Redemption during present fiscal year	394,494	465,086	384,539	320,461	258,250	199,174	139,509	139,902	75,586	49,157	
本年度中/返済 Redemption during present fiscal year	(6,948)	(6,760)	(6,321)	(5,427)	(3,993)	(2,865)	(2,228)	(1,675)	(1,204)	(465)	
本年度中/返済 Redemption during present fiscal year	85,784	75,029	69,104	62,614	49,436	36,941	26,050	19,660	13,999	7,092	
本年度中/返済 Redemption during present fiscal year	434,113	376,063	333,082	298,359	223,411	164,803	120,144	88,436	60,163	28,102	
本年度中/返済 Standing loans in present fiscal year	7,389	7,237	6,137	5,849	4,959	3,780	2,650	2,033	1,508	1,054	
本年度中/返済 Standing loans in present fiscal year	233,632	273,251	184,228	168,771	149,569	111,730	77,359	57,994	42,528	27,107	

備考 本表中括弧内ノ數字ハ完済人員ヲ示ス
Bracketed figures indicate those who have completely redeemed their debts.

志願者及合格者
Candidates for Admittance to the
Communication Officials

昭和十年度
1935-36

外 These not in the Service	依託 Entrusted	合計 Total
-	-	731
-	-	43
-	-	236
-	-	39
-	-	1,145
-	-	38
-	-	184
-	-	27
-	-	2,296
-	-	147
-	-	2,455
-	-	117
-	-	2,619
-	-	119
-	-	2,376
-	-	115
-	-	2,976
-	-	106
3,049	259	4,124
39	14	134
2,795	244	4,086
49	19	144
1,681	163	2,415
57	3	139
1,714	161	2,401
120	9	198
1,421	90	1,906
139	6	202

第七章 通信博物館

Section 7. Communication Museum

本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

陳列所ノ縦覽 本年度ニ於ケル開館日數 295日ニシテ縦覽者總數 28,962人内團體ノ主ナルモノハ東京、大阪、仙臺各逓信局講習生、埼玉師範、大阪市岡商業、市立第一高女、日本女子商業、陸軍幼年學校、大妻高女、其他市内各小學校生徒ノ見學等ナリ

参考品ノ増加 郵便貯金元利表示器外93點ナリ
外ニ

- 特殊通信日附印 14個
- 圖案文字入日附印甲 148個
- 郵便切手類
- 圖書類
- 寄託品

参考品ノ貸出及出品 各種ノ博覽會、展覽會等ニ出品シタルモノ 30件、特別展覽會一回共ノ延日數ハ 375日ニシテ出陳物總數 1,200餘點其ノ主ナルモノハ本省主催逓信文化展覽會、新興熊本博覽會、寶塚逓信文化展覽會、伊賀文化博覽會及臺灣博覽會等ニシテ關係各局所ト折衝各々其所管参考品等ヲ取纏メ事業周知上不尠效果ヲ收メタリ

主ナル展覽會及博覽會

會 名	出品點數	會 期	開 催 地
新興熊本大博覽會	20	10. 3. 25 5. 13	熊 本 市
第三回國產振興精密機器具展	15	3. 28 4. 22	東 京 美 術 館
港 灣 資 料 展	36	4. 1 4. 7	白 木 屋
工 業 博 覽 會	1	4. 1 4. 30	大 阪 城 前
逓 信 文 化 展 覽 會	18	4. 19 4. 23	京 都 丸 物
逓 信 文 化 展 覽 會	500	4. 20 4. 27	大 阪 三 越
大 吠 埼 燈 臺 展 覽 會	53	6. 23 6. 25	銚 子 犬 吠 埼 燈 臺
通 信 事 業 展 覽 會	65	7. 11 8. 10	京 都 市 佛 教 兒 童 博 物 館
水 祭 展 覽 會	12	7. 15 8. 13	白 木 屋
統 計 及 國 勢 展 覽 會	42	7. 19 7. 21	富 山 市
寶 塚 逓 信 文 化 博 覽 會	505	7. 20 8. 20	寶 塚 新 溫 泉
小 樽 市 統 計 展	42	8. 1 8. 16	小 樽 市
石 川 縣 統 計 展	42	8. 23 8. 24	石 川 縣 輪 島 町
京 都 統 計 展	47	9. 3 9. 8	京 都 大 丸 店

通信文化展覧會	70	10.10 10.13	水戸郵便局
臺灣博覽會	40	10.10 11.28	臺北市
伊賀文化産業 城落成記念 全國博	42	10.12 11.10	伊賀上野白鳳公園
第三回發明展覧會	82	11.1 11.14	東京商工獎勵館
第十回輸出包裝展覧會	26	11.11 11.25	廣島縣産業獎勵館
朝鮮遞信文化展	36	10.10 10.16	釜山遞信分掌局
第六回産業福利展覧會	3	10.9 10.15	廣島産業獎勵館

意匠圖案

特殊通信日附印

番 號	種 別	枚 數
1	滿洲國皇帝陛下御來訪記念	1
2	日露戰役三十周年陸軍記念日	1
3	萬國郵便聯合爲替約定加入五十周年記念	1
4	日本海々戰三十周年記念日	1
5	大楠公殉節六百年記念	1
6	國勢調査記念	1
7	熱田神宮遷座祭記念	1
8	陸軍特別大演習記念	1
9	行幸記念(鹿兒島)	1
10	行幸記念(高崎)	1
11	行幸記念(鹿兒島、始良)	1
12	行幸記念(延岡)	1
13	行幸記念(鹿兒島、霧島)	1

小型通信日附印

遞信記念日遞信文化展覧會記念他 166 種ノ圖案ヲ作成セリ

遞信「カレンダー」編纂 遞信事業ノ周知並利用勸奨ニ資スル爲メニ事業全般ニ涉リ其ノ施設ノ狀況及案内ヲ寫眞、圖表等ヲ以テ理解シ易ク表示シ夫々意匠ヲ加ヘ編纂ノ上遞信協會ヲシテ發行セシメタリ

寫 眞 事業周知及參考資料トシテ撮影シタルモノ 1,354 枚、印畫ノ作製 10,170 枚、引伸印畫 821 枚餘ニ上レリ、又九月故床次連相俣實況ヲ十六枚映畫ニ撮影シ之カ完成ニ要シタル「フィルム」尺數約 300 米ニ及ヒタリ

事業用品ノ改良研究 押印機ノ研究改造、修理 9 臺、事業物品仕様書作製及郵便車ノ改造約 150 輛ニ及ヘリ

第八章 遞信事業ノ狀況

Section 8. Condition of Communications

福	Huk
佐	Sa
長	Nag
熊	Kum
大	O
宮	Miy
鹿	Kag
沖	Ok
伊	I
熊	Kumamoto
本	
總	Grand Tot
備考	1.
	2.
	3.
	4.
	5.

遞信事業概況表 (其ノ一)
Item of Inland business (No. 1)

通信局 Direction of Communications	管轄地方 Prefecture	面積 (平方千米) Area (Km ²)	人口 Population	郵便電信電話取扱局所 (昭和十年度) (昭和十年度) (昭和十年度) Post, Telegraph and Telephone Office (March 31, 1936)			郵便物 No. of Mails				電報通數 (昭和十年度) (昭和十年度) (昭和十年度) Telegram-debit (1935-36)			電加入者 (昭和十年度) (昭和十年度) (昭和十年度) Telephone Subscribers (March 31, 1936)		
				郵便 Post	電信 Telegraph	電話交換 Telephone Exchange	電話通話 Telephone Message	普通 Ordinary		小包 Parcels		發信 Despatch	著信 Arrival		人口百分 之數 Per cent of population	
								引受 Acceptance	配達 Delivery	引受 Acceptance	配達 Delivery					
																人口百分 之數 Per capita
電 Telegraph	交換 Exchange	通話 Message	普通 Ordinary	小包 Parcels	發信 Despatch	著信 Arrival	人口百分 之數 Per cent of population									
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	88,775.04	3,068,282	751 (□ 22)	252	595	192,862,550	228,016,708	62.9	3,247,191	4,619,113	10.58	4,711,308	4,798,794	15.3.5	32,797
青森 Aomori	青森	9,630.02	967,129	113	55	81	34,014,923	41,300,844	35.2	456,523	763,871	4.72	790,340	830,475	81.7	6,191
岩手 Iwate	岩手	15,235.31	1,046,111	146	99	120	34,627,621	44,444,866	33.1	454,430	791,065	4.35	599,747	636,700	57.3	5,436
宮城 Miyagi	宮城	7,273.75	1,234,801	144	94	127	61,711,843	79,258,533	50.0	794,538	930,220	6.43	797,887	986,787	64.6	9,815
秋田 Akita	秋田	11,663.86	1,037,744	151	102	125	37,532,673	50,245,938	36.2	469,021	808,669	4.53	631,579	649,667	60.9	6,256
山形 Yamagata	山形	9,325.76	1,116,822	137	75	116	38,296,379	50,358,041	34.3	493,665	748,916	4.76	568,200	600,063	50.9	7,021
福島 Fukushima	福島	13,781.61	1,581,563	189	101	159	59,336,964	76,404,583	37.5	649,164	1,057,161	4.10	754,391	855,065	47.7	9,820
茨城 Ibaraki	茨城	12,578.05	1,995,777	267	154	225	80,398,760	101,160,545	40.3	1,083,329	1,511,093	5.43	1,141,555	1,177,488	57.2	17,095
東京 Tokyo	東京 Total	79,489.26	8,979,947	1,448 (□ 1)	680	953	345,919,163	434,173,350	38.5	4,401,570	6,610,395	4.00	5,283,699	5,736,245	58.8	61,634
千葉 Chiba	千葉	5,062.09	1,546,394	170	132	159	59,450,167	74,557,361	38.4	485,053	950,327	3.14	571,646	780,149	37.0	11,437
神奈川 Kanagawa	神奈川	2,144.80	6,369,919	241	91	369	1,064,480,839	844,089,321	167.1	18,331,774	9,241,316	28.78	9,862,044	10,024,353	154.8	160,860
山梨 Yamanashi	山梨	2,352.81	1,840,005	112	72	134	113,607,677	128,287,743	61.7	1,593,126	1,691,252	8.17	1,478,140	1,506,927	80.3	28,151
静岡 Shizuoka	静岡	4,465.87	646,727	84	66	75	33,732,879	37,676,920	52.2	439,030	437,587	6.79	264,446	306,547	40.9	5,477
名古屋 Nagoya	名古屋 Total	7,769.91	1,939,860	245	181	228	93,173,821	112,582,832	48.0	1,066,705	1,462,309	5.50	1,236,602	1,526,382	63.4	22,744
岐阜 Gifu	岐阜	5,081.14	2,862,701	224	155	291	202,584,633	204,617,224	70.8	3,348,053	2,251,092	11.70	2,268,483	2,289,906	79.2	49,879
愛知 Aichi	愛知	5,765.28	1,174,595	190	135	171	59,931,173	72,988,122	51.0	712,163	946,813	6.06	672,567	783,645	57.3	12,551
三重 Mie	三重	4,768.17	1,174,595	138 (□ 6)	704	1,120	547,385,657	609,432,893	59.6	7,164,933	7,271,141	7.80	6,211,062	6,623,383	67.6	121,302
滋賀 Shiga	滋賀	4,050.93	711,436	127	95	117	43,660,435	51,358,705	61.3	472,516	638,137	6.64	399,745	443,689	56.2	7,581
京都 Kyoto	京都	4,621.20	1,702,058	174	109	222	176,897,752	169,532,226	103.9	3,274,599	2,402,497	19.23	1,732,260	1,779,225	101.7	43,117
大阪 Osaka	大阪 Total	1,813.63	4,297,174	361	299	336	554,677,602	439,013,172	129.0	8,998,098	4,738,293	20.94	7,400,256	7,100,514	172.2	101,407
兵衛 Hyogo	兵衛	8,322.85	2,923,249	319	211	299	226,812,668	249,389,171	77.6	2,759,267	3,242,728	9.44	3,889,653	3,992,456	133.1	54,668
奈良 Nara	奈良	3,688.60	620,471	113	85	100	48,092,218	49,799,786	77.5	672,957	638,742	10.85	380,949	443,157	61.4	7,531
和歌山 Wakayama	和歌山	4,723.48	864,087	141	90	133	53,248,173	64,441,911	61.6	606,771	815,840	7.02	564,578	684,454	65.3	11,684
徳島 Tokushima	徳島	4,143.22	728,748	111	86	105	36,344,022	44,173,061	49.9	408,072	543,515	5.60	386,835	475,270	53.1	5,375
高知 Kochi	高知	7,103.62	714,980	106	88	106	32,118,882	40,673,256	44.9	498,727	667,738	6.98	589,170	677,952	82.4	4,936
鳥取 Tottori	鳥取	3,489.48	490,461	86	68	76	29,220,597	32,600,399	59.6	234,203	415,244	4.78	334,468	367,762	68.2	4,370
島根 Shimane	島根	6,624.60	747,119	197	155	186	37,656,960	47,888,653	50.4	513,103	762,230	6.87	534,793	630,436	71.6	5,518
岡山 Okayama	岡山	7,046.48	1,332,647	234	182	211	76,927,063	93,116,899	57.7	806,786	1,174,091	6.05	1,009,332	1,111,026	75.7	14,115
広島 Hiroshima	広島	8,436.52	1,804,916	269	197	283	136,753,511	150,230,287	75.8	1,891,523	1,966,446	10.48	1,790,326	1,916,057	99.2	20,389
山口 Yamaguchi	山口	6,082.11	1,190,542	235	156	196	85,706,128	95,764,790	71.9	876,418	1,346,501	7.36	1,077,816	1,170,011	140.9	12,980
香川 Kagawa	香川	1,858.73	748,656	85	64	74	43,804,328	47,345,639	58.5	412,126	528,949	5.50	523,243	587,027	69.9	6,774
愛媛 Ehime	愛媛	5,667.26	1,164,898	165	126	154	59,254,782	74,038,044	50.9	711,324	1,010,523	6.11	921,789	1,043,802	79.1	9,000
熊本 Kumamoto	熊本	39,205.18	7,479,239	1,287 (□ 16)	948	1,180	469,323,369	540,984,711	62.8	5,445,483	7,203,984	7.28	6,791,767	7,386,121	90.8	73,146
鹿本 Kumamoto	鹿本	4,939.70	2,755,804	284	172	253	170,874,839	191,048,022	62.0	2,246,689	2,712,938	8.15	3,345,190	3,353,338	121.4	30,916
佐賀 Saga	佐賀	2,449.03	686,117	113	75	94	25,906,611	35,183,086	37.8	430,380	555,556	6.27	506,667	576,602	73.8	5,500
長門 Nagasaki	長門	4,075.98	1,296,883	197	115	173	63,618,093	81,263,012	49.0	1,018,100	1,363,084	7.85	1,597,586	1,672,406	123.2	10,828
熊本 Kumamoto	熊本	7,437.75	1,387,054	194	104	147	58,757,595	63,155,826	42.3	958,795	1,113,184	6.91	983,773	1,123,294	70.9	9,746
宮崎 Miyazaki	宮崎	6,333.87	980,458	172	120	142	48,109,810	56,877,690	49.1	650,938	951,130	6.64	851,115	928,347	86.8	8,436
鹿本 Kumamoto	鹿本	7,738.85	824,431	117	69	101	30,949,727	37,887,348	37.5	391,528	705,976	4.75	629,008	689,860	76.3	4,770
鹿本 Kumamoto	鹿本	9,103.81	1,591,466	235	119	187	56,891,578	68,022,331	35.7	945,768	1,154,001	5.94	1,361,932	1,501,013	97.9	7,504
鹿本 Kumamoto	鹿本	2,385.24	592,494	37	17	27	9,672,266	14,486,153	16.3	109,399	214,071	1.85	381,071	390,679	64.3	979
鹿本 Kumamoto	鹿本	44,465.23	10,114,707	1,372 (□ 23)	791	1,124	464,780,429	547,923,468	46.0	6,751,597	8,769,940	6.68	9,656,342	10,235,539	95.5	76,679
總計 Grand Total	總計	382,545.42	69,254,148	8,931 (□ 717)	5,206	7,075	4,735,348,007	4,901,685,581	68.4	68,291,938	64,854,932	9.86	63,755,257	66,874,566	91.2	870,476

備考 1. 電信取扱無線電報局 717 局中ハ船内設置ノモノ 685 局ヲ包含ス
2. ※印ハ船内局 □印ハ無線局 △印ハ船内局
3. ※印ハ船内局 □印ハ無線局 △印ハ船内局
4. 電信總計中ノ無線電報局及無線電報局取扱電數
5. 括弧内ノ數字ハ内訳ナリ

North 1. 685 Wireless telegraph Offices on board ships are included in the table.
2. ※ on board a ship □ Wireless telegraph Office △ In Warship.
3. ※ Collection of money.
4. 593,880 Telegrams despatched by and 339,756 Arrived at wireless telegraph and Wireless telephone
5. The figures in the parenthesis are items.



遞信事業概括表 (其ノ二)
Item of Inland business (No. 2)

郵便高 Direction of Commu- nication	管轄地方 Prefecture	郵便爲替 (昭和十年度) Postal Money orders (1935-36)				郵便貯金 (昭和十年度) Postal Savings (1935-36)		平均一人 ノ金額 Amount of Deposit per 1,000 of Population	人口百 ノ金 Amount of Deposit per 100 of Population	郵便加入者 加入金額 Subscribers of Postal Check and Transfer Amount (March 31, 1936)	簡易保額 (昭和十年度) Insurance Business (March 31, 1936)		人口千一 ノ契約件数 Contracts per 1,000 of Population	契約件数 No. of Contracts	年金額 Amount of Annuity (千円) (1,000 Yen)	年金額 Amount of Annuity per Co- ntractions (千円) (1,000 Yen)	電業事業 (昭和十年度) Electrical Undertakings (Dec 31, 1935)	汽船 Registered Vessels (Dec 31, 1935)		
		出 口 No.	金額 Amount (千円) (1,000 Yen)	口 No.	金額 Amount (千円) (1,000 Yen)	口 No.	金額 Amount (千円) (1,000 Yen)				口 No.	金額 Amount (千円) (1,000 Yen)							口 No.	金額 Amount (千円) (1,000 Yen)
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	2,697,231	57,614,235	2,245,683	523,390,612	1,701,005	95,887,476	56,371	55.44	16,924	1,140,768	159,530,486.9	371.79	11,692	1,221,435.07	104,408	56	182	34,737	
仙臺 Sendai	青森 Aomori	453,529	9,499,575	451,207	11,121,446	417,827	26,707,130	63,919	43.20	1,893	27,1420	33,765,638.2	282.71	3,484	248,306.68	71,270	6	8	476	
	岩手 Iwate	456,147	9,512,322	455,283	10,432,455	473,327	25,358,172	53,363	45.25	2,385	27,2496	30,010,619.5	260.48	3,912	280,337.84	77,661	16	6	586	
	宮城 Miyagi	487,532	9,559,879	619,240	12,607,209	520,894	27,101,876	51,146	42.91	3,514	36,2473	45,623,421.4	293.30	6,283	484,465.86	77,107	6	39	2,664	
	秋田 Akita	438,230	8,656,839	471,926	9,203,319	420,440	14,607,120	34,742	40.51	1,957	39,5295	36,206,390.5	294.19	3,686	277,125.51	75,306	9	5	262	
	山形 Yamagata	380,527	7,381,627	475,887	8,528,620	508,462	17,780,520	34,966	45.53	2,784	40,1286	38,782,669.8	359.93	7,174	422,565.59	58,902	18	1	27	
	福島 Fukushima	615,311	11,622,099	668,110	13,336,615	832,517	64,226,558	77,147	52.64	3,983	59,9309	59,987,731.6	322.16	8,366	688,753.53	82,328	28	2	74	
	茨城 Ibaraki	722,066	14,459,154	983,202	18,704,735	719,431	38,762,690	53,886	36.05	5,516	75,4858	90,023,288.8	378.23	10,733	753,126.76	70,169	23	40	7,691	
	新潟 Niigata	3,554,242	70,691,485	4,094,855	83,934,479	3,001,898	214,444,066	84,959	43.45	22,002	2,879,731	334,399,700.2	320.60	43,632	3,154,681.71	72,302	106	101	11,706	
	東京 Tokyo	茨城 Ibaraki	426,830	8,205,668	523,892	10,127,477	698,688	46,887,214	67,108	45.11	2,892	344,829	45,307,838.9	222.62	5,140	377,425.89	73,429	17	5	150
		栃木 Tochigi	344,897	6,796,913	411,129	7,883,828	501,897	45,902,079	85,488	42.00	2,315	329,955	46,926,666.1	276.09	4,478	367,512.95	82,071	11	11	—
群馬 Gunma		352,911	6,790,002	391,774	7,706,069	594,796	34,940,176	58,744	47.87	2,581	346,353	46,598,016.9	278.77	4,396	383,498.83	87,238	33	—	—	
埼玉 Saitama		399,606	6,320,807	390,330	7,546,881	559,417	61,269,189	109,523	36.59	3,310	413,655	57,833,599.2	270.57	5,745	459,721.33	80,021	7	—	—	
千葉 Chiba		464,005	8,890,821	610,659	12,323,814	771,261	56,851,955	73,713	40.87	3,692	353,417	48,471,215.5	231.86	4,784	402,161.72	84,064	15	16	36	
東京 Tokyo		5,502,595	101,462,618	6,302,504	119,701,966	4,684,294	416,373,955	88,887	73.54	50,596	2,428,425	434,372,736.5	381.23	25,539	2,071,654.98	60,272	30	32	552	
神奈川 Kanagawa		1,118,540	19,111,424	892,499	17,814,113	1,223,137	111,078,790	91,555	66.47	5,301	576,261	97,928,370.9	313.49	7,527	735,388.76	97,602	17	17	154	
山梨 Yamanashi		187,540	4,959,523	395,445	5,457,534	304,549	17,614,327	57,837	47.09	2,421	160,162	20,486,955.6	247.65	2,197	161,411.43	73,469	20	20	—	
長野 Nagano		789,281	15,785,894	898,686	18,865,993	1,000,644	56,490,781	56,454	51.58	5,914	520,092	71,251,410.8	268.11	10,289	778,453.89	75,659	29	32	20	
静岡 Shizuoka		9,406,185	177,223,670	10,726,918	207,447,525	11,338,677	848,307,483	81,762	57.89	79,022	5,473,649	869,176,715.2	306.51	70,095	6,737,140.78	96,118	179	186	767	
名古屋 Nagoya	富山 Toyama	300,231	7,062,775	372,633	9,208,330	350,479	21,533,646	61,441	43.87	3,785	325,348	42,483,150.8	407.35	4,282	260,752.57	60,895	25	26	29	
	石川 Ishikawa	326,597	6,555,017	410,054	8,401,760	432,811	36,785,059	84,991	56.33	4,110	345,278	44,431,653.7	449.34	4,760	353,667.81	74,300	16	18	58	
	福井 Fukui	268,857	5,894,533	278,247	6,074,970	479,550	47,012,387	98,034	74.16	3,244	394,653	42,935,025.4	471.11	5,078	322,609.17	63,531	11	11	8	
	岐阜 Gifu	630,641	12,444,533	795,111	15,301,009	1,016,309	39,343,543	69,215	59.29	7,066	558,409	62,050,025.2	325.79	10,150	728,649.83	71,788	31	33	—	
	長野 Nagano	473,375	9,706,238	494,902	9,848,374	779,500	82,794,790	106,215	63.59	6,952	449,281	59,927,203.9	366.52	9,482	595,179.43	62,769	69	71	39	
	岐阜 Gifu	1,217,755	24,341,992	1,172,611	22,995,451	2,048,724	86,381,517	129,535	71.57	16,126	1,156,995	156,861,884.4	404.16	17,487	1,432,766.14	81,933	31	32	20	
	愛知 Aichi	487,677	9,774,455	574,573	11,460,855	798,629	67,033,559	83,936	67.99	5,248	501,363	54,891,350.1	426.84	11,582	716,089.47	61,827	10	10	22	
	三重 Mie	3,705,133	75,777,663	4,098,131	83,380,749	5,006,002	590,884,501	100,048	64.26	45,632	3,641,227	454,888,354.9	306.18	62,821	4,469,714.42	70,195	193	201	156	
	愛知 Aichi	283,423	5,840,683	316,340	6,597,774	441,710	38,904,116	88,076	62.09	3,407	282,136	32,082,388.4	396.57	5,351	276,064.91	51,591	5	5	33	
	愛知 Aichi	1,047,950	20,576,363	1,320,158	26,080,203	1,325,113	123,090,331	92,896	77.83	11,583	745,139	109,194,852.2	437.67	13,106	1,005,871.19	76,749	11	11	132	
大阪 Osaka	京都 Kyoto	3,563,666	66,452,948	2,495,482	48,680,271	2,747,648	225,518,555	82,077	63.94	31,695	1,412,349	229,515,233.5	328.66	18,884	1,593,230.22	84,369	16	18	336	
	兵庫 Hyogo	2,023,627	43,227,991	1,559,597	33,621,781	1,843,624	160,382,817	86,993	63.07	14,366	1,083,658	154,570,945.1	370.79	15,759	1,316,144.92	83,529	26	26	577	
	奈良 Nara	236,960	5,626,124	374,432	8,195,285	457,363	39,493,237	86,350	73.01	4,571	195,018	24,367,193.3	314.31	2,911	200,558.65	68,897	9	9	—	
	和歌山 Wakayama	381,200	10,197,829	416,877	11,939,794	546,582	62,979,136	115,224	63.26	5,226	292,510	38,115,323.3	338.51	4,387	353,390.43	86,554	15	16	25	
	徳島 Tokushima	237,219	5,326,204	337,924	7,380,540	448,224	44,649,467	99,614	61.51	4,381	262,929	22,724,779.1	283.95	3,525	232,146.65	65,857	5	5	13	
	香川 Kagawa	374,318	8,000,708	488,266	10,326,015	323,862	25,172,691	77,727	45.30	1,752	186,461	18,091,577.0	260.79	3,064	243,686.61	79,532	11	12	50	
	高松 Kobai	7,947,737	166,257,247	7,350,028	153,096,862	8,134,126	720,190,350	88,530	64.75	76,891	4,494,191	628,579,807.9	350.58	66,987	5,221,263.58	77,944	98	102	1,166	
	鳥取 Tottori	212,385	4,040,961	262,005	4,862,709	257,545	14,289,430	55,483	52.51	1,860	177,855	19,416,848.8	362.63	2,774	213,432.44	96,940	5	5	7	
	島根 Shimane	371,112	7,593,518	477,372	10,438,969	430,791	19,299,624	44,800	57.66	4,398	269,463	26,074,262.7	360.66	3,574	25,809,472	72,214	12	12	19	
	岡山 Okayama	618,527	13,135,256	654,444	14,424,492	1,382,310	97,810,460	66,157	57.94	6,570	463,684	51,149,364.4	347.49	6,724	556,399.38	82,748	8	8	23	
広島 Hiroshima	広島 Hiroshima	1,067,370	22,523,533	1,212,713	26,223,025	772,141	51,082,226	70,759	76.59	14,726	718,466	83,194,379.0	398.04	10,593	85,4873.04	81,393	12	12	231	
	山口 Yamaguchi	835,188	18,344,950	814,467	17,500,362	811,322	59,767,621	73,667	68.15	8,277	440,044	53,688,826.8	369.62	6,850	545,513.99	79,637	5	5	240	
	徳島 Tokushima	271,966	6,574,063	396,829	8,672,708	435,127	36,237,382	83,280	58.12	3,027	297,716	33,189,007.4	397.67	4,454	356,277.56	79,995	10	10	12	
	香川 Kagawa	494,654	11,495,840	620,672	13,706,832	513,758	30,055,340	53,501	44.10	4,248	377,864	40,362,617.2	324.37	5,539	484,393.92	87,435	9	9	84	
	愛媛 Ehime	3,871,202	83,706,121	4,438,502	95,839,097	4,602,994	308,542,083	67,031	61.54	43,706	2,744,402	307,675,306.3	366.95	40,418	3,268,894.96	80,877	61	61	616	
	高松 Kobai	1,904,807	38,211,275	1,654,283	34,649,625	1,644,687	108,740,326	66,116	59.68	12,092	940,683	119,390,508.6	341.35	11,115	1,039,736.67	93,544	16	16	262	
	岡山 Okayama	352,671	7,355,737	499,202	9,455,159	363,262	19,027,079	54,856	52.94	2,926	192,424									

第九章 會議

Section 9. Conférence

逓信局長會議

各逓信局長ヲ召集シ昭和十年五月六日ヨリ五月十日迄第二十二回逓信局長會議ヲ本省會議室ニ於テ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項 1件 會議事項 12件

工務課長會議

各逓信局工務課長ヲ召集シ昭和十年五月二十七日ヨリ同月二十九日迄本省會議室ニ於テ工務課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項 2件 協議事項 13件

經理課長購買課長會議

各逓信局經理課長購買課長ヲ召集シ昭和十年五月三十日ヨリ同年六月三日迄本省會議室ニ於テ經理課長購買課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項 1件 協議事項 2件

規畫課長會議

各逓信局規畫課長ヲ召集シ昭和十年六月十日ヨリ同月十四日迄本省會議室ニ於テ規畫課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項 14件

電氣課長會議

各逓信局電氣課長ヲ召集シ昭和十年九月二十三日ヨリ同月二十九日迄本省會議室ニ於テ電氣課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項 8件

保險課長會議

各逓信局保險課長ヲ召集シ昭和十一年一月十六日ヨリ同月二十一日迄簡易保險局會議室ニ於テ第十九回保險課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項 7件

第十章 歳入及歳出

Section 10. Revenue and Expenditure

昭和十年度一般會計豫算トシテ第六十七回帝國議會ニ提出シタル歳入ハ經常部(印紙收入ヲ除ク)78,128,960圓、臨時部3,585,059圓、計81,714,019圓ニシテハ歳出ハ經常部176,896,096圓、臨時部12,987,676圓、計189,883,772圓ナリ、之ニ追加豫算トシテ同議會ニ提出シタル歳出經常部1,010圓、臨時部78,589圓、計79,599圓ヲ加ヘ歳出總額ハ189,963,371圓ナリトス、其ノ他第一豫備金支出48,420圓、國庫剩餘金支出1,149,329圓アリ、又特別會計ニ於テ

(1) 通信事業特別會計豫算トシテ第六十七回帝國議會ニ提出シタル歳入ハ資本勘定51,368,320圓、用品勘定43,033,007圓、業務勘定296,010,162圓、計390,411,489圓ニシテ歳出ハ資本勘定51,368,320圓、用品勘定43,033,007圓、業務勘定274,599,780圓、計369,001,107圓ナリトス

(2) 簡易生命保險特別會計豫算トシテ第六十七回帝國議會ニ提出シタルモノハ歳入250,517,178圓、歳出147,840,562圓ナリトス

(3) 郵便年金特別會計豫算トシテ第六十七回帝國議會ニ提出シタルモノハ歳入15,629,125圓、歳出6,271,125圓ナリトス

而シテ之カ内譯ヲ示セハ次表ノ如シ

歳入歳出豫算及決算額

Estimates and Settlement of

Annual Receipts and Expenditure

昭和十年度
(1935-36)

科	Item	目	豫算 Estimates	決算 Settlement	
歳入 Revenue	經常部 Ordinary	印紙收入 Stamps	81,232,799	77,873,276	
		官業及官有財産收入 Receipt from public undertakings and State Property	279	22,511	
		郵便電信及電話收入未済金收入 Revenues from the outstanding accounts for the postal, telegraph and telephone services	-	21,839	
		官有物貸下料 Rent of the Government-Property	279	672	
		通信事業特別會計納付金 Transfers from the special account for the postal, telegraph and telephone services	78,000,000	78,000,000	
		雜收 Miscellaneous	128,681	192,278	
		合 計	159,361,759	156,088,065	
		臨時部 Contingent	官有物拂下代 Proceeds of Sale of the Government-Property	8,991	10,032
		特別會計ヨリ繰入 Transferred from Special Account	3,576,068	2,015,942	
		合 計	3,585,059	2,025,974	
總 計	Grand Total	162,946,818	158,114,039		
經常部 Ordinary	電 信 Electo-Technical Laboratory	通信本局 Main Office	1,055,874	1,060,088	
		通信費 Direction of Communications	1,250,404	1,254,292	
		電氣試驗所 Electo-Technical Laboratory	411,292	408,927	
		燈臺局 Lighthouse Bureau	1,107,309	1,105,750	
		年金及恩給 Annuities and Pensions	173,027,702	174,086,584	
		諸支出金 Miscellaneous	44,525	60,123	
		合 計	176,897,106	177,975,764	

歲入歲出豫算及決算額 (續)

Estimates and Settlement of Annual Receipts and Expenditure (Continued)

昭和十年度 (1935-36)

Table with columns: 科 (Category), Item, 豫算 (Estimates), 決算 (Settlement). Rows include: 補助及獎勵費 (Subsidies and Bounties), 海員救濟補助 (Subsidies for the welfare of Seamen), 水難救濟補助 (To rescue from Sea-Casualties), 航路補助 (To extend Steamship), 電氣用品標準仕様制定補助 (To standardize Electrical Articles), 船員職業紹介事業補助 (To facilities for finding Employment for Seamen), 航空獎勵金 (To encourage civil Aviation), 航空輪送補助 (To facilities for air transport), 海員社會事業補助 (To Social enterprises for Seamen), 失業船員救濟施設補助 (Subsidies for the relief facilities for the unemployed seamen), 船舶改善助成費 (Subsidies to improve merchant fleet), 航路標識建設及改修費 (Expenses for building and repairing beacons), 營繕費 (Building & Repairing), 造船鐵材調查費 (Expenditure for the recognition of exemption from Oustoms duty on ship-building materials), 電氣試驗所臨時研究費 (Electro-Technical Laboratory research expenses for the limited term), 船舶改善施設費 (Expenditure for merchant fleet improvement scheme), 臨時船舶檢查其他諸費 (Special Marine Surveying Expenses and Others), 航空路施設費 (Expenditure on establishment of airways), 器具機械設備費 (Utensils and Machines), 臨時外國行諸費 (Extraordinary Expenses for Foreign Travels), 在勤手當其他臨時增給 (Foreign Service Allowance and Other Additional Remunerations).

歲入歲出豫算及決算額 (續)

Estimates and Settlement of Annual Receipts and Expenditure (Continued)

昭和十年度 (1935-36)

Table with columns: 科 (Category), Item, 豫算 (Estimates), 決算 (Settlement). Rows include: 震災復舊及新替費 (Restoration expenditures for services damaged by earthquake-fire and new services expenditures), 災害費 (Calamities), 東北地方農村工業配電設備助成費 (Subsidies for the equipment of the electric supply to industry in the north-eastern rural districts), 總計 (Total), 通信事業 (Communication service), 業務勘定過剩金繰入 (Transfer of the surplus belonging to the business account), 事業設備補充費繰入 (Transfer of the supplying expenses for service equipments), 電信電話建設寄付及設備負擔金 (Contributions to the construction of telephone and telegraph equipments and allotments for the equipments), 公債 (Public loans), 雜收入 (Other Incomes), 資本勘定 (Capital account), 電信電話設備擴張改良及補充費 (Expenses for extention improvement and supply of telephone and telegraph equipments), 航空無線電信施設費 (Expences for the equipment of the aircraft radio apparatus), 電信電話營繕費 (Building and Repairing of Telegraph and Telephone), 營繕費 (Building and Repairing), 支 miscellaneous (Miscellaneous), 一般會計繰入 (Carried over to general Account), 國債整理基金特別會計繰入 (Transfer of the sinking funds to the special account).

歳入歳出豫算及決算額 (續)

Estimates and Settlement of (Continued)
Annual Receipts and Expenditure

昭和十年度
(1935-36)

科	目	豫算	決算
Item		Estimates	Settlement
特別會計 Special Account	備金	620,000	-
	Emergency Fund		
	災害費	1,868,559	2,116,548
	Calamities		
	合計	51,368,320	50,416,803
	Total		
	用品及工作收入	42,884,062	43,346,567
	Plants and their operating revenues		
	雑収入	151,945	278,371
	Other Incomes		
合計	43,033,007	43,624,938	
Total			
用品勘定 Plant and equipment account	通信事業用品及工作費	42,013,007	41,053,428
Communication plants and their operating expenses			
備金	1,020,000	-	
Emergency Fund			
合計	43,033,007	41,053,428	
Total			
業務勘定 Business account	業務收入	286,572,741	288,489,480
	Revenues from the service		
	大蔵省預金部特別會計ヨリ繰入	9,000,000	9,000,000
	Transfers from the special account for the Deposit Bureau of the Department of Finance		
	合計	296,010,162	298,721,861
Total			
通信業務費	189,599,780	189,781,664	
Expenses for communication service			
一般會計納付金	78,000,000	78,000,000	
Transfers to the general account			
備金	7,000,000	-	
Emergency Fund			
合計	274,599,780	267,781,664	
Total			

歳入歳出豫算及決算額 (續)

Estimates and Settlement of (Continued)
Annual Receipts and Expenditure

昭和十年度
(1935-36)

科	目	豫算	決算
Item		Estimates	Settlement
簡易生命保険 Post Office Life Insurance	保料	204,984,469	213,417,545
	Premium Income		
	運用収入	45,004,623	48,627,055
	Interest Income		
	雑収入	528,086	639,573
	Other Incomes		
	合計	250,517,178	262,684,173
	Total		
	簡易生命保険費	143,453,942	125,290,773
	Total Outgo of Post Office Life Insurance		
管轄	10,000	9,481	
New Office Building Account			
歳出	一般會計へ繰入	1,146,620	1,343,529
Carried over to General Account			
備金	3,230,000	-	
Emergency Fund			
合計	147,840,562	126,643,783	
Total			
郵便年金 Post Office Life Annuities	掛金	11,605,638	14,058,826
	Considerations		
	運用収入	4,014,584	4,094,600
	Interest Income		
	雑収入	8,903	11,954
Other Incomes			
合計	15,629,125	18,165,380	
Total			
郵便年金費	6,171,125	4,836,491	
Total Outgo of Post Office Life Annuities			
歳出	備金	100,000	-
Emergency Fund			
合計	6,271,125	4,836,491	
Total			

備考 本表中合計(又ハ總計)ト其ノ内容ト符合セサルモノアルハ圓未満ノ端數ヲ四捨五入シタルニ依ル
Note. Some of the totals (or grand totals) in this table do not coincide with the actual summing up of the numbers, which is due to fractions of 1 yen not less 50 sen being counted as 1 yen and the rest disregarded.

歲入 歲出

The Settled Revenue and

年次 Year	會計別 Classification of Account	一般會計 General Account			通 資本勘定 Capital account
		經常部 Ordinary	臨時部 Contingent	計 Total	
九年度 1931-35	歲入 Revenue	155,536,088	1,245,223	156,781,311	50,421,103
	歲出 Expenditure	173,775,351	19,431,344	193,206,695	29,722,212
八年度 1933-34	歲入 Revenue	335,369,372	1,454,284	336,823,656	-
	歲出 Expenditure	309,863,816	43,307,950	353,171,766	-
七年度 1932-33	歲入 Revenue	309,707,273	664,842	310,372,115	-
	歲出 Expenditure	302,665,989	41,242,257	343,908,246	-
六年度 1931-32	歲入 Revenue	294,728,353	355,218	295,083,571	-
	歲出 Expenditure	297,308,346	31,508,725	328,817,071	-
五年度 1930-31	歲入 Revenue	299,280,656	238,667	299,519,323	-
	歲出 Expenditure	296,218,812	39,277,096	335,495,908	-
四年度 1929-30	歲入 Revenue	318,974,007	300,374	319,274,381	-
	歲出 Expenditure	296,046,667	60,877,341	356,924,008	-
三年度 1928-29	歲入 Revenue	320,391,517	368,468	320,759,985	-
	歲出 Expenditure	287,072,261	53,686,589	340,758,850	-
二年度 1927-28	歲入 Revenue	318,627,713	313,051	318,940,764	-
	歲出 Expenditure	280,407,478	70,944,278	351,351,756	-
元年度 1926-27	歲入 Revenue	306,491,863	307,644	306,799,507	-
	歲出 Expenditure	262,785,437	89,919,067	352,704,504	-

決算 額

Accounts of the Expenditure

特別會計 Special Account					
信 Communication Service			業 Post Office Life Insurance		郵便年金 Post Office Life Annuities
用品勘定 Plant and equipment account	業務勘定 Business account	合計 Total			
28,533,550	279,261,039	358,215,692	239,588,825		16,424,975
33,555,451	253,360,316	316,637,979	114,527,626		4,362,578
-	-	-	220,515,228		17,966,248
-	-	-	99,334,562		3,849,751
-	-	-	198,993,295		14,275,927
-	-	-	97,055,069		3,470,220
-	-	-	182,592,628		11,601,725
-	-	-	86,224,197		3,032,963
-	-	-	167,329,725		11,532,004
-	-	-	62,655,132		2,514,918
-	-	-	148,467,979		9,320,102
-	-	-	48,403,012		1,707,855
-	-	-	126,094,102		8,994,072
-	-	-	42,368,381		1,437,724
-	-	-	106,413,050		9,321,043
-	-	-	34,205,296		663,003
-	-	-	87,174,729		2,788,373
-	-	-	25,694,417		93,744

第十一章 財產

Section 11. Property

土地面積

Area of Land

昭和十年度末
March 31, 1936

會計別 Classification of Accounts	部 Section	局 Bureau	本省 Main Office	管船局 Direction General of Merchantile Marines	航空局 Civil Aviation Bureau	貯金局 D. G. of P. Money Or- ders and Savings Bank	電氣試驗所 Electro- Technical Labora- tory	簡易保險局 Bureau of Post Office Life In- surance	通信局 Direction of Commu- nication	在中華民國 電信局 Telegraph Office in Middle Re- public	燈臺局 Lighthou- se Bureau	合計 Total
一般會計所屬 General Account			4,495	16,145	2,618,859	17,024	12,134	2,824,149	5,492,806			
通信事業特別會計所屬 Communication Services Special account			69,283			44,175	65,752	1,827,645	2,100			2,008,955
簡易生命保險特別會計所屬 Post office Life Insurance Special account							50,622	10,245				60,867
合計 total			73,778	16,145	2,618,859	44,175	82,776	50,622	1,850,024	2,100	2,824,149	7,562,628
昭和 九 年 1935	度		73,678	16,145	2,111,773	44,175	80,823	50,622	1,623,012	2,100	2,829,613	6,837,941
八 年 1934	度		165,680		2,117,510	44,175		50,622	1,554,424	2,099	2,824,062	6,758,572
七 年 1933	度		175,852		2,076,614	44,175		58,999	1,526,301	2,099	2,750,168	6,634,208
六 年 1932	度		178,903		565,930	44,175		58,999	1,582,748	2,099	2,730,855	5,163,709
五 年 1931	度		178,460		565,953	44,175		49,081	1,556,360	2,099	2,729,655	5,125,783
四 年 1930	度		178,457		565,969	44,123		49,081	1,541,967	2,099	2,723,258	5,104,954
三 年 1929	度		214,242			25,845		49,081	1,477,025	2,099	2,647,806	4,416,152
二 年 1928	度		198,374			25,845		49,081	1,433,122	3,808	2,639,932	4,350,162
元 年 1927	度		170,057			21,878		45,842	1,370,396	3,812	2,625,932	4,237,917

建築物面積

Area of Buildings

昭和十年度末
March 31, 1936

會計別 Classification of Accounts	部 Section	局 Bureau	本省 Main Office	管船局 Direction General of Merchantile Marines	航空局 Civil Aviation Bureau	貯金局 D. G. of P. Money Or- ders and Savings Bank	電氣試驗所 Electro- Technical Labora- tory	簡易保險局 Bureau of Post Office Life In- surance	通信局 Direction of Commu- nication	在中華民國 電信局 Telegraph Office in Middle Re- public	燈臺局 Lighthou- se Bureau	合計 Total
一般會計所屬 General Account			15,124	7,839	3,589		10,207		7,884		52,133	96,776
通信事業特別會計所屬 Communication Services Special account			72,817			51,601	21,461		977,794	3,248		1,126,921
簡易生命保險特別會計所屬 Post office Life Insurance Special account								79,818	3,836			83,654
合計 Total			82,941	7,839	3,589	51,601	31,668	79,818	989,514	3,248	52,133	1,307,351
昭和 九 年 1935	度末 March 31, 1935		87,668	7,839	2,007	51,620	29,115	56,009	937,125	3,401	50,375	1,225,159
八 年 1934	度末 March 31, 1934		165,680		2,117,510	44,175		50,622	1,554,424	2,099	2,824,062	6,758,572
七 年 1933	度末 March 31, 1933		175,852		2,076,614	44,175		58,999	1,526,301	2,099	2,750,168	6,634,208
六 年 1932	度末 March 31, 1932		178,903		565,930	44,175		58,999	1,582,748	2,099	2,730,855	5,163,709
五 年 1931	度末 March 31, 1931		178,460		565,953	44,175		49,081	1,556,360	2,099	2,729,655	5,125,783
四 年 1930	度末 March 31, 1930		178,457		565,969	44,123		29,081	1,541,967	2,099	2,723,258	5,104,954
三 年 1929	度末 March 31, 1929		214,242			25,845		49,081	1,477,025	2,099	2,647,806	4,416,152
二 年 1928	度末 March 31, 1928		198,374			25,845		49,081	1,433,122	3,808	2,639,932	4,350,162
元 年 1927	度末 March 31, 1927		170,057			21,878		45,842	1,370,396	3,812	2,625,932	4,237,917

船 舶

Shipping

昭和十年度末
March 31, 1936

會計別 Classification of Accounts	部 Section	本 省 Main Office				通信局 Direction of Commu- nication	燈臺局 Lightbo- use Bureau	合 計 Grand Total	
		經理局 Direction General of Accounts and Supplies	工務局 Direction General of Telegraph and Telephone Engineering	管船局 Direction General of Maritime Marines	航空局 Civil Aviation Bureau				合 計 Total
一般會計 所 General Account	汽 船 Steamers	船 No. 數			1		11	25	37
		總噸數 Gross Tonnage			4		85	2,509	2,598
	雜 船 Other Ships	船 No. 數				1	4	38	43
通信事業 特別會計 所 Communi- cation Services Special Account	汽 船 Steamers	船 No. 數	1	3			26		30
		總噸數 Gross Tonnage	3	7,196			396		7,595
	雜 船 Other Ships	船 No. 數					35		35
合 計 Total	船 No. 數	1	3	1	1	6	76	63	145
	總噸數 Gross Tonnage	3	7,196	4		7,203	481	2,509	10,193
九 年 度 末 March 31, 1935	船 No. 數	1	3	1	1	6	81	58	145
	總噸數 Gross Tonnage	3	7,196	4		7,203	461	2,503	10,167
八 年 度 末 March 31, 1934	船 No. 數					5	81	60	146
	總噸數 Gross Tonnage					7,200	495	2,497	10,192
七 年 度 末 March 31, 1933	船 No. 數					4	99	57	160
	總噸數 Gross Tonnage					7,196	490	2,485	10,171
六 年 度 末 March 31, 1932	船 No. 數					4	101	61	166
	總噸數 Gross Tonnage					7,193	502	2,481	10,176
五 年 度 末 March 31, 1931	船 No. 數					3	106	61	170
	總噸數 Gross Tonnage					7,186	479	2,475	10,140
四 年 度 末 March 31, 1930	船 No. 數					3	109	60	172
	總噸數 Gross Tonnage					7,186	479	2,500	10,165
三 年 度 末 March 31, 1929	船 No. 數					3	110	58	171
	總噸數 Gross Tonnage					7,183	479	2,491	10,153
二 年 度 末 March 31, 1928	船 No. 數					4	108	58	170
	總噸數 Gross Tonnage					11,245	473	2,496	14,214
元 年 度 末 March 31, 1927	船 No. 數					4	108	56	168
	總噸數 Gross Tonnage					11,245	509	2,459	14,213

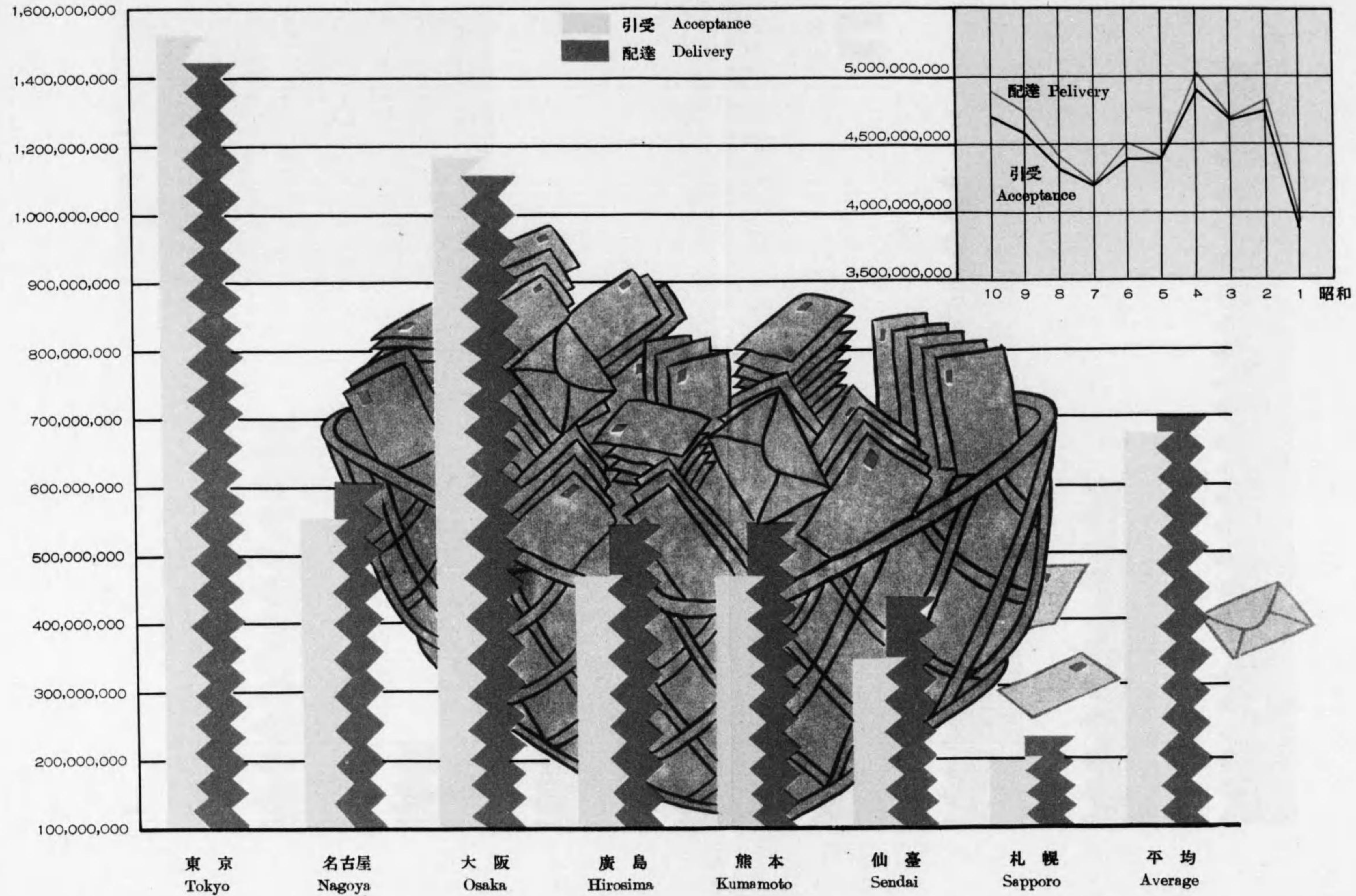
昭和十年度末
March 31, 1936

省	遞信局	燈臺局	合計
Direction of Communication	Lighthouse Bureau	Grand Total	
1	11	25	37
4	85	2,509	2,598
1	4	38	43
4	26	-	30
7,199	396	-	7,595
-	35	-	35
1	6	76	145
7,203	481	2,509	10,193
1	6	81	145
7,203	461	2,503	10,167
5	81	60	146
7,200	495	2,497	10,192
4	99	57	160
7,196	490	2,485	10,171
4	101	61	166
7,193	502	2,481	10,176
3	106	61	170
7,186	479	2,475	10,140
3	109	60	172
7,186	479	2,500	10,165
3	110	58	171
7,183	479	2,491	10,153
4	108	58	170
11,245	473	2,496	14,214
4	108	56	168
11,245	509	2,459	14,213

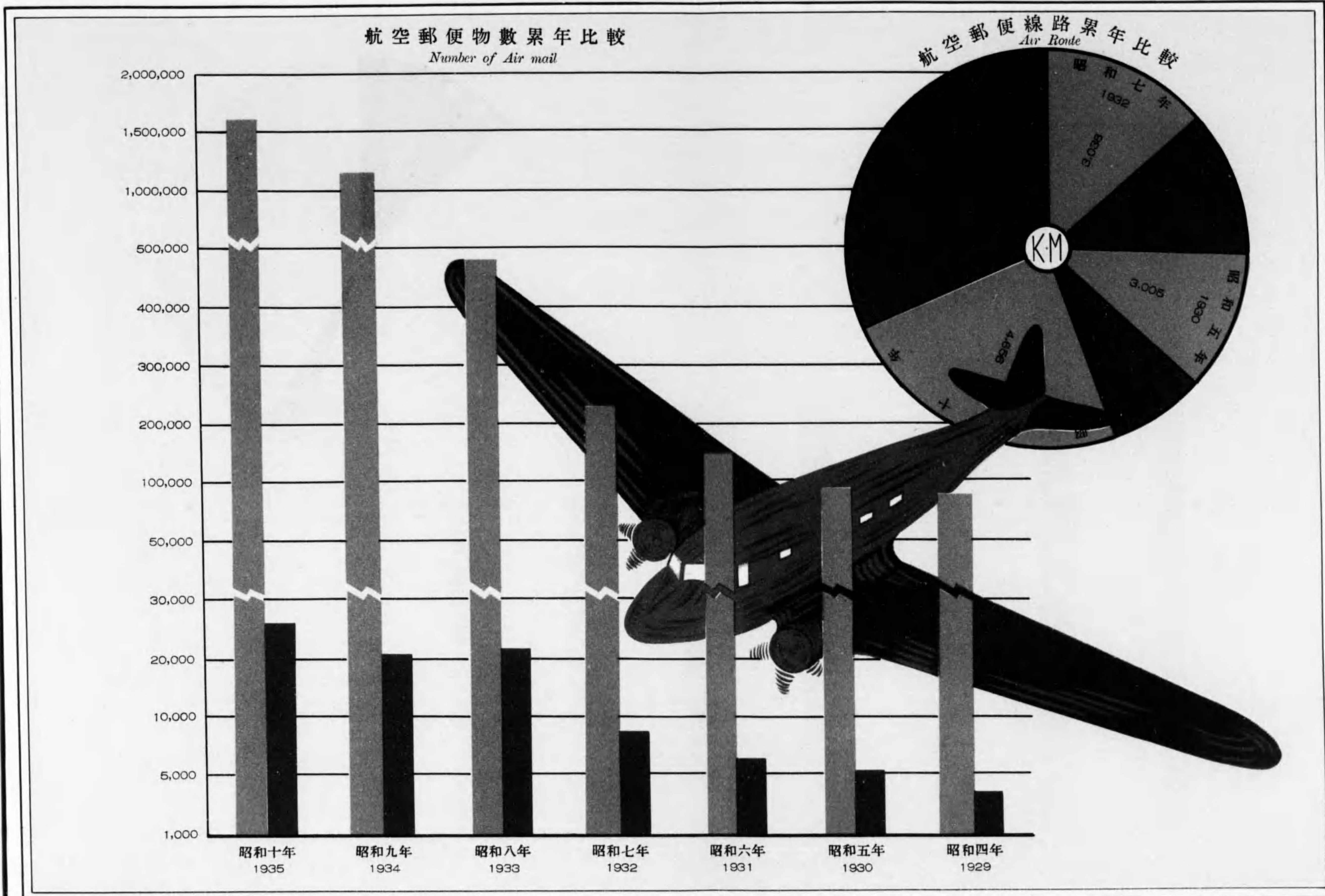
遞信局別郵便物數

Number of mail matters by Directions of Communications.

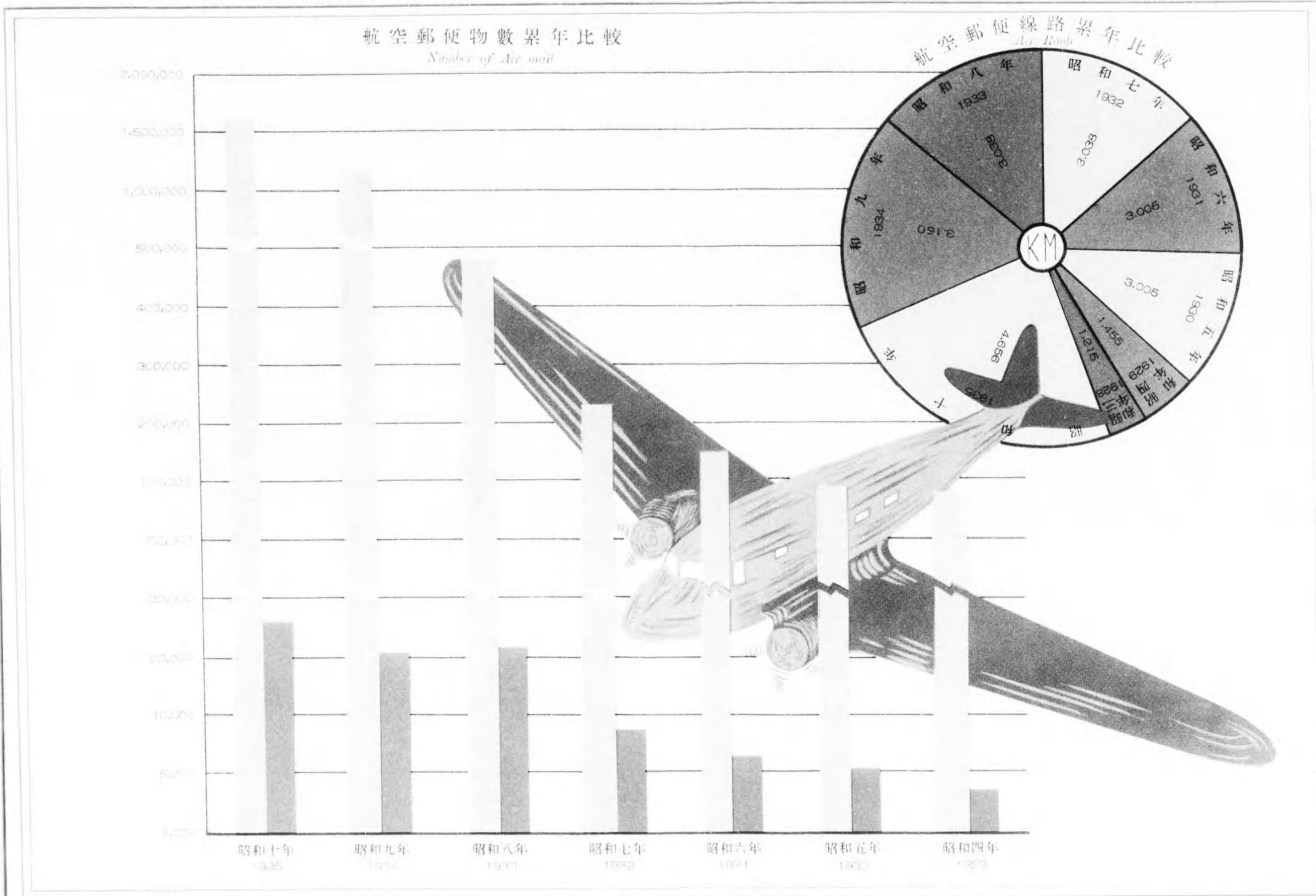
通常郵便物數累年表
Number of ordinary mails at Inland offices



航空郵便物數及線路
Number of Air mail and Route.

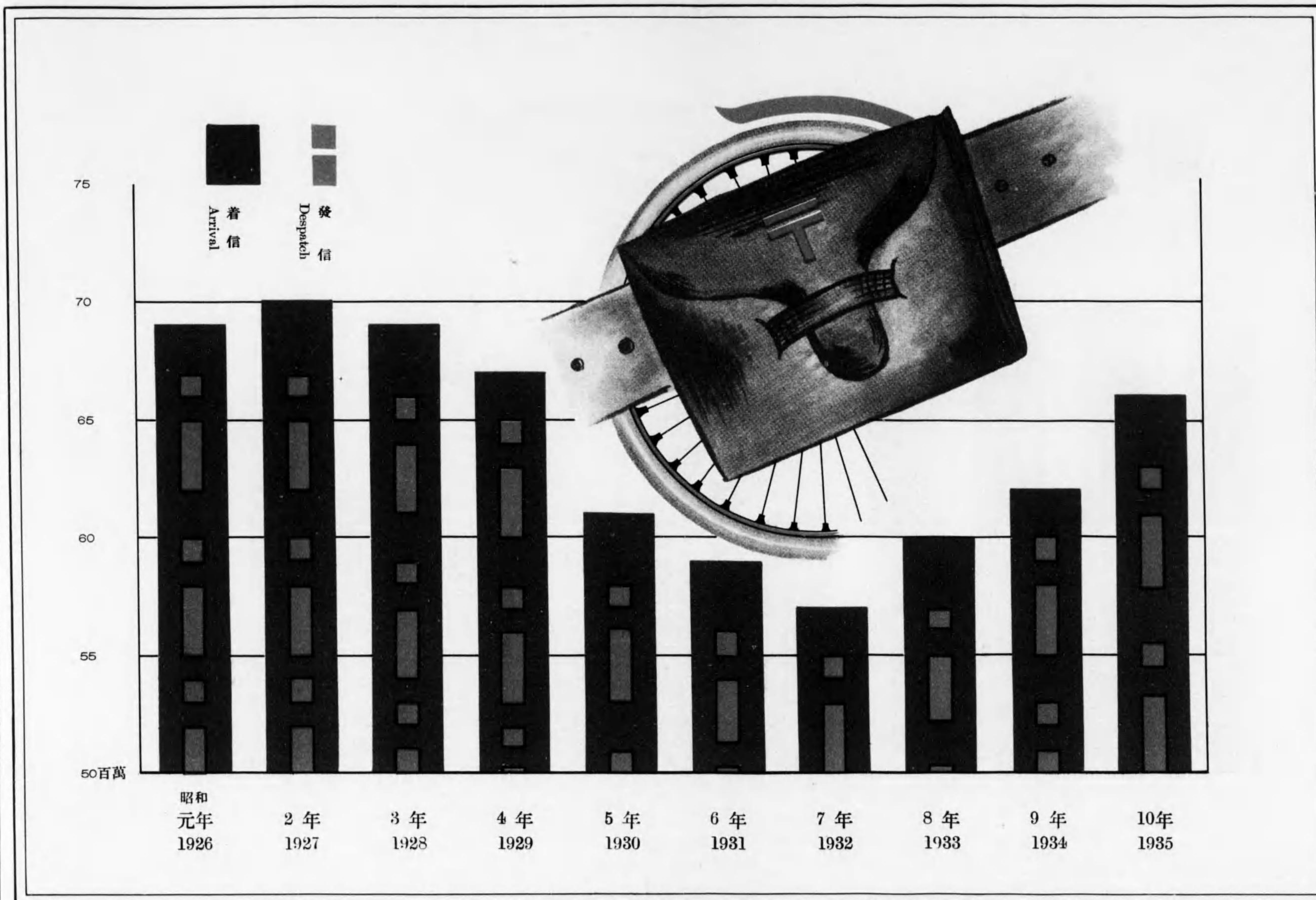


航空郵便物数及線路
Number of Air mail and Route.



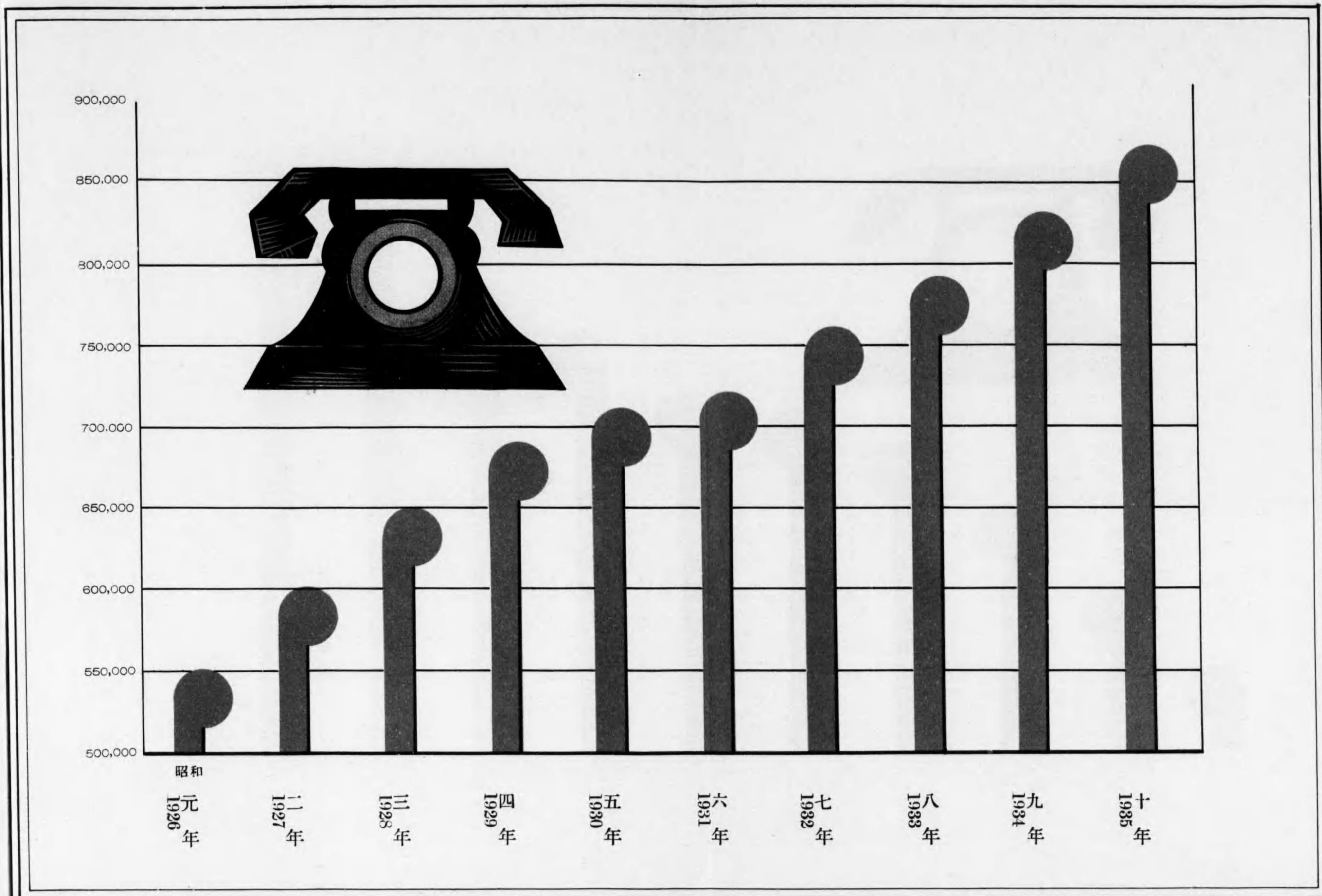
電報通數累年比較

Comparison of Number of Telegrams handled yearly at Post Telegraph Offices.



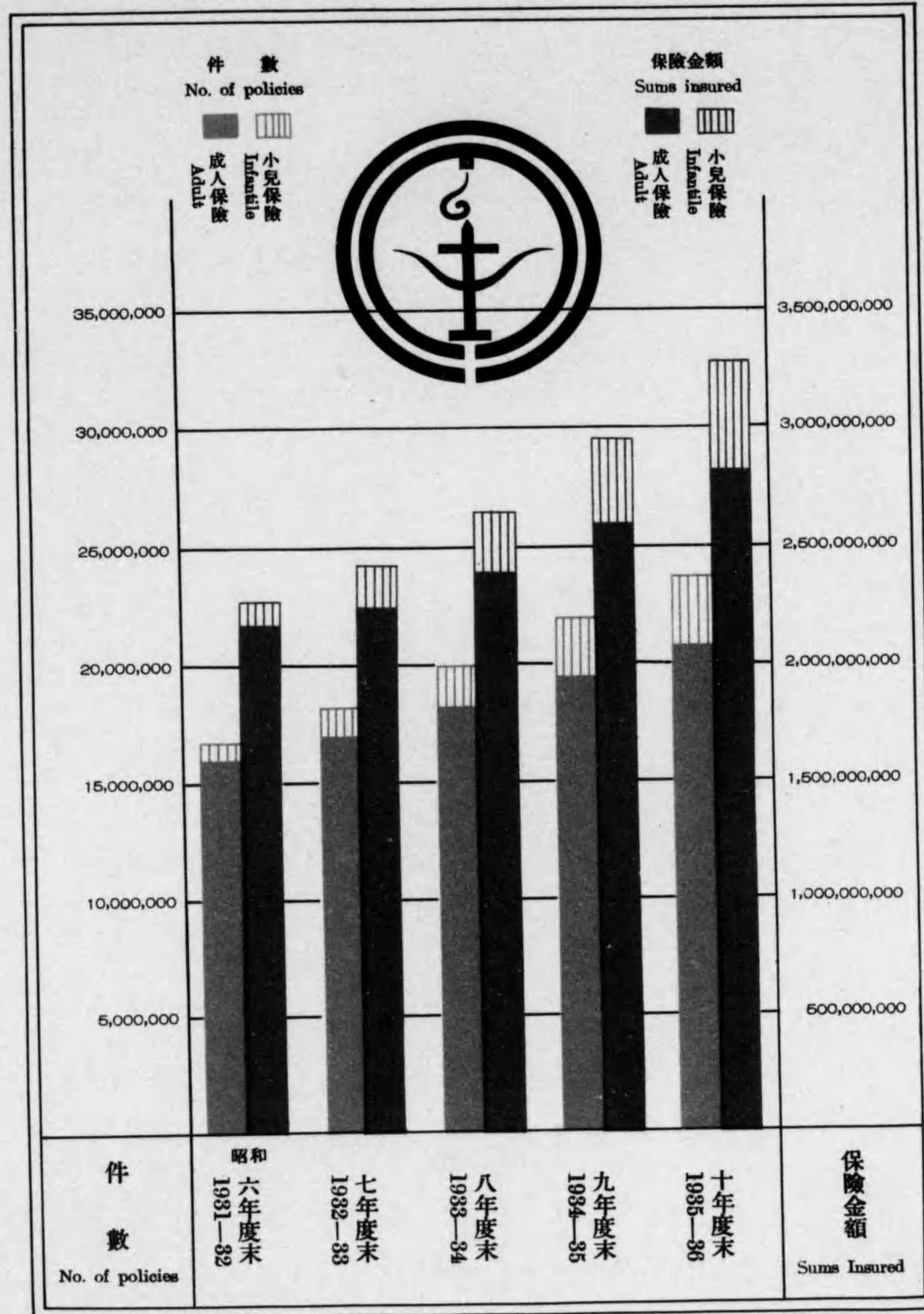
電話加入者數

Number of Inland Telephone Subscribers.



簡易保險年度末現在契約高累年比較

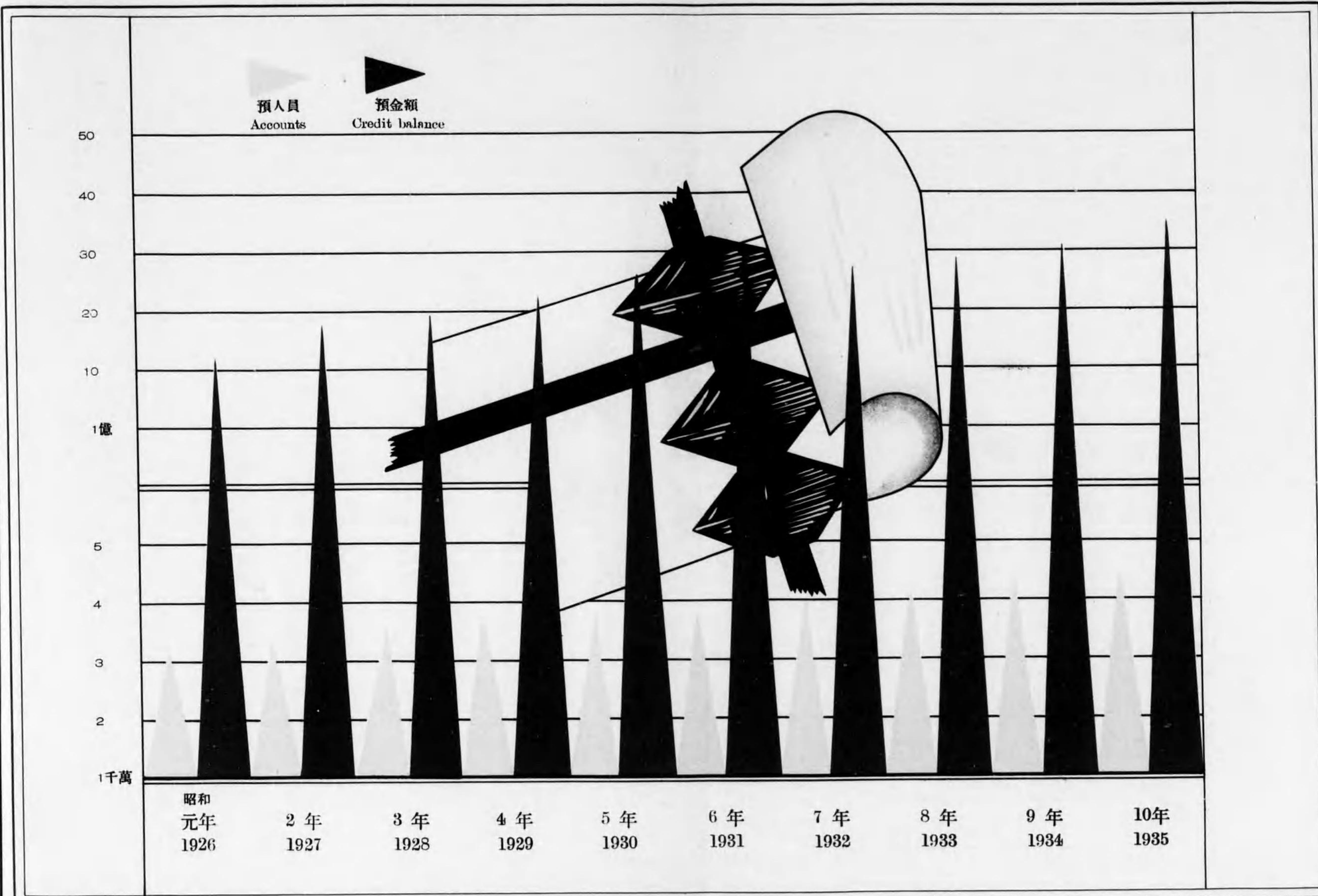
*Policies in force at each End of Successive Fiscal Years
Represented for Comparison of the Post Office Life Insurance*





郵便貯金現在高累年比較

Credit balances at the each End of the fiscal year of Postal Savings Accounts.



通 信
COMMUNICATIONS

第二編 通信

Chapter 2. Communications

郵務、電務、工務各局沿革略誌

郵務、電務、工務ノ三局ハ孰レモ元通信局ノ一分課ナリシカ大正十四年五月通信省官制改正ノ結果夫々本省内ノ一局トナリタルモノニシテ内、郵務、電務兩局ノ如キハ從來屢々離合ヲ繰返シテ今日ニ至レリ而シテ右三局ノ所掌事項ハ通信事務運行上相互密接ノ關係ヲ有スルモノナルヲ以テ本沿革ニ於テモ特ニ三局ヲ分掲セス而シテ郵便、電信事務ニ至リテハ其ノ濫觴ヲ遠クニ發スト雖モ制度トシテ之ヲ認メラレタルハ電信ニ在リテハ明治二年、郵便ニ於テハ明治四年トス爾後幾多ノ所管廳省等ノ變遷ヲ經テ今日ニ至レルカ以下年ヲ逐フテ之カ沿革中主ナルモノヲ摘録スレバ次ノ如シ

明治元年

- 一月 三職ノ職制分課ヲ定メラレ諸國水陸運輸驛路ノ事務ハ内國事務總督ノ所管ニ屬ス
- 二月 改メテ八局ヲ置キ上記ノ事務ハ内國事務局ノ所管ニ屬ス
- 閏四月 内國事務局ヲ廢シテ會計官ヲ置キ七司ヲ管シ驛遞司其ノ一ニ屬ス
- 七月 各地飛脚賃錢ノ制ヲ定ム
- 九月 驛遞規則ヲ定メ驛遞ノ法ハ驛遞司ノヲ裁定シ府藩縣之ヲ遵守シ驛驛ノ組替、訴訟請願、各驛ノ配置等凡テ驛遞司ノ管理ニ屬セシム
- 十月 車駕東遷ニ際シ驛遞司ヲ東京(七月江戸ヲ東京ト改稱)ニ置ク
- 同 諸官司ノ發スル公狀、諸荷物ハ一切各驛傳馬所ニ於テ運傳セシメ驛遞官吏一名ヲ出シテ監督セシム

明治二年

- 四月 民部官ヲ置カレ驛遞司ハ其ノ所管ニ屬ス
- 七月 官ヲ改メ省トナシ民部省廢セラレ驛遞司ハ民部大藏省ニ屬ス
- 八月 驛遞司ヲ驛遞寮ニ改ム
- 同 始メテ電信事業開設ノ事ニ著手セルモ事草創ニ係リ所管廳ヲ建ツルニ至ラス假ニ燈臺事務ニ附屬シテ外務省ノ管理ニ屬セシカ翌月燈臺事務ノ大藏省ニ移サルルニ及ヒ電信事務モ亦之ニ屬ス
- 同 横濱燈明臺役所及同港裁判所間ニ電信線ヲ架設シテ指字機ヲ裝置シ専ラ官用通信ノ用ニ供ス
- 同 神奈川縣ヲシテ横濱裁判所、東京運上所間電信線建設事務ヲ處理セシメ横濱裁判所内ニ傳信機役所ヲ置ク
- 九月 傳信機取扱規則(十三項ヨリ成ル)ヲ設ク
- 同 東京横濱間ニ電信線ヲ架設ス
- 十月 東京運上所内ニ傳信機役所ヲ置ク
- 十一月 傳信機ニ關スル七項ヲ規定シテ各省及近傍府縣内ニ布告ス
- 十二月 傳信機役所ヲ傳信局ト改稱ス

明治三年

- 四月 歐文通信ノ取扱ヲ開始ス
- 七月 民部大藏省ヲ民部省及大藏省ニ分ツニ方リ、驛遞及電信事務ハ民部省ニ屬シ省中四司(土木、驛遞、鑛山、通商)六掛(聽訟、社寺、鐵道、傳信機、燈臺、横須賀製鐵所)ヲ置キ電信ニ對シテハ始メテ傳信機ノ名アルニ至ル然レトモ實際ハ尙舊例ニヨリ燈臺掛ニ於テ之ヲ處理セリ

- 八月 大阪、神戸間=電信線ヲ架設シ大阪川口、神戸大手町=傳信局ヲ置キ事務ヲ開始ス
- 同 大北電信會社=上海長崎間及浦鹽長崎間ノ兩海底線ヲ長崎=陸揚シ及長崎横濱間=海底線ヲ布設スルコトヲ許可シ丁抹公使ト之=關スル條約ヲ交換ス(長崎横濱間ハ起工=至ラス明治十五年其ノ許可ヲ廢止ス)
- 閏十月 工部省ヲ置キ電信事務ハ同省=屬ス
- 同 兵庫縣=於テ日曜日其ノ他公休日ヲ廢シテ公衆ノ利便ヲ圖リ十一月五日ヨリ年中晝夜ノ別ナク電信ヲ取扱ヒ午後七時ヨリ午前七時=至ル間ハ料金ヲ倍課シ且公用通信ノ無料ヲ改メテ一般通信料ノ半額ヲ徵スルコトヲ令ス
- 十二月 郵便開設=關シテ十二藩六縣=令シ東海道品川ヨリ大津=至リ、城州伏見ヨリ河州守口=至ル管内各驛皆書狀集函及切手賣捌所ヲ設ケシム

明治四年

- 一月 飛脚便法ヲ設ケ公私通信ヲシテ自在ナラシムルコトヲ令シ三月以降東京ヨリ大阪=至ル三十九時間飛脚ヲ廢シ東海道各驛四、五里四方各村及勢州、美濃路モ右幸便ヲ以テ達スルコトトシ諸官省發公信モ亦定費ヲ以テ賃錢切手ヲ購買シ發送スルコトトス
- 二月 書狀賃錢切手四十八文、百文、二百文、五百文ノ四種發行=付各管内便宜ノ地及資産アル者ヲ選ヒテ切手ノ發賣ヲ命シ、百文=付四文ノ手数料ヲ給スルコトトス
- 同 郵便差出方心得及時間賃錢表ヲ布告ス
- 三月 東京大阪間=新式郵便ヲ實施シ兩地=郵便役所ヲ設ケ
- 四月 民部省ヨリ電信事務ノ繼承ヲ完了ス依テ工務省=傳信掛ヲ置ク
- 五月 官用傳信機稅則ヲ定メ公信ト雖モ有料トス
- 六月 上海長崎間海底線成リ海外ト通信ヲ開始ス
- 七月 民部省廢セラレテ驛遞司ハ大藏省=屬シ翌八月驛遞寮ト改稱ス
- 同 八月=涉リ横濱、神戸、長崎、函館、新潟ノ五港ヘ郵便役所ヲ設ケ其ノ賃錢表ヲ發行ス
- 八月 工部省官制ヲ定メ電信寮ヲ置ク
- 同 大阪以西ノ書狀發行法ヲ定ム
- 同 東京長崎間(三百五十七里)陸線架設ノ工ヲ起ス
- 十月 「モールス」印字機始メテ渡來ス

明治五年

- 三月 増補郵便規則(四年十一月制定)ヲ頒布ス、其ノ要旨ハ書狀ノ外新聞雜誌、書籍見本、書留郵便ノ差出方ヲ定メ、官廳宛公益=關スル建白書又ハ願書等開封ノモノハ無料トシ、貨幣封入書狀、危險物等ヲ郵便禁制品トシ、外國郵便差出ノ手續等ヲ定メタルコト等ナリ
- 同 東京市内=一日三回ノ郵便集配ヲ開ク
- 四月 傳信局ヲ電信局ト改稱シ西京=モ電信局ヲ開ク
- 同 東京長崎間通信料ヲ定ム
- 五月 東京横濱間=一日五回往復便ヲ開キ且郵便切手ヲ貼付セサル書狀ノ運送ヲ營業トスルヲ禁シ郵便ヲ政府ノ專掌=屬セシム
- 六月 金子入書狀運送規則ヲ發布シテ東京横濱間=實施ス
- 七月 國內(後志、膽振ヲ除ク)本支道ノ別ナク縣廳所在地及港、津、市、驛等公私用務繁多ノ地=凡テ信書ノ運送ヲナサシム
- 同 海外通信内地傳送料額ヲ定ム

- 八月 赤間關海島=一線ヲ沈設ス之ヲ第一線海底線トス
- 九月 十錢、二十錢及三十錢郵便切手ヲ發行ス
- 同 東京府内各局通信料額ヲ定ム
- 同 一般私線ノ架設ヲ許ササルコトトス
- 十一月 各府縣=告諭シ電報ハ創業ノ際工事多端通信停滯ノ虞ナシトセサル=付中間局=於テ通信杜絶シタルトキハ郵便ヲ以テ送達スヘク其ノ延滯=對シテハ損害賠償ノ責=任セサルコトヲ明カニス

明治六年

- 二月 東京長崎間架線ノ工竣ハリ沿道ノ地=順次電信局ヲ開ク
- 三月 四錢郵便切手ヲ發行ス
- 四月 郵便役所ヲ分テチ一等乃至四等トス
- 同 郵便賃錢ノ稱呼ヲ廢シテ郵便稅ト改稱シ量目等一ノ信書ハ里程ノ遠近=係ハラス均一郵稅トス、但シ市内郵便、地方郵便、市外増稅ハ尙舊=依ル
- 五月 東京長崎間各電信局ヲ事務ノ繁閑=ヨリ一等乃至三等=分ツ
- 同 信書運送ノ業務ハ舉テ驛遞頭ノ特任=歸シ茲=本邦郵便制度始メテ定マル
- 同 同文電報ノ取扱ヲ開始ス
- 八月 大日本政府電信取扱規則ヲ制定シ、通信ノ方法順序ヲ示シ、語字及符號ノ計算並郵便配達、返信料前納、報知依頼、校正、符牒各電報ノ種別ヲ明カニス
- 十二月 郵便葉書、封皮、帶紙ヲ發行シ其ノ用方規則ヲ頒布ス

明治七年

- 一月 驛遞寮ハ内務省所管トナル
- 同 六錢郵便切手ヲ發行ス
- 二月 飛信運送規則ヲ制定シ非常ノ通信=限リテ用フルコトトス
- 同 海外電信料ヲ改正ス
- 三月 琉球=郵便局ヲ開ク
- 六月 北米合衆國ト郵便交換條約ヲ締結シ八年一月ヨリ實施ス
- 八月 電信私線規則ヲ定メ官線ナキ地=私線ノ架設ヲ許シ之=關スル條項ヲ規定ス
- 九月 日本帝國電信條例ヲ制定シ電信=關スル諸般罰則等ヲ規定ス
- 十二月 在本邦米國郵便局ヲ撤退ス

明治八年

- 一月 米國トノ郵便交換條約ヲ實施ス
- 同 郵便役所ヲ郵便局ト改稱シ且同一市内=數個ノ郵便局アルモノハ其ノ一局ヲ本局トシ其ノ他ハ總ヘテ分局トシ郵便局又ハ分局ト隔絶セル土地=郵便受取所ヲ設置ス
- 十月 電信各局ノ閉閉時限ヲ一定シ午前六時ヨリ午後十時マテトス

明治九年

- 一月 局待電報ノ制ヲ定ム
- 三月 追尾電報ノ制ヲ定ム
- 四月 上海=本邦郵便局ヲ開キ芝罘、鎮江等八港=郵便受取所ヲ設置ス
- 六月 火災報ヲ一定シ出火=關スル揭示ヲナスコトトス

- 九月 五厘郵便切手及一錢通常葉書ヲ發行ス
- 十二月 朝鮮釜山ニ本邦郵便局ヲ設置ス

明治十年

- 一月 各省諸寮ヲ廢シテ局ヲ設クルコトナリ驛遞寮、電信寮ヲ驛遞局又ハ電信局ニ改メ地方電信局ハ之ヲ電信分局ト改稱ス
- 二月 萬國聯合郵便條約ニ加盟シ六月ヨリ之ヲ實施ス
- 六月 外國郵便葉書ヲ發行ス
- 十一月 八錢郵便切手ヲ發行ス

明治十一年

- 三月 東京木挽町ニ電信中央局ヲ設置シテ全國電信ノ中心トシ二十五日電信開業式ヲ舉行ス
- 同 海外通信ハ萬國電信公法ニヨリ取扱フコトトス
- 同 内國和文通信ハ住所姓名等ノ數字ヲ音信文ニ通算シテ料金ヲ徵スルコトナル(十一月住所姓名ヲ一通五錢ニ改ム)
- 五月 佛國巴里ニ開催ノ萬國郵便聯合會議ニ本邦委員ヲ出席セシメ六月其ノ決議ニ依ル萬國聯合郵便條約ニ加盟シ翌年四月ヨリ之ヲ實施ス

明治十二年

- 一月 萬國電信條例ニ加盟調印了ス
- 四月 倫敦ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 五月 電信取扱規則ヲ改定シ七月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ秘密ヲ嚴守シ安寧秩序ヲ害スル電報ノ取扱ヲ禁シ、通信上ノ責任ヲ明ニシ、取扱ヲ便利ニシテ改道尾電報ヲ設ケ、至急電報ノ制ヲ開キ、照校、受信報知電報ヲ定メ、同文電報ヲ速名電報トシタルコト等トス
- 六月 二錢葉書、五十錢郵便切手及三錢萬國郵便聯合葉書ヲ發行ス
- 七月 著信電報ハ凡テ炭酸紙ヲ以テ謄寫スルコトトス
- 十二月 在本邦英國郵便局ヲ撤去セシメ同時ニ英領香港郵政廳ト小包交換條約ヲ締結シ翌年一月ヨリ實施ス
- 同 工部省製機掛ニ於テ始メテ「モールス」印字機十臺ヲ製出ス

明治十三年

- 三月 在本邦佛國郵便局ヲ撤去セシム茲ニ於テ本邦郵便事業ハ舉ゲテ我カ統管ニ歸ス
- 同 地震報知方法ヲ設ケ横濱、東京近傍十四局ニ達示シテ之ニ依ラシム
- 五月 朝鮮元山津ニ本邦郵便局ヲ開設ス
- 十月 海外ニ發スル電報文中ニ邦語ヲ用フルコトヲ認ム

明治十四年

- 四月 農商務省ヲ置カレ驛遞局ハ其ノ所管ニ屬ス
- 七月 郵便支局ノ制ヲ設ケ(十六年五月廢ス)
- 八月 清國芝罘、鎮江等八ヶ所ニ設置セル本邦郵便受取所ハ收支償ハス且取扱人其人ヲ得難キニ依リ悉ク之ヲ閉鎖ス
- 同 地方人民ヨリ興業費及局舎等ヲ獻納シ電信置局ヲ請願スルトキハ必要ト認ムルモノハ之ヲ許可ス

明治十五年

- 六月 電信取扱規則ヲ改正シ、島嶼配達ノ制ヲ加ヘ、内國至急官報料金ヲ通常信ノ二倍トシ閉局時限後ト雖モ之ヲ取扱

ヲナサシメ其ノ他諸般ノ事項ヲ改正ス

- 十月 海底線保護萬國會議ニ我在佛公使館員ヲ參列セシム
- 十一月 郵便條例ヲ制定シ從來ノ諸法規ヲ統一改正シテ郵便物ヲ第一種乃至第四種ニ分チ郵便料額ヲ全國均一トス

明治十六年

- 一月 五錢郵便切手ヲ發行ス
- 三月 朝鮮ト日朝間海底線布設ニ關スル條約ヲ締結ス
- 同 驛遞區編制法ヲ定メ全國ヲ割シテ驛遞區トシ、驛遞區ヲ割シテ郵便區トス而シテ每驛遞區ニ一驛遞出張局ヲ設ケ、每郵便區ニ郵便局ヲ置キ驛遞出張局ヲシテ其ノ驛遞區内ノ郵便局ヲ管理シ、郵便局ヲシテ其ノ郵便區内ノ郵便受取所及切手賣下所ヲ管理セシム
- 十月 海底線保護萬國聯合會議ニ再ヒ在佛公使館員ヲ參列セシム
- 十一月 大阪梅田電信分局ヲ西部電信中央局トシ大阪以西各分局ニ發着スル音信ノ繼送ヲ掌ラシム

明治十七年

- 六月 郵便徽章ヲ定ム
- 十二月 電信被開手續ヲ設ケ犯罪事件檢査上ノ必要ニ應ジシム

明治十八年

- 一月 二錢内國郵便往復葉書及六錢萬國郵便聯合往復葉書ヲ發行ス
- 三月 葡國里斯本府ニ開催ノ萬國郵便聯合會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決議ニ依ル追加條約ニ同盟シ翌年四月ヨリ實施ス
- 五月 電信條例ヲ改正シ電信取扱規則ヲ改定ス、其要旨ハ專掌ノ趣旨ヲ明ニシ、料金ヲ均一ニシ、住所氏名料ヲ廢シ、受取證書ヲ差出スノ方法ヲ設ケ、連名電報ヲ同文電報トシ、受信電報ノ稱ヲ定メ、尋問改正手續ヲ明ニシ、閱覽正寫ノ方法ヲ創メ、電信切手ヲ發行シタルコト等トス
- 七月 電信機施設法ヲ定メ電信建築ニ關スル方法ヲ明ニス
- 八月 伯林ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十二月 逓信省創設セラレ驛遞局ハ農商務省ヨリ、電信局ハ工部省ヨリ移ルニ及ヒ郵便電信事務ハ逓信省ノ所管トナル

明治十九年

- 二月 逓信省官制ヲ公布シ六局ヲ置キ驛遞、電信二局其ノ内ニ含マル
- 同 郵便條例ヲ改正シ流動或ハ腐敗シ易キ物品等ノ郵送ノ禁ヲ寬ニス
- 三月 地方逓信官署官制ヲ公布シ郵便電信事業管理ノ爲須要ノ地下記十三ヶ所ニ逓信管理局ヲ置キ又地方郵便電信ノ事務ヲ掌理スル爲郵便局及電信分局ヲ置キ逓信管理局ノ管理ニ屬セシメ、郵便局及電信分局ヲ各一等、二等、三等トス
- 東京、大阪、岡山、赤間關、仙臺、金澤、名古屋、熊本、松江、函館、福島、丸龜、新潟
- 五月 海底線保護萬國聯合會議ニ三度在佛公使館員ヲ參列セシム
- 八月 電信建築官官制ヲ公布シ電機ノ施設及修築ノ工事を處理スル爲逓信管理區ヲ分チ電信局長ノ管理ニ屬セシム

明治二十年

- 三月 官制改正ノ結果驛遞、電信ノ二局ヲ廢シ内信、外信、工務、爲替貯金ノ四局ヲ設ケ内國郵便、内國電信ノ事務ハ内信局、外國郵便、外國電信、外國爲替ノ事務ハ外信局、電信工事ニ關スル事務ハ工務局ニ於テ分掌ス
- 同 郵便電信業務ノ聯帶セル郵便ハ之ヲ免稅トシ電報ハ局報トス
- 六月 電信建築官官制ヲ廢止ス

十月 英國ト書狀郵便ヲ以テ交換スル商品見本ノ重量及積量ノ制限ニ關スル約定ヲ締結シ翌年六月ヨリ實施ス

明治二十一年

三月 二十五錢及一圓郵便切手ヲ發行ス

四月 三等郵便局長採用規則ヲ定ム

五月 新ニ改道尾電報ノ方法ヲ設ク

十二月 電話通信手續ヲ設ケ翌年一月ヨリ試験ヲ兼ネ東京熱海兩電信局間ニ於テ電話通信ヲ開ク

明治二十二年

一月 電話取扱心得ヲ設ケ東京熱海間ノ電話ニ使用セシム

三月 電信電話線私設條規ヲ定メ、出願ノ手續、工事起竣ノ報告、公私兩線ノ關係等ヲ規定ス

四月 地方部局ニ調示シテ通信秘密ノ保護ヲ嚴ニシ公衆ニ接スルニ親切丁寧ヲ以テシ又取扱上不都合アル場合何人ニテモ本省ニ申告セシムルノ途ヲ開ク

七月 地方遞信官署官制ヲ廢シ郵便及電信局官制ヲ公布シ遞信管理局ヲ廢シ郵便電信局、郵便局、電信局ヲ各一等、二等、三等トシ、一等局ハ各指定区域内各局業務ノ監督ヲ兼スルコトトシ九月一日ヨリ施行ス

八月 郵便條例ヲ改正シ第三種ニ屬スル定時印刷物ノ郵便ヲ半減シ、第四種ニ屬スル書籍、圖書、見本、雛形等ノ重量ヲ増加シ且農産物種子ヲ第四種ニ編入シ各其ノ郵便ノ割合ヲ輕減ス

十一月 電報受付時限ヲ改定シ三月——十月ハ午前六時ヨリ午後十時迄トス
十一月——二月ハ午前七時

十二月 電信切手ノ使用ヲ翌年二月限リ禁止スルコトトス

明治二十三年

三月 本省各局、郵便及電信局並爲替貯金局、出納所ニ於テ相互ニ往復スル公務ノ内地郵便及電信ノ郵便事務又ハ局報トシテ取扱ハシム

四月 電話交換規則ヲ定メ電話通信ノ手續順序ヨリ電話器使用料金及其ノ方法等ヲ明ニシ電話交換加入ノ申込ヲ爲サシム

五月 巴里開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム

六月 遞信省官制ヲ改正シ内信、外信、工務ノ三局ヲ廢シテ郵務、電務ノ二局ヲ置キ郵便ニ關スル事務ハ郵務局、電信ニ關スル事務ハ電務局ニテ掌ル

八月 電信電話建築條例ヲ制定シ電信電話ノ建築ニ就キ民有土地營造物供用等ノ場合損害賠償及補償評定等ノ事ヲ規定ス

同 電報局渡規則ヲ定メ局渡證票ヲ交付シ電信局所ニ就キ電報ヲ受取ラシムル事トシ十月ヨリ施行ス

九月 英領加奈陀ト小包郵便交換條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス

十二月 東京横濱兩市ニ電話交換ヲ開始ス

明治二十四年

四月 埃國維也納ニ於ケル萬國郵便會議ニ本邦委員ヲ派遣シ其ノ決議事項ヲ翌年七月ヨリ實施ス

同 大北電信會社ヨリ肥前呼子、對島嚴原間ノ海底線ヲ買収シ之ニ關聯シテ豊岐、對島ニ發著スル電報料ヲ内地ト同一ニシ釜山迄ノ電報料ヲ低減ス

六月 訴訟書類特別送達ノ手續ヲ定ム

七月 遞信省官制ヲ改正シ電務局ニ於テハ電信ノ外電話及電氣事業監督ニ關スル事項ヲ掌ル

同 電信建築官制ヲ公布シ東京外五ヶ所ニ電信建築署ヲ設ク

同 電話交換局官制ヲ公布シ電話交換ノ業務ヲ執行ス

七月 萬國電信條例ニ附隨シ各國適宜ニ規定スルヲ得ル事項ニ關シ本邦ニ於テ施行スヘキ規定ヲ公示ス、本文ナキ電報ヲ認メ、句讀點ノ類ヲ傳送セザルコト、無絨配達ヲ認メザルコト、至急私報及返信料前納ニ關スル規則ノ全部ヲ施行スルコト等ヲ主ナルモノトス

明治二十五年

二月 第三種郵便物認可規則ヲ定ム

三月 配達證明郵便ノ制ヲ設ク

五月 三錢郵便切手ヲ發行ス

六月 小包郵便法ヲ公布シ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ種類ヲ通常及價格登記ノ二種トシ、郵便料ハ遞送距離ト重量トニ依リテ區別シ、郵便區ノ市外ニ配達スルモノハ別ニ料金ヲ加徴スルコト等ナリ

十月 特別氣象電報ノ制ヲ設ク

明治二十六年

三月 大阪神戸ニ電話交換ヲ開始ス

六月 本邦發萬國郵便聯合外諸國宛郵便物ノ稅率ヲ改定シテ凡テ同一稅額トス

十月 官制ヲ改正シ郵務、電務ノ二局ヲ合セテ通信局トス

同 郵便及電信局官制ヲ改正シ郵便及電信局ヲ分チテ一等郵便電信局、二等郵便電信局、二等郵便局、二等電信局、三等郵便電信局及三等郵便局トシ、一等郵便電信局ハ管内各局ノ監督ヲ兼スルコトトシ次ノ各地ニ之ヲ置ク

東京、大阪、京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、多度津、鹿兒島

同 電話交換局ニ支局ヲ設置シ得ルコトトス

同 第三種及第四種郵便物自體及上封ニ筆書シ得ル事項ヲ定ム

明治二十七年

六月 軍事郵便ニ關スル規定ヲ設ケ戰時若ハ時變ニ際シ軍隊、軍艦、軍衙、其ノ他軍人軍屬ヨリ發スル郵便物ハ軍事郵便物トシテ無料トシ是等ニ對シテ宛テタルモノハ完納稅郵便物ニ限ルコトトス

九月 特別警報氣象電報ノ制ヲ設ク

十二月 獨逸ト小包郵便交換約定ノ件ヲ公布シ翌年一月ヨリ實施ス

明治二十八年

三月 第五種郵便物ヲ設ケ第四種中農産物種子ヲ以テ之ニ充テ料率ヲ低減ス

十二月 臺灣、威海衛各野戰局ニ軍事郵便物ノ外平時完納稅郵便物ノ取扱ヲ開始ス

明治二十九年

四月 臺灣ニ郵便、電信、爲替貯金等ニ關スル規定ヲ施行ス

同 小包郵便料ヲ改正シ市外加徴料ヲ廢シ、容積制限ヲ擴メ、料金ノ基準タル里程階級ヲ減シ百里以上ハ均一率ヲ採用ス

六月 「ブタベスト」開催萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ翌年七月ヨリ施行ス

九月 代金引換小包ノ制ヲ設ク

同 英國ト締結セル小包郵便交換ニ關スル約定ヲ公布ス

十月 鹿兒島、那覇間固定軍用電信ヲ公衆電信用ニ供スルコトトス

同 在外郵便電信局、郵便局官制ヲ公布ス

明治三十年

- 五月 米國華盛頓ニ開催ノ萬國郵便會議ニ委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ明治三十二年一月ヨリ施行ノコトトス
- 六月 外國新聞電報規則ヲ制定シ料金ヲ低減ス
- 八月 官制ヲ改正シ通信局ヲ郵務、電務ノ二局ニ分ツ
- 同 郵便及電信局官制ヲ改正シ郵便及電信局ヲ分チテ一等郵便電信局、二等郵便電信局、二等郵便局、二等電信局、三等郵便電信局、三等郵便局、三等電信局トシ一等郵便電信局ハ管轄區内各局ノ監督ヲ兼スルモノトシ次ノ十八局ヲ置ク
東京、大阪、京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、多度津、鹿兒島
- 十月 諸國宛郵便稅率ヲ改正ス
- 十一月 在韓國本邦郵便局ト本邦トノ間及在韓本邦局相互間ノ郵便稅ハ內國郵便稅率ニ依ル旨ヲ明ニス
- 十二月 電話交換規則ヲ改正シ、加入期ヲ短縮シ、加入權讓渡ニ關スル事項ヲ規定シテ手續ヲ鄭重ニシ、急設ノモノハ讓渡ヲ禁シ加入登記料ヲ徵收シ、料金ヲ高メ別ニ電話依託電報規則ヲ制定ス

明治三十一年

- 二月 電話交換規則ヲ改正シ官廳ノミナラス公署其ノ他公益ニ關スルモノニ對シテハ特別架設ヲ認メ、使用料ヲ改正シ現金納付ヲ原則トスルコトニ改ム
- 三月 萬國郵便聯合四錢葉書及同八錢往復葉書ヲ發行ス
- 四月 電話加入申込讓渡ヲ許可スルコトトス
- 八月 佛國トノ價格表記小包郵便物交換條約ヲ公布ス
- 十月 官制ヲ改正シ郵務局、電務局ヲ廢シテ再ヒ通信局ヲ置ク

明治三十二年

- 一月 電話依託電報用語ノ制限ヲ廢シ、依託料額ヲ改正シ、電話交換規則中長距離電話ニ關スル事項ヲ追加ス
- 二月 郵便條例ヲ改正シ郵便物容積制限ヲ寬ニシ、第一種及第二種郵便物料金ヲ引上ケ、第一種ハ單位當重量ヲ増加シ、葉書ノ紙質ヲ改良シ四月一日ヨリ施行ス
- 三月 郵便切手ノ賣下ヲナス局所ニ於テハ收入印紙ノ賣下ヲモ爲スコトニ定メラル
- 同 加入登記料並市内外電話料金ヲ改正ス
- 同 內國電信料金ヲ引上ケテ一音信ノ字數ヲ増加シ、發信人氏名ヲ有料字數ニ算入スルコトトシ、市内電報同文電報、追尾電報等ノ料金ヲ改正シ、受信人連記ヲ禁シテ一名ニ限ルコトトシ四月一日ヨリ施行ス
- 五月 郵便博物館ヲ逕信省構内ニ置ク
- 同 一錢五厘葉書ヲ發行ス
- 同 固定軍用電信公衆通信取扱規則ヲ制定ス
- 十月 三錢往復葉書ヲ發行ス

明治三十三年

- 三月 郵便法、電信法及鐵道船舶郵便法ヲ發布シ、韓國發及韓國宛小包ノ規定ヲ設ク
- 八月 電話呼出規程ヲ制定シ加入者又ハ電話所ニ來ル者ヨリ電話所所在地ノ者ヲ呼出シ對話スルコトヲ得セシム
- 九月 郵便規則ヲ制定シ郵便法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ郵便禁制品ノ種類ヲ改正シ、價格表記トナスヘキ物件ノ種類ヲ限定シ、私製葉書ヲ認メ、業務用書類ヲ設ケ、通常郵便ニモ價格表記及代金引換ノ制ヲ認メ、現金取立ニ關スル規定ヲ設ケ、損害賠償ノ標準ヲ定メタルコト等トス

- 九月 鐵道船舶郵便規則ヲ制定シ鐵道船舶郵便法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、同法ハ鐵道及船舶運送業者ノ郵便物運送ニ關スル諸般ノ事項ヲ規定スル所アリ、本則ハ之ニ關聯シ是等ノ郵便物運送ノ爲ニスル設備、運送料金等ヲ定ム
- 同 外國郵便規則ヲ定メ十月一日ヨリ施行シ之ニ關聯シテ名宛變更及取戻ニ關スル事項代金引換交換局名、代金引換書留取立制限額等ヲ告示ス
- 同 郵便局所收入印紙賣下規則、郵便切手類賣下規則及第三種郵便物認可規則ヲ定メ十月一日ヨリ施行ス
- 同 電報規則ヲ制定シ電信法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ官報及局報ノ範圍ヲ改正シ、局報ノ發送ヲ制限シ、本文ナキ電報ヲ認メ、無絨配達ノ制ヲ設ケ、直配達區域ヲ擴張シ、在韓本邦局相互間ノ電報ハ內國電報ニ準セシムルコト等トス
- 同 私設電信規則、私設電信ニ依ル公衆通信取扱規則、官廳用電信電話規程ヲ制定シ略號登記料、配達先登記料、局渡料ノ金額及其ノ納付手續ヲ定メ及本邦ト韓國本邦局所間直發著電報取扱規則ヲ改正シ各十月一日ヨリ施行ス
- 同 自動電話ノ設備ニ伴ヒ其ノ通話料ノ差入方及通話方法制限ニ關スル事項ヲ定メ又官廳ニ對スル加入區域外加入ノ制ヲ設ク
- 十月 郵便法、電信法及鐵道船舶郵便法ヲ臺灣ニ施行ス
- 同 三錢封緘葉書、同往復葉書及一錢五厘郵便切手ヲ發行ス
- 同 電信法ハ一定ノ條項ヲ除キ無線電信ニ準用スルノ件ヲ定ム
- 十二月 年賀郵便ノ特別取扱ヲ開始ス

明治三十四年

- 一月 集合電報規則ヲ定メ在清本邦軍人軍屬ト本國親戚知巳トノ間ニ往復スル電報ニ便シ二月ヨリ施行ス
- 十二月 郵便物包裝規則ヲ定メ價格表記其ノ他郵便物ノ包裝ヲ完全ナラシムルコトヲ期シ、價格表記郵便物封皮及同封緘紙ヲ發行ス

明治三十五年

- 七月 特設電話加入規則ヲ制定シ加入區域外ニ在ル電話所所在地及其ノ附近ニ在ル者ハ通話ニ必要ナル一切ノ設備及維持費等ヲ負擔シ電話ニ加入シ得ルノ途ヲ開ク
- 九月 集合電報規則ヲ廢止シ、從來內地臺灣間ニ發著スル私報ハ至急報ニ限リタルヲ通常報ヲモ取扱フコトトシ料金ヲ定メ翌年一月ヨリ施行ス
- 十二月 華盛頓ニ於テ締結シタル價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便交換條約ニ加盟シタル結果外國通常郵便ハ相當表記金額ヲ保險シテ貴重品及有價證券等ヲ外國ニ郵送スルノ途ヲ開キ、小包條約ハ文明諸國(英國及其ノ殖民地ヲ除ク)ハ概ネ加盟セルヲ以テ其ノ送受スル小包郵便物ハ相當料金ニ依リ直接適當ノ線路ヲ選擇シ得ルコトトナレリ
- 同 小包郵便料金ノ遠近均一ノ制ヲ改メ同一郵便區内ニ發著スルモノハ量目ニ係ハラサ特ニ低料トシ、同時ニ日清韓三國相互間ニ發著スル小包料金ヲ改定シ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十六年

- 三月 逓信官署官制ヲ公布シ逓信官署ハ逓信管理局、郵便局、電信局、電話局及鐵道郵便局トシ郵便局ハ一等、二等、三等トシ郵便、爲替、貯金事務ノ外電信、電話事務ヲ、電信局ハ電信ノ外電話事務ヲ兼掌スルヲ得而シテ逓信管理局ハ東京及大阪ノ二局トシ一等郵便局ハ次ノ十六局トシテ管理事務ヲ兼掌ス
京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、高松、鹿兒島

- 而シテ上記通信官署官制公布ト共ニ郵便及電信局官制、在外郵便電信局、郵便局官制及電話交換局官制ハ之ヲ廢止ス
- 三月 新ニ特定三等郵便局ノ制ヲ設ク
- 同 町村ノ請願電信施設ノ件ヲ定メ創業費全部及維持費一部ヲ負擔シテ局所ヲ新設スルノ途ヲ開キ四月一日ヨリ施行ス
- 七月 日清郵便約定同小包郵便約定ヲ實施シ清國內何レノ地ヘ宛ツル通常郵便物モ内地ト同一料金ヲ以テスルノ便ヲ得又清國ヨリ發スル郵便物ヲ各國ヘ媒介運送シ且清國輸出入ノ小包郵便ニ對シ關稅ノ賦課ヲ受クルコトヲ承認ス
- 十一月 取扱時間外電報ノ制ヲ設ク
- 十二月 通信管理局ヲ廢シテ東京及大阪郵便局ニ改メ鐵道郵便局ヲ廢シ郵便爲替貯金管理所ヲ通信官署ニ加フ
- 同 私製葉書製式規則ヲ定ム

明治三十七年

- 二月 軍事郵便ノ取扱ヲ開始ス
- 三月 俘虜郵便ノ制ヲ設ク
- 七月 米國ト小包交換條約ヲ締結シ翌月一日ヨリ實施ス

明治三十八年

- 四月 郵便電信受取所及郵便受取所ヲ郵便局ニ改定シ從來官設ノモノハ二等局ニ、受負ノモノハ三等局トス
- 同 特設電話規則ヲ制定ス
- 六月 通信日附印規程ヲ定メ各種日附印ヲ統一シ其ノ製式ヲ改ム
- 七月 朝鮮通信事業ヲ帝國政府ニ引繼キ内地ト共通ノ通信制度ヲ布クニ至ル
- 十二月 鑛業特設電話ノ制ヲ設ク

明治三十九年

- 四月 羅馬開催萬國郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ翌年十月ヨリ實施ス
- 五月 樺太ト本邦各地間ニ公衆通信ヲ開ク
- 六月 電話規則ヲ制定シテ電話料金を低減シ、至急通話ノ制ヲ設ケ、新ニ共同線加入及連接加入ノ方法ヲ設ケ申込ノ不正變更ヲ禁ス
- 七月 郵便葉書表面ノ輪廓及注意文ヲ除去ス
- 八月 東京「グワム」島間ニ、翌月佐世保大連間ニ何レモ海底線通信ヲ開始ス
- 同 關東都府府内ニ於ケル郵便、電信及電話ノ業務ニ關シテハ内地各通信法規ノ規定ヲ準用スルコトトス
- 十月 柏林開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 年賀郵便規則ヲ制定シ十二月十五日ヨリ二十九日迄年賀郵便トシテ差出シタルモノノ特別取扱方ヲ定ム
- 十二月 新聞電報規則ヲ制定シ新聞掲載ノ爲ニスル電報料金を半減ス

明治四十年

- 二月 請願電信規則ヲ改定シテ維持費ノ免除及輕減ノ途ヲ開ク
- 三月 郵便法及郵便規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ命令ヲ以テ郵便料ヲ低減シ得ルコトトシ小包郵便物ノ重量制限ヲ寬ニシ、無封書狀ノ料金を特定シ、繪葉書ノ下部ニ通信文記載ヲ認メ、小包ニ普通取扱ノ方法ヲ設ケ、代金引換及現金取立制限金額ヲ高メ、廣告郵便ノ制ヲ設ケ、無料郵便ハ一般ニ通信事務ト表記スルモノトシタルコト等ニシテ四月一日ヨリ實施セリ

- 四月 郵便法其ノ他通信法規ヲ樺太ニ施行ス
- 五月 内國郵便用及外國郵便用切手帖ヲ發行ス
- 同 印刷シタル無封書狀及第三種以外ノ定時刊行物ヲ約束郵便トナシ得ルコトトシ低料郵送ノ途ヲ開キ、新聞電報豫約及料金後納ノ方法ヲ設ク
- 六月 電話開通用物件ヲ無償ニテ提供スル場合ニ於テハ優先開通ノ途ヲ開ク
- 八月 豫約新聞電話規則ヲ制定施行ス
- 九月 船舶通報規則ヲ定メ通過報及信號報ノ取扱ヲ開始ス
- 同 地方廳ニ於テ警察用電話ヲ無償ニテ引渡シタル場合ニ於テハ該線ニ依ル電話料ニ限リ半減スルコトトス
- 十月 國際返信切手券ヲ發行ス

明治四十一年

- 二月 五圓及拾圓郵便切手ヲ發行ス
- 同 引受時刻證明郵便ノ制ヲ設ケ四月一日ヨリ施行ス
- 四月 無線電報規則ヲ定メ五月一日ヨリ施行ス
- 同 豫約新聞電話規則ヲ改正シ長距離ニ限リタル制限ヲ撤シ利用範圍ヲ擴ム
- 五月 里斯本開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 同 電話規則ヲ改正シテ寄附金受理ノ途ヲ開キ物件受理ニ代フ
- 八月 豫約新聞電報規則ヲ制定シ在來個々ニ申請者ニ命令シタルヲ一律ニ取扱フコトトス
- 九月 郵便切手類記號規則ヲ制定シ切手類多數使用者ノ保管出納ニ便ス
- 同 特設電話規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ加入區域ヲ制定シ、加入申請ヲ一等局長ニ於テ認可シ、加入設備ヲ通信官署ノ名ニ於テナスコト等ナリ
- 十月 通信官署ト海軍艦船間ノ無線電信ニ依リ發受スル電報ニ無線電報規則ヲ準用ス
- 十一月 郵便函製式ヲ改正シ鐵製朱塗トス
- 十二月 鑛業特設電話規則ヲ改正シ一定ノ場合私設電信電話ヲ施設シ得ルコトトス

明治四十二年

- 三月 氣象通知電報規則ヲ制定シ公衆ノ請求ニ基キ中央氣象臺又ハ測候所ニ於テ公示スル事項ヲ電信局所ニ於テ取扱フコトトス
- 五月 地方廳引繼電話ノ通話料減額ヲ他ノ電話線ニ依リ連絡スル通話區域ノ通話ニモ及ホシ優先接續等ノ特例ヲ開ク
- 同 電話至急開通規則ヲ制定シ特ニ指定スル土地(六大都市ヲ指定ス)ニ於テ一定ノ料金を納ムルトキハ加入申込登記順番ニ係ハラズ年度内ニ開通ヲナスコトトス
- 六月 新聞電報ヲ内地、臺灣、樺太相互間ニ及ホスコトトス
- 七月 通信官署官制中郵便爲替貯金管理所ヲ削ラレタル結果從來通信局ノ管掌シタル内外郵便爲替、郵便貯金及附帶業務ノ規畫、監督事務ヲ貯金局ニ移ス
- 十月 繪葉書ハ紙質ニ限リタルヲ改メテ寫眞又ハ織物、木、羽類ノ貼附ヲ認メ其ノ重量及製作上ノ標準ヲ明示ス
- 十一月 特許審判書類特別取扱ノ制ヲ設ク
- 同 市内特別郵便ノ制ヲ定メ同一郵便區内ニ多數發信スルモノノ爲ニ特ニ低料取扱ヲ爲スコトトス
- 十二月 東京神田兩局間ニ氣送管ニ依ル電報送受ヲ開始ス

明治四十三年

- 一月 通貨以外ノ貴重品ヲ書留郵便物トシテ差出シ得ルコトトス

- 三月 逓信管理局官制ヲ設ケ逓信管理局ヲ東京、大阪、横濱、神戸、長崎、札幌、長野、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、金澤ニ置キ監督及現業事務ヲ掌リ又通信官署官制ヲ改正シ通信官署ヲ郵便局、電信局及電話局トシ郵便局ヲ分テ一等、二等、三等トシ電信局及電話局ヲ分テ一等、二等トス
- 同 郵便切手其ノ他證券印章類取締方ヲ規定シ切手類偽造、變造、通信日附印類似ノモノ、逓信省徽章ノ濫用等ヲ取締ルコトトス
- 四月 清韓郵便規則ヲ制定施行ス
- 五月 航行中ノ船舶無線電信局及艦船ト中央氣象臺間ニ氣象報ノ交換ヲ開始ス
- 同 電話規則ヲ改正シ長距離電話料ヲ低減シ夜間通話ノ制ヲ設ク
- 九月 同報電信ヲ創始シ東京局及東京株式取引所間ニ施設ス
- 十月 郵便法其ノ他各通信法規ヲ朝鮮ニ施行ス
- 十一月 内容證明郵便ノ取扱ヲ開始ス
- 同 内地、朝鮮、樺太、滿洲相互間電報料ヲ低減シ、日清電報規則及日清無線電報規則ヲ制定施行ス

明治四十四年

- 二月 速達郵便ノ制ヲ設ケテ東京市内及東京横濱間ニ施行シ、四月大阪市内及大阪、神戸、京都相互間ニ施行ス
- 十月 現金取立郵便ヲ集金郵便ト改稱シ、取立證券ノ種類ヲ増加シ、料金ヲ改正シ尙集金郵便振替貯金拂込規則ヲ設ケ取立金ヲ振替貯金口座ニ拂込ミ得ルコトトス
- 十二月 内國郵便用切手帖ヲ改メ三錢、一錢五厘各別冊トシ價格ヲ切手料金ト同シクス

明治四十五年

大正元年

- 四月 官公署ヨリ發スル無封書狀ニシテ特ニ多數ナルモノハ約束郵便トシテ低料郵送ノ方法ヲ設ク
- 同 市内専用電話規則ヲ施行シ政府ノ施設スル電話線ヲ個人ニ専用セシムルノ方法ヲ設ク
- 五月 乗客宛電報及停車場揭示電報ノ特別取扱ヲ開始ス
- 六月 帝國艦船ト米國觀測所トノ間ニ氣象電報ヲ交換スルコトトス
- 同 倫敦開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 水底線不通等ニ因ル場合陸上相互間無線電信ノ媒介ニ依リ無線電報トシテ取扱ノ方法ヲ設ク

大正二年

- 二月 電話規則ヲ改正シ電話番號簿及機械移轉ニ關スル事項並制裁規定等ヲ改ム
- 六月 地方逓信官署官制ヲ公布シ逓信管理局官制及通信官署官制ヲ廢止シ、地方逓信官署ヲ逓信局、郵便局、電信局及電話局トシ、逓信局ヲ次ノ五ヶ所ニ置ク而シテ郵便局以下ノ等級及其ノ所掌事務ハ従前ノ例ニ依ル東部(東京市)西部(大阪市)北部(仙臺市)九州(熊本市)北海道(札幌區)尙下記各地ニ分掌局ヲ置キ管理事務ヲ分掌セシム
長野、新潟(以上東部逓信局所管)名古屋、金澤、廣島(以上西部逓信局所管)
- 七月 銚子無線電信局ニ於テ中央氣象臺ト直接電線ト連絡ヲ圖リ自働的ニ中央標準時ヲ航行中ノ船舶ニ發信スルコトトス

大正三年

- 二月 官公署ニ對シ電話加入區域外加入ヲ認ム
- 五月 電信法規ヲ無線電話ニ準用スルコト、短期豫約新聞電話ノ方法ヲ設ク
- 八月 軍事郵便ノ取扱ヲ開始ス

- 十月 電話通話規則ヲ制定シ定時通話、通話取消料ノ方法ヲ設ケ、夜間通話ヲ非加入者ニ及ホシ、豫約取引所電話ノ制ヲ設ケ十二月ヨリ施行ス
- 十二月 書留郵便物ニ對シ代金引換ノ取扱ヲ行ハシ得ルコトトシ又其ノ引換代金ヲ直チニ差出人ノ振替貯金口座ニ拂込ミ得ルコトトス
- 同 集金郵便トシテ取扱フ證券ノ種類ヲ増加シ、委託料金ヲ加徴シ、委託用紙ノ私製ヲ認メ、取立期間ヲ短縮ス
- 同 交通不便ノ地ニ宛テタル年賀郵便ハ十二月五日ヨリ其ノ引受ヲ開始スルコトトス
- 同 銚子、富貴角及大連灣海岸局ヲシテ中央氣象臺ヨリ發スル暴風雨警報ヲ無線電信ヲ以テ英文ニヨリ發信スルコトトス

大正四年

- 一月 長崎上海間海底線工事完成ニ付本線ニ依リ日支間和文電報取扱ヲ開始ス
- 三月 配達日時指定電報ノ制ヲ設ク
- 同 代金引換郵便物居宅引換及取立金居宅拂ノ制度ヲ開始シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 六月 無線電信法ヲ制定シ十月ヨリ實施ス、其ノ要旨ハ陸上無線施設ハ最少限度ニ於テ之ヲ認メ、船舶内ニ於ケルモノハ可成便宜ヲ附與シ、私設無線電信ヲ公衆又ハ軍事ニ使用シ又ハ軍事等ノ必要ニ基キ私設設備制限ヲ撤廢スルコト、無線電信電話ニ使用スル爲政府ハ船舶ノ一部ヲ使用スルコト等トス尙之ニ關聯シテ諸規則ノ制定及改廢アリ
- 同 本邦ト露領勘察加間ニ無線電信ニ依ル通信ヲ開始ス
- 八月 豫約新聞電報ヲ臺灣及樺太ニ施行ス
- 十一月 御大禮ニ關シテ御舉行地タル京都及其ノ附近ニ於テ速達郵便、官報號外特別取扱、電報特別取扱、郵便局所ノ臨時増置、電信回線ノ臨時施設等諸般ノ措置ヲ爲セリ
- 十二月 請願通信施設ニ關スル件ヲ公布シ明治三十六年町村請願電信施設ノ件ヲ廢止セリ其ノ要旨ハ請願事項ヲ次ノ如クニ擴メ町村ノミナラス個人ノ請願ヲモ認メ維持費ヲ前納シタルコト等トス
無集配局新設、無線電信局新設、自働電話所新設、電信事務開始、無線電信事務開始、電報配達事務開始、電話通話事務開始、電話呼出事務開始
- 同 日支郵便規則ヲ改正シ小包郵便物ニシテ再輸出スルモノハ其ノ旨表示スルコトトシ及其ノ小包郵便料金ヲ改正シ翌年一月ヨリ施行ス

大正五年

- 二月 電話郵便規則ヲ制定シ加入者ヨリ非加入者ヘ又ハ非加入者相互間ノ通信ヲ媒介スルコトトシ三月ヨリ施行ス
- 三月 郵便法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ信書送達ノ營業禁止條項中法人代表者ニ關スル事項ヲ明定シ、無料郵便物ノ範圍ヲ改定シ、賠償及諸般制裁規定ヲ明ニシタルコト等トス
- 同 鐵道船舶郵便法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ運送方法、賃率、制裁規定ノ改正等トス
- 三月 電信法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ配達又ハ交付スルコトヲ得サル電報ハ電信官署ニ保管スルニ止ムルコト、無線電信ニ關スル通信ヲ無料トシ得ルコト及諸般制裁規定ニ關スル改正等トス
- 同 電話規則ヲ改正シ使用料階級五種ヲ六種トシ加入者數ヲ以テ其ノ區別ノ標準トシ四月ヨリ施行ス
- 四月 地方逓信官署官制ヲ改正シ電信局等級ヲ一等、二等、三等トス
- 五月 間送電報ノ制度ヲ施行シ夜間閑散時低料ヲ以テ一定ノ局ニテ之ヲ取扱フ開始ス
- 七月 帝國占領南洋「ヤツブ」島海軍電信所ニ公衆通信ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 青島守備軍管内ト帝國電信系トノ間及守備軍管内相互間ニ發著スル電報ハ日支電報規則又ハ同無線電報規則ニ

依ルコトトス

大正六年

- 三月 無線電信=依ル海軍艦船發着電報ノ託送取扱ヲ定メ四月ヨリ施行ス
- 四月 配達日時指定電報ノ取扱範圍ヲ擴張ス
- 同 電話=依ル火災報知制度ヲ新設シテ東京市内ニ施行ス
- 五月 盲人用點字ノ無封書狀及印刷物ニ對シ料金ノ割合ヲ低減ス
- 十月 特設電話規則ヲ改正シ十一月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ同一邸宅内ニ限り施設シタルモノヲ交換線ニ接続シ得ルコト、維持料ヲ線路町程ニ依ルコトニ改メタルコト、不用ニ歸シタル線路ヲ豫備トシテ存置スルコト等トス

大正七年

- 三月 郵便規則ヲ改正シ四月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ通貨ノ價格表記ト爲サスシテ差出シタル者ニ對スル不足料金額ヲ定メ、無封書狀ノ約束郵便差出ノ條件ヲ變更シ、繪葉書表面通信文記載欄ヲ擴張シ、閉裏配達ノ方法ヲ認メタルコト等トス
- 四月 郵便受付時間ヲ改正シ比較的閑散ナル局ニ於テハ之ヲ短縮ス
- 同 帝國占領南洋諸島ニ無線電報ノ取扱ヲ開始ス
- 六月 内地、青島守備軍管内間ニ豫約無線電報取扱ヲ開始ス
- 同 電話規則及電話至急開通規則ヲ改正シテ申込取消及其ノ至急開通申請受理方法等ニ關スル事項ヲ改ム

大正八年

- 三月 警句入通信日附印ヲ主要局ニ於テ使用ス
- 四月 小包郵便料金ヲ改正シ及切手別納郵便ノ制ヲ設ク
- 同 電話規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ區域外加入ヲ一般ニ擴メ、増設電話施設ノ範圍ヲ擴張シ、私設電話取締ノ途ヲ設ケタルコト等トス
- 五月 地方逓信官署官制ヲ改正シ逓信局ヲ東京、名古屋、大阪、廣島、熊本、仙臺、札幌ノ七局トシ別ニ逓信大臣ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定メテ現業監察ノ事務ヲ掌ラシム
- 八月 參拾錢郵便切手ヲ發行ス
- 十月 約束郵便物及切手別納郵便物ヲ年賀郵便トシテ差出シ得ルコトトス

大正九年

- 三月 各種電話料金ヲ改正シ、東京、大阪等六大都市ニ度數制ヲ實施ス
- 四月 消防電話ノ制ヲ設ク
- 五月 各種電報料金ヲ改正シ八月ヨリ施行ス
- 六月 電話至急開通規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ至急開通申込ニ加入申込登記ヲ要セサルコト、至急開通受理方法ヲ變更シタルコト等トス
- 九月 馬德里開催萬國郵便會議、華盛頓開催國際通信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十月 私書函使用ニ關スル規定ヲ改正シ利用ニ便ス
- 十一月 官應用無線電信及無線電話規則ヲ制定ス

大正十年

- 四月 二十日通信事業創始五十年記念祝典ヲ東京ニ開催シ勤績者、優良三等局及功績者ヲ表彰シ、通信事業殉難者ノ追悼法要ヲ營ム
- 同 逓信講習所規則ヲ制定シ從事員ノ素質能率ノ向上ヲ圖ル

- 四月 無線電信法中ヲ改正シ航空機ニ施設スル無線電信及無線電話ニ關スル事項ヲ設ク
- 七月 始メテ通信官署從事員狀勢調査ヲ施行ス
- 同 封滅葉書様式ヲ改正ス
- 九月 分課規程中ヲ改正シ從來ノ外信課ヲ外國郵便、外國電信ノ二課トシ調査課ヲ設置ス
- 十二月 新ニ外國郵便規則、外國郵便爲替規則ヲ制定シ各種料金ヲ増額シ、特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ヲ制定シ何レモ翌年一月一日ヨリ施行ス
- 同 電信監督機ニ依ル監査規程ヲ設ケ通信能率ノ向上ヲ企圖ス
- 同 西班牙國馬德里ニ於テ萬國郵便條約、同價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便物交換條約ヲ締結シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年

- 一月 八錢萬國郵便聯合葉書及拾六錢萬國郵便聯合葉書ヲ發行ス
- 四月 電信現業檢定規程、郵便局監査規程ヲ制定ス
- 七月 南洋廳ニ於ケル郵便及電信ノ業務ニ關シテ内地各通信法規ノ規定ヲ準用スルコトトス
- 九月 陸軍勅員令電報取扱規程、海軍充員令電報取扱規程ヲ制定ス
- 十月 北滿洲方面軍事郵便物取扱ヲ廢止ス
- 同 海軍電報取扱規約ヲ定ム
- 十一月 内地朝鮮間豫約新聞電報ノ取扱ヲ開始ス
- 同 在支那國帝國郵便官署區内ニ於テ使用スル二錢葉書、四錢往復葉書及四錢封滅葉書ノ發行ヲ中止ス
- 十二月 野戰郵便局ニ關スル規定ヲ軍事郵便局ニ準用ノ件ヲ廢止ス
- 同 青島守備軍管内發着郵便物ノ取扱ヲ廢止ス
- 同 本年限りニ在支那本邦郵便局所ヲ廢止ス

大正十二年

- 一月 上海、芝罘ニ一等電信局ヲ設置ス
- 二月 約束郵便取扱承認規則ヲ制定シ、電話便規則ヲ廢止ス
- 同 殖民地宛代金引換郵便物ノ居宅引換ノ取扱ヲ廢止ス
- 三月 新ニ郵便切手類及收入印紙賣捌規則ヲ設ク
- 四月 大阪無線電信局ヲ設置ス
- 同 價格表記郵便物封皮一枚壹錢ヲ貳錢ニ改メ一日ヨリ實施ス
- 六月 電話至急開通規則ヲ新ニ制定ス
- 十月 郵便切手類及收入印紙買受代金延納規則ヲ制定シ大正十二年度末迄之ヲ施行ス
- 同 震災ニヨル應急用トシテ五厘、一錢五厘、二錢、三錢、四錢、五錢、八錢、十錢、二十錢ノ各種暫定郵便切手ヲ發行ス
- 十一月 年賀郵便物ノ特別取扱ヲ中止ス
- 同 震災ニヨル應急用トシテ通常葉書及往復葉書ヲ發行ス
- 同 臨時市内特設電話規則ヲ設ク
- 十二月 放送用私設無線電話規則ヲ制定ス

大正十三年

- 四月 放送無線電報規則ヲ制定ス

- 四月 市内電話通話一度ノ料金二錢ヲ三錢ニ改メ、市外電話一通話時分五分ヲ三分ニ改メ
- 七月 漁船私設無線電信通信従事者資格ヲ制定ス
- 八月 瑞典國「ストックホルム」ニ開催ノ第八回萬國郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 年賀郵便物ノ特別取扱ヲ再開ス
- 同 東京放送局ノ設立ヲ許可ス之レ本邦ニ於ケル放送無線局ノ嚆矢トス
- 同 行政整理ノ爲調査課ヲ廢止シ外國郵便課、外國電信課ヲ併合シテ外信課トナシ東京、大阪兩逋信局ノ都市課ヲ廢止ス

大正十四年

- 三月 書留郵便料金七錢ヲ十錢ニ改メ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 震災ニヨル應急用トシテ發行セル暫定郵便切手ヲ廢止ス
- 同 日本無線電信株式會社法ヲ公布ス
- 五月 逋信省官制ヲ改正シ逋信局ヲ廢シテ逋務、逋務、工務ノ三局ヲ置キ郵便及陸運ノ監督ニ關スル事務ハ逋務局、電信電話並日本無線電信株式會社ニ關スル事務ハ逋務局、電信電話ノ建設及保存ノ工事ニ關スル事務ハ工務局ニテ掌ル而シテ本改正ニ伴ヒ臨時電信電話建設局官制ハ之ヲ廢止セラル
- 同 通常葉書、往復葉書及封緘葉書ノ様式ヲ改正ス
- 同 電話特別開通規則ヲ制定ス
- 六月 西比利亞方面トノ軍事郵便物取扱ヲ廢止ス
- 八月 新聞電報認可規則ヲ制定ス
- 九月 十三錢郵便切手ヲ發行ス
- 同 「ストックホルム」締結ノ英國郵便條約、同價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便物交換條約ヲ公布ス
- 同 佛國巴里ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ共ノ決定事項ハ十一月一日ヨリ實施スルコトトス
- 十月 萬國郵便聯合往復葉書ノ様式ヲ改正ス
- 同 外國通常郵便料金ヲ引下ク
- 十一月 外國電報帝國電信系内分送規則ヲ廢止ス
- 十二月 萬國郵便聯合葉書及萬國聯合往復葉書ノ様式ヲ改正ス

大正十五年

昭和元年

- 一月 逋信部内従業員會規程ヲ制定ス
- 二月 選舉無料郵便規則、選舉無料郵便物特別取扱規程等ヲ制定ス
- 四月 岸壁又ハ棧橋ニ繫留スル船舶ト陸上トノ間ノ電話連絡制度ヲ制定施行ス
- 同 飛行郵便ヲ開始ス
- 九月 郵便取扱所規則ヲ制定ス
- 十月 外國電報規則ヲ改定シ翌十一月一日ヨリ施行ス
- 十二月 「クリスマス」及新年祝賀特別外國電報規則ヲ制定ス

昭和二年

- 一月 陸軍々用電報取扱規約ヲ改定ス
- 二月 市内専用電話規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ法人ニ非サル團體ニ對シテモ同電話ノ使用ヲ認ムルコトトス
- 三月 放送用私設無線電話規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ全國礦石化ノ實現ヲ圖ル爲メ從來ノ最大電力制限「キロワ

ット」ヲ「キロワット」ニ擴大スルヲ要シ又放送電波長ニ付テモ其ノ制限ヲ若干緩和スルヲ必要トス其ノ他聽取特許料徵收事務ノ簡捷ヲ期スル爲メ一部ヲ郵便切手ヲ以テ收納スル事トシ尙科學ノ進歩及放送業務ノ實況ニ應ジニ、三改正ヲ要スル廉アルニ因ル

- 五月 無線方位測定通信規則ヲ制定ス
- 同 私設無線電信規則及無線電報規則ヲ改正ス
- 六月 萬國郵便聯合加盟五十年紀念トシテ一錢五厘、三錢、六錢、十錢ノ各郵便切手ヲ發行ス
- 八月 磐城無線電信局ヲ廢止ス
- 九月 索道事業規則ヲ制定ス
- 同 蘭國海牙ニ開催ノ國際飛行郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十月 電報規則及同取扱規程中ヲ改正シ電報料金ノ切手別納制ヲ制定シ又同文電報及配達日時指定電報制中ヲ改正ス
- 十一月 「ワシントン」ニ開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 同 町村電話ト電話官署トヲ連絡スル電話ニ關スル件ヲ制定ス
- 同 市内専用電話規則中ヲ改正シ専用者ニ對スル料金ノ特定又ハ免除ヲ爲スヘキ場合ヲ規定シ昭和三年一月一日ヨリ施行ス
- 同 臨時市内特設電話規則ヲ廢止ス
- 同 無線電報規則及私設電信、私設無線電信公衆通信取扱規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ航行中ノ各艦船ニ對シ極東各重要港ニ於ケル傳染病情報ノ放送ヲ取扱フコトトス
- 十二月 特設電話規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ特設局漸次普及セルニ付加入區域ヲ異ニスル他局ニ加入申請ヲ爲シ得ルコトトス
- 同 條約第二號ニ依リ日本帝國逋信省及海峽植民地郵政廳間小包郵便約定ヲ修正スル追加條款ヲ公布ス

昭和三年

- 一月 通常郵便物市内特別取扱規則中ヲ改正ス
- 二月 豫約新聞電話規則中ヲ改正ス
- 三月 昭和三年度ヨリ「メートル」法實施ニ伴ヒ關係電信、電話諸規則中ヲ改正ス
- 同 私設無線電信規則中ヲ改正ス
- 同 陸軍動員令電報取扱規程中ヲ改正ス
- 同 放送用私設無線電話規則ヲ改正ス
- 五月 名古屋無線電信局ヲ設置ス
- 六月 電話特別開通規則中ヲ改正ス
- 七月 専用寫眞電信ニ關スル規則ヲ制定ス
- 八月 「ブラッセル」ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 九月 請願通信施設規則中ヲ改正ス
- 同 無線電話通話規則ヲ制定ス
- 同 私設電信、私設無線電信公衆通信取扱規則中ヲ改正ス
- 同 私設電信規則、私設電信規則料金額及其ノ納付手續及官應用電信電話規則中ヲ夫々改正シ公布ノ日ヨリ施行ス
- 十月 御大禮紀念トシテ一錢五厘、三錢、六錢、十錢ノ各郵便切手ヲ發行シ十一月十日ヨリ賣捌クコトトセリ
- 十一月 東京神戸間長距離電話「ケーブル」敷設工事完了シ本月ヨリ當該線路ニ依ル通話ヲ實施ス
- 同 電報取扱規程及外國電報取扱規程中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ印刷電信機ニ依ル通信上ノ實績漸次良好トナリ之カ

取扱ニ關スル規定ノ統一ヲ要スルト又「タイプライター」ニ依ル受信紙ハ中繼及著信共共用式紙ニ改刷スルコトトナリシ等ニ因ル

十一月 年賀特別郵便規則中ヲ改正ス

同 年末年首普通々常郵便物特別取扱規程ヲ制定シ公布ノ日ヨリ施行ス

十二月 無線電報規則及私設電信、私設無線電信公衆通信取扱規則中ヲ夫々改正シ昭和四年一月一日ヨリ施行ス

同 國際無線電信條約公布セラル

同 外國無線電報規則及同取扱規程中ヲ改正ス

同 私設無線電信規則及無線電報取扱規程中ヲ改正ス

昭和四年

三月 航空郵便規則及同取扱規程ヲ制定シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 速達郵便規則中及同取扱規程中ヲ改正ス

同 英國倫敦ニ於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議ニ本邦委員ヲ參列セシム

四月 法律第四十五號ヲ以テ無線電信法中改正法律公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ

同 名古屋無線電信局ヲシテ本邦ト歐羅巴各國トノ間ニ發着スル外國電報ノ取扱ヲ爲サシム

同 軍事郵便物直接交換局指定ニ關スル件(公達第五四五號)ヲ廢止ス

五月 支那方面ト帝國郵便系トノ間ニ發着スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件(昭和三年五月省令第三〇號)及濟南事件ニ對シテ軍事郵便取扱開始ノ件(告示第一二七五號)ヲ廢止ス

六月 外國航空郵便取扱規程ヲ制定シ二十一日ヨリ之ヲ施行ス

八月 郵便規則中ヲ改正シ十一月ヨリ之ヲ施行ス

同 九月一日ヨリ四錢、八錢等各郵便切手ノ刷色ヲ改正ス

九月 神宮式年遷宮記念トシテ一錢五厘、三錢ノ記念郵便切手ヲ發行シ十月二日ヨリ之ヲ賣捌ク

同 訴訟審判及審査書類郵便規則、同取扱規程ヲ制定公布シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス

十月 航空用郵便切手トシテ八錢五厘外三種ノ切手ヲ發行ス

十一月 條約第二號ニ依リ日本帝國遞信省及香港郵政廳間小包郵便約定ヲ修正スル追加條款公布セラル

同 明治四十年九月告示第五二二號日本帝國遞信省及香港郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定ノ施行細則ヲ修正スル追加條款ヲ公布十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

同 神戸郵便局ヲ神戸中央郵便局ト改稱ス

同 神戸中央電信局ヲ設置ス

十二月 電話規則中及特設電話規則中ヲ改正ス

同 無線電信法中改正法律施行期日ニ關スル勅令公布セラレ同改正法律ハ一月一日ヨリ之ヲ施行セラル

同 高周波電流ヲ使用スル通報信號施設ニ無線電信法準用ニ關スル件並無線電信法第二八條ノ三ニ依ル費用補償ニ關スル件ヲ制定シ、私設無線電信規則中、私設電信規則中、放送用私設無線電信規則中ヲ改正シ法律第四五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年

四月 電話規則中、特設電話規則中及電話通話規則中ヲ改正ス

五月 日滿郵便規則中ヲ改正ス

六月 萬國郵便聯合ニ關スル諸條約及關係規定等ヲ公布シ七月一日ヨリ施行ス

七月 通常往復葉書ノ様式並紙質及封緘葉書ノ紙質ヲ改正シ八月一日ヨリ之ヲ賣捌クコトトセリ

八月 寫真電報規則ヲ制定ス

同 日華通信問題交渉ニ關シ本邦委員ヲ參列セシム

九月 第二回國勢調査記念トシテ一錢五厘、三錢郵便切手ヲ發行ス

同 外國電報規則中ヲ改正ス

十月 航空郵便規則中及速達郵便規則中ヲ改正ス

同 明治神宮鎮座十年記念トシテ一錢五厘、三錢郵便切手ヲ發行ス

十二月 七錢郵便切手ヲ發行ス

昭和六年

三月 郵便法、鐵道船舶郵便法中改正法律公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ

四月 無線通信士資格檢定規則ヲ制定公布シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス同時ニ大正四年十月省令第四八號私設無線電信通信従事者資格檢定規則ハ之ヲ廢止ス

五月 電話番號簿廣告掲載規程ヲ制定公布シ十五日ヨリ之ヲ施行ス

同 昭和六年法律第四號(郵便法中改正)同第五號(鐵道船舶郵便法中改正)施行期日ニ關スル勅令公布セラレ同改正法律ハ八月一日ヨリ之ヲ施行セラル

六月 私設無線電信規則中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 船舶通報規則中、同取扱規程中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 電報取扱規程中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス

七月 名勝史蹟ニ因メル圖案ヲ挿入シタル通信日附印ヲ十日ヨリ使用ス

同 郵便規則中、通常郵便物市内特別取扱規則中、速達郵便規則中、航空郵便規則中、郵便切手類記號規則中、私設郵便函規則中、鐵道船舶郵便規則中、外國郵便規則中及日滿郵便規則中ヲ夫々改正シ何レモ八月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 郵便線路規程ヲ制定公布シ八月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 無線電報規則中ヲ改正シ八月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 郵便規則中改正(簡易生命保險及郵便年金事務ニ關スル無料郵便取扱ニ關スル改正)シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス

八月 福岡電話局ヲ設置ス

九月 電話番號簿廣告掲載規程中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス

十一月 電話規則中及特設電話規則中ヲ改正シ十月ヨリ之ヲ施行ス

同 滿洲方面事變ニ伴ヒ軍事郵便ノ取扱ヲ開始シ十三日ヨリ之ヲ施行ス

十二月 放送用私設無線電話規則中ヲ改正シ同七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年

二月 揚子江方面事變ニ伴ヒ軍事郵便ノ取扱ヲ開始シ十九日ヨリ之ヲ施行ス

三月 特設電話規則中ヲ改正シ三十一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ特設電話ヲ普通電話ニ變更スル場合加入者ノ豫告期間短縮ニ關スル改正ナリ

六月 私設無線電信規則中ヲ改正シ二十日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ船舶ニ無線電信ヲ施設セムトスルキノ出願事項ニ關スル改正ナリ

同 「マドリッド」ニ於ケル萬國電信會議及國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム

七月 通信手規程ヲ制定公布シ六月ヨリ之ヲ施行ス同時ニ大正六年十一月省令第四六號通信手銜規程ハ之ヲ廢止ス

- 七月 無線通信士資格検定期則中ヲ改正シ二十三日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ第一級資格銜階範圍擴張ニ關スル改正ナリ
- 八月 外國郵便規則中及同取扱規程中ヲ改正シ二十三日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ日ソ兩國間小包郵便約定實施ニ關スル改正ナリ
- 九月 電報規則中、同取扱規程中、日華電報規則中、新聞電報認可規則中、同規程中、無線電報規則中、同取扱規程中等ヲ夫々改正シ二十六日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 電話規則中及電話通話規則中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ特設電話及町村電話制度ノ廢止ニ伴フ改正ナリ
- 同 郵便規則中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ヲ東京市域擴張ニ伴フ速達郵便ノ郵便區維持ニ關スル改正ナリ
- 同 電報規則中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ役場專用電話廢止ニ伴フ改正ナリ
- 同 電話通話取扱規程及市内専用通話事務規程中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ特設及町村兩電話制度廢止ニ伴フ改正ナリ
- 十一月 外國無線電報規則及同取扱規程中ヲ改正シ十四日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ外國放送電報ノ受信業務取扱開始ニ伴フ改正ナリ
- 十一月 外國郵便規則中ヲ改正シ三日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ日滿連絡航空郵便取扱開始ニ伴フ改正ナリ
- 同 私設電信規則中、私設電信規則ニ依ル料金額及其ノ納付手續ノ件、官廳用電信電話規程等中ヲ夫々改正シ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス、其要旨ハ電氣工作物規程ノ改正ニ伴フ改正ナリ

昭和八年

- 一月 内鮮電話通話規則ヲ制定公布シ十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 私設無線電信規則中ヲ改正シ十七日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 通常葉書及往復葉書ノ様式ヲ改正シ二月十五日ヨリ之ヲ實捌クコトトセリ
- 二月 請願通信施設規則中ヲ改正シ十一月ヨリ之ヲ施行ス
- 三月 外國電報規則中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 四月 「オタワ」ニ於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 五月 電話規則中ヲ改正シ十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 六月 郵便規則中、速達郵便規則中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 七月 外國電報規則中及同取扱規程中ヲ改正シ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 日滿電報規則、同取扱規程、日滿無線電報規則、同取扱規程等ヲ制定公布シ九月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十二月 「クリスマス」及新年祝賀特別外國電報規則中ヲ改正シ十四日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 外國祝賀無線電報規則ヲ制定公布シ十四日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 外國郵便規則及日滿郵便規則中ヲ改正シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 外國電報規則、同取扱規程、外國無線電報規則、同取扱規程、私設無線電信無線電話規則、無線方位測定規則等ヲ制定公布シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 無線電報規則中同取扱規程中ヲ改正シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年

- 一月 寫真電報規則中ヲ改正シ二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 二月 通信手規程中ヲ改正シ八月ヨリ之ヲ施行ス

- 二月 無線通信士資格檢定期則中ヲ改正シ十日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 航空郵便料金ノ改正ニ伴ヒ九錢五厘郵便切手ヲ發行シ三月一日ヨリ之ヲ實捌クコトトセリ
- 三月 日滿電報規則中、同無線電報規則中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 法律第三九號ヲ以テ軍用電氣通信法公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
- 同 日滿郵便規則中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 四月 寫真電報規則中ヲ改正シ十二日ヨリ之ヲ施行ス
- 五月 日滿郵便規則中、同取扱規程中ヲ改正シ六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 「ブラグ」ニ開催セル第四回國際電信諮問委員會ニ本邦委員參列セシム
- 六月 外地電話通話規則ヲ制定公布シ二十日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 廣島電話局ヲ設置ス
- 同 日滿電話通話規則ヲ制定公布シ八月二日ヨリ之ヲ施行ス
- 九月 國際電話通話規則及同取扱規程ヲ制定公布シ二十七日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 「ブクベスト」ニ開催セル第十回國際電話諮問委員會ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 同 「リスボン」ニ開催セル第三回國際無線通信諮問委員會ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十月 大阪通信講習所姫路支所ハ十月末日限り廢止セラル
- 同 軍用電氣通信法施行期日ニ關スル勅令公布セラル本法ハ十月一日ヨリ之ヲ施行セラル
- 同 軍用電氣通信ヲ公衆通信ノ用ニ供スル勅令公布セラレ十一月一日ヨリ之ヲ施行セラル
- 同 軍用電氣公衆通信取扱規則ヲ制定シ十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十二月 外地電話通話規則中ヲ改正シ十二日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 電話規則中ヲ改正シ十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 日滿電報規則中及同無線電報規則中ヲ改正シ十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 私設無線電信無線電話規則中ヲ改正シ十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 「カイロ」締結萬國郵便條約其ノ他ノ約書並施行規則等ヲ公布シ十年一月一日ヨリ之ヲ施行セラル

昭和十年

- 一月 日滿電話通信規則中ヲ改正シ二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 三月 外國電報規則中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス其ノ要旨ハ外國電報料金ニ關スル改正ナリ
- 同 日滿電報規則中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 四月 外國電報規則中ヲ改正シ四月十五日ヨリ之ヲ施行ス其ノ要旨ハ復活祭祝賀電報ニ關スル件ナリ
- 五月 無線方位測定機及緊急自動受信機型式試驗規則ヲ制定公布シ二十二日ヨリ之ヲ施行ス
- 七月 外國郵便爲替規則中ヲ改正シ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 氣象通知電報規則中ヲ改正シ九月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 電話通話規則中ヲ改正シ九月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十月 外國郵便規則中ヲ改正シ十月八日ヨリ施行ス
- 同 航空郵便規則中ヲ改正シ十月八日ヨリ施行ス
- 同 日滿郵便規則中ヲ改正シ十月八日ヨリ施行ス
- 同 寫真電報規則中ヲ改正シ十月八日ヨリ施行ス
- 十一月 年賀電報規則中ヲ改正シ十一月四日ヨリ施行ス
- 同 郵便切手類及收入印紙實捌規則中ヲ改正シ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

- 十一月 郵便、電信及電話官署經費渡切規則施行細則中ヲ改正シ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 年賀郵便用特殊郵便切手ヲ發行シ十二月一日ヨリ之ヲ賣捌キス
- 同 外國電報規則中ヲ改正シ十二月十四日ヨリ之ヲ施行ス
- 十二月 日滿電報規則中ヲ改正シ十二月九日ヨリ之ヲ施行ス其ノ要旨ハ第十八條削除ニ關スル件ノリ
- 同 日滿無線電報規則中ヲ改正シ十二月九日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 「クリスマス」及新年祝賀國際電話通話規則ヲ制定シ十二月二十一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 國際放送電報規則ヲ制定シ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 外國無線電報規則中ヲ改正シ昭和十一年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 市内専用電話規則中ヲ改正シ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 電話通話規則中ヲ改正シ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一章 郵便電信及電話局所

Section 1. Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局所ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

A. 郵便局所開廢

1. 一等郵便局分室開廢 水戸、西宮、仙臺ノ各一等郵便局ニ保險分室、那覇一等郵便局飛行場内電話分室、神戸中央郵便局税關構内分室、鹿児島一等郵便局中央市場内分室、熊本一等郵便局貯金支局内分室、門司一等郵便局無線電信分室、名古屋一等郵便局依佐美送信所分室、同四日市受信所分室、鹿児島一等郵便局吉野送信所分室、同谷山受信所分室、那覇一等郵便局眞和志送信所分室、同首里受信所分室ヲ設置ス
2. 郵便局設置並等級改定 荏原二等郵便局、大阪築港無集配二等郵便局ヲ設置シ 神田、中野、神奈川、西宮、尾道ノ各二等郵便局及札幌無集配二等郵便局ヲ一等郵便局ニ 八戸、半田、倉敷、舞鶴、三條ノ特定三等郵便局及 濱寺、平塚普通三等郵便局ヲ二等郵便局ニ改定ス
3. 二等郵便局分室開廢 松澤二等郵便局保險分室ヲ設置シ大崎二等郵便局荏原分室ヲ廢止ス
4. 三等郵便局開廢 柏崎諏訪、北福岡驛前、高崎江木、名古屋八事、上文殊、大土呂川上、貝塚半田、志紀、此花秀野、下石津、北阿萬、松帆、湊、野崎、有功、華城、羽前泉、中村向町、磯鷄、門司原町、福田、道尾驛前、林温泉、木戸馬場、光岡、郡山清水臺、和歌山黒田、新田、品川山中、目黒田道、新多、下落合驛前、宇和島朝日町、佐倉驛前、圓山北一條、蒲田中通、横須賀長浦、八幡高砂町、淀橋區役所内、城東五橋、尾久驛前、帶廣大通十七、陶、佐世保熊野町、福島腰濱、荒川正庭通、久留米旭町、萩窪川南、大分驛前、龜山炭坑、桶岡北町、米津、三田、漆生、上津役、世田谷松陰神社前、澁谷代官山、吳宮原三、南砂町、富山驛前、木野、飯塚本町、八戸三日町、大曲驛前、松本今町、上石神井、豪徳寺驛前、江戸川遊井、佐野町驛前、和氣、蒲郡驛前、板橋大山、名古屋鍋屋上野、瀬戸刈田、坂出海岸通、瀧呂、上野農人町、板橋中村、鎌倉塔辻、福井手寄、松江雜賀、宇部岬通、世田谷下馬、足立西新井、串木野濱町、札幌南一條、川崎下新田、大森市野倉、神奈川菊名、上諏訪驛前、世田谷淡島、別所、八万、伊勢崎本町、足利旭町、八王子八日町、西都城驛前、名古屋大久手、牛隈、櫻山、桐生境野町、大宮宮町、札幌北九條、小倉富野、神戸若宮、高松五番町、花ヶ島、東市、瀬南、前橋片町、金澤小橋、安行、岩見澤一條、高知驛前、熱田須賀、岡崎中町、京都梅津、玉島通町、東淀川豊崎、一ノ宮下本町、藤驛前、札幌南十六條、中野野方町、京都西ノ京伯樂、京都出雲路橋、鶴見下末吉町、熊入、京都高野竹屋、京都西京極、浦和中丸、京都壬生坊城、西成松通、旭北清水、旭赤川一、大淵、大阪空堀通三、神戸西尻池、神戸大道、高潮驛前、宮古驛前、長崎片淵町、那覇若狹町、山形諏訪、鶴見榮町、函館松蔭、港市岡元町、京都紫音、大森山王、住吉神ノ木、葛蒲池、吳西畑、戸畑中原、徳萬歳、浪速新川、直江津古城、佐賀驛前、蘆屋驛前、仙臺三百人町、磯分内、名古屋天神山、大津南滋賀、清水、神戸篠原、月岡温泉、戸畑沖臺、博多堅柏、西淀川福、名古屋山口、名古屋野立、豊橋稻場、木田、吉川、永見池田、名古屋南押切、滑川吾妻ノ各無集配三等郵便局ヲ設置シ 芳谷、岩見澤東、大阪築港ノ各無集配三等郵便局ヲ廢止ス
5. 郵便取扱所設置並改定 神里、田舎館、志發、東兒玉、綾織、大津保、七日町、岩科、久世、北谷、草間、羽後山田、櫻、八幡、富本、田村、飯豊、戸澤、千屋、麥谷、陸奥大館、布部、陸前六郷、平良崎、多樂、香淀、小波瀬、白神、種芋原、北三原、橋原、實穀、上中山、豊田前、陸前階上、高梨、上更別、元加治、一松、港、東武藝、岩代大山、勝間田、美濃越原、千路、阿坂、中之島、小那比、福浦、濱吉田、今川、紫尾、中妻、長須、美和、福濱、高波、丹生川、三義、上條、元八王子、辰水、神指、劍熊、吉舎安田、富益、大山寺、大山、大草野、上川内、小手内、須賀、日勝、西、地名、陸、牛渡、下原、薩摩佐志、石狩追分、碧海野田、和間、二俣川、水野、魚尾、土市、珊瑚、森、染河内、長野、島上、美作小田、伊里中、阿寒湖、似峽、清水、竹永、豊榮、河内、澤野、上津江、入間、男衾、堤ヶ岡、西川端、南山崎、中小屋、上香々地、三和、浦上、水深、上川邊、大久保、手師學、室賀、牛道、京極、終原、麥生田、諸鈍、箱作、海邊、廣野、小針、初聲、禮受、尾岱沼、高須、深溝、春日、奈摩、大目、春日部、層雲峽、

妙義、上仁頃、立川渡、伊波、西阿木名、千代田、中村、井之川、十市、万原、西馬城、十勝野塚、水晶、瀧澤、渡嘉敷、瀬々串、昭和炭山、琵琶瀬、富岡、宇津、波介、荷稻、駒城、内小友、赤堀、川、荒砥、子吉、越後女川、服部、關平、館、日向、佐久間、大森田、梶、吉井荒瀬、八次、新津中新田、仁西、日吉、河城ノ各郵便取扱所ヲ設置シ森戸、陸中岩崎、牧野、兩神、美馬牛、西海、岩手西山、入遠野、白糸ノ各郵便取扱所ヲ集配三等郵便局ニ改定シ、川瀬、蒲生、田野、戸島、福山、郡家、比地大、可愛、七箇、福地、七栗、口上林、三宮、四郷、阿川、富岡、小田、陸中中野、黒木、椿市、上眞玉、西小林驛前、上井野、中之島、十弗、江部頃別、社臺、東土幌、宇津、生龜、丹庄、光政、一ノ橋、島松、保見、井田川、關、女良、兩開、洲原、正和、北鷹栖、東藤島、富合、鶴川原、豊住、禮文、高久、羽後上郷、上杉、招提、北野上、尾ヶ石、阿寒湖、島、南長沼、菅調津、沖水、八澤木、兩鹿瀬、蘆刈、鷹來、千秋、矢合、北浦驛前、牧之内、南薩大川、前之濱、平川、上妻、古谷、豊海、川根、大島、那岐、服間、中筋、畑屋、安中、猪苗代、伊勢國府、大郎代濱、千種、齋、東背振、高瀧、梅ヶ島、大井澤、上武華、布部、北多摩、上名寄、東草野、大原野、平田、名和、稻葉、越後森、天見、廣畑、嘉瀬、師木野、松倉、廣丘、三義、西春別、東粟倉、明治、井野、社、比良、戸田小濱驛前、上津、八雲、邊塚ノ各郵便取扱所ヲ無集配三等郵便局ニ改定シ、櫻木郵便取扱所ト櫻木電信電話取扱所ヲ合セ高濱郵便取扱所ト高濱電信電話取扱所ヲ合セ篠岡郵便取扱所ト篠岡電信電話取扱所ヲ合セ大淵郵便取扱所ト大淵電信電話取扱所トヲ合セ無集配三等郵便局ニ改定ス

B. 電信及電話局所開廢

1. 一等電信局開廢並分室設置 東京中央電信局檢見川送信所分室、同岩槻受信所分室、同船橋送信所分室、同原町送信所分室、同小山發信所分室、同福岡受信所、大阪中央電信局喜連送信所ヲ設置シ、東京、名古屋、大阪、鹿児島、那覇ノ各無線電信局ヲ廢止ス
2. 電信取扱所開廢 西唐津、厚床ノ各普通電信取扱所及サラ島、幌筵湖候所、名古屋港、加能別灣ノ各無線電信取扱所並ニ熱河丸、大榮丸、福勢丸、大隅丸、青葉山丸、モーガル、オレアム、マタラム、朝日山丸、サンタセシリア、スターオブラブランド、スターオブレアランド、天鹽丸、新興丸、明石丸、橘丸、乾坤丸、蛟龍丸、ウーナー、永保丸、建川丸、カイトケ、千光丸、ドグラ、ハイデアス、白山丸、屏東丸、關南丸、萬光丸、第三昭和丸、クイン、臺東丸、すみれ丸、東光丸、紀洋丸、千壽丸、彰化丸、乾隆丸、牟婁丸、さんらもん丸、大同丸、ちた丸、宮古丸、むらさき丸、龍興丸、にまき、カワチリ、衣笠丸、札幌丸、洛東丸ノ各船舶無線電信取扱所ヲ設置シ、田山、荒屋新町、金田一、小島谷、岩手川口、森岳、飯詰、横堀、手ノ子、觀不知、西山、浦瀬、川崎、鯉田、幸袋、油須原、竹中、山之口、竹松、松江、矢幅、丸岡、馬橋、銀水、鹽見、信智大山、小鷺灘、馬場、里庄、一宮、彦崎、八本松、安藝中野、長門一宮、厚東、宇部、大歳、阿知須、松前、申萩、横河原、杉津、三宅、王島、住吉、隼人、山本、古樋、大岸、柏、蓮田、錦多峰、白澤、紀ノ川、越後早川、三股、櫻島、胡麻、溝口、下瀧、仁豊野、厚岸、大崎、目黒、安足間、平岸、沼ノ上、瀬戸瀬、呼人、西和田、伏古、厚内、東市來、野花南、濱中、茶内、上利別、沼ノ端、黒岩、長流、虎杖濱、禮文、一ノ橋、銀山、隅田、高野口、畝傍、緒川、遠淺別、文挾、二島、湖北、稻尾、津田沼、武藏境、鷺宮、干潟、岩宿、張碓、中愛別、東相ノ内、上名寄ノ各普通電信取扱所及金鷄丸、坡土蘭丸、アンターテック、オレアム、マタラム、サンタセシリア、とよひめ丸、天鹽丸、白令丸、トグラ、カイトケ、ハイデアス、クイン、スターオブラブランド、ウーナー、東光丸、雲南丸、モーガルノ各船舶無線電信取扱所ヲ廢止ス
3. 電話局開廢 田園調布二等電話局ヲ設置ス
4. 電話所開廢 關溫泉、高久、日光、飯野、宮川、常盤、南櫻井、神金、大淵、禮文、干潟驛前、櫻木、比良、大和、的場、東相ノ内、中愛別、中野、阿寒湖、北長沼、北鷹巢、三和、佐多浦、鮎河、上木頭、篠岡、菅調津、下財部ノ各普通電話所及杉山、長倉、豊川炭礦、江田炭礦、春日、新田川、香春、永野、阿仁、住友東供知礦山、伊豫礦山、大島坑、眞岡、本宮尾、高江、白嶺礦山、札幌礦業ノ各礦業特設電話所ヲ設置シ戸島、一ノ橋、丹庄、高久、上杉、羽後上郷、尾ヶ石、阿寒湖、日東、的場、八代、南櫻井、吉田、老川、山田臺、干潟驛前、榛名、日野、美九里、岩宿、新屋、北橋、神金、日光湯元、川治溫泉、常盤、三和、宮川、大和、上妻、檜澤、中野、足柄堀ノ内、上内田、原田、櫻木、大淵、麻機、鯉、黒川、堺、中呂、下津具、比良、篠岡、高山、鮎河、川

中、崎ノ原、志染、中東、鬼籠野、鳴門公園、大山寺、日光、栗谷、淺原、飯野、瀬田、金剛、脇山、高木、古月、中谷、南畑、高濱、西浦上、中津良、今市、小富士、上緒方、長谷、天ヶ瀬、上香々地、薩摩黒木、永利、佐多浦、下財部、仲間、金華山、斗内、折久保、大畑、上閉伊金澤、永岡、平波、下有住、土井、内郷、關、上路、張碓、北長沼、中愛別、札比内、東相ノ内、上名寄、上木頭ノ各電話所及濱野、千代田ノ各礦業特設電話所ヲ廢止ス

5. 電信電話取扱所開廢 八代、日東、吉田、老川、日野、美九里、岩宿、新屋、北橋、神金、日光湯元、川治溫泉、常盤、檜澤、足柄堀ノ内、上内田、原田、大淵、黒川渡、堺、下津具、比良、高山、川中、崎ノ原、志染、鬼籠野、日光、栗谷、淺原、飯野、瀬田、金剛、脇山、高木、古月、中谷、南畑、高濱、西浦上、中津良、今市、小富士、上緒方、長谷、天ヶ瀬、薩摩黒木、永利、仲間、斗内、大畑、上閉伊金澤、永岡、平波澤、下有住、上井河、内郷、上路、關溫泉、的場、南櫻井、鮎河、櫻木、宮川、山田臺、榛名、大和、上妻、中野、鯉、赤目、中呂、篠岡、鳴門公園、大山寺、下財部、金華山、燒山、張碓、北長沼、中愛別、札比内、東相ノ内、上名寄、三和、干潟驛前、中東條、上香々地、佐多浦、上木頭、昭和炭山、小貝、川ノ各普通電信電話取扱所ヲ設置シ上名寄ヲ廢止ス

郵便電信 Number of Post, Telegraph

Table with columns for Post Office (First, Second, Third Class), Telegraph Office (First Class), and Grand Total. Rows represent fiscal years from 1927 to 1936.

備考 1. 〇印ハ在中華民國本省所轄局所 ※船舶局 □陸上無線電信取扱所 Note. The mark 〇 shows Japanese offices in Middle Republic ※ Post office on board ships □ Radio telegraph station on land

電話局所數 and Telephone Offices

Table with columns for Telegraph Office, Telephone Office, Station (Telegram), Station (Telephone), and Grand Total. Rows represent fiscal years from 1927 to 1936.

郵便電信及電話局所取扱事務別

Number of Post, Telegraph and Telephone Offices Classified by Services

昭和十年度末
March 31, 1936

種別	Description	郵便	電信	電話	
				交換	通話
郵便局	一等	93	88	69	100
	二等	225	206	120	207
	三等	10,225	6,903	4,894	7,269
	計	10,543	7,197	5,083	7,576
郵便取扱所 Station (Post)		710	-	-	-
電信局	一等	-	(△ 10 3)	1	4
	二等	-	42	-	(※ 8 6)
	計	-	(△ 52 3)	1	(※ 12 6)
電話局	本局	-	-	8	-
	分局	-	-	45	-
	二等	-	-	3	-
	計	-	-	56	-
電信取扱所 Station (Telegram)		-	1,621	-	-
電信電話取扱所 Station (Telegram & Telephone)		-	87	66	87
電話所 Station (Telephone)		-	-	-	-
總計 Grand Total		11,253	(△ 8,954 3)	5,206	(※ 7,675 6)

郵便電信及電話局所取扱事務別

Number of Post, Telegraph and Telephone Offices Classified by Services

(續)
(Continued)

種別	Description	郵便	電信	電話	
				交換	通話
昭和九年度末 March 31, 1935		10,891	(△ 8,218 3)	4,990	(※ 6,662 11)
八年度末 March 31, 1934		10,611	(△ 7,945 3)	4,739	(※ 6,400 12)
七年度末 March 31, 1933		10,322	(△ 7,816 3)	4,393	(※ 6,123 12)
六年度末 March 31, 1932		10,208	(△ 7,712 3)	3,308	(※ 5,873 12)
五年度末 March 31, 1931		9,954	(△ 7,634 3)	3,118	(※ 5,608 12)
四年度末 March 31, 1930		9,690	(△ 7,458 3)	2,967	(※ 5,305 12)
三年度末 March 31, 1929		9,393	(△ 7,283 3)	2,697	4,952
二年度末 March 31, 1928		9,114	(△ 7,145 3)	2,450	4,650
元年度末 March 31, 1927		8,916	(△ 7,012 3)	2,263	4,430
備考 △印ハ在中華民國本省所轄局所 Note. The mark △ shows Japanese offices in Middle Republic ※印ハ船舶局トス The mark ※ Post office on board ships. 括弧内ノ数字ハ内課ナリ The figures in the parenthesis are items					

郵便切手、收入印紙賣捌所、郵便函及郵便私書函

Postage and Revenue Stamp Sale Agencies and Post Boxes

種別 Description	郵便切手 賣捌所 Postage stamp sale agency	收入印紙 賣捌所 Revenue stamp sale agency	郵便 Post Box			私書函 Private Box	
			柱 Pillar Box	掛 Receptacle	合計 Total	設備数 Arranged	貨與数 Used
昭和十年度末 March 31, 1936	71,012 (※ 245 9)	454	27,977 (△ 166 224)	50,374 (※ 202 243)	78,351 (△ 467 202)	21,440	15,920
九年度末 March 31, 1935	70,195 (※ 245 7)	465	26,713 (△ 221 161)	50,756 (※ 204 227)	77,469 (△ 448 161 204)	20,054	14,667
八年度末 March 31, 1934	69,654 (※ 243)	474	25,837 (△ 200)	50,259 (※ 210 228)	76,096 (△ 210 428)	18,714	13,431
七年度末 March 31, 1933	69,091 (※ 244)	464	24,112 (△ 178)	51,299 (※ 220 205)	75,411 (△ 220 383)	17,532	12,295
六年度末 March 31, 1932	68,397 (※ 239)	485	23,359 (△ 187)	50,831 (※ 200 204)	74,190 (△ 200 391)	16,313	11,388
五年度末 March 31, 1931	67,935 (※ 238)	490	22,791 (△ 190)	50,922 (※ 199 202)	73,713 (△ 199 392)	15,204	10,561
四年度末 March 31, 1930	67,151 (※ 233)	562	22,347 (△ 132)	50,691 (※ 227 182)	73,046 (△ 227 314)	14,112	9,805
三年度末 March 31, 1929	66,525 (※ 224)	567	20,950 (△ 120)	50,481 (※ 229 190)	71,431 (△ 229 310)	13,288	9,046
二年度末 March 31, 1928	65,697 (△ 185 2)	572	19,860 (△ 99)	50,493 (※ 186 149)	70,353 (△ 186 248)	12,479	8,810
元年度末 March 31, 1927	65,217 (△ 181 2)	647	19,029 (△ 87)	50,617 (※ 195 177)	69,646 (△ 195 264)	11,781	8,087

備考 1. * 船内 △ 私設 ※ 列車 × 航空
 Note. * On board ships △ Private ※ In trains × In aircrafts
 2. 括弧内ノ数字ハ内課ナリ
 The figures in the Parenthesis are items

第二章 郵便電信及電話局職員

Section 2. Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局職員

Personnel at Post, Telegraph and Telephone Office

昭和十年度末
March 31, 1936

種別 Description	一等局 First Class	二等局 Second Class	三等局 Third Class			郵便取扱所 Station (Post)	電信電話 取扱所 Station (Telegram & Telephone)	總計 Grand Total	
			特 Special	定 Delivery	無集配 Non- Delivery				計 Total
奏任 Sonin Rank	164 (△ 3)	-	-	-	-	-	-	164 (△ 3)	
判任 Hannin Rank	男 Male	11,519 (△ 42)	5,574	56	5,142	5,020	10,218	27,311 (△ 42)	
	女 Female	1,423	202	-	-	-	-	1,625	
	計 Total	12,942 (△ 42)	5,776	56	5,142	5,020	10,218	28,936 (△ 42)	
通信手 Post office clerk	男 Male	-	-	290	5,375	622	6,287	6,287	
	女 Female	-	-	7	351	302	660	660	
	計 Total	-	-	297	5,726	924	6,947	6,947	
所長 Chief of Postal agency	-	-	-	-	-	706	78	784	
雇員 Employee (High class)	男 Male	10,562 (△ 13)	6,485	1,082	12,766	5,149	18,997	36,044 (△ 13)	
	女 Female	22,593	6,439	1,682	14,336	7,339	23,357	52,389	
	計 Total	33,155 (△ 13)	12,924	2,764	27,102	12,488	42,354	88,433 (△ 13)	
雇員 Employee (Low class)	男 Male	16,238 (△ 61)	13,913	1,594	33,780	1,626	37,000	67,151 (△ 61)	
	女 Female	722	320	41	-	-	41	1,083	
	計 Total	16,960 (△ 61)	14,233	1,635	33,780	1,626	37,041	68,234 (△ 61)	
總計 Grand Total	63,221 (△ 119)	32,933	4752	71,750	20,058	96,560	706	78	193,498 (△ 119)

郵便電信及電話局職員
Personnel at Post, Telegraph and Telephone Office

續
(Continued)

種別 Description	一、二等局 First & Second Class	三等局 Third Class				郵便取扱所 Station (Post)	電話所 Station (Telephone)	電信電話取扱所 Station (Telegram & Telephone)	總計 Grand Total
		特 Special	定 集 Delivery	無 集 配 Non. Delivery	計 Total				
昭和九年 年度 末 March 31, 1935	(△) 91,398 139	4,613	69,373	18,718	92,704	632	69	(△) 184,823 139	
八 年 度 末 March 31, 1934	(△) 88,616 135	4,423	67,448	17,927	89,798	589	44	(△) 179,047 135	
七 年 度 末 March 31, 1933	(△) 87,194 132	4,280	66,889	17,027	88,196	527	44	(△) 175,991 132	
六 年 度 末 March 31, 1932	(△) 81,723 123	3,948	65,172	16,501	85,621	575	43	(△) 167,962 123	
五 年 度 末 March 31, 1931	(△) 86,008 123	4,092	64,324	15,943	84,359	282	33	(△) 170,882 123	
四 年 度 末 March 31, 1930	(△) 86,643 121	4,218	62,704	15,227	82,149	449	32	(△) 169,273 121	
三 年 度 末 March 31, 1929	(△) 80,590 120	4,333	61,201	14,892	80,426	376	16	(△) 161,408 120	
二 年 度 末 March 31, 1928	(△) 77,754 126	4,337	58,926	14,179	77,442	243	1	(△) 155,440 126	
元 年 度 末 March 31, 1927	(△) 73,561 119	4,202	57,265	13,842	75,309	132	1	(△) 149,003 119	

備考 1. 表中△印ハ在中華民國本省所轄局員トス
Note. The mark shows officials etc. at Japanese Post offices in Middle Republic.
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

第三章 郵便業務ニ關スル施設

Section 3 Institutions for Postal Services

郵便業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

郵便切手類及收入印紙賣捌規則中改正 日滿郵便業務ニ關スル條約成立ノ結果萬國郵便聯合條約ニ依ル返信切手券ノ外更ニ日滿兩國間ニ限り使用スル返信切手券ヲモ發行スルコトナリタル爲之等兩返信切手券ノ總稱トシテ規程中國際「返信切手券」トアリタルヲ單ニ「返信切手券」トシ尙從來ノ電話所ガ電信電話取扱所ト改メラレタルニ付各關係規定ヲ改正シタリ(昭和十年十一月十三日省令第四一號、同十一年一月二十一日省令第五號、同日告示第一一四號)

無集配郵便局ノ取扱事務範圍擴張 無集配局ニ於ケル郵便事務ノ範圍ハ大正十二年行政整理ノ際縮少セラレ共ノ後之カ復活ヲ要望スル陳情ノ建議等多數アリテ從來ヨリノ懸案タリシガ三等局ニ對シ事業増進ニ依ル經費ノ増額アリタルヲ以テ糞ニ整理シタル事務中最モ普遍的ニ利用サルモノノ取扱ヲ次ノ如ク再開十一月一日ヨリ實施セリ(昭和十年十月十九日告示第二七一四號)

- 一、無集配二等郵便局
留置郵便物ノ交付代金引換ト爲シタルモノヲ除ク
- 二、無集配三等郵便局
1. 内容證明郵便物ノ引受
2. 集金郵便ノ引受
3. 留置郵便物ノ交付(代金引換ト爲シタルモノヲ除ク)

速達郵便取扱地域擴張 最近ニ於ケル交通機關ノ普及發達ハ各地近接都市間ノ往復ヲ益々頻繁ナラシメタルガ其ノ互地面ニ各種物品又ハ通信ヲ迅速送受セントスル一般ノ需要頓ニ盛ナルモノアリテ民間ニ所謂便利屋ト稱スル業者ノ頻出ハ之ヲ證スルニ剩アリト云フベク茲ヲ以テ之等近接都市ノ急激ナル進展ニ對應スル爲從來大都市及其ノ附近一、二ノ都市相互間ニ限ラレタル速達取扱地域ノ範圍ヲ擴張シ十一月一日ヨリ之ヲ實施セリ(昭和十年十月一日告示第二五二八號)

航空郵便ニ關スル規定改正

- 一、内地航空郵便線路開設 大阪白濱間及名古屋山田間ノ定期航空路開始ニ伴ヒ航空郵便線路ヲ開設前者ハ昭和十年四月一日後者ハ同月十五日ヨリ何レモ實施セリ(昭和十年三月三十日告示第八七六號同四月十三日告示第一〇一三號)
- 二、内地航空郵便線路改廢 東京清水間航空郵便線路ヲ改正シ六月十二日ヨリ實施セリ(昭和十年六月十二日告示第一五八八號)
- 三、内地臺灣間航空郵便線路開設 多年社會一般ノ要望タリシ内臺間ノ定期航空連絡ハ數次試行ノ結果昭和十年十月一日ヨリ開設アリタルニ伴ヒ同日附航空郵便ノ取扱ヲ開始シ各關係規定ノ改正ヲ行ヒタリ(昭和十年十月一日省令第三二號乃至第三四號同日告示第二五三〇號)

日滿兩國間郵便業務ニ關スル條約ノ實施 昭和九年八月以降滿洲國關東局及外務省其ノ他ノ關係各省ト銳意折衝ヲ遂ケ成案ヲ得タル「日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約」ハ法制局ノ下審査ヲ經タル上昭和十年十二月六日樞密院審查委員會、同十八日樞密院本會議ニ上程可決セラレ御裁可ヲ經テ同月二十六日滿洲國新京ニ於テ兩國政府代表者間ニ署名調印セラレタルヲ以テ右條約及關係業務協定ヲ公布スルト共ニ滿洲國郵政廳トノ間ニ之カ實施上必要ナル諸般ノ協定、打合等ヲ遂ケタル上昭和十一年一月二十六日ヨリ之ヲ實施シタルガニ伴ヒ外國郵便規則其ノ他ノ關係規定中相當改正

ヲ行ヒタリ(昭和十年十二月二十八日條約第一〇號、昭和十一年一月十一日告示第四三號同日省令第四號告示第九六號乃至第一〇一號、同二十一日告示第一一四及第一一六號)

「カイロ」締結萬國郵便條約及關係諸約定ニ對スル各國ノ批准又ハ加入ニ對スル措置 「カイロ」締結萬國郵便條約及關係諸約定ニ對スル「サウテイ、アラビア」國外三十餘國ノ批准又ハ加入ハ外交上ノ手續ニ依リ「エジプト」國政府又ハ瑞西聯邦政府ヨリ帝國政府ニ通知アリタルヲ以テ之ニ對シ外務省ト協議ノ上公布ノ手續ヲ執リタリ

中南米諸國向雜貨ノ輸出統制ニ伴フ該物品包有小包ノ取締 本邦内地ヨリ中米諸國(「メキシコ」國ヲ除ク)、西印度諸島及南米諸國(「チリ」國、「アルゼンティン」國、「ウルグアイ」國、「パラグアイ」國及「ブラジル」國ヲ除ク)ノ市場ニ輸出スル雜貨ハ日本雜貨中南米輸出組合聯合會ノ定ムル取締及制限ニ從フヲ要スルコトナリ昭和十年八月商工省告示第五八號ヲ以テ其ノ旨公示アリタルヲ以テ外國郵便取扱規程中ニ相當改正ヲ加ヘ小包郵便ニ依リ該物品ノ輸出ヲ取締ルコトトシタリ(昭和十年九月十八日公達第六五五號)

本邦重要輸出品取締 鉛筆箱、鉛筆心、自轉車用中空護膜「タイヤ」及「チューブ」ハ本邦重要輸出品トシテ政府ニ於テ其ノ輸出ヲ取締ルコトナリ昭和十年六月商工省令第三號ヲ以テ重要輸出品取締規則中改正アリタルニ付外國郵便取扱規程中相當改正ヲ加ヘ小包郵便ニ依リ此等物品ノ輸出ヲ取締ルコトトシタリ(昭和十年十月一日公達第六九九號)

中南米及蘭領東印度向絹織物、人造絹織物及絹人絹加工製品ノ輸出統制ニ伴フ該物品包有小包ノ取締 本邦内地ヨリ中米諸國(「メキシコ」ヲ除ク)、西印度諸島、南米諸國「チリ」、「アルゼンティン」、「パラグアイ」、「ウルグアイ」及「ブラジル」ヲ除ク)、蘭領東印度、葡領「チモール」及英領北「ボルネオ」ニ輸出スル絹織物、人造絹織物及絹人絹加工製品ハ日本絹人絹織物輸出組合聯合會ノ定ムル取締及制限ニ從フコトヲ要スル旨昭和十年十月商工省告示第八一號ヲ以テ公示アリタルニ付外國郵便取扱規程中相當改正ヲ加ヘ小包郵便ニ依リ該物品ノ輸出ヲ取締ルコトトシタリ(昭和十年十月三十日公達第九八五號)

「メキシコ」國經由「コスタ、リカ」共和國宛閉囊ノ小包郵便物ノ差立開始 「コスタ、リカ」共和國宛小包郵便物ハ從來英國經由ニテ送達シ居タルガ運送日數ヲ短縮スル共ニ重量制限五「キログラム」ヲ十「キログラム」ニ増昂スル爲關係郵政廳ニ交渉シ「メキシコ」經由閉囊ニテ之ヲ送達スルコトトシ關係規定ニ必要ナル改正ヲ加ヘタル上之ガ差立ヲ開始シタリ(昭和十一年三月二十二日告示第五四八號、同月二十四日公達第二一八號及第二一九號)

「ハイテイ」國宛閉囊小包郵便物ノ差立開始 「ハイテイ」國及「ドミニカ」共和國宛小包郵便物ハ佛蘭西經由ニテ又「キューバ」國及「ジャマイカ」國宛小包郵便物ハ英國經由ニシテ之ヲ送達シ居リタル處日本郵船株式會社中南米「ガルフ」線船便カ「ハイテイ」國「ポート、オー、プリンス」港ニ寄港スルコトナリタルニ付前記諸國宛郵便物ヲ右船便ニ依リ「ハイテイ」國經由差立ツルコトトセハ著シク速達ナルノミナラス「キューバ」及「ジャマイカ」國宛小包ニ付テハ重量制限ヲ十「キログラム」ニ増昂スルコトナルヲ以テ「ハイテイ」國郵政廳ト必要ナル協議ヲ遂ケ關係規定ヲ相當改正ノ上之カ差立ヲ開始シタリ(昭和十年八月二十六日告示第二一八七號、同月二十七日公達第六〇號)

「ペルー」又ハ「チリ」國經由「ポリヴィア」國宛閉囊小包郵便物ノ差立開始 「ポリヴィア」國宛小包郵便物ハ從來「ペルー」又ハ「チリ」國經由閉囊ニテ差立テタルモ本邦ノ對南米貿易ノ伸展ニ伴ヒ「ポリヴィア」國宛小包郵便物ハ最近著シク其ノ數ヲ増加シタルニ依リ之ヲ差立ツルコトトシ關係規定ニ必要ナル改正ヲ加ヘタル上夫々差立ヲ開始シタリ昭和十年十一月二十六日告示第三〇六一號、同月二十七日公達第九五八號及第九五九號、同十一年三月十八日公達第一八八號及第一八九號、同月二十六日告示第六〇五號)

「ヴェネズエラ」國宛閉囊小包郵便物ノ差立開始 從來「ヴェネズエラ」宛小包郵便物ハ船便ノ關係上「カナダ」又ハ佛蘭西國經由ニ依リ外送達ノ途ナカリシ處日本郵船會社中南米「ガルフ」線ノ船便カ「ヴェネズエラ」國「ラ、ガイラ」港ニ寄港スルコトナリタルニ付郵便物ノ速達ヲ圖ル爲「ヴェネズエラ」郵政廳ト協議ノ上關係規定ニ相當改正ヲ加ヘ本邦ヨリ同國宛小包ノ直接差立ヲ爲スコトトシタリ(昭和十年八月十九日告示第二一六二號、同月二十四日公達第五八六號)

年賀用郵便切手ノ創始 年賀郵便ノ早期差出ヲ一層有意義ナラシムルモノトシテ年賀用郵便葉書ノ發行ヲ切望スル聲相當熱烈ナルモノアリタルモ之カ實現ハ尙幾多考慮ヲ要スルモノアル爲不取敢其ノ趣旨ヲ採用シ且ツ累年増加ノ傾向著シキ私製葉書ニ貼用スル年賀特殊切手ヲ發行スルコトトシ關係規定ヲ改正シ(昭和十年十一月十五日省令第四三號、同日告示第二九五六號)昭和十年十二月一日ヨリ全國各郵便局所及切手類賣捌所ニ於テ賣別ヲ爲セリ



中央ニ渡邊華山ノ筆ニナル富岳、
輪廓ハ元祿模樣松竹梅下部ニ昭和十一年ノ文字ヲ配ス
一錢五厘 刷色 紅色凸版刷

使用期間 昭和十年十二月二十日ヨリ同十二月二十九日迄郵便局ニテ特別取扱ヲスル年賀郵便ノ外昭和十一年一月一日ヨリ一般郵便物ニ使用ス

年賀郵便及年賀電報用スタンプ 年賀用郵便切手ノ發行ト併行シ年賀用特殊通信日附印ヲ創設シ毎年圖案ヲ改メ十二月二十一日ヨリ同二十九日ニ至ル期間年賀郵便物ニ使用ノコトトシ關係規定ヲ改正シ十一月十五日ヨリ施行セリ(昭和十年十一月十五日告示第二九六四號)

手押日附印用

自働押印機用



波ニ舞鶴



松喰鶴



使用期間 昭和十年十二月二十日ヨリ同年同月二十九日迄郵便局ニ差出サレタル特別取扱ノ年賀郵便消印ニ使用シ又翌年一月一日配達ノ年賀電報ニ使用ス

記念郵便切手發行 滿洲國皇帝陛下御來訪記念トシテ下記郵便切手ヲ昭和十年四月二日發行ス

御召艦比叡ト遼陽ノ白塔ヲ描キ之ニ菊及蘭ヲ配ス



一錢五厘 刷色 露茶色
六 錢 刷色 紅色 金額ハ各相當額ヲ配ス

御滯京中ノ御旅館赤坂離宮ヲ描キ之ニ稻及高粱ヲ配ス



三 錢 刷色 焦茶色
十 錢 刷色 青色 金額ハ各相當額ヲ配ス

特殊通信日附印

A. 満洲國皇帝陛下御來訪記念



日滿兩國國華タル菊花、蘭花ト稻トヲ描ケルモノ

使用局及使用期間

横濱市内一、二等郵便局	昭和十年四月六日
東京市内一、二等郵便局(鐵道郵便局ヲ除ク)	四月六日ヨリ同月十五日迄
東京府淺川郵便局	同四月十一日
京都市内一、二等郵便局	同四月十五日ヨリ同月十九日迄
奈良郵便局	同四月九日ヨリ同月二十一日迄
大阪市内一、二等郵便局	同四月二十一日
神戸市内一、二等郵便局(鐵道郵便局ヲ除ク)	同四月二十一日ヨリ同月二十三日迄
嚴島郵便局	同四月二十四日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便輸葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用期間及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印(使用期日以外ハ使用最終日ノ日附ヲ使用ス)ノ需ニ應ス

B. 大楠公六百年祭記念



大阪府觀心寺境内ニ建ツ大楠公銅像ヲ描キ左右ニ楠公愛用ノ兜ニ刻メル菊花ノ模様ヲ描ク

使用局 神戸中央、蘆屋、大阪府長野、同神山、同小吹ノ各郵便局

使用期間 昭和十年五月二十二日ヨリ同月二十五日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便輸葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用期間中及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印(使用期間經過後ハ使用最終日ノ日附ヲ使用ス)ノ需ニ應ス

C. 日本海海戦三十周年記念日記念



軍艦三笠ヲ中央ニ日露戰役從軍記念章及海軍ノ錨章ヲ描キ左右ニ魚形水雷ヲ配ス

使用局 東京及大阪市内一、二等局(鐵道郵便局ヲ除ク)、横須賀、新舞鶴、中舞鶴、吳、吳鎮守府構内、佐世保、青森縣大湊ノ各郵便局

使用期日 昭和十年五月二十七日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便輸葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

D. 昭和十年國勢調査記念



帝國地圖ト鐘ヲ描イテ之ニ菊花ヲ描ク

使用局 道府縣廳所在地ノ一、二等集配郵便局

使用期日 昭和十年十月一日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便輸葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

E. 熱田神宮遷座祭記念



中央ニ熱田神宮大宮前ヲ拜寫シ御神紋ニ因ミテ桐、竹ヲ描キ左右ニ乗燭ヲ配ス

使用局 熱田、名古屋、笹島、名古屋赤塚ノ各郵便局

使用期間 昭和十年十一月一日ヨリ同月三日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便輸葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用期間中及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印(使用期間經過後ハ使用最終日ノ日附ヲ使用ス)ノ需ニ應ス

F. 陸軍特別大演習記念



霧島山ヲ背景トシ「ダック」飛行機ヲ描キ菊花ヲ配ス

使用局 陸軍特別大演習大本營内鹿兒島、宮崎、都城、川内、鹿兒島、高城、同宮ノ城、同横川、同霧島、温泉、同國分、同東國分、同加治本、同濱之市、同華人驛前、同日當山、同末吉、同岩川、同志布志、同鹿屋、宮崎縣沖水、同高城町、同三股、同山之口、同眞幸ノ各郵便局

使用期間 昭和十年十一月八日ヨリ同月十三日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用期間中料金完納ノ郵便葉書竝記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

G. 天皇陛下 鹿兒島縣及宮崎縣行幸記念



(宮崎局使用)中央古鏡内ニ官幣大社宮崎神宮社殿ヲ拜寫シ霧島山ノ遠景ヲ描キ瑞雲ヲ配ス



(延岡局使用)中央ニ城山ト旭「ペンベルグ」絹糸株式會社延岡工場トヲ描キ之ニ菊花ヲ配ス



(鹿兒島局使用)中央ニ鹿兒島縣廳々舎ヲ描キ之ニ鳳凰ヲ配ス



(霧島、霧島神宮及牧園局使用)中央ニ官幣大社霧島神宮社殿ヲ拜寫シ之ニ鳳凰、獅子及土鈴ヲ配ス



中央ニ吾平山上陵ヲ拜寫シ之ニ勾玉及菊花ヲ配ス

使用局 宮崎、延岡、鹿兒島、鹿兒島縣霧島、同牧園、同霧島神宮前、同始良ノ各郵便局

使用期間 (宮崎局)昭和十年十一月十三日ヨリ同月十五日迄

(延岡局)昭和十年十一月十五日

(鹿兒島局)昭和十年十一月十五日ヨリ同月十八日迄

(霧島、牧園及霧島神宮前ノ各局)昭和十年十一月十六日迄

(始良局)昭和十年十一月十八日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書竝記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印(使用期日以外ハ使用最終日ノ日附ヲ使用ス)ノ需ニ應ス

H. 日滿郵便條約實施記念



中央ニ郵便封皮ヲ描キ菊花及蘭花ヲ以テ之ヲ圍ム

使用局 東京中央、横濱、名古屋、敦賀、大阪中央、神戸中央、下關、門司、博多、長崎、函館、小樽各郵便局

使用期日 昭和十一年一月二十六日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書竝記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

I. 日本「カナダ」間郵便爲替新約定實施記念



中央ニ分銅ヲ積メル汽船ヲ描キ左右ニ日本及「カナダ」兩局々旗ヲ配ス

使用局 東京中央、横濱、敦賀、京都、大阪中央、神戸、下關、門司、長崎、函館ノ各郵便局

使用期日 昭和十一年三月一日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書竝記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

J. 郵便振替貯金三十年記念



中央=貯金局廳舎ヲ描キ算盤ト羽ベントヲ配ス

使用局 貯金局構内、東京中央、名古屋、長野、金澤、大阪中央、徳島、廣島、下關、福岡、熊本、仙臺、小樽ノ各郵便局

使用期日 昭和十一年三月一日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用當日及其ノ後三日間料金ヲ完納ノ郵便葉書竝ニ記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

第四章 郵便線路

Section 4. Mail Routes

内地郵便線路

Inland Mail Routes

種別 Class	陸路 Route by land キロメートル (Km)				水路 Route by water キロメートル (Km)				航空路 Route by air
	通常道路 Road	鐵道線路 Railway	面積百平方軒ニ付 Per 100 square (Km ²)		海上 Sea	川上 River	湖上 Lake	計 Total	
			通常道路 Road	鐵道線路 Railway					
昭和十一年 1936 年度	△ 33,324 81	22,365	9	6	25,657	73	46	25,776	4,650
九年度 1935 年度	△ 33,370 80	21,352	9	6	27,460	59	59	27,578	3,160
八年度 1934 年度	△ 33,246 82	20,769	9	5	32,880	196	46	33,122	3,038
七年度 1933 年度	△ 33,307 65	20,178	9	5	35,927	152	94	36,173	3,038
六年度 1932 年度	△ 32,637 83	19,897	9	5	37,546	152	94	37,792	3,005
五年度 1931 年度	△ 28,064 108	18,996	7	5	21,820	204	28	22,052	3,005
四年度 1930 年度	△ 28,229 118	17,882	7	5	20,660	161	247	21,077	1,455
三年度 1929 年度	△ 27,620 118	17,778	7	5	20,521	247	161	20,929	1,215
二年度 1928 年度	△ 26,185 118	16,962	7	4	20,077	228	128	20,433	-
元年度 1927 年度	△ 27,170 111	20,139	7	5	20,127	230	126	20,483	-

備考 1. △印ハ鐵索道路ニシテ内課ナリ
Note: △Iron-rope ways included in the above figures

第五章 郵

Section 5. Number

内地郵便局
取 扱 通 常
Numbers of Ordinary Mails

年 次 Year	年 度			
	十 九 1935-36	九 年 度 1934-35	八 年 度 1933-34	七 年 度 1931-33
引 受 Acceptance	x 4,735,348,007 49,487,047	x 4,674,986,977 38,876,094	x 4,357,325,600 30,147,919	x 4,253,759,031 24,703,934
人口十ニ對スル物數 Acceptance Per 10 of population	684	686	648	642
留 留 Registration	65,572,687	63,319,389	60,543,739	58,085,809
記 記 Declaration of value	2,915,394	2,790,737	2,649,711	2,530,284
換 換 Cash-on delivery	505,127	463,902	426,203	398,491
送 送 Special delivery	288,540	271,499	245,216	230,730
明 明 Certificate of time of posting (Charged)	8,824	8,021	5,957	4,675
明 明 Delivery certificate	2,754,145	2,722,096	2,655,833	2,511,714
留 留 Certification of letters documents	1,242,163	1,297,015	1,370,794	1,546,123
留 留 Post restante	-	-	-	-
類 類 Special service of judicial documents	2,135,113	2,268,216	2,442,101	2,588,676
類 類 Documents of patents	-	-	-	-
便 便 Quick delivery	7,634,078	6,673,044	5,471,984	4,244,681
便 便 Air mail	1,628,942	1,107,486	484,203	234,665
便 便 Contract mail	231,782,465	224,587,726	218,140,320	211,903,586
便 便 Special urban mail	192,841,627	148,824,264	140,743,180	132,712,375
便 便 Mail without stamps affixed	338,701,531	284,659,430	270,979,399	253,290,233
送 送 Delivery	x 4,901,685,581 48,643,329	x 4,772,868,449 40,394,743	x 4,402,200,835 35,344,548	x 4,294,100,596 34,213,102
上掲ノ外引受 Acceptance except the above	6,644,852	7,015,143	6,628,468	6,419,795

備考 1. ×印ハ外國郵便ニシテ内課ナリ
Note. 1. The mark × Shows Foreign Ordinary mails included.

便 物 數

of Mail Matter

郵 便 物 數

at Inland Post Offices

年 度					
六 年 度 1931-32	五 年 度 1930-31	四 年 度 1929-30	三 年 度 1928-29	二 年 度 1927-28	元 年 度 1926-27
x 4,490,202,875 24,698,728	x 4,409,551,651 26,380,272	x 5,096,611,368 25,806,686	x 4,764,671,266 24,564,036	x 4,863,287,510 22,236,780	x 3,974,192,623 22,584,405
687	684	809	767	793	665
57,566,778	59,403,748	60,976,478	60,525,084	59,133,051	58,407,054
2,436,916	2,389,524	2,440,732	2,347,334	2,231,735	2,020,498
424,145	533,501	617,430	592,180	628,195	710,187
212,020	211,512	208,481	220,702	226,649	206,694
3,215	3,709	3,028	3,414	2,649	2,571
2,346,599	2,334,384	2,263,047	2,376,761	2,353,431	2,286,155
1,596,506	1,427,379	1,166,009	1,093,073	1,118,058	958,556
-	-	941,209	733,286	603,856	636,686
2,638,667	2,440,117	2,004,045	1,663,415	1,711,002	1,483,201
-	-	6,699	7,786	-	-
4,157,107	4,311,511	4,554,084	4,727,931	4,370,620	4,127,066
149,876	94,089	-	-	-	-
217,443,926	232,945,584	236,247,065	234,485,974	227,990,852	221,733,652
124,198,731	107,228,611	128,139,301	112,097,838	104,340,587	81,095,571
272,206,715	246,399,062	278,583,893	252,012,761	287,640,027	227,518,853
x 4,532,477,443 38,805,324	x 4,437,939,812 41,410,764	x 5,046,099,425 38,164,157	x 4,716,170,378 38,707,802	x 4,833,723,104 36,507,308	x 3,906,474,525 35,091,708
6,557,614	7,148,651	7,394,272	7,747,874	7,851,118	7,630,137

内地郵便局 小包
取 扱 小 包
Number of Parcels at

種 別 Description	年 次 Year	昭和十	九 年 度	八 年 度	七 年 度
		1935-36	1934-35	1933-34	1932-33
引 受 Acceptance	有 料 Charged	65,061,209	62,265,483	58,520,698	55,834,140
	無 料 Free	3,230,729	2,807,946	2,719,644	2,638,173
	計 Total	x 68,291,938 918,721	x 65,073,429 764,430	x 61,240,342 637,749	x 58,472,313 430,377
人 口 十 = 對 ス ル 物 數 Acceptance per 10 of population		9.9	9.5	9.1	8.8
前 掲 中 再 掲 Items of the abovementioned	書 留 Registration	23,809,984	23,162,726	22,531,130	21,945,295
	價 格 表 記 Declaration of value	2,719	2,227	2,080	2,313
	代 金 引 換 Cash-on-delivery	8,210,754	7,985,659	7,884,555	7,694,074
	別 配 達 Special Delivery	18,743	18,908	18,483	17,768
	配 達 證 明 Delivery Certificate	317,120	334,982	267,655	186,751
	留 置 Post restante	?	?	?	?
	速 達 郵 便 Quick delivery	376,547	277,454	225,481	166,529
	航 空 郵 便 Air mail	29,882	21,967	19,473	6,307
	配 達 Delivery	x 64,854,932 184,933	x 61,847,673 161,881	x 57,762,972 140,047	x 54,849,774 140,133

備 考 1. x印ハ外國郵便ニシテ内課ナリ
Note 1. The mark x Shows Foreign parcel included.

郵 便 物 數
Inland Post Offices

六 年 度	五 年 度	四 年 度	三 年 度	二 年 度	元 年 度
1931-32	1930-31	1929-30	1928-29	1927-28	1926-27
55,575,465	57,490,526	61,013,967	60,781,930	58,043,856	55,964,225
2,626,466	2,577,227	2,636,616	2,553,099	2,512,031	2,294,419
x 58,201,931 357,873	x 60,067,753 437,616	x 63,650,583 479,119	x 63,335,029 490,510	x 60,555,887 460,978	x 58,258,644 443,674
8.9	9.3	10.1	9.8	9.8	9.7
21,526,203	23,106,871	25,348,108	25,776,100	25,013,917	25,117,738
1,988	2,661	3,083	5,205	7,579	7,137
7,359,620	7,620,814	8,107,929	7,911,127	7,573,564	7,459,572
13,617	13,569	14,386	17,694	15,468	16,393
156,738	150,782	181,030	211,616	203,257	242,990
?	?	66,143	61,383	62,736	63,417
181,062	196,115	215,960	212,123	183,484	157,039
3,091	1,606	-	-	-	-
x 55,654,599 208,845	x 57,724,881 249,540	x 60,654,644 265,980	x 60,465,163 259,788	x 57,657,320 248,348	x 55,852,079 268,607

通常郵便物不能還付數
Disposition of irregularities of the Ordinary mails

種別 Description	No.			Disposed			配達郵便物一 萬箇=對スル 不能配達還付 No. of the impossible compared with 10,000 delivered	外國郵便 Foreign Mails	
	前年度越前 Carried over from preceding year	本年度分 In the present year	合計 Total	配達還付 Delivered or returned	不能配達 還付 The im- possible to deliver or to return	處分未済 Not yet disposed with		外國へ 返還 Returned to	外國ヨリ 返還 Returned from
年次 Year									
十一年度 1935-36	313,024 (△ 127)	932,337 (△ 8,052)	1,245,361 (△ 8,179)	228,192 (△ 7,888)	724,034 (△ 181)	293,135 (△ 110)	1.47	100,328	189,124
九年度 1934-35	320,713 (△ 93)	794,090 (△ 5,753)	1,114,803 (△ 5,846)	198,145 (△ 5,484)	603,634 (△ 235)	313,024 (△ 127)	1.26	81,342	149,417
八年度 1933-34	335,523 (△ 94)	869,146 (△ 4,402)	1,204,669 (△ 4,496)	189,536 (△ 4,168)	694,420 (△ 235)	320,713 (△ 93)	1.58	84,954	154,773
七年度 1932-33	314,750 (△ 85)	940,569 (△ 3,982)	1,255,319 (△ 4,067)	217,944 (△ 3,778)	701,852 (△ 195)	335,523 (△ 94)	1.63	106,867	172,973
六年度 1931-32	389,983 (△ 68)	892,828 (△ 5,020)	1,282,811 (△ 5,088)	161,630 (△ 4,728)	806,431 (△ 275)	314,750 (△ 85)	1.78	111,758	133,936
五年度 1930-31	369,896 (△ 201)	1,013,620 (△ 4,837)	1,383,516 (△ 5,038)	156,689 (△ 4,508)	836,844 (△ 462)	389,983 (△ 68)	1.89	108,547	127,699
四年度 1929-30	359,126 (△ 175)	976,487 (△ 4,731)	1,335,613 (△ 4,906)	165,766 (△ 4,336)	799,951 (△ 369)	369,896 (△ 201)	1.58	99,373	136,569
三年度 1928-29	357,193 (△ 204)	1,133,643 (△ 4,937)	1,490,836 (△ 5,141)	160,048 (△ 4,437)	971,662 (△ 529)	359,126 (△ 175)	2.06	108,818	129,237
二年度 1927-28	155,922 (△ 213)	907,016 (△ 4,585)	1,062,938 (△ 4,798)	160,293 (△ 4,169)	545,452 (△ 425)	357,193 (△ 204)	1.13	90,294	135,646
元年度 1926-27	369,912 (△ 277)	753,440 (△ 4,669)	1,123,352 (△ 4,946)	127,211 (△ 4,240)	840,219 (△ 493)	155,922 (△ 213)	2.16	88,636	107,462

備考 1. △印ハ書留及價格表記トス又外國郵便ニ關スルモノハ再掲ナリ
Note. △Registered or with declared value. The figures of foreign mails are reproduced.
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

小包郵便物不能還付數
Disposition of irregularities of Parcels

種別 Description	No.			Disposed			配達小包十萬 箇=對スル不 能配達還付 No. of the impossible compared with 100,000 delivered	外國小包 Foreign parcels	
	前年度越前 Carried over from the preceding year	本年度分 In the present year	合計 Total	配達還付 Delivered or returned	不能配達 還付 The im- possible to deliver or to return	處分未済 Not yet disposed with		外國へ 返還 Returned to	外國ヨリ 返還 Returned from
年次 Year									
十一年度 1935-36	1,766 (△ 104)	18,015 (△ 15,080)	19,781 (△ 15,184)	15,345 (△ 14,993)	1,959 (△ 91)	2,477 (△ 100)	0.30	1,007	15,060
九年度 1934-35	941 (△ 117)	16,600 (△ 13,785)	17,541 (△ 13,902)	14,069 (△ 13,705)	1,706 (△ 93)	1,766 (△ 104)	2.76	958	13,738
八年度 1933-34	1,138 (△ 67)	13,460 (△ 11,197)	14,598 (△ 11,264)	11,446 (△ 11,037)	2,211 (△ 110)	941 (△ 117)	3.83	704	11,100
七年度 1932-33	1,148 (△ 62)	7,857 (△ 5,547)	9,005 (△ 5,609)	5,779 (△ 5,438)	2,088 (△ 104)	1,138 (△ 67)	3.81	1,107	5,449
六年度 1931-32	1,971 (△ 120)	8,209 (△ 5,393)	10,180 (△ 5,513)	5,872 (△ 5,308)	3,160 (△ 143)	1,148 (△ 62)	5.68	1,567	5,327
五年度 1930-31	2,098 (△ 101)	9,311 (△ 6,139)	11,409 (△ 6,240)	6,461 (△ 5,998)	2,977 (△ 122)	1,971 (△ 120)	5.16	1,890	6,029
四年度 1929-30	3,060 (△ 127)	11,210 (△ 7,106)	14,270 (△ 7,233)	7,581 (△ 6,996)	4,591 (△ 136)	2,098 (△ 101)	7.57	1,871	7,001
三年度 1928-29	2,772 (△ 136)	8,862 (△ 4,618)	11,634 (△ 4,754)	5,073 (△ 4,475)	3,429 (△ 152)	3,132 (△ 127)	5.67	1,910	4,468
二年度 1927-28	2,973 (△ 230)	10,143 (△ 6,065)	13,116 (△ 6,295)	6,440 (△ 5,935)	3,903 (△ 224)	2,773 (△ 136)	6.77	1,724	5,954
元年度 1926-27	2,242 (△ 415)	11,130 (△ 5,283)	13,372 (△ 5,698)	5,765 (△ 5,262)	4,730 (△ 215)	2,877 (△ 221)	8.47	2,095	5,291

備考 1. △印ハ書留及價格表記トス又外國郵便ニ關スルモノハ再掲ナリ
Note. △Registered or with declared value. The figures of foreign Parcels are reproduced.
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

特殊取扱通常郵便物亡失毀損數
Irregularities of the Ordinary mails of special Service

種別 Description 年次 Year	前年度 Carried over from the preceding year	本年度 In the present year	合計 Total	同 上 Disposed								處未 Not yet disposed with	郵便物 十萬箇 =對シ 亡失毀 損率 Rate in 100,000 mails
				亡 Lose				毀 Damage					
				賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated		賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated			
				箇數 No.	金額 Amount	箇數 No.	金額 Amount	箇數 No.	金額 Amount	箇數 No.	金額 Amount		
昭和十一年 1935-36	24	146	170	55	556	95	-	-	-	-	20	0.22	
九 1934-35	29	110	139	46	597	63	6	-	-	-	24	0.17	
八 1933-34	24	161	185	23	343	132	1	-	-	-	29	0.26	
七 1932-33	52	281	333	50	671	254	5	-	-	-	24	0.47	
六 1931-32	90	336	426	167	1,962	205	2	-	-	-	52	0.56	
五 1930-31	93	314	407	97	1,152	194	26	-	-	-	90	0.51	
四 1929-30	42	290	332	75	876	162	-	2	40	-	93	0.46	
三 1928-29	146	270	416	108	1,329	263	1	2	70	-	42	0.43	
二 1927-28	40	303	343	87	1,340	105	5	-	-	-	146	0.49	
元 1926-27	154	276	430	184	3,436	203	-	1	80	2	40	0.46	

小包郵便物亡失毀損數
Irregularities of Parcels

種別 Description 年次 Year	前年度 Carried over from the preceding year	本年度 In the present year	合計 Total	同 上 Disposed								處未 Not yet disposed with	引受小 包十萬 箇=對シ 亡失毀 損率 Rate in 100,000 parcels accept- ed
				亡 Lose				毀 Damage					
				賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated		賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated			
				箇數 No.	金額 Amount	箇數 No.	金額 Amount	箇數 No.	金額 Amount	箇數 No.	金額 Amount		
昭和十一年 1935-36	102	462	564	241	1,286	36	1	-	-	-	286	2.10	
九 1934-35	54	307	361	184	724	65	10	-	-	-	102	1.35	
八 1933-34	49	220	269	110	349	105	-	-	-	-	54	1.01	
七 1932-33	70	176	246	153	726	44	-	-	-	-	49	0.84	
六 1931-32	134	143	277	145	618	62	-	-	-	-	70	0.66	
五 1930-31	229	238	467	177	781	62	94	-	-	-	134	1.03	
四 1929-30	128	348	476	183	850	63	1	-	-	-	229	1.37	
三 1928-29	316	158	474	188	1,271	158	-	-	-	-	128	0.71	
二 1927-28	91	705	856	398	1,978	142	-	-	-	-	316	3.06	
元 1926-27	81	303	384	253	929	40	-	-	-	-	91	1.21	

第六章 電信業務ニ關スル施設

Section 6. Institutions for Telegraph Services

電信業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

氣象通知電報關係規定中改正 中央氣象臺ニ於ケル氣象通知電報式ノ改正ニ伴ヒ省令第二三號ヲ以テ氣象通知電報規則同取扱規程等中改正ヲ加ヘ九月一日ヨリ施行セリ、又東京福岡間及内地臺灣間ノ定期航空路實施其ノ他定期航空運行時間變更ニ伴ヒ之カ必要ニ應スル様航空氣象局報ノ取扱方ヲ改正十月一日ヨリ實施セリ

年賀電報關係規定中改正 昨年度ヨリ開始セル年賀電報ハ豫想外ノ成績ヲ舉ケ一般ノ好評ヲ博シタルカ前回ノ実績及公衆ノ要望ヲ參酌シ年賀電報規則中ノ改正ヲ加ヘ十一月四日ヨリ實施ノコトセリ

電信電話取扱所制度創始 簡易ナル機關ヲ設ケ山間僻地ニモ電信電話ノ普及ヲ圖ル爲メ電信電話取扱所制度ヲ定メ從來ノ電話所ニ對シ電信事務ヲ取扱ハシムルコトトセリ尙右取扱所ノ電報取扱方ニ付テハ其ノ機構ニ鑑ミ特ニ簡易化ヲ圖リ事業物品ノ交付ヲモ制限セリ

電信事務ノ開廢

(一) 各逓信局ヨリノ提案ニ基キ電信事務開始方決定セルモノ下記ノ如シ

逓信局名	逓信局提出ニ基キ開始決定局數	逓信局長專決ニ依ル實施局數	合計
東京	88	62	150
名古屋	56	16	72
大阪	52	-	52
廣島	61	79	140
熊本	90	48	138
仙臺	62	20	82
札幌	34	6	40
計	413	231	674

(二) 請願電信事務開始局維持費免除又ハ改定請願通信施設規則及同處理規程ニ依リ本年度ニ於テ維持費ノ免除又ハ改定セルモノ下記ノ如シ

逓信局別	免除局數	改定局數
東京		1
名古屋		2
大阪		9
廣島		6
熊本		3
仙臺		1
札幌		2
合計		24

電信回線施設 「サービス」改善及運営ノ合理化ヲ圖ル爲メ回線數 164 工程 384 軒増設方決定セリ

外國電信料金ノ低減

1. 電報料金ノ低減

A. 日米間電報料金ハ從來比較的高率ノ爲メ之カ引下ハ各方面ノ要望ナリシヲ以テ米國無線通信會社トノ協定ノ更改ヲ機會ニ會社ト數次交渉シ北米(メキシコヲ除ク)、中米、西印度、南米北部ヘノ電信料ニ對シ一語當リ五十山内外ノ料金低減ヲ爲シ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ實施セリ

B. 南米諸國(北部地方及「ブラジル」ヲ除ク)ヘノ電信料金ニ付テモ相手會社ト交渉シ一語當リ八十山ノ低減ヲ爲シ昭和十一年二月十六日ヨリ之ヲ實施セリ

2. 外國電報料金換算率ノ改正

對外無線電信ノ發展ニ伴ヒ無線利用増加シ海外拂フ節約スルニ至リタルヲ以テ外國電報料金換算割合ノ基礎タル外國電報規則第八十九條ニ掲グル割合ヲ改正昭和十年四月一日ヨリ之ヲ實施セリ

災害時等ニ於ケル電報疏通措置 本年度中ノ主ナル災害時ニ於テハ關係官廳ノ重要通信、一般見舞通信等殺倒シ爲メ直接ノ衝ニ當ル各局ハ之カ疏通ニ非常ナル苦心ヲ拂ヒ連日服務延伸、廢休ノ措置ヲ購シ更ニ應援者ヲ派遣シ無線ニ依ル臨時連絡其ノ他回線ノ臨時施設ヲ爲ス等極力通信疏通ニ努メ關係各局亦終始相互間連絡ヲ密ニシ共助協同ノ實ヲ舉ケタルカー方絶ヘス疏通狀況ヲ調査シ機宜ノ指令ヲ與ヘルト共ニ應急ノ措置ヲ命シタリ斯クシテ繁忙期間中克ク疏通能力ヲ發揮シ非常災害時ニ於ケル電信事業ノ重要使命ヲ完フセリ

二、二六事件關係

事件勃發ニ伴ヒ通信疏通措置並ニ之カ通信檢閲等事務多忙ヲ極メ事變中ハ臨機局員ヲ總動員シテ居殘宿直ヲ爲シ對應措置ノ遺憾ナキヲ期シタリ

(1) 電信電話通信ノ取締 事件勃發直後ヨリ鎖定マテ電信及電話ニ依ル通信ノ檢閲取締ニ關シソノ範圍ヲ指示スルト同時ニ刻々ノ狀況ノ變化ヲ各逓信局長及外地逓信部局長ニ通報シ之カ執行ニ遺憾ナキヲ期セシメタリ

(2) 電信電話回線措置 本省逓信局間連絡用萬一ノ場合ニ於ケル措置用ニシテ直通電話回線15ヲ作成シ電信ニ付テハ無線ヲモ動員シ最悪ノ場合ニ於テモ全國ノ連絡ヲ保チ得ル様配慮セリ

(3) 放送無線電話ノ監理 二、二六事件ノ重大性ニ鑑ミ且ツ「ラヂオ」放送カ治安維持上並ニ人心ニ衝動ヲ與フルコト大ナルモノアルヲ考慮シ事件直後先ツ事件ニ關スル事項ハ政府當局發表以外一切放送セサル様全國放送局ニ傳達スルト共ニ爾後事態ノ推移ヲ注視シ放送取締上萬遺憾ナキヲ期シタリ

専用寫眞電信許可 株式會社朝日新聞及株式會社大阪毎日新聞社ニ於テハ業務擴張ノ結果「ニュース」寫眞電送ノ速達ヲ期スル爲メ從來ノ専用寫眞電信設備ニ據ラス寫眞電送設備ノ改善及増設方出願アリタルヲ以テ之ヲ許可スルコトトシ昭和十年十一月一日ヨリ兩社同時ニ實施セシムルコトトセリ

社團法人同盟通信社設立許可 國際情勢ノ複雜微妙及各國通信界ノ趨勢ニ鑑ミ我通信自主權ヲ確立スルト共ニ對外報道ノ重要使命ヲ完全ニ遂行スルニ足ル實力ヲ信用トヲ具備スル一大國家ノ通信社ヲ設立スルコトハ國家ノ重要時務トシ政府ハ豫テ之カ實現ニ關シ斡旋ノ勞ヲ執リ來レル處昭和十年七月全國有力新聞社通信社並日本放送協會相寄り社團法人同盟通信社ヲ創立シ之カ設立許可申請ヲ政府ニ提出シタルヲ以テ主務官廳タル逓信、外務兩大臣ニ於テ同社設立ハ民法第三十四條ノ規定ニ適合シ且政府年來ノ要望ニ副フ強力通信社タルヘキ組織ヲ有スルモノト認メ之ヲ許可セリ

當省電柱廣告掲載ノ問題 當省所管ノ電柱ニ一般廣告掲載ヲ認ムルニ關シテハ從來不許可ノ方針ヲ以テ一貫處理シ來

レルガ其ノ後部内外ノ情勢ノ推移ニ伴ヒ此ノ方針ノ可否ニ付更ニ検討シタル處結局、現行電信法、電信線、電話線建設條例等法令上ノ問題及電信線電話線ノ建設保守ニ及ホス影響並ニ之ニ關聯スル諸問題ノ適切ナル解決ヲ困難トスル現況ニ於テ且又一面出願者ノ錯綜セル現狀ヨリシテ經營主體決定上ノ難問アル等ニ鑑ミ既定方針通不許可ノコトトシ之カ處理狀況ヲ參考ノ爲メ各遞信局及外地遞信部局ヘ通牒セリ

第七章 電信線路、電報氣送管及障礙竝機械

Secton 7. Telegraph Lines, Pneumatic Tubes, Faults and Apparatus.

内地電信線路

Number of Length of Inland Telegraph Lines.

種別 Class	陸上線 Land lines キロメートル Km				地下ケーブル Underground Cables キロメートル (Km)		合計 Total キロメートル (Km)		百平方軒ニ付 Per 100 Square (Km)		水底ケーブル Submarine Cables キロメートル (Km)	
	架空線 Aerial lines		架空ケーブル Over head Cables		線路 Routes	心線 Cores	線路 Routes	線径 Lines	線路 Routes	線径 Lines	線径 Lines	心線 Cores
	線路 Routes	線径 Lines	線路 Routes	心線 Cores								
十 年 1936 度	34,574	234,091	105	23,621	744	100,769	35,423	358,481	9	97	15,462	18,544
九 年 1935 度	35,241	234,594	90	22,233	794	99,316	36,125	356,143	9	93	15,274	18,342
八 年 1934 度	35,583	234,188	87	21,839	724	97,519	36,394	353,546	10	92	15,271	18,331
七 年 1933 度	35,713	235,079	74	20,302	707	94,892	36,494	350,273	10	92	15,286	18,357
六 年 1932 度	35,772	236,348	69	19,692	690	93,604	36,531	349,644	10	91	15,283	18,413
五 年 1931 度	35,935	235,040	77	17,306	501	87,605	36,513	339,951	10	89	15,324	18,390
四 年 1930 度	35,955	235,716	71	15,370	424	76,155	36,450	327,241	10	86	15,314	18,286
三 年 1929 度	35,647	233,568	78	14,738	317	56,420	36,042	304,726	9	80	15,298	18,248
二 年 1928 度	35,609	232,593	63	14,322	275	45,894	35,947	292,809	9	77	15,324	18,140
元 年 1927 度	35,586	230,955	51	14,035	255	35,052	35,892	280,042	9	73	15,314	18,123

備考 架空「ケーブル」中架空線=添架シタル部分ノ線路ヘ計上セス
Note. * Exclusive of parts of cables laid along with aerial lines.

電 報 氣 送

Pneumatic

所	在	Section laid down with Pneumatic Tubes
東京中央電信局	東京中央電信局受配課間	Between Tokyo Central Telegraph office
同	同 受 付 配 達 課	同 外國 通 信 課 間
東京中央電信局	赤坂郵便局葵町分室間	同 Tokyo Central Telegraph office
同	芝 郵 便 局 間	同
同	新 橋 郵 便 局 間	同
同	京 橋 通 郵 便 局 間	同
同	京 橋 郵 便 局 間	同
同	深 川 郵 便 局 間	同
同	日 本 橋 通 郵 便 局 間	同
同	本 所 郵 便 局 間	同
同	兩 國 郵 便 局 間	同
同	小 傳 馬 町 郵 便 局 間	同
同	日 本 橋 室 町 電 信 局 間	同
同	下 谷 郵 便 局 間	同
同	本 郷 郵 便 局 間	同
同	牛 込 郵 便 局 間	同
同	麩 町 郵 便 局 間	同
豫		Spare
東京中央電信局	東京中央郵便局間	Between Tokyo Central Telegraph office
同	日 本 橋 郵 便 局 間	同
同	日 本 橋 郵 便 局 蛸 殼 町 分 室 間	同
同	日 本 橋 郵 便 局 兜 町 分 室 間	同
同	神 田 郵 便 局 間	同
同	淺 草 郵 便 局 間	同
同	京 橋 郵 便 局 築 地 分 室 間	同
豫		Spare
大阪中央電信局	梅 田 郵 便 局 間	Between Osaka Central Telegraph office
同	北 濱 郵 便 局 間	同
同	中 央 市 場 分 室 間	同
豫		Spare
大阪中央電信局	西 郵 便 局 間	Between Osaka Central Telegraph office
同	大 阪 中 央 郵 便 局 間	同
大阪中央電信局	内 受 付 室 寫 眞 電 信 室 間	for phototelegraphic service
大阪中央電信局	内 寫 眞 電 信 室 受 配 室 間	同
大阪中央電信局	内 受 付 室 配 達 室 間	Between Accepting and Delivering of Telegram
神戶中央電信局	神 戶 中 央 郵 便 局 間	同 Kobe Central Telegraph office
同	兵 庫 郵 便 局 間	同
豫		Spare
總	計	Total

管 所 在 地 別

Tubes

昭和十年度末
March 31, 1936

地	管ノ種類	管 數	延 長	延 長
	Kind of tube	No. of tube	Length of routes メートル (m)	Length of tube メートル (m)
Section of Acceptance and Delivery Tokyo Central Telegraph office	小	2	58	116
Foreign Traffic Section, Tokio Central Telegraph office	"	"	62	136
Aoiyo branch, of Akasaka Post office	"	"	3,924	7,848
Siba Post office	"	"	3,446	6,892
Sinbasi Post office	"	"	2,647	5,294
Kyobasitori Post office	"	"	1,839	3,678
Kyobasi Post office	"	"	2,939	5,878
Hukagawa Post office	"	"	2,764	5,528
Nihonbasitori Post office	"	"	1,271	2,542
Honjyo Post office	"	"	3,462	6,924
Ryogoku Post office	"	"	2,011	4,022
Kodenmatyo Post office	"	"	1,308	2,616
Nihonbasi Muromati Telegraph office	"	"	601	1,202
Sitaya Post office	"	"	3,320	6,640
Hongo Post office	"	"	3,069	6,138
Usigome Post office	"	"	4,010	8,020
Kojimati Post office	"	"	3,178	6,356
	"	"	817	3,466
Tokyo Central Post office	大	2	1,022	2,044
Nihonbasi Post office	"	"	1,204	2,408
Kakigaratyo branch, of Nihonbasi Post office	"	"	1,599	3,198
Kabutoty branch, of Nihonbasi Post office	"	"	1,378	2,750
Kanda Post office	"	"	1,806	3,612
Asakusa Post office	"	"	4,218	8,436
Tukizi branch of Kyobasi Post office	"	"	3,857	7,714
	"	"	387	774
Umeda Post office	小	2	810	1,620
Kitahama Post office	"	"	1,902	3,804
Osaka Central market	"	"	1,521	3,042
	"	"	1,008	2,348
Nisi Post office	大	2	1,916	3,832
Osaka Central Post office	"	"	812	1,624
at Osaka Central Telegraph office	"	1	55	55
	"	"	67	67
at Osaka Central Telegraph office	"	"	22	22
Kobe Central Post office	"	2	1,273	2,546
Hyogo Post office	"	"	3,493	6,986
	"	"	107	214
			69,191	140,392

内地電信障礙
Frequencies and Hours of

種別 Description	年次 Year	昭和十	九年度	八年度	七年度	
		1935-36	1934-35	1933-34	1932-33	
陸上及地下ケーブル Land and Underground Cables	混線 Contacts	度數 Frequency	4,902	4,573	4,750	4,557
		時數 Hour	25,005	23,426	22,760	22,104
	地氣 Earth	度數 Frequency	4,636	4,214	3,985	3,305
		時數 Hour	31,238	40,803	21,874	17,021
	斷線 Disconnection	度數 Frequency	2,564	2,535	2,566	2,134
		時數 Hour	9,773	14,617	9,722	7,737
	漏電 Leakage	度數 Frequency	349	235	499	220
		時數 Hour	4,496	3,181	7,074	2,570
	其他 Others	度數 Frequency	867	759	790	889
		時數 Hour	1,737	1,311	1,663	1,602
	合計 Total	度數 Frequency	13,358	12,316	12,590	11,105
		時數 Hour	72,249	83,338	63,093	51,034
水底ケーブル Submarine Cables	度數 Frequency	103	102	97	76	
	時數 Hour	143,361	144,001	139,622	194,074	

度數及時數
Faults of Inland Telegraph.

六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	元年度
1931-32	1930-31	1929-30	1928-29	1927-28	1926-27
4,278	5,634	5,390	5,655	6,392	7,598
19,571	33,652	29,174	32,959	37,347	59,387
3,376	5,212	4,751	5,114	5,504	5,656
13,909	36,209	22,071	30,375	47,175	43,572
2,190	2,799	2,939	2,863	3,022	2,923
7,482	12,002	10,407	12,476	13,069	15,814
185	253	346	633	631	1,541
2,441	3,770	4,532	20,790	18,672	57,854
948	1,172	1,129	1,193	936	800
1,644	2,528	2,318	3,180	2,068	2,139
10,977	15,070	14,555	15,458	16,485	18,518
45,047	88,161	68,502	99,780	118,331	178,766
104	77	48	82	46	45
226,980	139,233	125,205	149,532	29,933	51,727

内地郵便電信機
電信局所用
Number of Telegraph apparatuses and Batteries

種別 Description	通信局 Direction of Communications		東	京	名	古	屋	大	阪
			Tokyo		Nagoya		Osaka		
電 話 Telephone for Teleg. Service	機			1,017			921		936
現字機 Ink writer	信	單	1						
	重	二	1						
音響機 Sounder	信	單	964				631		952
	重	二	119				66		167
	重	交直四	21				6		12
	重	交直四 (A.C. & D.C.)							
自動機 Automatic Telegraph, Duplex	重	二	41				5		44
現波自動 Undulator and Siphon recorder	信	單	1						
	重	二	2						
印字二重機 Printing Duplex Telegraph for Japanese characters	送	手	1				2		10
	備	自	14				1		8
歐文自動印字二重機 Printing Automatic Duplex Telegraph for alphabet	機		2				2		3
二路二重歐文印字機 Double-Duplex Printing Telegraph	機		2						3
寫真電信機 Phototelegraph	機		2						2
單信自動中繼裝置 Telegraphic Repeater Simplex	機								
電信中繼盤 Telegraphic Repeater	盤		4				36		11
同上 (振動式) Telegraphic Repeater (by Vibrating Circuit)	式								
同上 (二式) Telegraph Repeater (metallic circuit to Earth Return circuit)	式								21
寫真電信中繼器 Phototelegraphic Repeater	器						1		1
電信集信機 Telegraph Concentrator	機		1						1
電信自動交換機 Automatic Telegraph Switchboard	機		1						1
電信用電話交換機 Telephone Exchange Board	機						1		2
電信監督機 Inspection Apparatus	機		10				13		11
報時 Automatic Time Switch	機		19				13		13
合 Total	計		2,223				1,698		2,196
電池 Batteries	次	一	16,030				13,229		18,947
	次	二	1,268				716		728
合 Total	計		17,298				13,945		19,675

備考 音響機單信中ニハ從來結合重單信ノ中ニ揚上セラレタルモノノ中ヨリ單信ヲ加ヘ、二重ハ結合重單信ノ二重ト交直双信ノ内ヨリ
Note: The above figures of "Sounder Simplex" are included those reckoned in "Single and Duplex combined System" the figures of "Sounder Quadruplex (A.C. & D.C.)" those reckoned in "Duplex (A.C. & D.C.)."

械及電池數
used at Inland Post and Telegraph Offices

昭和十年度末
March 31, 1936

廣	島	熊	本	仙	臺	札	幌	計
Hirosima		Kumamoto		Sendai		Sapporo		Total
	341		940		143		418	4,716
								1
								1
	647		733		685		491	5,103
	64		106		195		26	743
				9	12		3	70
				24	20		13	172
								5
								11
	3		3		3		5	27
								31
								7
								8
								4
								2
	59		9		44		20	183
	9		4					13
								21
								1
	1							2
								2
								3
	13		14		15		9	85
	11		12		11		8	87
	1,182		1,871		1,115		1,013	11,298
	9,910		12,231		7,593		11,336	89,276
	1,698		1,254		1,709		1,422	8,795
	11,608		13,485		9,302		12,758	98,071

直流及交流二重ヲ加ヘ、交直四重ハ交直双信ノ内ヨリ四重ヲ加ヘタリ
figures of "Sounder Duplex" those reckoned in "Single and Duplex combined System" and "Duplex (A.C. & D.C.)", and the

第八章 電報通數

Section 8. Number of Telegrams

内地郵便電報通數

Number of Telegrams dealt with at Inland Post and Telegraph Offices

種別 Description	内國電報 Domestic			外國電報 Foreign			中繼電報 Transit
	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	
昭和十年度 1935-36	56,151,227	6,282,120	62,433,347	1,221,559	100,311	1,321,910	116,448,377
發信 Despatch							
著信 Arrival	56,563,548	8,981,229	65,544,777	1,212,023	117,766	1,329,789	
九年度 1934-35	53,437,542	5,736,364	59,173,906	1,163,123	99,416	1,262,539	114,464,906
發信 Despatch							
著信 Arrival	53,880,212	7,711,547	61,591,759	1,157,409	114,602	1,272,011	
八年度 1933-34	51,025,842	5,504,079	56,529,921	1,140,182	97,011	1,237,193	107,537,308
發信 Despatch							
著信 Arrival	51,324,240	7,518,776	58,843,016	1,133,136	109,711	1,242,847	
七年度 1932-33	48,492,354	5,572,692	54,065,046	1,157,747	96,683	1,254,430	101,297,228
發信 Despatch							
著信 Arrival	48,692,802	7,588,361	56,281,163	1,137,546	106,379	1,243,925	
六年度 1931-32	46,844,342	5,662,938	52,507,280	1,093,956	99,698	1,193,654	102,771,973
發信 Despatch							
著信 Arrival	49,962,194	7,822,304	57,784,498	1,116,151	108,291	1,224,442	
五年度 1930-31	51,262,221	6,120,285	57,382,506	1,083,436	100,425	1,183,861	107,287,804
發信 Despatch							
著信 Arrival	51,418,554	8,507,062	59,925,616	1,117,657	107,317	1,224,974	
四年度 1929-30	57,241,974	6,664,003	63,905,977	1,183,544	111,284	1,294,828	117,898,056
發信 Despatch							
著信 Arrival	57,469,768	9,037,908	66,507,676	1,218,110	118,460	1,336,570	
三年度 1928-29	58,599,456	6,728,316	65,327,772	1,154,504	101,691	1,256,195	120,407,374
發信 Despatch							
著信 Arrival	58,843,317	9,100,552	67,943,869	1,183,874	107,601	1,291,475	
二年度 1927-28	59,657,039	6,745,184	66,402,223	1,153,942	113,318	1,267,260	118,162,198
發信 Despatch							
著信 Arrival	59,868,609	8,919,491	68,788,100	1,200,349	119,312	1,319,661	
元年度 1926-27	59,423,634	6,726,475	66,150,109	1,164,910	115,317	1,279,927	116,328,004
發信 Despatch							
著信 Arrival	59,543,552	8,869,745	68,413,297	1,210,597	122,044	1,332,641	

備考 内國電報中ニハ日華電報規則ニ據リテ取扱ヒタルモノヲ包含ス
 Note. Domestic Telegrams include those treated in accordance with Japan and Middle Republic Teleg. Regulations.

前表中無線電信、無線電話局ニ於テ取扱ヒタルモノヲ再掲スレハ次表ノ如シ

Telegrams handed at the wireless telegraph, wireless telephone office shown in the said table is as follow—

無線電信、無線電話局取扱電報通數

Number of Telegrams dealt with at Wireless Telegraph, Wireless Telephone Offices

種別 Description	内國電報 Domestic			外國電報 Foreign		
	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	有料 Charged	無料 Free	合計 Total
昭和十年度 1935-36	392,869	159,849	552,718	34,678	6,434	41,112
發信 Despatch						
著信 Arrival	196,998	117,340	314,338	19,265	6,154	25,418
九年度 1934-35	354,636	182,737	537,373	31,614	32,242	63,856
發信 Despatch						
著信 Arrival	170,438	156,603	327,041	19,345	11,302	30,647
八年度 1933-34	307,978	118,727	426,705	30,587	23,412	53,999
發信 Despatch						
著信 Arrival	146,217	137,399	283,616	17,100	9,010	26,110
七年度 1932-33	276,131	111,235	387,366	30,540	19,863	50,403
發信 Despatch						
著信 Arrival	130,719	131,868	262,587	14,898	7,546	22,444
六年度 1931-32	284,109	102,880	386,989	33,804	20,125	53,929
發信 Despatch						
著信 Arrival	130,740	159,819	290,559	17,131	6,966	24,097
五年度 1930-31	276,649	100,304	376,953	36,939	19,748	56,687
發信 Despatch						
著信 Arrival	122,571	179,582	302,153	18,239	6,800	25,039
四年度 1929-30	302,487	76,810	379,297	35,432	13,981	49,413
發信 Despatch						
著信 Arrival	125,820	157,134	282,954	16,543	6,617	23,160
三年度 1928-29	291,456	52,084	343,540	36,052	12,251	48,303
發信 Despatch						
著信 Arrival	110,183	98,861	209,044	17,229	6,067	23,296
二年度 1927-28	246,517	44,128	290,645	30,403	9,152	39,555
發信 Despatch						
著信 Arrival	91,657	98,033	189,690	14,483	5,000	19,483
元年度 1926-27	196,371	36,317	232,688	25,037	7,145	32,182
發信 Despatch						
著信 Arrival	75,191	92,356	167,547	12,226	3,966	16,192

在中華民國本邦電信局取扱電報通數
Number of Telegrams dealt with at Japanese Telegraph Offices in Middle Republic

種別 Description	國內電報 Domestic			外國電報 Foreign			中繼電報 Transit
	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	
昭和十年度 1935-36	28,897	2,039	30,936	123,416	9,033	132,449	1
九年度 1934-35	32,883	1,273	34,156	118,754	8,063	126,817	1
八年度 1933-34	26,559	1,972	28,531	153,062	8,602	161,664	1
七年度 1932-33	29,101	1,099	30,200	134,961	7,549	142,510	1
六年度 1931-32	24,431	2,592	27,023	140,371	7,908	148,279	3
五年度 1930-31	30,660	861	31,521	122,414	6,457	128,871	3
四年度 1929-30	20,328	1,520	21,848	158,226	9,172	167,398	2
三年度 1928-29	26,238	874	27,112	147,782	7,737	155,519	2
二年度 1927-28	20,749	1,507	22,256	183,040	17,355	200,395	2
元年度 1926-27	26,412	875	27,287	163,324	15,672	178,996	2
	32,025	1,607	33,632	219,688	12,695	232,383	1
	34,840	1,106	35,946	198,821	11,558	210,379	1
	32,884	1,696	34,580	262,536	23,509	286,045	4
	34,393	1,114	35,507	222,691	22,894	245,585	4
	29,688	1,773	31,461	257,009	21,757	278,766	1
	30,738	1,206	31,944	212,448	21,307	233,755	1
	30,265	1,687	31,952	277,533	30,098	307,631	1
	33,362	1,311	34,673	226,512	31,711	258,223	1
	28,629	1,871	30,500	274,265	27,835	302,100	1
	30,866	1,273	32,139	230,251	29,235	259,486	1

第九章 電話業務ニ關スル施設
Section 9. Institutions for Telephone Services

電話業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

電話通話規則中改正 昭和十年九月一日ヨリ東京局ト中野及荏原各局間ニ自働接續市外通話方式(東京局所屬加入者ニ對スル發信通話)實施ニ伴ヒ省令第二四號ヲ以テ從來ノ手働式交換ヲ本則トスル通話規則ヲ自働接續市外通話方式ニ適合セシムヘク改正セリ

市内専用電話規則中改正 省令第五三號ヲ以テ官公署其ノ他公益ニ關スル業務ヲ執行スル者相互間ニ於テ專ラ特定事項通報ノ用ニ供スル爲メ施設スルモノナルトキハ同一人ニ非ラサル場合ト雖市内専用電話ノ使用ヲ認メ又新聞通信相場通信等ノ如ク二人以上ノ相手方ニ對シ專ラ特定事項ノ同時通報ノ必要アル場合ニハ同報用ノ市内専用電話ノ使用ヲ認ムルコトニ改メ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行セリ

應急救護報告通話ノ取扱開始 從來施行ノ火災報知電話ノ外ニ更ニ交通事故其ノ他ノ非常事故ニ因ル傷痍者救護ノ爲指定地域ノ消防官署施設火災報知専用電話ニ對シテ爲ス救急車出動ノ要請通話ハ應急救護報知通話トシテ無料ニテ取扱フコトトシ昭和十一年一月一日ヨリ施行ス

電話特別開通申請受付及受理決定 昭和十年度電話特別開通申請受付及受理決定狀況下記ノ如シ

(一) 申請受付期間

自四月一日 但シ本年度新ニ交換業務ヲ開始スヘキ局所(町村役場ノミヲ收容セル既設交換局所ニ一般加入者至四月十五日 又ハ町村役場ヲ増設スルモノニシテ新規交換開始ノ例ニ依リ提案シタル分ヲ含ム)ニ於ケル受付ハ事務開始ノ決定後トシ其ノ期間ハ逡信局長限リ適當ニ定ム

(二) 設備費及寄附金

區別	單獨加入	共同線加入	連接加入
東京	500		130
大阪	450		130
京都、神戸、名古屋、横濱	400		100
福岡、廣島、五級地	270		
六級地	240		
七級地	220	50	
八級地	180		
九級地以下	150		

(三) 土地種別

設備費又ハ寄附金並加入登記料ハ本年四月一日現在(新ニ交換業務ヲ開始スル局所ハ申請受付當時)ノ土地種別ニ依ル

(四) 電話特別開通申請受付及開通狀況

(イ) 六大都市

局名	申請受付数(1)	受理決定数(2)	(2)/(1)=對スル割合
東京	65,582	6,640	1.01
大阪	61,305	4,110	0.67
京都	6,732	1,315	1.95
神戸	13,950	1,650	1.18
名古屋	6,213	1,540	2.48
横浜	1,734	488	2.81
合計	155,516	15,743	1.01

(ロ) 六大都市以外ノ地

局名	申請受付数(1)	受理決定数(2)	(2)/(1)=對スル割合
東京	24,565	6,325	2.57
名古屋	8,118	1,791	2.21
大阪	27,174	5,254	1.93
広島	6,771	2,284	3.37
熊本	5,501	1,997	3.63
仙台	2,167	897	4.14
札幌	4,123	364	0.88
合計	78,419	18,912	2.41

電話擴張改良計畫ノ實施

(イ) 加入者増設

逓信局名	割當數	實 行 數			
		單 獨	共 同	連 接	計
東京	14,010	14,415	313	34	14,762
名古屋	3,440	3,505	144	48	3,697
大阪	12,790	13,222	152	87	13,461
広島	2,300	2,538	78	30	2,646
熊本	2,065	2,161	44	25	2,230
仙台	900	999	20	10	1,029
札幌	370	432	37	13	482
新設	2,125	2,013	21	5	2,039
計	38,000	39,285	809	252	40,346

(ロ) 電話事業開始

逓信局名	通話開始	交換開始	備 考
東京	52	53	交換開始局中服織及芳川ハ小自働式日吉ハ自働式
名古屋	36	36	
大阪	42	38	交換開始局中楠見ハ小自働式六甲山ハ自働式
広島	36	49	
熊本	73	68	交換開始局中長田ハ小自働式
仙台	48	41	
札幌	21	15	
計	308	300	

(ハ) 公衆電話増設

逓信局名	増 設 個 數	備 考
東京	171	請願通信施設ノモノヲ除ク
名古屋	32	
大阪	136	
広島	7	
熊本	10	
仙台	7	
札幌	3	
計	366	

(ニ) 電話交換方式變更

共電式ヨリ自働式=變更 大阪中央電話局本町分局北濱區 (1局)

直列複式ヨリ自働式=變更 長野、落合長崎、松澤 (3局)

單式ヨリ自働式=變更 赤羽、熱海、濱寺、旭、田園調布 (5局)

單式ヨリ共電式=變更 銚子、松阪、半田、宇部、八幡濱、飯塚、直方、鶴岡、八戸 (9局)

單式ヨリ簡易直列複式=變更 本庄、野田、魚津、御坊、玉島、都城、諫早、横手 (8局)

(ホ) 自働接続市外通話方式實施

過般來試驗中ナリシ自働接續市外通話方式「タイム、ゾーン、メーターリング、システム」ハ本年度ニ於テ荏

原、田園調布、中野、世田谷、蒲田、足立、王子、落合長崎、松澤、荻窪、赤羽ノ11局ニ對シ之ヲ實施ス

(へ) 電話土地種別變更

六級地ヨリ五級地ニ 荻窪、芦屋

七級地ヨリ六級地ニ 落合長崎、板橋、熱海、武生

八級地ヨリ七級地ニ 西尾、舞子、今市

九級地ヨリ八級地ニ 浦賀、葉山、福光、大濱、関部、桂、櫻井、粉河、高野口、湯崎、總社

十級地ヨリ九級地ニ 高田、佐沼、田沼、豊岡、大船、横濱綱島、福田、宇出津、森田、揖斐、高田、赤坂、
口大野、箕面、稻田、石橋、別府(兵庫)、木次、姫濱、妻

十一級地ヨリ十級地ニ 弟子屈、藤崎、船引、千手、鬼怒川温泉、菖蒲、練馬北町、中野、湯ヶ島、能登部、
鯖江兵營前、陽、澁谷、内田、長瀧、深井、御着、筑尾、富田、江角、高屋、勝間田、古市、高千帆、稻築、
大野、高岡

(ト) 電話回線施設

市外電話ニ對スル熾烈ナル社會ノ要望ニ應スル爲メ1,106回線、39,672軒増設方決定セリ、尙大都市及其ノ近郊
地關係中本年度ニ於テ新ニ東京田園調布間外4區間ニ即時通話方式ヲ、門司小倉間外13區間ニ準即時通話方式
ヲ採用セリ

電話加入區域内通話事務開始 非加入者通話機關普及ノ爲八大都市電話加入區域内無集配三等局中電話通話事務未開
始局ノ内749局開始ス

請願電話施設

(イ) 新規受理

逓信局名	公衆電話	通話事務	呼出事務
東 京	14	-	-
名 古 屋	5	-	-
大 阪	15	1	-
廣 島	-	1	1
計	34	2	1

(ロ) 維持費免除

逓信局名	公衆電話	通話事務	呼出事務
東 京	10	3	3
名 古 屋	-	3	2
大 阪	4	7	1
廣 島	-	2	2
熊 本	-	5	3
仙 臺	-	1	1
札 幌	-	1	1
計	14	22	13

第十章 電話線路

Section 10. Telephone Routes,

内地電話

Length of Inland

種別 Description 年度末 At the 31st March of :-	陸上線 Land Lines キロメートル(Km)				地下ケーブル Underground 線路 Routes
	架空線 Aerial Lines		架空ケーブル * Over head Cables		
	線路 Routes	線条 Lines	線路 Routes	心線 Cores	
昭和十年 1936 年度	59,682	596,646	7,352	1,952,710	3,939
九年 1935 年度	58,867	595,595	6,023	1,783,115	3,595
八年 1934 年度	57,515	588,378	5,165	1,658,551	3,370
七年 1933 年度	54,515	592,894	4,006	1,510,181	3,115
六年 1932 年度	52,986	583,896	3,305	1,418,141	2,946
五年 1931 年度	51,811	591,641	2,401	1,318,921	2,624
四年 1930 年度	50,493	597,177	1,459	1,218,018	2,247
三年 1929 年度	46,926	584,601	807	1,065,197	1,913
二年 1928 年度	44,484	554,645	437	938,000	1,457
元年 1927 年度	39,246	524,270	361	802,080	1,210

備考 架空「ケーブル」中架空線 = 添架シタル部分ノ線路ハ計上セズ
 Note. Exclusive of parts of cables laid along with aerial lines.

障碍及機械

Faults and Apparatus

線路

Telephone Lines

ケーブル Cables キロメートル(Km)	合計 Total キロメートル(Km)		百平方軒 = 付 Per 100 Square (Km)		水底ケーブル Submarine Cables キロメートル(Km)	
	線路 Routes	線条 Lines	線路 Routes	線条 Lines	線条 Lines	心線 Cores
4,179,112	70,973	6,728,471	18	1,759	1,087	8,858
3,944,504	68,485	6,323,214	18	1,654	1,064	8,493
3,791,777	66,050	6,038,706	17	1,580	970	7,278
3,552,307	61,636	5,655,382	16	1,479	867	6,565
3,424,264	59,237	5,426,301	15	1,420	808	5,948
3,358,543	56,836	5,269,105	15	1,379	788	5,911
3,079,316	54,199	4,894,511	14	1,282	673	5,487
2,839,065	49,646	4,488,863	13	1,125	443	2,753
2,554,020	46,378	4,046,665	12	1,061	397	3,625
2,158,028	40,817	3,484,384	11	912	295	3,024

内地市内電話

Frequencies of Faults of

種別 Description	年次 Year	昭和	九	八	七
		十 1935-36	年 1934-35	年 1933-34	年 1932-33
交換局内 Fault in Exchange Office	交換機 Switch Board	366,386	378,126	395,586	368,094
	配線盤 Distributing Board	36,427	33,257	40,416	35,834
	繼電器架 Relay Rack	46,327	51,583	42,561	40,976
	可熔片盤及中繼線輪架 Fuse Board and Repeating Coil Rack	15,150	13,159	13,887	14,821
	發電裝置 Power Plant	947	5,342	1,886	1,581
	局内線其ノ他 Office Wires etc.	51,091	30,697	34,568	31,326
	計 Total	516,328	512,164	528,904	492,632
加入者宅内 Fault in Subscriber's Station	電話機 Telephones	441,159	431,221	419,742	401,400
	保安器 Protective Devices	46,585	50,043	54,341	44,264
	電池 Cells	16,598	20,388	21,225	20,012
	室内線 Wires	20,517	11,831	11,518	12,244
	轉換機 Switches	10,492	9,419	9,380	10,262
	加入者不注意其ノ他 Subscriber's Carelessness etc.	94,135	55,814	60,361	50,767
	計 Total	629,486	578,716	576,567	538,949
線路 Fault on Routes	架空線 Aerial Lines	* 134,289	131,488	137,130	107,205
	架空ケーブル Over-head Cables	37,631	28,980	26,392	24,313
	地下ケーブル Underground Cables	7,140	5,836	6,041	5,398
	加入者引込線 Subscriber's Leading-in	80,625	72,164	73,627	65,462
	中繼線 Trunk Line	234	125	233	336
	配線箱 Distributing Box	5,748	28,592	33,699	30,769
	線 Bridle Wire	35,621	4,823	4,218	3,732
其ノ他 Others	46,636	41,578	40,222	39,164	
計 Total	347,924	313,586	321,562	276,379	
合 Grand Total	計	1,493,738	1,404,466	1,427,033	1,307,960

障礙度數

Inland Urban Telephones

六	五	四	三	二	元
年 1931-32	年 1930-31	年 1929-30	年 1928-29	年 1927-28	年 1926-27
404,788	454,195	468,285	516,062	443,375	440,024
39,733	47,360	51,268	54,268	59,100	72,548
42,088	48,206	49,987	60,215	52,522	64,145
17,190	20,253	18,059	24,227	34,137	28,871
2,216	5,975	7,277	5,068	4,375	2,281
41,641	35,338	39,664	43,763	49,674	49,404
547,656	611,327	634,540	703,603	643,183	657,273
387,541	379,941	380,307	358,335	326,986	305,115
44,718	46,545	46,428	44,090	41,971	37,745
21,110	23,264	25,072	24,358	29,371	29,425
12,430	12,326	12,706	13,740	13,905	12,447
11,219	12,406	-	-	-	-
53,990	57,078	77,857	68,666	46,154	39,923
531,008	531,560	542,370	509,189	458,387	424,655
119,570	133,894	145,316	155,435	155,543	152,104
22,358	21,751	20,511	16,612	15,997	17,419
7,182	6,453	8,990	11,510	8,772	7,669
71,738	78,728	85,975	88,087	75,636	77,880
668	765	1,379	1,273	-	-
33,603	37,458	41,126	45,907	47,254	47,083
3,963	4,752	5,464	6,659	6,951	6,574
43,692	48,082	50,572	51,100	59,218	55,532
302,774	331,883	359,333	376,583	369,371	364,261
1,381,438	1,474,770	1,536,243	1,589,375	1,470,941	1,446,189

內地市外電話障
Frequencies and Hours of Faults

種別 Description	年次 Year	年度									
		十年度 1935-36	九年度 1934-35	八年度 1933-34	七年度 1932-33	六年度 1931-32	五年度 1930-31	四年度 1929-30	三年度 1928-29	二年度 1927-28	元年度 1926-27
混線 Contact	度數 Frequency	7,012	5,947	5,318	4,394	4,356	5,634	5,386	5,799	5,816	6,179
	時數 Hours	45,381	35,721	27,338	19,487	17,927	32,838	26,771	30,227	29,449	35,984
地氣 Earth	度數 Frequency	6,068	5,327	4,846	3,639	3,603	4,788	4,945	4,754	5,290	5,192
	時數 Hours	38,888	31,098	26,184	16,648	15,242	27,132	25,518	25,308	28,672	29,558
斷線 Disconnection	度數 Frequency	5,966	4,539	5,688	4,282	3,794	3,947	4,098	3,519	4,007	3,726
	時數 Hours	25,662	27,723	19,674	15,163	13,700	20,554	17,847	16,524	21,137	22,541

內地郵便電信電話局所用電話機
Number of Telephone Apparatuses
Post, Telegraph and

種別 Description	年度末 On March 31st of :-	年度		
		十年度 1936	九年度 1935	八年度 1934
加入者交換機 "A" Board	共電式複式 Common Battery Multiple System	899	956	1,113
	磁石式並列複式 Magneto Parallel Multiple System	-	-	-
	磁石直列(複式) Magneto Series Multiple System	369	357	343
	磁石式(單式) Magneto Single System	6,186	6,173	6,284
市內中繼臺 "B" Board	有 Cord System	387	383	399
	無 Cordless System	34	32	32
市外線用 Toll Board	共電式 Common Battery System	1,363	1,236	1,144
	磁石式大(複式) Magneto Multiple System (Large type)	437	417	406
	磁石式小(單式) Magneto Single System (Small type)	2,061	2,069	2,112
	記錄臺 Recording Board	-	172	159
合 計 Total		11,736	11,795	11,992

碍度數及時數
of Inland Suburban Telephones

種別 Description	年次 Year	年度									
		十年度 1935-36	九年度 1934-35	八年度 1933-34	七年度 1932-33	六年度 1931-32	五年度 1930-31	四年度 1929-30	三年度 1928-29	二年度 1927-28	元年度 1926-27
漏電 Leakage	度數 Frequency	4	40	1	26	20	9	8	30	26	44
	時數 Hours	23	70	2	3,268	618	51	119	641	229	747
其他 Others	度數 Frequency	1,232	728	789	682	616	665	600	522	700	873
	時數 Hours	4,392	5,449	2,720	2,584	2,039	2,648	2,122	2,015	2,557	3,570
合 計 Total	度數 Frequency	20,282	16,581	16,642	13,023	12,389	15,043	15,037	14,624	15,839	16,014
	時數 Hours	114,346	100,061	75,918	57,150	49,526	83,223	72,377	74,715	82,044	92,400

械及電池數
and Batteries used at Inland
Telephone Offices

七年度 1933	六年度 1932	五年度 1931	四年度 1930	三年度 1929	二年度 1928	元年度 1927
1,156	1,073	1,302	1,022	1,022	935	844
14	14	15	13	13	32	70
324	320	357	360	356	357	295
6,085	5,603	5,432	5,243	4,840	4,284	3,843
441	413	420	445	457	437	453
26	26	26	26	21	11	-
1,118	937	870	694	559	-	-
428	421	470	468	431	765	662
2,184	2,240	2,104	2,023	1,664	1,446	1,388
173	141	106	99	89	65	46
11,949	11,314	10,991	10,563	9,610	8,473	7,671

内地郵便電信 電話機
電話局所用

Number of Telephone Apparatuses
Post, Telegraph and

種 別 Description	年 度 末 On March 31st of:-			
	十 年 度 1936	九 年 度 1935	八 年 度 1934	
自 働 式 Automatic Tele- phone Switch- board	ラインスイッチボード (コネクタ付) Line Switch Board	548	515	431
	両面ラインスイッチボード Lineswitch board equipped with 230 line switches	348	353	325
	セレクターボード Selector Board	409	373	329
	レピーターボード Repeater Board	95	53	50
	ストロージャー式 Outgoing Secondary Line Switch Board	117	114	111
	コネクタボード Connector Board	223	219	126
	ラインファインダーフレーム Line Finder Frame	132	110	57
	コネクタフレーム Connector Frame	139	126	97
	セレクターフレーム Selector Frame	8	8	4
	小自働交換機 Rural Automatic Telephone Exchange	-	1	-
	一次セレクターボード Primary Selector Board	712	527	466
	S & H 式(上) S. B. 式(下) Secondary Selector Board	156	86	77
	コネクタボード Connector Board	198	198	198
	セレクターボード Selector Board	116	249	251
	レピーターボード Repeater Board	115	69	52
リレー式簡易従局装置 Relay Salettite exchange equipment	7	-	-	
小自働交換機 Rural Automatic Telephone exchange	3	1	-	
合 計	3,326	3,002	2,574	
電 話 機 Telephones	通 常 Wall set	274,020	255,005	248,103
	磁石 Magneto System	382,634	390,265	375,335
	自働 Automatic System	196,759	167,866	146,856
	共 同 Common Battery System	52,257	47,997	53,794
	卓 上 Desk set	35,604	34,282	31,616
	磁石 Magneto System	42,109	36,097	32,948
	自働 Automatic System	4,343	3,627	3,539
公 衆 Public	987,726	935,139	892,191	
合 計	987,726	935,139	892,191	
電 池 Batteries	一 次 Primary	902,659	880,610	882,219
	二 次 Secondary	9,862	8,606	18,257
	合 計	912,521	889,216	900,476

械 及 電 池 數

and Batteries used at Inland
Telephone Offices

(續)

(Continued)

七 年 度 1933	六 年 度 1932	五 年 度 1931	四 年 度 1930	三 年 度 1929	二 年 度 1928	元 年 度 1927
419	430	393	351	312	301	269
304	290	258	247	164	94	34
279	261	239	232	203	164	96
54	48	44	44	41	35	20
108	107	102	104	99	97	49
111	117	94	84	64	80	3
41	24	-	-	-	-	-
41	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
372	358	357	347	249	160	120
59	61	56	54	40	21	12
196	197	194	190	141	92	60
250	249	249	241	150	114	65
40	38	36	38	23	15	4
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
2,274	2,180	2,022	1,932	1,486	1,173	732
247,282	222,013	226,390	216,813	219,607	211,744	196,957
376,970	375,470	379,690	375,803	352,406	328,845	314,516
116,915	106,581	96,420	88,952	69,969	59,883	35,016
54,177	53,157	45,925	40,250	41,524	40,182	40,363
34,553	31,831	35,308	34,669	32,839	31,426	32,412
27,885	26,092	22,944	20,821	18,346	15,909	6,747
3,152	2,936	2,790	2,775	2,565	2,231	1,877
860,934	818,080	809,467	780,083	737,256	690,220	627,888
860,085	865,568	874,915	847,034	785,844	746,163	703,831
16,741	13,967	12,219	7,416	5,988	4,430	3,853
876,826	879,535	887,134	854,450	791,832	750,593	707,684

第十一章 電話加入者及電話通話數

Section 11. Number of Telephone Subscribers and Messages

内地電話加入者

Number of Inland Telephone Subscribers

年次 Year	種別 Description	單獨加入 Individual Subscription	共同線加入 Party Line Subscription	連接加入 Extention Line Subscription	合計 Total	加入申込者 Applicants for the telephone subscription
昭和十年	1935-36 年度	851,620	15,844	3,012	870,476	145,049
九	1934-35 年度	811,830	15,210	3,001	830,041	154,345
八	1933-34 年度	778,781	14,649	3,108	796,538	161,357
七	1932-33 年度	743,958	13,925	3,253	761,136	167,276
六	1931-32 年度	710,916	13,673	3,325	727,914	172,150
五	1930-31 年度	698,199	13,286	3,535	715,020	176,900
四	1929-30 年度	673,615	12,809	3,619	690,043	182,217
三	1928-29 年度	640,981	11,130	3,610	655,721	195,332
二	1927-28 年度	595,049	10,350	3,747	609,146	200,001
元	1926-27 年度	538,764	9,690	4,103	552,557	202,351

内地電話通話數

Number of Inland Telephone Messages

年次 Year	種別 Description	同一加入區域内 In the Same Subscription District			加入區域外 With Other District	
		加入者相互間 通話度數(推算) Number of mes- sages between Subscribers	局所及公衆電話 ニテ通話時數 Hours of Conver- sation of Office and by Public Telephone	呼出請求件數 Requests of Call	通話時數 Hours of Conversation	呼出請求件數 Requests of Call
昭和十年	1935-36 年度	3,984,266,968	44,791,390	44,494	27,378,863	2,216,320
九	1934-35 年度	3,783,991,018	40,202,841	42,124	23,678,514	2,110,144
八	1933-34 年度	3,564,536,772	36,949,570	43,165	211,604,540	2,003,246
七	1932-33 年度	3,208,443,375	35,444,101	38,537	190,635,368	1,929,063
六	1931-32 年度	3,111,359,022	34,755,091	37,131	180,033,609	1,954,216
五	1930-31 年度	2,992,928,336	34,242,737	37,399	167,168,858	1,962,930
四	1929-30 年度	2,881,123,698	34,057,430	38,829	155,614,560	2,083,377
三	1928-29 年度	2,730,238,110	31,860,452	39,567	138,036,070	2,026,950
二	1927-28 年度	2,439,878,924	26,708,234	36,488	119,466,774	2,042,051
元	1926-27 年度	2,195,600,413	22,707,408	36,062	102,722,430	1,984,941

備考 一通話時數ハ三分間トス
Note. Unit time of conversation is 3minutes.

第十二章 無線電信無線電話業務ニ關スル施設

Section 12. Institutions for Wireless Telegraph and Wireless Telephone Services.

無線電信無線電話業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

有無線合併 無線電信發達ニ伴フ司業業務ノ膨脹ニ鑑ミ有線電信トノ一層緊密ナル聯繫ヲ保タシメ其ノ機能ヲ發揮センムルト共ニ電信事業運營ノ單一化ヲ圖ル爲昭和十年四月十五日ヨリ東京、名古屋、大阪、鹿児島、那覇各無線電信局ハ之ヲ夫々東京、大阪各中央電信局、名古屋、鹿児島、那覇各郵便局ト合併シ分課ノ改正ヲ爲セリ

對外無線電信連絡ニ依ル通信取扱地域ノ擴張 關係外國電信主管廳又ハ會社ト協定ノ本邦ニ於ケル對外無線電信連絡ニ依ル通信取扱地域ヲ擴張セリ

新規國際電話連絡開始及業務擴張 本年度ニ於テ新ニ國際電話連絡ヲ開始シタルモノ及既設連絡ニシテ其ノ通話業務ノ擴張ヲ行ヒタルモノハ下記ノ如シ

日支間國際電話、對歐洲中繼通話、通話題目ノ豫報

復活祭祝賀電報、「クリスマス」及新年祝賀國際通話ノ開始 本年度ヨリ復活祭外國祝賀電報「クリスマス」及新年祝賀國際通話ヲ低減料金ヲ以テ取扱フコトナリ關係外國側ト協定、關係省令等ヲ整備セリ

短波無線電信無線電話ノ監督設備整備 短波無線電信無線電話ノ監督取締ニ付テハ從來其ノ重要性ニ鑑ミ各通信局ヲ督勵シテ之ガ徹底ニ努メ來リタルガ尙不充分ナリシノミナラズ適法及不法短波施設ノ増加ニ伴ヒ既設ノ監督設備ノミニテハ到底其ノ萬全ヲ期シ得サルニ至リタルヲ以テ各通信局ニ對シ監督用短波無線電信無線電話ノ送受信設備及方向探知機ヲ増備スル等監督設備ノ整備ヲ圖ルト共ニ之ガ運用方法ニ大改正ヲ加ヘ又本件設備ヲ非常災害時等ニ於ケル通信連絡杜絶ニ際シ重要緊急事項ノ通報等ニモ利用セシムルコトセリ

對海軍無線艦所通信訓練實施 非常災害時等ニ於ケル臨時無線連絡設定並艦船遭難救助措置等ニ習熟セシムル目的ヲ以テ海軍無線艦所ト當省所轄無線電信トノ間ニ無線電信ニ依ル訓練通信ヲ實施セリ

郵便爲替貯金
POSTAL MONEY ORDER
AND POSTAL SAVINGS

第三編 郵便爲替及貯金

Chapter 3. Postal Money Order and Postal Savings

貯金局沿革略誌

明治八年

- 一月 明治六年郵便爲替創設ノ件漸ク議ニ上リ七年九月郵便爲替規則ヲ發布シ八年一月ヨリ内務省驛遞寮ノ下ニ開始ス而シテ爲替種類ハ一種トシ證書一枚ノ金額制限ヲ參拾圓以下トシ其ノ料金ハ五圓迄參錢、拾圓迄五錢、貳拾圓迄十錢、參拾圓迄十五錢トシ證書ノ有効期間ヲ六箇月トス
- 四月 貯金預規則ヲ發布シ翌月ヨリ實施ス、預金ハ一人年拾錢以上百圓迄總額五百圓迄トシ利子ハ年三分トス
- 七月 繰替爲替法ヲ設ケ資金運用ニ便ス

明治九年

- 一月 爲替料金ヲ改正ス
- 三月 貯金利子ヲ年四分ニ改ム
- 同 郵便受取所ニ於テ貯金ヲ取扱ハシメ之ヲ貯金預所ト稱ス
- 七月 府縣上納金繰替法ヲ設ケ上納金ヲ爲替資金ト共ニ運用スルコトトス
- 十二月 郵便爲替證書ノ有効期間ヲ三箇月ニ改ム

明治十年

- 一月 驛遞寮ヲ廢シ更ニ驛遞局ヲ置ク
- 同 貯金利子ヲ年五分ニ改ム
- 同 貯金預所ヲ驛遞局貯金預所ト改稱ス
- 九月 貯金預所ノ設ケナキ地ニ於テ貯金ヲ爲サムトスル者ノ爲ニ其ノ預入手續ヲ定ム
- 十二月 貯金預規則ヲ改正シテ最低預高ヲ參錢トシ小額貯金預入ニ便ス

明治十一年

- 一月 貯金利子ヲ年六分ニ改ム

明治十二年

- 十二月 英領香港郵政廳ト郵便爲替條約ヲ締結シ翌月一日ヨリ實施ス之ヲ外國郵便爲替條約締結ノ嚆矢トス

明治十三年

- 一月 驛遞局貯金(従前ハ單ニ貯金ト稱ス)ト改稱ス
- 同 大阪外五局ニ貯金繰替拂ノ方法ヲ設ケ貯金拂戻ノ捷路ヲ開ク
- 十二月 一人一箇月ノ預金額ヲ拾錢以上參拾圓迄トシ同時ニ預金總額ニ對スル制限ヲ解キ翌年一月ヨリ實施ス

明治十四年

- 三月 京都外五市内ノ貯金預所ニ貯金拂戻ヲ取扱ハシム
- 四月 貯金利子ヲ年七分二厘ニ改ム
- 同 農商務省ヲ置カレ驛遞事務ハ同省ノ所管ニ移ル
- 八月 英國ト郵便爲替條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス

明治十五年

- 一月 爲替料金ヲ改正ス

- 十月 出納局預金ト各府縣預爲替超過金トノ振替順序及送金法ヲ設ク
- 十一月 東京府防火線及屋上制限建物改修積立金ヲ貯金ニ預入ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 郵便條約ヲ制定シ其ノ一部ヲ爲替及貯金制度ニ改正ヲ加ヘ爲替證書ノ有効期間ヲ百二十日トナシ又貯金一人一度ノ預金額ヲ拾錢以上一日ノ預金額ヲ五拾圓迄トシ特ニ認可ヲ受ケタルモノハ五十圓以上ノ預入ヲ爲スコトヲ得セシメ翌年一月ヨリ實施ス

明治十六年

- 一月 英國ノ媒介ニヨリ日耳曼ト郵便爲替ヲ開始ス
- 二月 郵便切手、驛遞局經費等ノ爲ニ各局間振替爲替法ヲ定メ四月ヨリ實施ス
- 十一月 府縣上納金繰替法ヲ廢ス

明治十七年

- 四月 貯金利子ヲ千圓未満ハ年六分トシ翌年一月ヨリ、千圓以上ハ年四分トシテ七月ヨリ之ヲ施行ス
- 七月 貯金差繼拂規則ヲ修正シテ貯金即時拂規則ト改稱シ拂戻ノ利便ヲ進ム
- 同 大藏省ト預金ノ約定ヲ改正シ驛遞局ヨリ貯金預入ニ拂渡スヘキ利子、貯金事業經費ハ別ニ國庫ヨリ交付ヲ受ケ貯金運轉利殖ノコトハ舉テ大藏省ニ移ス
- 十二月 佛國ト郵便爲替條約ヲ締結シ翌年三月ヨリ實施ス

明治十八年

- 一月 貯金ノ業務ハ大藏、農商務兩省ノ共管ニ屬ス
- 二月 英國ノ媒介ニヨリ歐米諸國及英領各植民地ト郵便爲替ヲ開始ス
- 三月 萬國聯合郵便爲替條約ニ加盟ス
- 五月 北米合衆國ト郵便爲替條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス
- 六月 東京、大阪、横濱、神戸、長崎及上海郵便局ニ銀貨貯金ヲ施行シ翌月前記各局ニ外國人貯金ノ取扱ヲナサシメ又九月金貨貯金ヲ開始ス
- 九月 電信爲替及小爲替法ヲ設ケ十月ヨリ施行ス
- 同 全國郵便局ニ於テ總テ貯金ノ取扱ヲナサシム
- 十二月 遞信省ヲ置カレ驛遞局ハ同省ノ所管トナル

明治十九年

- 二月 遞信省官制公布セラレ爲替貯金事務ハ驛遞局第四部(外國爲替事務ハ第三部外國爲替課)ニテ掌理ス
- 五月 千圓以下ニ付スヘキ貯金利子ヲ年五分四厘ニ改ム
- 九月 貯金利子ノ割合ヲ更メ預金千圓迄ハ年四分二厘、千圓以上ハ年三分トス
- 同 歐米諸國ニ對シ萬國郵便爲替約定ニヨリ郵便爲替又ハ電信爲替ヲ實施シ又郵便爲替條約ヲ締結シタルモノ多シ

明治二十年

- 三月 遞信省官制ヲ改正シ爲替貯金局ヲ置キ局中ニ第一課(爲替事務分掌)第二課(貯金事務分掌)ヲ設ケ
- 同 驛遞局貯金ヲ郵便貯金ト改稱ス
- 十二月 兌換銀券ノ發行ニヨリ銀紙價格ノ差ナキニ至レルヲ以テ銀貨貯金預方法ヲ廢ス

明治二十一年

- 十二月 布哇本邦出稼人ノ爲同國日本領事館ニ貯金事務ヲ開始シ及其ノ内地ヘ送金スル郵便爲替法ヲ定ム

明治二十三年

- 二月 金貨貯金及外國人貯金取扱ヲ廢ス

- 六月 郵便爲替貯金局ヲ本省ヨリ分離シ、官制ヲ定メ郵便爲替貯金局ヲ置ク
- 八月 郵便貯金條例ヲ公布シ預金總額ニ對スル制限ヲ元利合セテ五百圓迄トシ翌年一月ヨリ實施ス

明治二十四年

- 一月 貯金預所ニテハ貯金預入ノ外其ノ拂戻請求ノミヲ取扱ハシムルコトトス
- 八月 官制ヲ改正シ郵便爲替貯金局ヲ廢シ郵便爲替貯金管理所ヲ置キ同所ニ於テハ主トシテ現業事務ヲ掌理シ規畫、監督事務ハ明治四十二年七月郵便貯金局設置ニ至ル迄郵務局或ハ通信局ニ於テ掌理ス

明治二十六年

- 十月 天災其ノ他非常ノ場合ニ於テ貯金拂戻ノ手續ヲ簡單ニス

明治二十七年

- 八月 非常召集ニ應スヘキ軍人ニ對シ郵便爲替ノ振出、拂渡ノ特別扱ヲ爲スコトトス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ布哇外數國ト郵便爲替交換ヲ開始ス
- 十二月 戰地郵便局ニ爲替振出事務ヲ開始ス

明治二十八年

- 四月 野戰郵便局ニ貯金預入事務ヲ開始ス
- 六月 外國宛郵便爲替料ヲ改正ス

明治二十九年

- 四月 郵便爲替、郵便貯金ニ關スル規定ヲ新領土臺灣ニ施行ス
- 十二月 郵便貯金非常拂ノ制ヲ定ム

明治三十一年

- 四月 貯金利子ヲ年四分八厘ニ改メ翌年四月ヨリ施行ス
- 五月 天災其ノ他非常ノ場合ニハ電報ヲ以テ貯金ノ拂戻ヲナシ得ル手續ヲ設ケ
- 十二月 郵便爲替聯盟國間ニ於ケル郵便爲替事務約定ヲ公布シ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十二年

- 二月 郵便爲替證書一枚ノ金額制限參拾圓ヲ五拾圓ニ高メ次テ爲替料金(小爲替ヲ除ク)ヲ改メ四月ヨリ實施ス
- 五月 郵便貯金出張取扱ノ制ヲ設ケ
- 十一月 郵便住宅拂ノ制ヲ設ケ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十三年

- 三月 郵便切手貯金規則ヲ制定シ學童婦女子等ノ貯金ヲ獎勵ス
- 九月 始メテ本所ニ女子雇員ヲ採用シ次テ各支所ニモ亦之ヲ採用ス
- 同 爲替資金及過超金ハ從來通運會社又ハ小包郵便ニヨリタルヲ通常價格表記郵便ニヨリ取扱フコトトシ賜金送金ノ敏活ヲ期セリ
- 十月 郵便爲替法、郵便爲替規則、郵便爲替取扱規程ヲ實施ス

明治三十四年

- 三月 郵便爲替證書引讓渡ノ制ヲ設ケ爲替證書讓渡ノ途ヲ開キ且手形交換所ニ於テ爲替金拂渡ノ便法ヲ設ケ四月一日ヨリ施行ス
- 同 證券貯金規則ヲ設ケ國債、縣債、市債等ノ證券又ハ其ノ利札ハ郵便貯金ニ預入シ得ルコトトシ四月一日ヨリ施行ス
- 七月 在外本邦出稼人ノ爲郵便爲替貯金預入ノ便利ヲ圖リ特別郵便貯金規則ヲ制定シ十月ヨリ施行ス

八月 郵便取立金取立済通知書線引讓渡ノ途ヲ開キ郵便爲替證書讓渡ノ例ニ準シ取扱フコトトス

明治三十五年

五月 貯金即時拂戻ハ一箇月一回ナリシヲ二回トシ一回ノ金額貳拾圓迄ナリシヲ參拾圓迄ニ擴張シ同時ニ特別即時拂戻ニ關スル規定ヲ設ケ豫メ認可ヲ受ケタル預入ニ對シテ金額及回数ニ制限ナク即時拂ノ取扱ヲ爲シ得ルノ途ヲ開ク

明治三十六年

二月 高額郵便爲替振出ノ制ヲ設ケ特ニ逓信大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限り高額ノ郵便爲替ヲ振出シ得ルコトトス
四月 通信官署ノ歳入金歳出金ハ爲替貯金等ノ現金ト共ニ一團トシテ取扱ヒ交互振替及繰替受拂ヲナスノ制ヲ實施ス
十二月 規約貯金ノ制ヲ設ケ多數團結シテ實行スル貯金ニ便ス

明治三十七年

二月 日露ノ開戦ニ伴ヒ軍事郵便爲替貯金規則ヲ制定シ野戰郵便局ニ於テ爲替金ノ受入及ヒ貯金預入ノ事務ヲ開始シ専ラ出征者ノ便利ヲ圖ル
三月 俘虜郵便爲替規則ヲ制定シ俘虜ノ爲無料特別送金ノ方法ヲ設ケ
七月 郵便集配人取集郵便貯金ノ制ヲ設ケ八月ヨリ實施ス
九月 貯金利子ヲ年五分四毛ニ改ム
同 戰地特別郵便貯金規則ヲ制定シ出征者ヲシテ軍事爲替ニ依リ預入シ得ル途ヲ開ク
十月 貯金即時拂一箇月ノ回数制限ヲ廢シ一日一回金參拾圓以内一箇月總額六拾圓迄ヲ限り即時拂ノ取扱ヲ爲スコトトシ十一月ヨリ實施ス
十一月 郵便局國庫債券取扱規則ヲ制定シ國庫債券應募申込、應募金ノ拂込及債券交付ノ手續ヲ定ム
同 据置貯金ヲ實施ス
十二月 逓信省構内郵便局ノ設置ニ伴ヒ郵便貯金直接拂ノ法ヲ開始ス
同 貯蓄債券購買媒介ノ制ヲ設ケ

明治三十八年

七月 郵便貯金及郵便貯金規則並郵便貯金取扱規程ヲ實施ス、其ノ要旨ハ一人貯金總額ヲ千圓ニ高メ(公共團體等ニハ制限ヲ置カス)即時拂ヲ便ニシ、特別即時拂、非常拂、海外在留人特別貯金拂戻ノ方法ヲ擴メ、預入ノ所有スル證券ヲ保管スルコト等ナリ

明治三十九年

三月 郵便振替貯金規則ヲ創設シ其ノ加入者ノ口座ニ對スル拂込、口座相互ノ振替及口座ヨリ拂出ヲナシ其ノ口座現在金ニ對シテハ年三分六厘ノ利子ヲ付スルコトトス
五月 郵便振替貯金拂出證書線引讓渡ノ途ヲ開ク
七月 女子通信手ヲ任用ス之レ本邦ニ於ケル女子判任官ノ嚆矢トス
八月 明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ以テ交付シ又公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ以テ交付スルノ制ヲ設ケ

明治四十年

五月 勸業債券購買媒介郵便規則ヲ制定シ、貯蓄債券購買媒介郵便規則ヲ廢ス
九月 羅馬郵便爲替約定實施ニ伴ヒ外國郵便爲替規則等ヲ改正シ十月一日ヨリ施行ス

明治四十一年

四月 郵便局國庫債券償還及引換取扱規則ヲ制定シ無記名第一回國庫債券償還事務ノ取扱ヲナス

五月 郵便官署保管國庫債券引換規則ヲ制定シ引換公債證書ハ其ノ擔保管シ得ルノ途ヲ開ク
十月 振替貯金規則ヲ改正シ十二月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ二箇以上ノ口座ニ加入シ得ルコト及別名登記ノ制ヲ認メタルコト、拂出料金を改正シ現金拂ノ場合ニ於テモ無料通信ヲ爲シ得ルモノトシタルコト等トス
十二月 郵便爲替規則ヲ改正シテ通常及電信爲替ノ金額制限ヲ百圓ニ高メ爲替料金を改メ翌年一月ヨリ施行ス

明治四十二年

一月 日本勸業銀行賣出ノ勸業債券ヲ郵便貯金ヲ以テ購入保管シ得ル方法ヲ設ケ
四月 市公金拂ノ爲ニスル郵便振替貯金特別取扱規則ヲ制定シ翌五月始テ大阪市内郵便局ニ於テ之カ取扱ヲ開始ス
同 從來郵便貯金預入ノ都度發送セル登記済通知書ヲ廢止ス
七月 官制ヲ改正シ郵便爲替貯金管理所及支所ヲ廢シ郵便貯金局及之カ支局ヲ置ク
十一月 居宅拂ハ在來一、二等局及主ナル三等局ニ限ラレタルヲ廣ク各局ニ及ホス

明治四十三年

一月 郵便振替貯金口座受拂事務ヲ朝鮮總督府通信管理局ニモ開始ス
二月 貯金利子ヲ年四分二厘ニ改メ四月一日ヨリ施行ス
三月 郵便貯金局官制ヲ改正シ郵便貯金局職員官名ヲ改ム
同 從來大藏省及各地方廳ニ於テ取扱ヒタル國庫支辨ニ屬スル年金恩給、遺族扶助料及退職料支給事務ヲ逓信省管掌ニ移シ四月一日ヨリ施行ス
同 郵便振替貯金口座受拂事務ヲ臺灣總督府通信局ニ開始ス
六月 郵便貯金規則ヲ改正シテ即時拂ノ制限ヲ寬ニシ、通帳ニ現在高證明ヲ付スル場合ヲ制限シ七月一日ヨリ施行ス
七月 郵便振替貯金小切手拂込規則ヲ制定シ持參人拂ノ小切手ヲ以テ郵便振替貯金ノ拂込ニ充用スルヲ得セシメ東京外五市内各郵便局ニ於テ之カ取扱ヲ開始ス
同 郵便保險年金制度調査委員會ヲ設ケ小口保險ニ關スル調査ニ著手ス
十月 福岡市ニ郵便貯金支局ヲ設ケ十一月一日ヨリ振替貯金口座受拂事務ヲ開始ス
同 私立貯蓄銀行ノ預金者ヲ郵便貯金ニ引繼クノ先例ヲ拓ク
十一月 臺灣、樺太、朝鮮及清國相互間及同地方ト内地間ノ電信爲替料ヲ改正ス
同 郵便集金規則ヲ制定シ振替貯金制度ヲ利用シ石川縣下及鳥取市ニ於ケル日本赤十字社贈金ノ取集ニ對シテ之ヲ施行ス

明治四十四年

三月 郵便電信電話官署現金出納計算規程ヲ改正シ四十四年度分ヨリ施行ス
四月 從來郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル郵便切手ハ五厘、壹錢、貳錢ノ三種ナリシカ更ニ壹錢五厘、參錢ノ二種ヲ加ヘ又將來本省發行ノ切手貯金臺紙ニハ切手印面ヲ印刷セス預入ノ請求ニ依リ無料交付ノコトトシ四月一日ヨリ施行ス
同 滿洲ニ屬スル爲替貯金及取立金等ノ計算管理事務ハ四月一日ヨリ關東都督府通信管理局ニ於テ掌理スルコトトナレリ
九月 集金郵便振替金拂込規則ヲ制定ス
十一月 郵便貯金通帳ノ形式ヲ改メ冊子式ヲ折疊式トナシ且設欄ヲ半減シテ取扱ノ簡便ト用紙ノ經濟トヲ圖リ翌年一月ヨリ施行ス
十二月 府縣稅納入郵便振替貯金特別取扱規則ヲ制定シ翌年一月ヨリ施行ス

明治四十五年

大正元年

- 二月 振替貯金規則ヲ改正シ三月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ基本金ヲ半減シ、自己口座ニ對スル受拂料金を減免シ、住宅拂及電報局待拂ヲ新設シタルコト等トス
- 同 電信爲替證書留置ノ制ヲ設ケ又直配達区内ニ在ル受取人ニ對シテハ證書ヲ受信電報ノ例ニヨリ配達スルコトトス
- 五月 郵便振替貯金ニ依ル債券募集元利金支拂並貸付事務特別取扱規則及同取扱規程ヲ制定シ、四十年五月發布ノ勸業債券購買媒介郵便規則ヲ廢止ス
- 十一月 線引郵便爲替證書便宜拂ノ制ヲ設ケ
- 十二月 朝鮮ニ於ケル一般金利ノ高率ニ鑑ミ同地郵便貯金ニ限リ利子ヲ年五分四毛ニ改ム

大正二年

- 一月 郵便貯金規則及郵便貯金取扱規程ヲ改正シ三月一日ヨリ施行ス、其ノ要點ハ即時拂ノ方法ヲ擴張シ現在高證明又ハ自局所預入レモノノ金額制限ヲ撤廢シ、拂戻豫告ノ制ヲ設ケ、他局預入ニシテ現在高證明ナキモノハ一定額ヲ限リ確認即時拂ノ方法ヲ設ケタルコト等ナリ
- 三月 日英郵便爲替業務約定ノ追加條款ヲ締結シ二月一日ヨリ日英兩國間ニ電信爲替ノ交換ヲ開始ス
- 四月 日露郵便爲替交換約定ヲ締結シ本邦ト露國(芬蘭ヲ除ク)及在北滿洲露國郵便局ト間ニ郵便爲替ノ直接交換ヲナスコトトシ五月一日ヨリ施行ス
- 六月 官制改正ノ結果郵便貯金局官制ハ廢止セラレ新ニ爲替貯金局官制ヲ制定シ十三日ヨリ施行ス、其ノ改定要點ハ郵便貯金局及同支局ノ事務ハ爲替貯金局及同支局ニ於テ之ヲ繼承シ、高等官、判任官ノ官名ヲ改メ本局ニ於ケル貯金部及爲替部ヲ併合シテ業務部トナシ、人事課ヲ廢シテ庶務課ヲ設ケ、大阪又下關ノ各支局ニ於ケル計理、原簿ノ二課ヲ合併シテ何レモ貯金課ヲ置キタルコト等トス
- 同 土耳其ト郵便爲替ノ直接交換ヲ開始シ七月一日ヨリ實施ス

大正三年

- 八月 日獨及日埃間國交斷絶ト共ニ本邦ト兩國間ノ郵便爲替關係亦停止トナリタルモ翌九月以降瑞西郵政廳ノ媒介ニヨリ獨逸トハ通常郵便爲替ノ交換ヲ開始シ次テ十月ニ至リ之ヲ廢止セリ
- 同 日獨開戦ニ伴ヒ山東省方面野戰郵便局及艦船郵便所ニ於テ軍事爲替貯金事務ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 郵便爲替規則ヲ改正シ爲替證書一枚ノ制限金額ヲ擴張シ、爲替料金を改定シ又爲替金額改措防止ノ爲證書様式ヲ改メ翌年一月ヨリ施行ス

大正四年

- 一月 従來金庫及收入官吏ニ於テ取扱ヒタル國庫金受拂事務ヲ開始シ一定ノ金種目ニ對シテ其ノ取扱ヲ認メ三月一日ヨリ施行ス
- 三月 貯金利子ヲ年四分八厘ニ改ム、但シ臺灣總督府及關東都督府所管原簿ニ登記ノモノハ朝鮮總督府所管ノモノト等シク年五分四毛トシ四月一日ヨリ施行セリ
- 十一月 大禮記念トシテ郵便切手貯金臺紙二種ヲ發行シ十日(御即位大禮當日)以降各郵便局ニ於テ貯金預入ノ請求ニ應ジ之ヲ交付セシム

大正五年

- 一月 郵便爲替證書ノ有効期間ヲ統一シ四月一日ヨリ實施ス
- 同 香港郵政廳ノ媒介ニ依リ「サモア」英領「ソロモン」群島「ギルバート」及「エリス」群島並「トンガ」ノ各英領地ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス

- 同 中米古西多利加及「サルツアドール」トハ墨西哥郵政廳ノ媒介ニ依リ爲替ヲ交換スルコトトナリ居タルモ墨西哥ニ於テ國際爲替交換ヲ停止シタル結果英國ノ媒介ニヨルコトトシ施行ス
- 七月 小樽ニ爲替貯金支局ヲ設ケ八月一日ヨリ貯金及振替貯金ニ關スル事務ヲ開始ス
- 同 郵便取立金ハ郵便爲替金トシテ計理スルコトニ改メ八月ヨリ施行ス
- 九月 英國郵政廳ノ媒介ニ依リ南「エクスアドール」共和國ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 西班牙ト通常及電信爲替ノ直接交換ヲ又同國郵政廳ノ媒介ニ依リ在「モロツコ」西班牙郵便局ト通常爲替ノ交換ヲ開始シ十月一日ヨリ施行ス

大正六年

- 十一月 帝國占領南洋諸島ニ於テ十二月一日ヨリ電信爲替事務ヲ開始ス
- 十二月 日米郵便爲替約定ニ依リ米領「サモア」ト郵便爲替ノ交換ヲ又羅馬約定ニヨリ漢門、葡萄牙植民地ト通常及電信爲替ノ直接交換ヲ執レモ七年一月一日ヨリ開始ス

大正七年

- 四月 郵便爲替證書線引讓渡規則ヲ廢止シ、郵便官署手形交換所參加規則ヲ制定シ同時ニ郵便爲替規則及郵便振替貯金規則中手形交換所組合銀行トノ交換計算ニ關スル條項等ニ改正ヲ加ヘ五月一日ヨリ施行ス
- 八月 郵便官署國債募集取扱規則ヲ制定施行ス

大正八年

- 一月 埃及郵政廳ノ媒介ニ依リ在「パレスティン」英國郵便局ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 五月 官制及分課規程ニ改正ヲ加ヘ監理、業務、保險ノ各部ヲ廢止シ庶務外十五課ヲ置キ又支局ノ庶務課ヲ廢止シ貯金、振替貯金ノ二課ヲ置キ十五日ヨリ實施ス
- 六月 平和記念トシテ郵便切手貯金臺紙ヲ發行シ七月一日以降各郵便局ニ於テ貯金預入ノ請求ニ依リ交付ス
- 同 金澤市ニ爲替貯金支局ヲ設置ス
- 八月 仙臺市ニ爲替貯金支局ヲ設置ス
- 同 國債募集、賣出及元利金支拂郵便振替貯金特別取扱規則及取扱規程ヲ制定施行スルト共ニ從來各種ノ國債證書及其ノ利札ハ證券貯金トシテ預入スルコトヲ得タルモ之ヲ廢止セリ

大正九年

- 一月 郵便爲替、外國郵便爲替、郵便貯金、振替貯金等ニ關スル各種料金を改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 樺太、青島地方、南洋群島又ハ支那ヲ表示セル記號ヲ付シタル原簿ニ登記ノモノハ貯金利子ヲ年五分四毛ニ改正ス
- 五月 獨逸ト爲替ノ交換ヲ再開ス
- 六月 貯金規則ヲ改正施行ス、其ノ要旨ハ通帳二冊以上ヲ所持シ得ル場合ヲ明示シ、切手貯金ノ種類ヲ制限シ、利子記入請求ヲ任意トシタルコト等トス
- 同 郵便爲替規則ヲ改正シ證書制限金額ヲ高メ八月一日ヨリ施行ス
- 同 郵便切手貯金臺紙ニシテ切手印面一枚ヲ印刷シタルモノハ十四日限リ使用ヲ禁止ス
- 八月 郵便貯金法ヲ改正シ貯金總額ヲ貳千圓ニ高メ十月一日ヨリ實施ス
- 十月 逓信省官制ヲ改正シ貯金局ヲ置キ、爲替貯金局官制ヲ廢シ簡易保險事務ハ簡易保險局ノ所管ニ移ル而シテ貯金局ニ於ケル改正要點ハ高等官及判任官官名及分課規程等ノ改正ナリ
- 十一月 名古屋市ニ貯金支局ヲ設置ス

大正十年

- 一月 本邦比律賓群島間郵便爲替ハ從來米本國郵政廳ノ媒介ニ依リ交換ヲ爲シ來リシモ本邦ト同群島兩郵政廳間ニ郵便爲替約定ヲ締結シ三月一日ヨリ兩國間ニ郵便爲替直接交換ヲ實施ス
- 六月 貯金局吏員養成ノ爲メ本支局ニ講習所ヲ設置シ七月一日ヨリ實施ス
- 八月 長野市ニ貯金支局ヲ設置ス
- 同 西班牙馬德里締結郵便爲替業務約定實施ニ伴ヒ外國郵便爲替規則同取扱規程ヲ改正シ翌年一月一日ヨリ施行ス

大正十一年

- 二月 馬德里締結郵便振替業務約定實施ニ伴ヒ外國郵便振替規則ヲ制定ス
- 三月 會計規則ノ改正ニ伴ヒ郵便官署ニ於ケル各歳入及歳出取扱規則同取扱規程ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 會計法規ノ改正ニ伴ヒ關係諸法規ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 六月 大正十一年法律第十八號ニ依ル增加恩給等ノ增加金額支給規則同取扱規程ヲ制定實施ス
- 七月 爲替貯金等ノ執務時間ヲ改正ス
- 八月 据置貯金利子ノ割合ヲ年五分四毛ニ引上グ
- 十二月 在支那本邦郵便局撤廢ニ伴ヒ十二月二十日限リ在支本邦郵便官署ヲ拂渡局所トスル郵便爲替ノ振出及外國郵便爲替ノ交換事務並郵便貯金拂戻證書、郵便振替貯金拂出證書及外國郵便爲替券ノ發行事務ヲ停止シ、在留邦人ニハ其ノ貯金ヲ海外貯金ニ組替ヲ爲スコトヲ得セシム

大正十二年

- 一月 日本帝國及支那共和國間郵便爲替交換ニ關スル約定締結ニ伴ヒ外國郵便爲替規則同取扱規程ヲ改正シ一月一日ヨリ實施ス
- 二月 郵便振替貯金ニ依ル債券募集、元利金支拂並貸付事務、集金郵便振替貯金拂込事務、外國郵便爲替事務ハ無集配三等郵便局ニ於テハ本月限リ取扱ハサルコトトス
- 同 郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ受取人ノシタル居宅請求ノ制ヲ廢止シ三月一日ヨリ實施ス
- 同 産業組合中央金庫法實施ニ伴ヒ郵便貯金法ニ改正ヲ加ヘ産業組合中央金庫ニ對シ預入金ノ金額制限ヲ適用セサルコトトス
- 四月 大阪、下關、福岡、仙臺及名古屋ノ各支局ニ於ケル庶務會計ヲ庶務課ニ改ム
- 五月 皇后陛下行啓アラセラル
- 八月 日支條約締結ニ伴ヒ爲替課ヲ内國外國兩爲替課ニ分割ス
- 九月 震災ノ爲局舎焼失セシニ付假事務所ヲ麻布區富士見町内閣統計局ニ設ク
- 同 震災ノ爲郵便切手在庫品焼失ニ付切手貯金ヲ當分ノ内停止ス
- 同 恩給法改正ニ伴ヒ恩給法附則ニヨル増額恩給更正規則同取扱規程ヲ制定シ翌十月一日ヨリ實施ス
- 十月 郵便貯金、郵便振替貯金、保管證券又ハ郵便爲替ニ關スル大正十二年九月一日現在ノ權利ニシテ之ヲ證明スヘキ郵便貯金通帳其ノ他ノ證據書類ヲ亡失シタルモノニ對シ其ノ權利ヲ申告スルノ途ヲ開キ翌月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 震災ノ爲郵便貯金、郵便爲替等ノ權利ノ中告ニ關スル勅令公布ニ伴ヒ臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則ヲ制定シ十一月一日ヨリ之ヲ實施ス
- 十一月 年金恩給支給規則ヲ規定シ、郵便貯金證券保管及振替貯金臨時取扱規則ヲ制定シ震災ノ爲停止シタル本局所管爲替貯金各種業務ハ十一月二十六日ヨリ其ノ取扱ヲ復舊セリ
- 十二月 臨時分課規程ヲ定メ臨時確認、規則ニ依ル申告ノ確認、大正十二年九月一日以前交付ノ貯金通帳及證券保管通

帳ニ對スル受拂高確認並大正十二年九月一日以前ノ各種業務ノ整理事務ヲ掌理セシム

- 同 上記臨時分課規程制定ニ伴ヒ貯金局及同支局分課規程ヲ改正シ本局經理課及原簿課ヲ貯金課ニ改ム
- 同 京橋區木挽町ニ建築中ナリシ假廳舎落成ニ付移轉ス

大正十三年

- 四月 行賞賜金事務取扱廢止ノ結果貯金局賜金課規程ヲ廢止ス
- 同 震災前發行ニ係ル貯金本局所管通帳中行賞賜金ニ屬スルモノ及貯金本局所管ノ貯金通帳ニ附屬スル證券保管通帳ニ對シ預ケ人ノ任意ニ依リ確認ノ爲ニスル通帳提出ノ受付ヲ開始ス
- 五月 東京及神奈川縣内ノ一、二等郵便局ヲシテ集團臨時住宅、簡易宿泊所及工場ニ貯金獎勵ノ爲メ郵便貯金ノ特別出張取扱ヲ爲サシメ六月十日ヨリ實施ス
- 同 五月十日ヨリ當分ノ内貯金局構内郵便局ニ於テ確認通帳ノ所持者及大正十二年九月二日以降ノ新規預入者ニ對シ其ノ貯金ノ全部又ハ一部ノ局待拂ヲ取扱フコトトス
- 七月 爲替貯金等ノ執務時間ヲ改正ス
- 同 震災ノ爲停止中ナリシ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ賣却事務ヲ復舊ス
- 九月 馬來半島「トレンガヌ」州ト香港郵政廳ノ媒介ニ依リ郵便爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 震災ノ爲停止中ナリシ貯蓄債券ノ賣却事務ヲ復舊シ同時ニ復興貯蓄債券ノ購入保管交付賣却事務ヲ取扱フ
- 十月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「チエツコ、スロヴアキア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 十一月 行政整理ノ爲メ在來ノ庶務課、規畫課、監督課ノ事務分合ヲ行ヒ之ヲ庶務課、業務課、經理課トシ内國爲替課及外國爲替課、第一貯金整理課及第二貯金整理課ヲ各併合シ講習所ヲ廢止ス
- 十一月 南洋廳ニ於テ外國郵便爲替事務ノ取扱ヲ開始ス

大正十四年

- 一月 郵便爲替及振替貯金ノ居宅拂制度ヲ廢止ス
- 二月 外國郵便爲替居宅拂制度ヲ廢止ス
- 同 「チエツコ、スロヴアキア」國ニ於テ英國郵政廳ノ媒介ニヨリ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「ブルガリア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 三月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「地地利國」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 四月 南洋廳所管郵便局ニ於テ年金恩給ノ支給事務ヲ開始ス
- 同 震災前ノ本局所管貯金通帳ニ對スル引上及即時拂等停止ノ件ヲ公布シ五月以降改印轉居等届出ノトキハ通帳ヲ提出スルコトトシ更ニ十月以降ハ之等ノ通帳ニ對スル特殊拂戻ヲ爲ササルコトトス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「阿弗利加洲」地方ト郵便爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 芬蘭國ト通常郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 五月 勃爾瓦利國ニ於テハ英國郵政廳ノ媒介ニヨリ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 七月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「ハンガリー」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 九月 震災ノ爲停止中ナリシ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ購入保管事務ノ取扱ヲ開始ス
- 同 七十五回以後發行ノ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ交付事務ヲ開始ス
- 同 「ストツクホルム」締結郵便爲替約定及郵便振替約定並同約定施行規則ヲ公布ス
- 十月 復興貯蓄債券ノ募集事務ヲ無集配三等局ニ於テモ取扱ハシム
- 十一月 郵便貯金創業滿五十年ニ際シ多年郵便貯金獎勵ニ盡瘁シタル部内者及部外功勞者ヲ表彰ス

大正十五年
昭和元年

- 四月 資本利子税法制定=伴ヒ關係法規類ヲ改正シ資本利子税免稅=關スル取扱方ヲ制定施行ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介=ヨリ「エストニア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 九月 郵便取扱所爲替貯金取扱規程ヲ制定ス

昭和二年

- 三月 英國郵政廳ノ媒介=ヨリ「ラトヴィア」國「リスアニア」國及「ルクセンプルグ」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 四月 勤儉獎勵婦人團體ノ主唱=係ル愛國貯金(六ヶ年据置ノ郵便貯金)=對シ通帳表面=「愛國貯金マーク」ヲ添付スルコトセリ
- 五月 金鷄勳章年金令中改正ノ結果功五級以下ノ年額ヲ増加セラレ又旭日章年金=於テモ勳五等以下ノ年額ヲ増加セラレタルヲ以テ省令第十五號ヲ以テ之カ増額年金更正規則ヲ制定シ新證書交付方法等ヲ定メタリ
- 七月 郵便貯金規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ從來郵便貯金ハ預入ノ月及拂戻ノ月=利子ヲ附セザリシモ十五日以前=預入シタルモノ=對シテハ預入ノ月ヨリ利子ヲ附スルコト=改正シ七月一日ヨリ施行ス
- 十月 「ラトヴィア」國=於テハ英國郵政廳ノ媒介=依リ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 十二月 郵便貯金規則中ヲ改正シ集金ノ方法=依ル月掛貯金制度ヲ創設シ昭和三年二月一日ヨリ實施ス

昭和三年

- 二月 恩給受給權消滅並年金支給廢止ノ場合=於ケル給與金=付テハ支給期月及期日=拘ラス支給スヘキ明文ヲ設ケルノ要ヲ認メ規則=相當改正ヲ加ヘ二月一日ヨリ實施セリ
- 四月 外國電信爲替ノ爲替電報=後廻電報利用ノ途ヲ開ク
- 九月 御大禮記念ノ爲新規預入スル規約貯金、据置貯金及月掛貯金=對シ通帳表面=「大禮記念マーク」ヲ添付スルコトセリ
- 十月 御大禮休日=於テハ一般=爲替貯金等ノ現金受拂事務ヲ取扱ハサルコトシ所轄通信局長=於テ必要ト認メタル場合ハ局前=揭示ノ上其ノ取扱ヲ爲ス旨告示セリ
- 十二月 支出官ノ再發行=係ル歳出金支拂通知書=對スル拂渡方ヲ新=規定シ十二月二十四日ヨリ實施セリ

昭和四年

- 一月 「ルーマニア」國トノ郵便爲替ノ交換ヲ停止ス
- 同 貯金規則及同取扱規程ヲ改正シ公共團體、社寺、學校等ノ貯金拂戻=拾錢未滿壹錢以上ノ端數ヲ認ムルコトトシ二月一日ヨリ施行ス
- 同 臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則並同規程ヲ改正シ證券保管通帳ノ一般ノ檢閱請求ヲ受理スルコト=復舊シ一月二十八日ヨリ施行セリ
- 三月 貯金規則及同取扱規程ヲ改正シ据置貯金ノ据置期間ノ延伸ヲ認ムルト共=特別通帳ヲ廢シ一般通帳ヲ使用スルコト=改メ四月一日ヨリ施行ス
- 七月 貯金局及同支局分課規程ヲ改正シ本局貯金課ヲ第一貯金課、第二貯金課=分割シ七月二日ヨリ實施セリ
- 八月 「ヴァテイカン」ハ萬國郵便聯合爲替約定及振替約定等=加入セリ
- 九月 皇太神宮遷御ノ休日=於テハ一般=爲替貯金等現金受拂事務ヲ取扱ハサルコトトシ所轄通信局長=於テ必要ト認メタル場合ハ局前=揭示ノ上其ノ取扱ヲ爲ス旨告示セリ
- 十二月 据置貯金預ケ人ヨリ其ノ貯金ヲ國債償還資金獻納出願ノ理由=依リ期間内拂戻ノ請求アリタルトキハ特=之カ拂戻方ヲ認可スルコトトセリ
- 同 「イエメン」國ハ萬國郵便聯合爲替約定等=加入セリ

昭和五年

- 二月 「ヴァテイカン」ト郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 三月 徳島市=貯金支局ヲ設置ス
- 同 集金郵便振替貯金拂込規則ヲ改正シ集金書中=加入者ノ住所ヲ印刷セシメ取立不能ノ場合ハ直接加入者=返送スルコトトシ本月三十一日ヨリ實施ス
- 六月 倫敦締結郵便爲替約定及同郵便振替約定ヲ公布ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介=依リ「ペルー」國及「ポーランド」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 七月 聯合ノ爲替ノ約定及中華民國トノ爲替約定=依ル爲替券ノ有効期間ヲ定ム
- 九月 勅令第八十二號ヲ以テ郵便貯金利子割合ノ件ヲ改正シ普通貯金ハ年四分二厘、据置及月掛貯金ハ年四分四厘四毛トシ十月一日ヨリ實施ス

昭和六年

- 二月 麻布區飯倉町=新築中ノ貯金局廳舎落成=付二月二十日移轉ス
- 三月 外國郵便振替規則及同取扱規程ヲ定メ四月一日ヨリ逸逸、瑞西、白耳義、瑞典、和蘭、丁抹及「グンチツヒ」自由市ト、五月一日ヨリ佛蘭西及「アルジェリー」ト振替ノ交換ヲ開始ス
- 同 振替貯金規則ヲ改正シ在外居住者ノ振替貯金加入ヲ認ムルコトトシ四月一日ヨリ實施ス
- 同 郵便貯金規則ヲ改正シ局所外預入ノ取扱ヲ四月一日限り廢止ス
- 四月 郵便爲替規則、貯金規則及振替貯金規則ヲ改正シ各種證書ノ九十日ノ特別有効期間ヲ廢止シ且樺太=對スル冬季不算入期間ヲ削除ス
- 六月 各廳歳入金及同歳出金規則ヲ改正シ煙草專賣官署ノ收入金ヲ各廳歳入金トシテ郵便局=於テ受入ルルコトトシ七月一日ヨリ實施ス
- 七月 英國ノ媒介=依リ「ユーゴスラヴィア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 同 郵便爲替規則ヲ改正シ布米通常爲替ハ振替貯金ノ利用=依リ其ノ必要ナキニ到リタルヲ以テ七月三十一日限り廢止ス
- 九月 日本勸業銀行法中改正ヲ加ヘラレ貯金局カ從來日本銀行=保管ヲ託シタル日本勸業銀行關係證券ハ九月七日全部同行ヘ移管セリ
- 同 「ユーゴスラヴィア」國ハ英國ノ媒介=依リ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 十月 爲替相場不安定等ノ爲昭和六年十月ヨリ同七年九月迄一年間=外國郵便爲替ノ振出ヲ制限又ハ停止シタル國「ハンガリー」、埃地利、希臘、「チリ」、諸威、獨逸、「ユーゴスラヴィア」、「ポルトガル」領「ギニア」、「アルゼンティン」ノ九國ヲ算ス
- 十二月 金輸出禁止=件ヲ邦貨暴落ノ結果トシテ海外多額送金ノ激増スルヲ防グ爲外國郵便爲替=振出制限ヲ設ク

昭和七年

- 七月 資本逃避防止法ノ施行=伴ヒ從前ノ外國郵便爲替ノ振出制限ノ範圍ヲ擴張シ更=外國郵便振替ノ拂出=制限ヲ設ク
- 同 獨逸國及蘭領東印度ト交換スル電信爲替=無線電信ヲ又蘭領東印度ト交換スル電信爲替=書信電報ヲ利用シ得ルコトトス
- 七月 昭和七年法律第十三號=依ル恩給更生規則及同取扱規程ヲ制定シ八月一日ヨリ施行ス
- 八月 勅令第二百二十七號ヲ以テ郵便貯金利子割合ノ件ヲ改正シ普通貯金ハ年三分、据置及月掛貯金ハ年三分二厘四毛、振替貯金ハ年二分四厘トシ十月一日ヨリ施行ス

- 九月 外國電信爲替ノ拂渡事務ヲ外國郵便爲替交換局又ハ外國電信爲替局ノ存スル市ニ於ケル他ノ外國郵便爲替取扱局ニモ取扱ハシムルコトトシ十月一日ヨリ施行ス
- 十月 勅令第三百六號ヲ以テ新ニ東京市ニ編入セラレタル地域ニアル郵便官署ハ當分ノ内該地域トニ於テ支拂ヲ要スル各廳歳出金ノ繰替拂渡ニ關スル事務ヲ編入前ノ例ニ依リ取扱フコトトシ十月五日ヨリ施行ス
- 十二月 「サルヴァドル」國ハ萬國郵便聯合爲替約定ニ加入セリ

昭和八年

- 三月 米國金融恐慌ノ影響ヲ受ケ米國ハ本月七日ヨリ本邦向爲替ノ振出ヲ「カナダ」ハ同六日ヨリ本邦トノ爲替交換ヲ停止シタルカ米國ハ同十六日ヨリ「カナダ」ハ四月七日ヨリ之ヲ再開セリ
- 同 三陸地方ノ震災ニ因ル亡失、毀損、汚斑ノ爲替證書、貯金通帳、證券保管通帳、貯金拂戻證書、振替貯金拂出證書ニ對シ五月三十一日迄再度通帳及再度證書ノ請求料金を免除スルコトトセリ
- 五月 本月一日ヨリ「ポーランド」國ト通常郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 同 本月三十日省令第二六號ヲ以テ滿洲駐屯部隊ノ軍人軍屬ニ宛テタル爲替證書、貯金拂戻證書及振替貯金拂出證書ニシテ關東廳管内郵便局所ニ於テ拂渡スルモノハ當分ノ内有効期間ヲ證書發行ノ日ヨリ百二十日トセリ
- 七月 本月一日ヨリ「チェコスロヴァキア」國ト外國郵便振替ノ交換ヲ開始ス
- 十月 瑞西及「リヒテンタイン」ト交換スル電信爲替ニ無線電信ヲ使用スルコトトシ十一月一日ヨリ之ヲ實施スルコトトセリ
- 十一月 「カナダ」振出滿洲國宛爲替ノ媒介ニ任スルコトトナレリ

昭和九年

- 四月 「チェッコ、スロヴァキア」トハ從來英國ノ媒介ニ依リ爲替ヲ交換シ來リタル處四月一日ヨリ聯合約定ニ依リ郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 五月 北海道廳及府縣(東京府ニ在リテハ警視廳)ニ於テ收納スル健康保險ニ關スル諸收入金ヲ郵便官署ニ於テ取扱フコトトシ各廳歳入金及歳出金取扱規則及同取扱規程ヲ改正五月二十五日ヨリ實施ス
- 七月 日本國及滿洲國間小爲替交換ニ關スル約定ヲ公布シ八月一日ヨリ兩國間ニ小爲替業務ヲ開始ス
- 九月 九月二十一日ニ於ケル近畿、中國及四國地方ノ風水害ニ因リ亡失、毀損若ハ汚斑シタル爲替證書、貯金通帳、證券保管通帳、貯金拂戻證書、振替貯金拂出證書ニ對シ十一月三十日迄再度通帳及再度證書ノ請求料金を免除スルコトトシ省令第六二號ヲ以テ公布シ九月二十七日ヨリ施行ス
- 十一月 英國郵政廳ノ媒介ニ依リ本月三十日ヨリ「ルーマニア」ト郵便爲替ノ交換ヲ再開ス
- 十二月 「カイロ」締結郵便爲替約定及郵便振替約定ヲ公布シ昭和十年一月一日ヨリ實施ス
- 同 「エジプト」ト交換スル電信爲替ニ無線電信ヲ使用スルコトヲ協定シ昭和十年一月一日ヨリ實施ス
- 同 貯金預ケ人所持ニ係ル證券ノ保管ハ大正十二年震災以來停止中ノ處各種内國債證券ニ限リ之カ取扱ヲ再開ノコトトシ昭和十年一月十五日ヨリ施行ス
- 同 郵便貯金規則及同取扱規程ヲ改正ス共ノ要旨ハ證券保管通帳(行賞ニ依ル特別保管通帳ヲ除ク)ヲ廢シテ單票式ノ證券保管證ニ改メ證券ノ購入、保管、賣却ノ料金を均一ニシ公共團體、神社ヨリ其ノ所有證券保管ノ場合料金を徴收スルコトトシ尙貯金預入申込書ニハ預入者職業ノ記載ヲ要セサルコトニ改メ昭和十年一月十五日ヨリ施行ス

昭和十年

- 一月 熊本市ニ貯金支局ヲ設置ス
- 二月 「サルヴァドル」國トノ爲替ハ從來伊太利、英國及「メキシコ」ノ三國ノ媒介ニ依リ交換シタルトコロ「メキシコ」

- 國ノ媒介ヲ廢スルコトトシ本月一日ヨリ施行ス
- 三月 萬國郵便聯合爲替約定加入五十周年記念ノ祝典開催セラレ尙記念日タル三月二十一日ヨリ四日間外國郵便爲替交換局ニ於テ記念日附印ヲ使用セシメタル外記念繪葉書及世界地圖等ヲ發行シ廣ク關係ノ向ニ配付シタリ
- 同 「ザール」河地方ハ昭和十年三月一日ヨリ獨逸國ニ歸屬スルコトト爲リタルニ付爾今同地方ト交換スル郵便爲替ハ獨逸ト交換スル郵便爲替トシテ之ヲ取扱フコトトナレリ
- 四月 滿洲國及蘭領東印度間爲替ノ媒介ニ任スルコトト爲リ蘭領東印度ハ本月一日ヨリ、滿洲國ハ五月一日ヨリ夫々振出ヲ開始スルコトトナレリ
- 五月 市公金受拂ノ爲ニスル振替貯金特別取扱ノ料金ハ從來受拂口數ニ依ル算定ナリシヲ受入ニ付テハ口數及金額ニ依リ又即時拂ニ付テハ口數ニ依ル算定ニ改正五月一日ヨリ實施セリ
- 同 「アイスランド」ニ於テハ外國郵便爲替ノ振出ニ一時制限ヲ加ヘタリ
- 六月 從來取扱停止中ナリシ貯金預ケ人所持ニ係ル勸業債券、北海道拓殖債券、興業債券、復興貯蓄債券ノ保管事務ヲ六月一日ヨリ再開セリ
- 七月 香港トノ條約ニ依ル爲替ニ拂渡濟通知ノ制度ヲ創設シ八月一日ヨリ施行ス
- 同 外國郵便爲替ノ拂渡濟通知ニ付テハ從來郵便官署ニ於テ拂渡濟ノ證明ヲ爲シ來レル處英國及「メキシコ」ト交換スル爲替ヲ除ク外國郵便爲替ノ拂渡濟通知ニハ原則トシテ受取人ノ署名ヲ徴スルコトニ改メ八月一日ヨリ施行ス
- 十月 廣島市ニ貯金支局ヲ設置ス
- 十一月 無集配三等局ニ於ケル債券募集、元利金支拂貸付事務ハ大正十二年三月一日以降取扱ヲ廢止セルモ十一月一日ヨリ之ヲ復活セリ
- 同 無集配郵便局ニ於ケル集金郵便振替貯金ノ取扱ハ大正十二年三月以降取扱ヲ廢止セシモ十一月一日ヨリ復活セリ
- 同 滿洲國及「ポーランド」國間爲替ノ媒介ニ任スルコトナリ兩國共本月二十五日ヨリ振出ヲ開始スルコトトナレリ
- 同 滿洲國及和蘭國間爲替ノ媒介ニ任スルコトトナリ和蘭國ハ本月一日ヨリ滿洲國ハ本月二十五日ヨリ夫々振出ヲ開始スルコトトナレリ
- 同 滿洲國及香港間爲替ノ媒介ニ任スルコトトナレリ香港ハ本月二日ヨリ滿洲國ハ十二月一日ヨリ夫々振出ヲ開始スルコトトナレリ
- 十二月 本月二十六日日本國及滿洲國間ニ新ニ郵便諸業務全體ヲ規律スヘキ郵便條約及同業務協定締結セラレ二十八日(業務協定ハ昭和十一年一月十一日)公布、昭和十一年一月二十六日ヨリ實施セラルルコトトナレリ

第一章 郵便爲替業務ニ關スル施設

Section 1. Institutions for Postal Money Order

郵便爲替業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

香港爲替ニ拂渡濟通知ノ制度創設 香港トノ條約ニ依ル爲替ニ聯合ノ約定ニ依ル爲替ノ拂渡濟通知ノ制度ト同様ノ制度ヲ創設シ八月一日ヨリ實施セリ此ノ結果從來爲替ノ取調請求ヲ拂渡濟否取調請求(料金十六錢)トシテ處理シタルヲ若否取調請求(料金二十錢)トシテ處理スルコトトセリ、尙從來外國郵便爲替ノ拂渡濟通知ニ付テハ總テ郵便官署ニ於テ拂渡濟ノ證明ヲ爲シ來レル處外國ニ於テ受取人ノ署名ヲ要望スルモノアルニ鑑ミ右改正ニ伴ヒ聯合約定、中華民國トノ約定又ハ「カナダ」若ハ香港トノ條約ニ依ル爲替ノ拂渡濟通知ニハ原則トシテ受取人ノ署名ヲ徵收スルコトニ改メ同日ヨリ施行セリ

日本國及滿洲國間郵便爲替業務ノ改善 日本國ト滿洲國トノ間ニハ從來日支爲替約定ノ内容ニ準據シテ通常爲替ヲ交換スル外日滿小爲替約定ニ依リ内國小爲替ト同様ノ小爲替業務ヲ施行セル處昭和十年十二月二十六日新ニ兩國間郵便諸業務全體ヲ規律スヘキ日滿郵便條約及同業務協定締結セラレ同十一年一月二十六日ヨリ其ノ實施ヲ見之ニ伴ヒ日滿郵便爲替規則ノ制定等國內關係諸法規改正セラレタルニ依リ兩國間郵便爲替制度ハ全面的ニ改善セラレ大體我カ内國郵便爲替ノ夫レト同様トナレリ其ノ改善ノ要點ヲ擧クテ下記ノ如シ

- (イ) 電信爲替ノ制度ヲ開設セリ
(ロ) 通常爲替ノ制度ヲ内國通常爲替ト同様ノ制度ニ改メタリ
(ハ) 通常爲替料從來ヨリ低廉トナレリ
(ニ) 南滿洲鐵道附屬地ト滿洲國トノ間ニハ從來通常爲替ノ交換ヲ爲シ得サリシモ此ノ不便ヲ除去シタリ

日本國及「カナダ」間郵便爲替約定ノ公布及實施 日本國及「カナダ」間ニハ新ニ郵便爲替約定及同施行規則締結セラレ昭和十一年二月八日(施行規則ハ二月十二日)公布舊約定ニ代リ三月一日ヨリ實施セラレ之ニ伴ヒ外國郵便爲替規則等ノ改正ヲ見タルカ其ノ改正要點ハ下記ノ如シ

- (イ) 爲替金額ハ從來双方共「カナダ」貨幣ニテ表示セル處之ヲ相互ニ名宛國貨幣ニテ表示スルコトトセリ
(ロ) 振出國カ其ノ徵收セル爲替料ノ内ヨリ拂渡國ニ割増ツヘキ拂渡手續料ハ振出爲替金額ノ千分ノ五ナリシヲ拂渡爲替金額ノ千分ノ四ニ低減セリ
(ハ) 拂渡濟通知ノ制度ヲ創設セリ尙此ノ結果從來爲替ノ取調請求ヲ拂渡濟否取調請求(料金十六錢)トシテ處理シタルヲ若否取調請求(料金二十錢)トシテ處理スルコトトナレリ
(ニ) 爲替差出人ニ對スル振出郵政廳ノ責任、不可抗力ニ因リ拂渡ニ關スル調査不能ノ場合ノ郵政廳ノ免責等ニ關シ詳細ナル規定ヲ設ケタリ
(ホ) 兩郵政廳間ノ爲替金ノ決済ハ從來三月毎ニ相互計算ニ依リテ爲シタルヲ相互ニ爲替目録發送後直ニ其ノ金額ヲ支拂フコトトセリ
(ヘ) 約定ニハ基本事項ノミヲ規定スルコトトシ細目手續ヲ規定スル爲別ニ施行規則ヲ設ケタリ

郵便爲替受拂高

Number and Amount of Postal Money Orders Issued and Paid

Table with 7 columns: Description, Domestic Money Order (Issued/Paid), International Money Order (Issued/Paid), Total (Issued/Paid). Rows include years from 1927-28 to 1935-36.

第二章 郵便貯金業務ニ關スル施設

Section 2. Institutions for Postal Savings

郵便貯金業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

貯金原簿移替 從來福岡貯金支局ノ受持ニ係ル大分、宮崎及鹿兒島各縣ノ貯金預ケ人原簿ヲ十年九月一日ヨリ熊本貯金支局ニ又廣島貯金支局ニ貯金課ノ置キ從來下關貯金支局ノ受持タリシ廣島、岡山、鳥取各縣ノ貯金預ケ人原簿ヲ十二月一日ヨリ同局ヘ夫々移替セリ

郵 便 貯 金
Postal Savings

種 別 Description	昭 和 十 年 度 1935-36			九 年 度	八 年 度
	内 地 局 Inland Offices	在 中 華 民 國 局 Offices in Middle Republic	合 計 Total	1934-35	1933-34
新 規 預 入 人 員 No. of Accounts Opened	6,157,439	2	6,157,441	5,612,116	5,336,365
全 額 拂 戻 人 員 No. of Accounts Closed	4,036,513	622	4,037,135	4,035,948	3,967,605
年 度 末 現 在 預 ケ 人 No. of Accounts remaining open at the End of the Fiscal Year	39,869,873	1,922	39,871,795	37,758,239	36,189,771
預 入 口 數 No. of Deposits	130,538,348	2,104	130,540,452	122,284,481	115,093,756
拂 戻 口 數 No. of Withdrawals	47,160,002	1,617	47,161,619	44,330,675	40,854,223
預 入 金 額 Amount of Deposits	1,996,098,097	88,011	1,996,186,108	1,880,247,596	1,799,540,704
拂 戻 金 額 Amount of Withdrawals	1,838,082,932	93,065	1,838,175,997	1,750,857,441	1,662,789,905
年 度 末 現 在 貯 金 額 Amount standins to the credit of all open accounts at the End of the Fiscal Year	3,086,576,144	198,943	3,086,775,087	2,929,897,112	2,801,078,357
平 均 一 人 貯 金 額 Average amount one of depositor	77.42	103.62	77.42	77.60	77.40

尙本年度中ニ於ケル預拂ノ狀況ヲ地方別ニ依リ示セハ次ノ如シ

The Postal savings transaction in the Present Year is as follows according to prefectures.

預 拂 及 現 況
Transactions

七 年 度 1932-33	六 年 度 1931-32	五 年 度 1930-31	四 年 度 1929-30	三 年 度 1928-29	二 年 度 1927-28	元 年 度 1926-27
4,817,954	4,595,230	4,325,968	4,589,115	4,769,327	4,673,023	3,488,859
4,288,845	3,909,829	4,077,160	3,190,683	2,868,897	2,770,247	2,722,765
34,821,640	34,279,844	33,587,980	33,319,632	31,895,042	29,942,813	27,958,909
105,922,139	103,636,697	103,585,074	105,113,127	98,086,896	89,286,623	80,606,107
40,259,308	36,233,397	33,390,480	29,052,373	26,257,150	24,413,846	21,138,380
1,809,487,983	1,794,312,581	1,691,299,098	1,540,235,665	1,335,949,165	1,465,724,118	847,084,582
1,853,300,470	1,485,520,254	1,392,471,604	1,206,989,335	1,111,237,106	1,089,351,272	759,450,223
2,664,872,940	2,709,181,810	2,400,695,455	2,111,443,200	1,786,221,726	1,567,577,745	1,196,643,485
76.53	79.03	71.47	63.37	56.00	52.35	42.80

郵便貯金地方別
Postal Savings Transactions by Prefectures
昭和十年度
1935-36

通信局 Direction of Commu- nications	地 方 Prefectures under Jurisdiction	新規預入人員 No. of Accounts Opened	全額拂戻人員 No. of Accounts Closed	預入口数 No. of Deposits	拂戻口数 No. of Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of Withdrawals			
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	240,712	188,221	5,260,657	2,026,723	76,613,180	76,010,580			
	青森 Aomori	森 Aomori	72,660	39,273	1,512,691	540,345	22,773,299	21,471,733		
		岩手 Iwate	手 Iwate	88,307	33,645	1,470,069	561,871	22,921,196	21,426,063	
			宮城 Miyagi	82,506	62,420	1,617,176	608,365	18,578,184	17,259,544	
		秋田 Akita	田 Akita	59,999	36,873	1,352,602	449,869	10,989,707	10,162,634	
			山形 Yamagata	形 Yamagata	70,129	43,510	1,822,883	440,937	11,791,656	10,704,257
				福島 Fukushima	109,759	69,334	2,347,947	866,605	41,249,531	37,808,095
		新潟 Niigata	潟 Niigata	99,308	60,664	2,113,776	579,774	20,142,235	17,772,348	
			計 Total	582,668	345,719	12,237,144	4,047,766	148,445,808	136,604,674	
		東京 Tokyo	茨城 Ibaraki	城 Ibaraki	93,142	57,262	1,926,755	661,300	28,014,137	24,684,939
栃木 Totigi	70,586			43,178	1,424,538	583,382	26,941,966	24,858,981		
群馬 Gunma	馬 Gunma		82,802	50,931	1,713,228	524,191	20,025,558	18,068,869		
	埼玉 Saitama		73,426	43,848	1,455,751	557,136	27,647,828	25,129,630		
千葉 Chiba	葉 Chiba		102,919	65,051	2,402,949	734,986	32,592,534	28,842,339		
	東京 Tokyo		799,246	497,812	15,104,436	7,761,264	315,063,842	294,385,368		
神奈川 Kanagawa	川 Kanagawa		187,936	110,212	4,102,190	1,576,934	70,513,556	63,035,411		
	山梨 Yamanashi		梨 Yamanashi	42,133	25,372	900,402	305,516	12,531,233	11,456,696	
			静岡 Sizuoka	151,908	95,087	4,416,762	1,032,054	35,929,263	33,076,277	
計 Total	1,604,098		988,753	33,447,011	13,736,763	569,259,917	523,538,510			
名古屋 Nagoya	富山 Toyama	山 Toyama	51,457	38,018	1,041,204	325,302	13,128,751	11,507,763		
		石川 Isikawa	61,937	42,192	1,408,523	431,429	18,907,226	17,002,800		
	福井 Fukui	井 Fukui	63,448	42,441	1,420,498	346,692	21,430,582	18,518,489		
		長野 Nagano	145,000	98,296	3,941,022	1,184,221	42,758,210	39,472,131		
	岐阜 Gifu	阜 Gifu	102,012	66,023	2,376,567	753,609	37,183,618	34,438,090		
		愛知 Aichi	303,032	179,419	6,914,387	2,338,554	131,991,526	121,607,263		
	三重 Mie	重 Mie	112,265	81,610	3,014,209	748,063	34,874,812	32,863,693		
		計 Total	839,151	547,999	20,116,410	6,127,870	300,274,725	275,410,229		

郵便貯金地方別 (續)
Postal Savings Transactions by Prefectures (Continued)
昭和十年度
1935-36

通信局 Direction of Commu- nications	地 方 Prefectures under Jurisdiction	新規預入人員 No. of Accounts Opened	全額拂戻人員 No. of Accounts Closed	預入口数 No. of Deposits	拂戻口数 No. of Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of Withdrawals		
大阪 Osaka	滋賀 Siga	賀 Siga	50,122	45,734	1,607,372	387,145	16,803,466	16,124,351	
		京都 Kyoto	211,109	156,933	4,497,550	1,691,984	79,047,269	73,181,039	
	大阪 Osaka	阪 Osaka	550,933	387,740	9,042,731	4,179,926	174,055,096	162,803,965	
		兵庫 Hyogo	304,239	212,956	6,000,632	2,397,240	112,806,615	103,438,786	
	奈良 Nara	良 Nara	63,560	51,966	1,661,039	436,496	22,460,076	19,221,477	
		和歌山 Wakayama	83,828	59,401	1,845,900	650,095	39,749,133	37,838,358	
	徳島 Tokushima	島 Tokushima	55,931	42,197	1,187,596	399,608	20,676,583	18,888,156	
		高知 Kochi	48,630	36,337	1,220,019	342,472	14,763,307	13,574,198	
	計 Total	1,368,352	993,264	27,062,839	10,484,966	480,361,545	445,070,330		
	広島 Hiroshima	鳥取 Tottori	取 Tottori	37,571	21,778	843,796	227,785	8,788,620	7,542,459
島根 Simane			50,693	39,493	1,271,432	313,736	10,051,469	8,723,979	
岡山 Okayama		山 Okayama	108,747	74,437	2,694,736	677,780	27,270,960	24,747,571	
		広島 Hiroshima	199,473	142,004	5,821,373	1,562,942	57,700,995	54,004,682	
山口 Yamaguchi		口 Yamaguchi	107,831	77,831	2,606,211	858,832	33,438,318	30,892,762	
		香川 Kagawa	62,119	48,085	1,563,296	420,570	18,462,987	16,537,223	
愛媛 Ehime		媛 Ehime	79,709	49,675	1,671,007	463,582	18,219,427	16,261,783	
		計 Total	646,143	453,303	16,471,851	4,525,227	173,932,776	158,710,459	
熊本 Kumamoto		福岡 Fukuoka	岡 Fukuoka	261,578	181,982	5,509,332	2,240,353	84,171,173	76,905,487
			佐賀 Saga	48,597	39,928	1,309,729	424,982	15,336,166	13,947,692
	長崎 Nagasaki	崎 Nagasaki	112,004	70,022	2,222,793	866,979	33,923,551	30,559,668	
		熊本 Kumamoto	93,866	61,613	1,880,138	788,383	39,557,360	35,019,632	
	熊本 Kumamoto	大分 Oita	65,205	42,282	1,339,563	542,080	24,744,860	22,180,220	
		宮崎 Miyazaki	77,725	35,093	1,107,973	451,129	17,815,725	16,144,591	
	鹿児島 Kagoshima	島 Kagoshima	115,529	74,246	2,164,734	740,643	26,044,453	22,815,573	
		沖縄 Okinawa	101,811	14,088	408,174	156,138	5,616,858	5,165,287	
	計 Total	876,315	519,254	15,942,436	6,210,687	247,210,146	222,738,150		
	合 計 Total	6,157,439	4,036,513	130,538,348	47,160,002	1,996,098,097	1,838,083,932		
在 中 華 民 國 局 所 Offices in Middle Republic		2	622	2,104	1,617	88,011	93,065		
總 計 Grand Total		6,157,441	4,037,135	130,540,452	47,161,619	1,996,186,108	1,838,175,997		

本表ノ外野戦郵便局ニ於テ交付シタル貯金通帳ニ對スルモノ及海外在留本邦人ノ貯金等ヲ示セバ次ノ如シ
 In addition to the list, the savings entered in the pass bonds issued at the Field Post Office and those belonged of Japanese abroad are as follows:—

種 別	Description	新規預入人員 No. of Accounts opened	全額拂戻人員 No. of Accounts closed	預入口數 No. of Deposits	拂戻口數 No. of Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of withdrawals
	明治二十七八年戦役行賞賜金郵便貯金 Postal Savings granted for rewards in connection with the war. of 27 th and 28 th year of Meiji	-	7	107	90	5,403	4,311
	明治三十七八年戦役軍事郵便貯金 Field Post Office Savings in the war of 37 th and 38 th year of Meiji.	-	3	-	3	17	118
	大正三四年戦役野戦郵便貯金 Field Post Office Savings in the war of 3 rd and 4 th year of Taisyo.	-	338	1,692	1,188	43,026	54,228
	同戦地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	1	-	1	-	3
	同行賞賜金郵便貯金 Postal Savings granted for rewards in connection with the said war.	-	1,198	58,485	42,804	2,789,093	2,794,069
	大正四年乃至九年西比利亞野戦郵便貯金 Field Post Office Savings in Siberia in the war of 4 th -9 th year of Taisyo.	-	408	92	452	1,829	3,995
	同戦地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	-	-	-	-	-
	濟南事件野戦郵便貯金 Field Post Office Savings in the Tsinan Trouble	-	185	1,130	720	22,091	16,741
	上海事變海軍軍用郵便所貯金 Naval Post Office Savings at the Shanghai Incident	1,789	1,021	19,678	6,830	249,411	181,477
	海外在留本邦人特別郵便貯金 Special Postal Savings of Japanese abroad	3	12	601	333	32,723	22,549
臺	Formosa	90,007	61,424	1,644,175	777,400	26,072,168	23,844,811
樺	Saghalien	26,866	16,008	465,985	213,031	10,855,288	10,377,944
朝	Korea	713,193	302,289	11,320,002	2,795,746	129,895,403	128,348,004
	關東州及滿鐵附屬地 Kwantung and the Attached Zone of the Manchurian Railway	140,277	55,683	1,897,409	813,098	48,695,474	43,070,969
南	South Seas	5,138	1,381	62,222	29,559	2,641,349	2,365,419
特	Special	15	18	15,675	13,225	1,269,872	1,145,605
合	Total	977,288	439,976	15,487,253	4,694,480	222,573,147	212,230,288

第三章 証券業務ニ關スル施設

Section 3. Institutions for public Bonds

証券業務ニ關シ本年度中ニ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

証券保管事務全部復舊 從來取扱停止中ナリシ貯金預ケ人所持ニ係ル國債證券ノ保管事務ハ昭和十年一月十五日ヨリ復舊セシカ勸業債券、北海道拓殖債券、興業債券、復興貯蓄債券等ノ保管事務ヲ昭和十年五月十五日告示第一二四六號ヲ以テ昭和十年六月一日ヨリ實施スルコトセリ

保 管 証 券

Custody of Public Bonds

種 別	Description	人 員 數	枚 數	No. of Bonds	金 額	Amount
昭和十年	年度末 March 31, 1936	739,456	4,095,011		77,692,815	
九	年度末 March 31, 1935	723,429	3,694,928		68,828,430	
八	年度末 March 31, 1934	752,481	3,871,464		68,829,915	
七	年度末 March 31, 1933	790,710	4,105,010		72,578,695	
六	年度末 March 31, 1932	834,046	4,345,123		74,853,795	
五	年度末 March 31, 1931	877,233	4,592,233		77,809,370	
四	年度末 March 31, 1930	946,351	4,878,044		82,076,165	
三	年度末 March 31, 1929	989,705	5,140,678		89,186,830	
二	年度末 March 31, 1928	1,034,548	5,425,503		96,776,725	
元	年度末 March 31, 1927	1,093,622	5,805,743		109,638,720	

備考 本計數中ニハ轉記受拂ノ人員、枚數、金額ヲ包含セス
 Note: Figures for transfer of accounts and number and amount of bonds are not given in this table.

第四章 郵便振替貯金業務ニ關スル施設

Section 4. Institutions for Postal Check and Transfer

郵便振替貯金業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

市公金振替貯金特別取扱ノ受拂料金改正 市公金受拂料金ハ明治四十三年四月以降受拂口數ニ依リ一口ニ付壹錢五

厘ヲ徴收セシガ昭和十年四月省令第一三號ヲ以テ關係規則ヲ改正シ同年五月以降下記ニヨリ徴收スルコトトセリ

記

(一) 拂込料 一口ニ付一錢及拂込金額ノ千分ノ一ニ相當スル金額

(二) 即時拂料 一口ニ付一錢

廣島貯金支局設置ニ伴フ關係規定改正 昭和十年十月一日廣島貯金支局ヲ廣島市ニ設置スルト共ニ振替貯金口座所
管廳事務ヲ開始スルコトナリ同年九月省令第二八號及公達第六七七號ヲ以テ關係規定ヲ夫々改正セリ

無集配郵便局ニ於ケル集金郵便振替貯金ノ取扱復活 無集配郵便局ニ於テハ大正十二年三月以降集金郵便振替貯
金取扱ヲナササリシカ其後右取扱復活ヲ要望スル聲次第ニ増大シ來タルヲ以テ昭和十年十一月省令第三七號ヲ以テ集金
郵便振替貯金拂込規則ヲ改正シ同月一日ヨリ之カ取扱ヲ復活セリ

無集配三等局ニ於ケル債券募集、元利金支拂並貸付事務復活 債券募集、元利金支拂並貸付事務ノ特別取扱ハ無集
配三等局ニ於テハ大正十二年三月一日以降之ガ取扱ヲナササリシカ其後債券民衆化ノ趨勢ニ伴ヒ漸次之カ取扱局ノ増加
普及ヲ要望セラルルニ至リタルヲ以テ昭和十年十一月省令第三八號ヲ以テ關係規則ヲ改正シ同年十一月一日ヨリ之カ取
扱ヲ復活セリ

郵便振替貯金口座加入者及受拂高

Number of Subscribers Receipts and Payments in

Connection with the Postal Check and Transfer

種別 Description	人 員 Subscriber			口 數 No.		金 額 Amount		
	新規加入 No. of Accounts Opened	脱退 No. of Accounts Closed	年度末現在 At the end of the fiscal year	受入 Receipts	拂出 Payments	受入 Receipts	拂出 Payments	年度末現在 At the end of the fiscal year
昭和十一年 1935-36 年度	73,885	10,057	370,778	48,544,061	17,435,291	2,457,301,937	2,450,500,637	83,972,254
九年度 1934-35 年度	23,823	10,351	306,838	44,395,721	15,561,181	2,223,831,092	2,221,561,229	77,170,982
八年度 1933-34 年度	19,976	8,728	293,475	40,843,301	14,953,832	2,108,054,912	2,108,562,833	74,901,150
七年度 1932-33 年度	18,846	10,205	282,231	37,107,800	15,007,510	1,857,928,095	1,847,871,126	75,409,071
六年度 1931-32 年度	18,690	15,820	273,588	35,714,024	14,547,486	1,569,342,071	1,580,612,576	65,352,102
五年度 1930-31 年度	18,319	15,878	269,689	36,233,056	14,697,182	1,638,365,181	1,633,214,241	76,615,288
四年度 1929-30 年度	19,535	26,384	267,240	36,527,843	14,485,977	1,754,651,002	1,741,380,620	70,071,582
三年度 1928-29 年度	18,753	7,555	274,077	35,008,674	14,369,851	1,650,108,724	1,646,392,268	55,828,350
二年度 1927-28 年度	20,382	7,791	262,881	33,421,221	14,530,566	1,538,025,948	1,531,486,944	51,108,992
元年度 1926-27 年度	17,460	7,014	250,255	31,253,153	14,352,634	1,322,768,969	1,318,723,697	43,685,851

第五章 事業奨励及周知ニ關スル施設

Section 5. Arrangements for propagation and promotion of Service

事業奨励及周知業務ニ關シ本年度中ニ施設シタル事項ハ大要次ノ如シ

世界勤儉デー 一九二四年十月「ミラン」ニ於テ開催ノ第一回國際勤儉會議ニ於テ十月三十一日ヲ「世界勤儉デー」ト定メ
 ラレ又本年五月巴里ニ於テ開催ノ第三回會議ニ於テ本年ノ「勤儉デー」ニハ特ニ學童ニ對シテ勤儉奨励ヲ爲スコトヲ決議
 セラレタルヲ以テ決議ノ趣旨ニ賛同シ學童ヲ對象トシテ貯金奨励ヲ爲スハ效果尠カラサルモノト認メ文部省トモ協調ノ
 上學童ニ對シ本趣旨ノ徹底ヲ期セリ

勤儉貯蓄記念日設定 社団法人貯蓄銀行協會ト協議ノ上毎年三月十日ヲ勤儉貯蓄記念日ト定ムルコトトセリ同日ヲ記
 念日トシタルハ畏クモ 明治天皇車駕四方ニ巡幸シ親シク民情ト風俗トヲ視察シ給ヒ厚生利用ノ實ヲ擧ケサセ給ハムト
 ノ御聖念ニ依リ明治十二年三月親臨セラレタル勅語ニ基キ同年三月十日太政官達ヲ以テ勤儉貯蓄ニ關シ國民一般ニ布告
 セラレタル日ニ因リタルモノニシテ御聖旨ヲ奉體シテ爾後毎年三月十日ヲ以テ勤儉貯蓄記念日ト定メ勤儉貯蓄思想ヲ鼓
 吹セントスルモノナリ

郵便振替貯金創業三十周年記念施設 振替貯金ハ明治三十九年三月一日創始セラレタルモノニシテ本年三月一日
 ハ恰モ三十周年ニ相當セルニ付各貯金支局ニ於テ事業周知展覽會ヲ開催セシム

第六章 年金恩給

Section 6. Annuity and Pension

年金恩給給與金拂渡高

Payments of Annuities, Pensions and Other Grants

種 別 Description	各 局 拂 渡 Payment		郵便貯金ニ振替預入 Transfer to Postal Savings Deposits		合 計 Total	
	口 數 No.	金 額 Amount	口 數 No.	金 額 Amount	口 數 No.	金 額 Amount
昭和十一年 1935-36 度	1,644,945	160,440,180 ^円	86,266	12,714,676 ^円	1,731,211	173,154,856 ^円
九年 1934-35 度	1,646,979	160,718,724	56,201	8,227,260	1,703,180	168,945,984
八年 1933-34 度	1,635,725	156,930,927	44,637	6,350,091	1,680,362	163,281,018
七年 1932-33 度	1,610,450	153,065,909	43,437	6,069,323	1,653,887	159,135,232
六年 1931-32 度	1,578,117	147,098,673	42,790	5,812,927	1,620,907	152,911,600
五年 1930-31 度	1,551,842	143,077,212	41,829	5,537,771	1,593,671	148,614,983
四年 1929-30 度	1,531,705	139,539,581	40,979	5,282,921	1,572,684	144,822,502
三年 1928-29 度	1,519,035	136,449,449	40,499	5,124,138	1,559,534	141,573,587
二年 1927-28 度	1,557,371	133,343,260	41,551	4,928,344	1,598,922	138,271,604
元 年 1926-27 度	1,470,773	127,624,329	38,795	4,688,086	1,509,568	132,312,415

Faint, illegible text and a table structure on the left page, possibly containing financial data or a schedule.

簡易保險及郵便年金
POST OFFICE LIFE INSURANCE
AND POST OFFICE LIFE ANNUITIES

第四編 簡易生命保險及郵便年金

Chapter 4. Post Office Life Insurance and Post Office Life Annuities

簡易保險局沿革略誌

我國簡易生命保險制度ハ其ノ端ヲ遠ク日清戰役終了後ニ發セリ即チ當時逓信省ニ小口保險創始ノ議起リ明治三十八年郵便貯金法制定ノ際其ノ中ニ郵便保險年金ニ關スル條項ヲ規定スルノ議アリシモ時期尙早ノ故ヲ以テ中止シ更ニ其ノ調査ヲ繼續スルコトナレリ、然ルニ其ノ後世態ノ變遷著シク殊ニ日露戰後産業ノ發展ニ伴ヒ小口保險實施ノ必要一層緊切ヲ加フルニ到リシヲ以テ明治四十三年七月郵便貯金局内ニ郵便保險年金制度調査委員會ヲ設ケ内外保險事業ノ調査ニ著手セリ然モ簡易保險制度施行ノ曉ニ於テハ社會各般ニ及ホス影響ノ大ナルヘキハ明ニシテ其ノ調査ニ就テモ萬全ヲ期セサルヘカヲサレヲ慮リ翌四十四年一月其ノ調査機關ヲ擴張シテ逓信省内ニ郵便保險年金制度調査會ヲ組織シ且之ニ關係アル學者、實業家ヲ加ヘテ討議研鑽スル所アリ、一方ニ於テハ大正三年時ノ内閣ハ小口保險ノ實施ヲ施政方針ノ一トナシ同年五月内閣ニ小口保險制度調査委員會ヲ設置シ委員長ニ法制局長官ヲ、内務、大藏、文部、農商務及逓信ノ各省ヨリ夫々委員ヲ選任シテ六月ヨリ十一月ニ亘リ數十回ノ委員總會及特別委員會ヲ開キ調査審議スル所アリ同年十二月其ノ決定要領及法律、勅令並規則草案ヲ公表スルト共ニ一面地方長官、商業會議所各種學會又ハ協會等各方面ニ諮問シ、且内外斯業ノ實況ヲ參酌シテ遂ニ簡易生命保險法案及簡易生命保險特別會計法ノ成案ヲ見ルニ至リ大正五年二月第三十七議會ニ提出セリ、議會ハ保險金額ノ最高限度參百圓ヲ貳百五十圓ニ修正ノ上之ヲ協贊シ茲ニ簡易生命保險法案及簡易生命保險特別會計法案ノ成立ヲ見ルニ至レリ

以上ハ簡易生命保險制度調査ノ經過ヲ略述セルモノナルカ更ニ本法制定後ノ重ナル事項ヲ摘録スレハ次ノ如シ

大 正 五 年

- 三月 爲替貯金局内ニ簡易生命保險事務準備部ヲ置キ之ヲ實施ニ關スル諸般ノ調査ヲ行フ其ノ草案成ル
- 四月 逓信省内ニ簡易生命保險事務準備委員會ヲ設置シ各種規程ヲ其ノ審査ニ附ス
- 七月 簡易生命保險法及簡易生命保險特別會計法ヲ公布ス
- 八月 簡易生命保險法及簡易生命保險特別會計法ノ實施期日ヲ前者ハ大正五年十月一日後者ハ同年八月二十日ト定ム
- 九月 爲替貯金局及地方逓信官署官制ヲ改正シ爲替貯金局内ニ保險部ヲ、逓信局内ニハ總務部ニ保險課ヲ分掌局ニハ第四課ヲ設ケテ簡易生命保險ニ關スル事務ヲ掌理ス
- 同 簡易生命保險令、簡易生命保險審査會規程、簡易生命保險特別會計規則、簡易生命保險規則、簡易生命保險特別會計事務規程等ヲ制定公布ス
- 同 簡易生命保險取扱規程、簡易生命保險團體特別取扱規則、簡易生命保險團體特別取扱規程等ヲ制定ス
- 十月 一日ヨリ簡易生命保險事業ヲ開始ス

大 正 六 年

- 七月 簡易生命保險積立金運用規則ヲ公布ス
- 九月 簡易生命保險ノ保險契約者ニ對スル貸付ノ利率ヲ保險料振替貸付ニアリテハ年四分八厘、普通貸付ニアリテハ年六分ト定ム

大 正 七 年

- 四月 簡易生命保險審査會規程施行細則ヲ制定ス
- 同 簡易生命保險規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ保險料前拂方法ヲ設ケ、延滞料免除ノ場合ヲ規定シ、小額保險金ノ簡易支拂手續ヲ制定シ、殖民地等ヨリ保險料拂込並再度保險證書無料交付ニ關スル規定ヲ制定シ、保險證書訂正

料金ノ徴收ヲ廢止シタルコト等トス

- 九月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ短期拂込養老保險ヲ設ケ、法域外住居者ニ對スル保險金及還付金支拂方法ヲ定ム
- 十二月 簡易生命保險團體特別取扱規程ヲ改正シ八年一月一日ヨリ施行ス

大正八年

- 五月 爲替貯金局及地方逓信官署官制ヲ改正シ爲替貯金局ニ於ケル保險部ヲ廢止シ從來監理課及調度課ニ於テ取扱タル庶務、規畫、監督、經理ニ關スル事務ハ爲替貯金ニ關スル夫レ等ノ事務ト同一課ニ於テ取扱フコトナリ外ニ保險契約、保險支拂、保險原簿、積立金運用、保險統計ノ五課ヲ置キ又從來ノ各逓信局及事務分掌局ヲ七逓信局トシ各逓信局ニ保險課ヲ設ク
- 六月 簡易生命保險審査會規程ヲ改正シ委員十人ヲ十二人ニ改ム
- 八月 簡易生命保險積立金貸付規則ヲ制定シ十九日ヨリ之ヲ施行ス
- 十一月 簡易生命保險規則ヲ改正シ現役軍人又ハ召集中ノ軍人ノ申込ニ對シ簡易手續ヲ制定ス

大正九年

- 三月 簡易生命保險規則ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ契約ノ申込又ハ復活申込ニ際シ申込人ト被保險者ト所在地ヲ異ニスル場合ニ受付局以外ノ郵便局ニ於テ被保險者ノ面接ヲ爲シ得ルノ方法ヲ設ケ、保險料前拂ノ制度ヲ保險料豫納ノ形式ニ改メ、保險金還付金ノ局待拂及普通貸付金ノ局待貸付ノ途ヲ開キ、復活利息金ノ徴收ヲ廢止シ、保險料振替貸付期間ヲ二箇年ニ延長シタルコト等トス
- 十月 簡易保險局官制制定セラレ新ニ簡易保險局ヲ設ケテ從來爲替貯金局ニ於テ掌理シタル簡易生命保險ニ關スル事務ヲ受繼キ庶務、監理、契約、支拂、原簿、醫務、積立金運用、統計ノ八課ヲ置キ其ノ事務ヲ管掌ス
- 十二月 簡易生命保險積立金貸付規則ヲ改正シ翌十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ借入申込書用紙ヲ正副二通トシ逓信局ヲ經由シテ逓信大臣ニ提出セシムルニ在リ

大正十年

- 四月 簡易生命保險特別會計法ヲ改正シ支拂上ノ餘裕金ヲ大藏省預金部ニ預入スルコトヲ得セシム
- 九月 簡易保險局官制ヲ改正シ從來ノ八課ヲ改メテ庶務、規畫、監督、積立金運用、契約、支拂、第一原簿、第二原簿、醫務、統計ノ十課トシ別ニ講習所ヲ設ケテ吏員ノ養成ニ任ス

大正十一年

- 二月 一日ヨリ南洋廳管内ニ於テ簡易生命保險事務ノ取扱ヲ開始ス
- 四月 簡易生命保險法中ヲ改正シ保險金額二百五十圓ヲ三百五十圓ニ増額シ九月一日ヨリ實施ス
- 六月 團體特別取扱規則ヲ改正シ團體員ノ箇數十箇未滿トナリタルトキハ團體トシテノ取扱ヲ廢止セリ
- 八月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ保險料ノ併合拂込ヲ認メ、長期繼續ノ契約者ニ對スル保險料還付ノ途ヲ開ク
- 九月 簡易保險健康相談所規則及簡易保險健康相談所取扱規程ヲ制定ス
- 十一月 關東廳管内郵便官署ニ於テ郵便振替貯金ノ特別取扱ノ方法ニヨリ簡易生命保險ノ保險料集金其ノ他ノ事務ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 新ニ計理課ヲ置キ從來第一原簿課及第二原簿課ニ於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ

大正十二年

- 三月 簡易生命保險特別會計ニ於ケル土地建物ノ買入又ハ建物ノ建設ニ關スル法律ヲ公布シ大正十二年度ヨリ施行ス
- 九月 一日ニ於ケル關東地方ノ激震ト之ニ伴フ火災ノ爲災禍ヲ被リタル者多カリシヲ以テ五日ヨリ東京市芝區日出町簡易保險局構内、東京中央郵便局出張所ニ於テ保險金及還付金ノ非常局待拂並保險契約者ニ對スル貸付金ノ非常局待貸付ヲ取扱ヒ罹災者ニ對シテハ保險料ノ拂込ニ就キ特別拂込猶豫期間ヲ設定ス

- 十月 非常局待扱ハ五日限り之ヲ廢止シ六日ヨリ普通局待扱及局待貸付ヲ取扱フ
- 同 罹災契約者ニ對スル貸付利率ヲ振替貸付三分六厘、普通貸付四分八厘ニ低下ス

大正十三年

- 三月 大正十二年九月ニ於ケル罹災契約者ニ對シテハ保險料ノ拂込ニ付キ特別拂込猶豫期間一箇月ヲ追加設定ス
- 六月 監督課ヲ業務課ト改メ從來規畫課ニテ取扱ヒタル歳入歳出ノ豫算及決算ニ關スル事項並事業用物品ノ經理ニ關スル事項ヲ移管ス
- 同 簡易生命保險規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ痾疾被保險者ノ契約ニ對スル保險料免除ノ特例ヲ開キ、長期繼續契約者ニ對スル還付保險料ヲ増額シタルコト等トス
- 同 簡易保險健康相談所規則中ヲ改メ相談所ニ於ケル取扱事務範圍ヲ擴張シ、特殊ノ施設ヲ要スル診察検査又ハ試驗ヲモ行ヒ又書面ニヨル健康相談ヲモ取扱フコトトス
- 十一月 行政整理ノ爲メ在來ノ庶務課、規畫課、監督課ノ事務ノ分合ヲ行ヒ之ヲ庶務課、業務課及經理課トナシ計理課ヲ計課ト改メ醫務課及講習所ヲ廢止シ原簿事務帳ニ付第三原簿課ヲ特設ス

大正十四年

- 五月 二十三日但馬地方ニ於ケル震火災ノ爲メ、兵庫縣豐岡、同城崎及京都府久美濱局ニ於テ保險金ノ局待拂及契約者ニ對スル貸付金ノ局待貸付ヲ取扱フ
- 九月 新ニ規畫課ヲ置キ業務課及經理課ニ於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ

大正十五年

昭和元年

- 三月 簡易生命保險法中ヲ改正シ保險金額三百五十圓ヲ四百五十圓ニ増額シ五月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 四月 簡易保險局内ニ郵便年金事務準備部ヲ設ケ之カ實施ニ關スル諸般ノ調査ヲナシ其ノ草案成ル
- 同 郵便年金法及郵便年金特別會計法ヲ公布ス
- 五月 二十四日十勝岳ノ爆發ニヨル災禍ノ爲メ石狩國上富良野、何美瑛及同東中局ニ於テ保險金ノ局待拂及契約者ニ對スル貸付金ノ局待貸付ヲ取扱フ
- 六月 簡易生命保險積立金運用規則中ヲ改正シ年賦及半年賦償還貸付ノ貸付期間二十年内ヲ二十五年内ニ改ム
- 八月 第四原簿課ヲ新設ス
- 同 郵便年金令、郵便年金特別會計規則、郵便年金規則、郵便年金取扱規程ヲ公布ス
- 九月 郵便年金特別會計事務規程ヲ定ム
- 同 年金課ヲ新設シ年金事業ニ關スル事務ヲ掌理セシム
- 十月 一日ヨリ郵便年金事業ヲ開始ス
- 同 關東廳管内郵便官署ニ於テ郵便振替貯金特別取扱ノ方法ニ依リ郵便年金事務ノ取扱ヲ開始ス
- 同 簡易生命保險規則中ヲ改正シ長期契約繼續ニ依リ保險料還付額ノ増加並保險料前納制度ヲ認メ且之ニ對スル保險料割引制度ヲ制定ス
- 同 樺太廳管内郵便官署ニ於テ郵便振替貯金ノ特別取扱ノ方法ニ依リ簡易生命保險ノ保險料集金其ノ他ノ事務ノ取扱ヲ開始ス

昭和二年

- 三月 京都府及兵庫縣下ニ激震ト之ニ伴フ火災ノ爲災禍ヲ被リタルモノ多カリシヲ以テ十二日ヨリ京都府網野郵便局

- 外六局 = 於テ保險金ノ非常局待拂並貸付金ノ非常局待付ヲ取扱ヒ且罹災者 = 對シテハ保險料ノ拂込 = 付キ特別猶豫期間ヲ設定ス
- 四月 財界ノ混亂 = 因リ私法上ノ金錢債務ノ支拂延期等 = 關スル法律公布セラレタル爲簡易生命保險契約及郵便年金契約 = 於テモ月掛保險料拂込期間、保險料若ハ掛金拂込猶豫期間又ハ保險契約者 = 對スル貸付期間滿了スルモノノ掛金拂込期間ノ到來スルモノ = 對シ二十一日ノ猶豫ヲナセリ
- 六月 簡易生命保險審査會規程及同施行細則ヲ改正シ新 = 郵便年金 = 關スル爭議ヲモ民事訴訟提起前 = 簡易生命保險審査會 = 提出セシメ其ノ審査ヲ經ルコトトセリ
- 八月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ支拂課ヲ分チテ第一支拂課、第二支拂課ヲ置キ第五原簿課ヲ新設ス
- 九月 熊本縣下 = 於テ風水害 = 罹リタル者多カリシ爲小島郵便局外一局 = 於テ保險金ノ局待拂並貸付金ノ非常局待付ヲ取扱フ
- 十月 臺灣總督府管内郵便官署 = 於テ郵便振替貯金特別取扱ノ方法 = 依リ簡易生命保險及郵便年金事務ノ取扱ヲ開始ス

昭和三年

- 一月 保險料及延滞料ノ領收證ノ書式ヲ改正ス
- 四月 公債市價ノ昂騰 = 伴ヒ掛金一時拂ノ場合 = 於ケル豫定利率年六分ヲ年五分七厘五毛 = 改定ス
- 八月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ第三支拂課ヲ新設シ且ツ年金課ヲ非現業事務 = 當ル年金監理課ト現業事務 = 當ル年金契約課 = 分課ス
- 十月 樺太廳管内郵便官署 = 於テ郵便振替貯金特別取扱ノ方法 = 依リ郵便年金事務ノ取扱ヲ開始ス

昭和四年

- 一月 一等郵便局、電信局及電話局分課規程中ヲ改正シ神戸、長崎、新潟、札幌、小樽、鹿兒島、靜岡及岐阜ノ各郵便局 = 保險課ヲ設ク
- 三月 公債市價ノ昂騰 = 伴ヒ掛金一時拂ノ場合 = 於ケル豫定利率年五分七厘五毛ヲ年五分五厘 = 改定ス
- 六月 簡易生命保險積立金及郵便年金積立金有價證券購入方針ヲ定メ國債及地方債ノ外特別ノ法令ヲ以テ設置セラレタル會社ノ社債 = 對シテモ投資ノ途ヲ拓ク
- 七月 簡易保險局官制中ヲ改正シ新 = 理事(專任一人勅任)ヲ置ク
同分課規程中ヲ改正シ業務課ヲ監督課ト改メ新 = 第六原簿課ヲ設ケ第五原簿課 = 於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ
簡易保險局 = 業務長(理事)ヲ置キ契約課、各支拂課、司計課、各原簿課及年金契約課ノ事務ヲ統理ス
- 十月 郵便年金規則中ヲ改正シ分割拂第二回以降掛金ノ集金制度ヲ設ケ同時 = 拂込期間十五日ヲ置ク

昭和五年

- 七月 簡易生命保險規則及同取扱規程、簡易生命保險團體特別取扱規則及同取扱規程中ヲ改正ス
- 九月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ新 = 第四支拂課ヲ課ケ從來各支拂課 = 於テ取扱ヒ來リタル保險契約者 = 對スル貸付事務ヲ掌理スルコトトセリ
- 十月 郵便年金規則中ヲ改正ス
- 十二月 簡易生命保險規則及同取扱規程中ヲ改正ス

昭和六年

- 三月 簡易生命保險特別會計法中ヲ改正シ歳出科目中 = 營繕費ヲ加ヘ昭和六年度ヨリ施行ス
- 四月 簡易生命保險法中ヲ改正シ新 = 小兒保險ヲ加フルト共 = 消滅期間ヲ短縮スル等ノ改正アリ十月一日ヨリ施行ス

- 六月 簡易生命保險令中簡易生命保險法改正 = 伴フ事項ヲ改正ス
- 八月 簡易生命保險規則ヲ改正シ小兒保險、曆月集金制ノ採用等ヲ規定ス
- 九月 簡易生命保險團體特別取扱規則ヲ改正ス
- 同 簡易保險局分課規程ヲ改正シ第四支拂課ヲ廢止シ新 = 第一貸付課及第二貸付課ヲ設ク
- 十月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ新 = 醫務課ヲ設ケ中央健康相談所 = 關スル事項並一般醫務 = 關スル事項ヲ掌理ス
- 同 郵便年金規則ヲ改正シ年金併合支拂ノ制ヲ設ケタル外二三改正ヲ加ヘタリ

昭和七年

- 十月 簡易保險局分課規程中ヲ改正シ新 = 第七原簿課ヲ設ケ第一原簿課 = 於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ
- 十一月 北海道地方 = 於ケル水災被害契約者救済ノ爲簡易生命保險北海道水災非常取扱規則及同取扱規程ヲ制定ス
- 十二月 簡易生命保險規則及郵便年金規則中ヲ改正シ保險料及掛金ノ集金ヲ取扱ハサル期間ヲ一月一日ヨリ一月五日迄 = 改ム

昭和八年

- 五月 東北地方 = 於ケル震災被害契約者救済ノ爲簡易生命保險東北地方震災非常取扱規則及同取扱規程ヲ制定シ昭和八年九月三十日迄二箇月間ノ保險料特別拂込猶豫期間ヲ設定シ且貸付金ノ辨済ヲ一箇年間猶豫ス
- 八月 公債市價ノ昂騰 = 伴ヒ掛金一時拂ノ場合 = 於ケル豫定利率年五分五厘ヲ年五分二厘五毛 = 改定ス
- 十月 公債市價ノ昂騰 = 伴ヒ掛金一時拂ノ場合 = 於ケル豫定利率年五分二厘五毛ヲ年四分二厘五毛 = 改定ス
- 十一月 簡易生命保險規則及同取扱規程中保險金即時拂及瘵疾承認適用範圍ノ擴張、契約者貸付條項等ヲ改正ス

昭和九年

- 三月 福岡市 = 簡易保險支局ヲ設置ス
- 同 簡易保險局及同支局分課規程ヲ制定シ、從來ノ第一、第二貸付課ヲ貸付及辨済課 = 又原簿課ヲ徵收課 = 夫々改稱シ、第七徵收課ヲ削リ同支局 = 庶務契約及徵收ノ三課ヲ設ク
- 同 函館市火災ノ爲函館郵便局 = 於テ保險金ノ局待拂ヲ實施セリ
- 四月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ從來再度保險證書、契約變更等ヲ請求ノ場合ノ手数料ハ郵便切手ヲ以テ納付セシメタルヲ收入印紙 = 改ム
- 同 簡易生命保險函館市火災非常取扱規則及同取扱規程ヲ制定ス
- 同 大正七年日本醫師會トノ間 = 締結セル被保險者診療費輕減協定ヲ廢棄シ新 = 日本醫師會トノ間 = 被保險者診療法約ヲ締結シ本月一日ヨリ實施ス
- 五月 簡易保險局及同支局分課規程中ヲ改正シ第二支拂課、第三支拂課、第五徵收課及第六徵收課ノ事務ノ一部ヲ變改セリ
- 六月 簡易保險局及同支局分課規程中ヲ改正シ新 = 第四支拂課ヲ設ケ從來第二支拂課 = 於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ掌理セシム
- 七月 簡易生命保險規則及同取扱規程中ヲ改正シ天災其ノ他避クヘカラサル事變ノ場合 = 於ケル非常取扱制度、契約者貸付遲滞金ハ已ムヲ得サル事由アル場合免除スルノ制度及保險證書 = 保險料拂込證明ヲ爲スノ制度等ヲ制定ス
- 同 石川、富山兩縣下水害罹災契約者救済ノ爲非常取扱規則ヲ適用シ保險料特別拂込猶豫期間ノ設定及契約者貸付遲滞金ノ免除ヲ爲セリ
- 九月 簡易生命保險健康相談所規則及同取扱規程中ヲ改正ス
- 同 關西地方風水害罹災契約者救済ノ爲非常取扱規則ヲ適用シ保險金非常即時拂保險料特別拂込猶豫期間ノ設定及

- 契約者貸付遅滞金ノ免除ヲ爲セリ
- 十月 最近ニ於ケル金利就中公債利廻リノ著シキ低落ニ因リ郵便年金令中掛金分割拂豫定利率年五分ヲ年四分ニ改定シ本月一日以降效力發生ノモノニ適用ス
- 十二月 東北地方冷害罹災契約者救済ノ爲非常取扱規則ヲ適用シ保険料特別拂込猶豫期間ノ設定及契約者貸付遅滞金ノ免除ヲ爲セリ
- 同 簡易生命保険積立金ノ自作農創設維持資金ニ對スル貸付ニ關シ年賦及半年賦償還ニ付四年内ノ据置期間ノ延伸ヲ認ムルコトトセリ

昭和十年

- 三月 鹿兒島、宮崎及熊本縣下ニ於ケル旱害ニ因ル鹿兒島縣水引郵便局外百四十五局受持ノ罹災契約者ニ對シ保険料特別拂込猶豫期間ノ設定及契約者貸付遅滞金ノ免除ヲ爲セリ
- 四月 昭和九年四月日本醫師會トノ間ニ締結セル簡易保險被保險者割引診療協約ヲ一部更改ノ上一日ヨリ實施ス。又被保險者ノ齒科の疾患ニ因ル治療費ヲ輕減セシムカ爲日本齒科醫師會トノ間ニ割引診療協約ヲ締結シ一日ヨリ實施ス
- 同 二十一日臺灣新竹及臺中兩州地方ニ於ケル震災ニ因ル新竹州竹東郵便局外二十二局受持ノ罹災加入者ニ對シ保險金ノ非常即時拂、保険料特別拂込猶豫期間ノ設定及契約者貸付遅滞金ノ免除ヲ爲ス
- 六月 低金利ノ情勢ニ應スル爲簡易生命保険積立金及郵便年金積立金ノ地方自治團體ニ對スル貸付利率ヲ貸付目的ニ依リ差等ヲ設クルコトヲ廢シ自作農創設維持資金ヲ除キ年四分三厘ニ引下ク尙地方自治團體以外ノ法人又ハ組合ニ對スル貸付利率ハ貸付目的ニ依リ年四分三厘及五分ノ二種トス
- 七月 簡易保險局及簡易保險支局分課規程ヲ改正シ新ニ第二契約課ヲ設ケ從來契約課、貸付課、辨濟課、司計課、第六徵收課及統計課ニ於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ掌理セシム
- 八月 青森、秋田兩縣下水害ニ因ル青森縣青森郵便局外七十局受持ノ罹災契約者ニ對シ保険料特別拂込猶豫期間ノ設定及契約者貸付遅滞金ノ免除ヲ爲ス
- 十一月 簡易保險局及簡易保險支局分課規程中ヲ改正シ醫務課掌理ニ屬スル簡易保險中央健康相談所ニ關スル事項ヲ削除シ、簡易保險中央健康相談所ヲ芝簡易保險健康相談所ト改稱ノ上東京逓信局ヘ移管ス

第一章 簡易生命保險事務ニ關スル施設

Section 1. Institutions for Post Office Life Insurance Services

簡易生命保險事務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

臺灣新竹、臺中兩州下震災罹災加入者ニ對スル施設 昭和十年四月臺灣新竹、臺中兩州下ニ於ケル震災ニ因ル新

- 竹州竹東郵便局外二十二局受持ノ罹災加入者ニ對シ下記施設ヲ爲セリ
- 一、保險金ノ非常即時拂ヲ實施セリ
- 二、昭和十年一月分ヨリ同年五月分迄ノ保險料ニ付各三ヶ月ノ特別拂込猶豫期間ヲ認メタリ
- 三、契約者貸付ヲ受ケタルモノニ對シテハ昭和十年七月三十一日迄ニ貸付金ノ辨濟又ハ貸付期間更新等ヲ爲スモノニ對シ昭和十年四月二十一日以後ノ遅滞金ヲ免除セリ
- 四、臺北簡易保險健康相談所ヨリ救護班ヲ派遣シ傷病被保險者ニ應急治療ヲ爲セリ

青森、秋田兩國下水害罹災契約者ニ對スル施設 昭和十年八月青森、秋田兩縣下水害ニ因ル青森縣青森郵便局外七十局受持ノ罹災契約者ニ對シ下記施設ヲ爲セリ

- 一、昭和十年六月分ヨリ同十一年七月分迄ノ保險料ニ付各二ヶ月ノ特別拂込猶豫期間ヲ認メタリ
- 二、契約者貸付ヲ受ケタルモノニ對シテハ昭和十一年十二月末日迄ニ貸付金ノ辨濟又ハ貸付期間更新等ヲ爲スモノニ對シ昭和十年八月二十一日以後ノ遅滞金ヲ免除セリ

北海道地方ニ於ケル凶作、凶漁地契約者ニ對スル施設 昭和十年北海道地方ニ於ケル凶作、凶漁ニ因リ經濟上多大ノ打撃ヲ蒙リタル森郵便局外三百九局受持ノ契約者ニ對シ下記施設ヲ爲セリ

- 一、昭和十年十一月分ヨリ昭和十一年六月分迄ノ保險料ニ付各三ヶ月ノ特別拂込猶豫期間ヲ認メタリ
- 二、契約者貸付ヲ受ケタルモノニ對シテハ昭和十一年十二月末日迄ニ貸付金ノ辨濟又ハ貸付期間更新等ヲ爲スモノニ對シ昭和十一年二月一日以後ノ遅滞金ヲ免除セリ

第二章 保 險

Section 2. Summary of Post

簡 易 生 命 保

Summary of Post Office

種 別 Description	新 契 約 New Contracts			契 約 Death	
	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum.insured	件 數 No.	保 險 料 Premium
終 身 保 險 Whole Life Policies	470,109	426,101.3	83,440,464.8	119,335 (547)	91,738.6 (516.6)
養 老 保 險 Endowment Policies	1,817,471	1,881,513.1	302,978,227.7	155,172 (1,726)	142,143.7 (1,719.6)
小 兒 保 險 Infantile Policies	652,331	469,740.6	92,735,355.0	14,177 (1,915)	9,816.7 (1,355.3)
合 計 Total	2,939,911	2,777,355.0	479,154,047.5	288,684 (4,188)	243,699.0 (3,591.0)
九 年 1934—35 度	3,150,881	2,827,242.8	453,306,719.6	257,899 (4,415)	216,505.9 (3,646.8)
八 年 1933—34 度	3,096,872	2,647,666.6	417,989,685.9	238,634 (3,703)	201,423.1 (3,068.9)
七 年 1932—33 度	2,883,356	2,412,634.4	371,027,787.2	213,314 (3,042)	178,651.1 (2,536.3)
六 年 1931—32 度	2,800,819	2,453,427.3	388,633,808.1	200,888	168,269.8
五 年 1930—31 度	2,434,292	2,308,475.1	357,792,091.3	186,446	153,736.0
四 年 1929—30 度	2,157,554	2,305,921.1	355,829,270.6	170,551	136,190.7
三 年 1928—29 度	2,502,585	2,332,353.4	369,607,993.1	150,617	116,572.0
二 年 1927—28 度	2,453,705	1,897,368.8	313,045,665.5	129,540	99,122.7
元 年 1926—27 度	2,507,116	1,998,996.8	339,637,009.3	107,082	80,124.0

事 業 成 績

Office Life Insurance Business

險 事 業 成 績

Life Insurance Business

昭和十年度
1935—36

保 險 金 額 Sum.insured	約 消 滅 Contracts Terminated				減	
	滿 期 Endowment Contracts matured		解 約 Surrender		約	
	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum.insured	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum.insured
17,169,496.6 (94,809.3)				48,728	28,192.7	6,660,446.7
21,018,358.2 (267,164.8)	283,968	313,664.4	31,894,568.1	204,833	178,890.5	26,704,637.1
1,935,481.8 (265,610.8)				16,022	10,261.3	2,031,043.7
40,123,336.6 (627,584.9)	283,968	313,664.4	31,894,568.1	269,583	217,344.5	35,396,127.5
35,608,107.1 (634,994.1)	202,282	249,120.1	25,283,852.9	315,195	266,546.9	42,984,718.4
33,086,753.8 (531,930.1)	133,608	144,527.9	14,808,891.6	357,600	304,010.5	49,655,205.7
29,538,679.3 (442,430.1)	113,022	105,125.1	10,719,540.4	518,096	434,735.7	71,202,026.5
27,915,316.5	55,302	43,466.4	4,487,420.0	563,040	493,025.5	80,326,593.8
25,691,414.7	25,413	19,962.3	1,918,265.5	428,622	388,830.9	63,058,106.8
23,168,603.3	19,560	13,505.7	1,293,450.5	206,398	184,105.3	30,287,103.2
20,092,943.9	21,461	12,891.2	1,251,261.5	162,242	132,173.4	22,386,899.2
17,342,696.8	17,032	8,750.3	851,818.3	152,643	127,691.5	21,448,011.8
14,188,784.9	10,235	6,137.7	589,757.1	126,996	113,019.0	18,709,973.1

簡易生命保
Summary of Post Office

種別 Description	契約消滅 Contracts Terminated			契約復 Revival of Contracts	
	失効 Lapse				
	件数 No.	保険料 Premium	保険金額 Sum insured	件数 No.	保険料 Premium
終身保 Whole Life Policies	67,252	51,919.2	11,273,425.2	13,617	10,058.1
養老保 Endowment Policies	294,483	276,864.7	41,139,390.7	41,581	37,858.2
小兒保 Infantile Policies	48,040	31,310.0	6,127,493.5	6,525	4,295.1
合計 Total	409,775	360,093.9	58,540,309.4	61,723	52,211.4
昭和九年 1934-35	482,753	410,671.9	65,627,074.3	78,796	65,403.6
八年 1933-34	601,233	495,765.0	78,021,464.1	114,736	93,231.0
七年 1932-33	821,989	671,028.4	106,452,700.8	177,317	139,218.3
六年 1931-32	976,614	802,932.4	131,275,667.3	166,531	129,941.1
五年 1930-31	822,797	742,451.0	119,960,794.7	131,351	103,096.1
四年 1929-30	640,244	568,188.9	92,926,172.7	104,827	79,232.0
三年 1928-29	623,530	470,768.6	79,662,113.0	97,080	71,469.0
二年 1927-28	625,518	456,387.2	79,340,017.2	88,363	63,433.0
元年 1926-27	586,836	444,104.3	76,794,661.6	64,185	44,844.5

備考 1. 死亡欄中括弧内ノ数字ハ災害又ハ傳染病豫防法第一條第一項ノ傳染病ニ因リ契約締結後一年六箇月以内ニ死亡シタルモノヲ示ス。
Note: 1. The figures in parenthesis in the column under the heading "Deaths" signify the deaths occurred, within one year and the Law relating to the Prevention of Infections Diseases.
2. 其ノ他ノ事由ニ因リ増減欄中末段ノ括弧内数字ハ廢疾條項ニ因リ契約高ヲ示ス。
2. The figures in the brackets in the last line of the column under the heading "Increase or Decrease from other Causes," indicate the contracts, of which premiums are exempted in accordance with the Disability Provision.
3. 年度末現在契約欄中末段ノ括弧内ノ数字ハ保險料拂込期間満了契約及廢疾條項ニ依リ保險料ノ拂込ヲ免除セル契約ノ合計高ヲ再掲セルモノナリ。
3. The figures in the parentheses in the grand total line of the column under the heading "Policies in Force at the End of the present Fiscal Year" indicate the aggregate of those policies which Premium-Paying-Periods Completed or payment of which premiums is exempted in accordance with the Disability provision.

險事業成績 (續)
Life Insurance Business (Continued)

昭和十年度
1935-36

活 Sum insured	其ノ他ノ事由ニ因リ増減 Increase or Decrease from Other Causes				年度末現在契約 Contracts in force at the End of the Fiscal Year				
	件数 No.	保険料 Premium	保険金額 Sum insured		件数 No.	保険料 Premium	保険金額 Sum insured		
2,115,322.3	-	34,960	-	36,488.3	-	9,412,580.4	4,893,927	3,244,896.6	699,614,672.7
5,624,110.1	-	30,261	-	71,417.1	-	15,617,461.5	15,906,374	14,193,176.9	2,120,219,825.8
843,998.1	-	1,755	-	6,662.0	-	1,235,724.0	2,965,408	2,058,002.9	403,344,210.4
8,583,430.5	-	6,454	-	114,567.4	-	26,265,765.9	23,765,709 (1,408,914)	19,496,076.4 (975,337.4)	3,223,178,708.9 (139,524,339.7)
10,842,613.5	-	6,695 (1,004)	-	85,235.9 (822.7)	-	21,167,589.2 (134,864.2)	22,022,539	17,915,879.2	2,927,661,338.4
15,618,364.5	-	6,034 (727)	-	69,890.4 (566.0)	-	16,646,269.1 (96,247.6)	20,057,686	16,251,313.5	2,654,183,347.2
23,617,173.6	-	4,550 (60)	-	69,038.6 (41.8)	-	17,074,449.8 (8,454.4)	18,183,187	14,726,032.8	2,412,793,951.1
22,318,260.0	-	4,721	-	66,139.0	-	15,176,393.1	16,793,485	13,632,759.0	2,253,136,387.1
17,871,493.0	-	3,684	-	63,406.4	-	13,607,297.0	15,626,700	12,623,223.7	2,101,365,709.7
14,027,873.0	-	3,270	-	37,634.5	-	10,077,154.3	14,528,019	11,580,039.1	1,949,938,004.1
12,808,560.9	-	2,587	-	23,127.9	-	7,616,470.5	13,305,661	10,134,461.1	1,737,833,349.5
11,580,250.4	-	2,357	-	17,699.7	-	5,724,788.0	11,666,433	8,486,171.8	1,486,426,483.6
8,305,391.0	-	2,385	-	15,035.2	-	4,931,216.2	10,051,455	7,235,071.4	1,286,507,899.8

示ス。
half after the date of issue of Policies, from an accident and from any disease prescribed in the first paragraph of Article of indicate the contracts, of which premiums are exempted in accordance with the Disability Provision.
高ヲ再掲セルモノナリ。
of the present Fiscal Year" indicate the aggregate of those policies which Premium-Paying-Periods Completed or payment of

簡易生命保險
Classification of Post Office Life

Table with columns for Direction of Communications, Prefecture, New Contracts (件数, 保険料, 保険金額), Death (件数, 保険料, 保険金額), Endowment (件数, 保険料, 保険金額), and Surrender (件数, 保険料). Rows include Tokyo, Kanagawa, Saitama, Gunma, Tiba, Ibaraki, Totigi, Sizuoka, Yamanasi, Aiti, Mie, Gifu, Nagano, Hukui, Isikawa, Toyama, Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Siga, Wakayama, Tokushima, and Koti.

事業成績地方別
Insurance Business by Prefectures

昭和十年度
1935-36

Table with columns for Revival of Contracts, Decrease from Other Causes, and Contracts in Force at the End of the Fiscal Year. Sub-columns include 約失, 契約復活, 其ノ他ノ事由ニ由リ減少, and 年度末現在. Rows list various prefectures and their corresponding insurance statistics.

簡易生命保險
Classification of Post Office Life

Table with columns for Direction of Communications, Prefecture, New Contracts, Death, Endowment, and Surrender. Includes sub-headers for '約' (Contract) and '消' (Terminated). Rows list various prefectures like Hiroshima, Kumamoto, and Sapporo.

事業成績地方別
Insurance Business by Prefectures

(續)
(Continued)

昭和十年度
1935-36

Table with columns for Revival of Contracts, Decrease from Other Causes, and Contracts in Force at the End of the Fiscal Year. Includes sub-headers for '減' (Decrease) and '約' (Contract). Rows list various prefectures and a total row.